

はじめに

本書は、公務員試験の受験対策を本格的に始めるにあたって、公務員の職種・仕事内容や公務員試験の全体像を把握できるように作成された情報データブックです。

公務員試験において合格レベルに到達するためには、多くの時間と努力を必要とします。最終合格まで到達できるかは、限られた時間の中で、いかに効率的かつ適切な方法で着実に受験対策を進めることができたかによって大きく左右されます。

本書は、過去の試験情報（主に令和3年度）を元に、公務員試験を受験するにあたり知っておいていただきたい各種の試験情報や受験対策の方法などがまとめられています。今後、受験対策を進めていく中で、必要に応じてご活用ください。

本書が、公務員試験において最終合格・内定を目指す皆様の一助になれば幸いです。
皆様の最終合格・内定を心より祈念いたします。

2022年1月
TAC公務員講座

オリエンテーションブックに掲載されている情報について

本書は、一部の例外を除き、令和3年度の大学卒業程度試験の試験案内やTAC受講生から寄せられた試験情報（主に行政事務職・技術職）などを元に作成されています。

公務員試験は、年度により試験制度や実施日程等が変更になる場合があります。公務員試験を受験される際は、必ず最新の試験案内などをご自身で確認いただきますよう、よろしくお願いいたします。

2023年合格目標 オリエンテーションブック

公務員講座（地方上級・市役所・国家一般職）

行政事務職 ／ 技術職

目 次

第1章 公務員の職種と仕事内容		財務専門官	P 77
公務員の種類	P 4	労働基準監督官	P 79
国家公務員	P 4	食品衛生監視員	P 81
地方公務員	P 9	航空管制官	P 82
		裁判所総合職（大卒程度区分）	P 84
		裁判所一般職（大卒程度区分）	P 87
第2章 公務員試験ガイド		衆議院事務局職員（大卒程度）	P 89
受験資格	P 14	衆議院法制局職員（総合職）	P 91
試験の『〇〇程度』とは	P 14	参議院事務局職員総合職（大卒程度）	P 92
試験区分	P 14	参議院法制局職員（総合職）	P 93
試験概要	P 15	国立国会図書館職員	P 94
教養試験・専門試験	P 21	外務省専門職員	P 96
論文試験	P 26	防衛省専門職員	P 97
人物試験	P 27	自衛隊一般幹部候補生（大卒程度）	P 99
今からできる面接対策の準備	P 29	国立大学法人等職員	P 101
最終合格者の決定方法	P 31	・地方公務員	
第3章 公務員試験の学習法		都道府県	
総論	P 36	北海道地方（北海道）	P 102
筆記試験対策	P 45	東北地方（青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島）	P 110
人物試験対策	P 50	関東地方（茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川）	P 125
		中部地方（新潟・富山・石川・福井・山梨・長野・岐阜・静岡・愛知）	P 153
第4章 公務員試験の実施日程・実施状況		近畿地方（三重・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山）	P 182
試験日程一覧（令和3年度）	P 54	中国地方（鳥取・島根・岡山・広島・山口）	P 208
主な公務員試験の実施状況一覧	P 56	四国地方（徳島・香川・愛媛・高知）	P 229
		九州地方（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄）	P 240
第5章 本試験データ集（令和3年度）		特別区	P 265
・国家公務員		政令指定都市	P 267
国家総合職（大卒程度）	P 60	政令指定都市以外の市役所	P 327
国家総合職（院卒者）	P 65		
国家総合職（大卒程度）教養区分	P 68		
国家一般職（大卒程度）	P 70		
法務省専門職員（人間科学）	P 73		
国税専門官	P 75		

第 1 章

公務員の職種と仕事内容

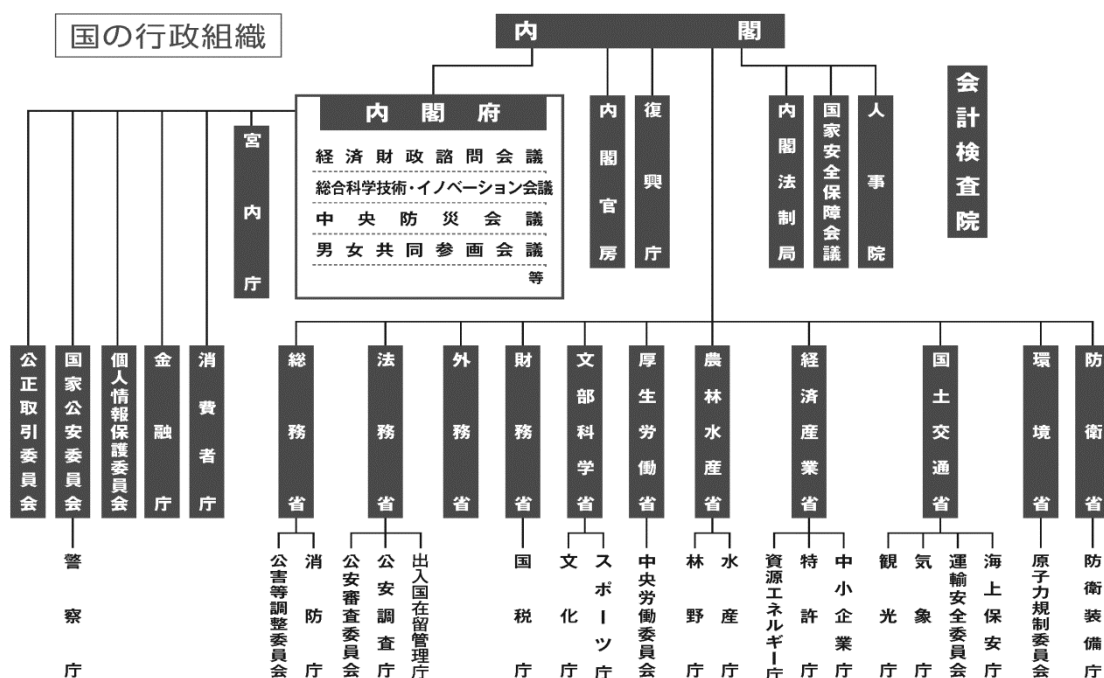
1 公務員の種類

公務員とは、国や地方自治体などの職員として、よりよい社会を実現するために、社会の基盤を整備し、人々の暮らしを根幹から支える職業です。公務員の仕事は、民間企業にはないやりがいや魅力にあふれています。

公務員は、大きく分けて国家公務員と地方公務員の2つに大別されます。

国家公務員 日本全体を支える各分野のスペシャリスト	地方公務員 地域住民を支えるゼネラリスト
行政府： 各府省及び機関の職員（1府12省庁） 国税専門官・財務専門官・ 労働基準監督官 など	都道府県： 行政事務職・技術系職種（土木・建築・化学など） 学校事務職・警察事務職 資格免許職・警察官 など
司法府： 裁判所事務官 など	市町村： 行政事務職・技術職 資格免許職・消防官 など
立法府： 衆議院事務局職員 参議院事務局職員	

2 国家公務員



各府省及び機関の仕事内容

会計検査院： 国会や裁判所に属せず、内閣からも独立した機関として、国や各法人等の会計検査を行い、納税者である国民の期待に応えるために、あらゆる行政活動の会計検査を行います。なお、会計検査院は出向などを除き、基本的に転勤はありません。

内閣官房： 内閣総理大臣や内閣全体の手足となって補佐する最も身近な補助機関であり、官僚組織としてはすべての府省の上に位置します。中央省庁等改革以降、各省庁に対する総合調整機能が強化され、また省庁間をまたがるような企画立案も行うことができます。

- 復興庁**： 2011年3月の東日本大震災を機に、その復興目的に設置された機関です。震災からの復興を成し遂げられるよう、被災地に寄り添いながら、前例にとらわれず、果断に復興事業を実施するための組織として、内閣に設置された組織です。
- 人事院**： 国家公務員採用試験の実施、給与や勤務時間等の勤務条件の改善に関する勧告、行政研修等の企画・実施など担う内閣の所轄の下に設置された、中央人事行政機関です。
- 内閣府**： 国政上の重要課題に対し、行政を分野ごとに管轄する各府省等より一段高い立場から企画立案や調整を行うなど、内閣総理大臣を直接支え、政策立案を支援します。
- 宮内庁**： 宮内庁は、皇族と国民との間にあり、宮中の儀式・行事や国内外にお出ましにかかる事務などに幅広く携わり、皇族のご活動をお世話する仕事に携わります。
- 公正取引委員会**： 市場の番人として、独占禁止法や下請法を運用する独立行政委員会です。政策官庁として競争政策の企画・立案、法執行官庁として独占禁止法に違反する行為の取り締まりなどを行います。
- 国家公安委員会**： 国務大臣である委員長と5人の委員の計6人で構成される合議制の行政委員会です。この制度は、戦後新たに導入されたもので、国民の良識を代表する者が警察を管理することにより、警察行政の民主的管理と政治的中立性の確保を図ろうとするものです。
- 警察庁**： 全国の警察組織の中核機関としての各種施策の企画・立案や、都道府県警察の指揮・監督・調査等を行うことで、個人の権利と自由を保護し、公共の安全・秩序を維持することを任務としています。
- 個人情報保護委員会**： 平成28年1月に特定個人情報保護委員会を改組した個人情報保護委員会は、マイナンバー（個人番号）の適正な取り扱いの確保を図る業務や個人情報保護法を所管し、適正な個人情報の取り扱いの確保に関する業務を担います。
- 金融庁**： 金融システムの安定、利用者の保護、公正・適正な市場の確立と維持を目的として、金融を仲介する銀行や保険会社などの金融機関の検査・監督、株式などの金融商品が取引される市場でのルール作りや取引の監視を行います。
- 消費者庁**： 消費者行政の各省庁、国民生活センター、地方自治体などと連携しながら、消費者行政の司令塔・エンジン役を担い、消費者の権利の尊重、消費者の自立支援などの政策を推進しています。
- 総務省**： 行政制度の管理・運営、地方自治（地方分権改革・地域活性化）や消防・救急行政、情報通信技術（ICT）など、日本全国にわたる基本的な仕組みから、国民の経済・社会活動に関わる諸制度を担う、国家の根本を支えています。

- 法 務 省：** 社会における基本法制を定め、司法制度の基本的な仕組みや、刑罰を受けた人の社会復帰を援助するための制度、登記・公証のような権利の実現を助ける制度の運営に携わっています。また、出入国が適切に行われること、人権が尊重されるよう努めること、さらに社会の安全を守るために必要な調査なども行います。
- 外 務 省：** 国益（日本及び日本国民の安全と繁栄）を確保することを使命とし、本省（東京）と大使館・総領事館・政府代表部などの在外公館が一丸となって、外交政策に取り組みます。なお、主に在外公館に勤務する職員は、外務専門職員採用試験を通じて採用されます。
- 財 務 省：** 国の予算編成や執行状況調査、税制の企画及び租税の賦課徴収、関税政策・税関行政、国債管理、財政投融资、国際通貨・金融システムの安定など、広い分野に渡って行政事務を行います。本省は、財務省全体の事務の総指揮、企画・立案を行います。
- 文 部 科 学 省：** 全国の教育水準・維持促進、大学・大学院等の振興、科学技術系人材の育成、研究開発の推進、青少年の健全推進などの様々な施策に取り組み、教育、科学技術・学術、スポーツ、文化分野の様々な政策を実行します。
- 厚 生 労 働 省：** 少子高齢化への取り組み、社会保障の充実、公衆衛生、社会福祉、労働環境整備、雇用の安定・確保などの役割を担い、国民生活の保護・向上や経済発展に寄与します。
- 農 林 水 産 省：** 食を将来にわたり支えていくために、食の安全と消費者の信頼を確保に務めるなど、生産から消費まで幅広い視野をもって政策を実行していきます。
- 経 済 産 業 省：** 企業の枠を越えて産業全体、産業の枠を越えて経済全体という大きなフィールドで、経済活力の向上を図ります。
- 国 土 交 通 省：** より安全・安心な地域や交通体系を実現する政策、インフラ技術の海外展開政策まで、ローカルからグローバルまで、非常に多岐にわたる政策を担います。こうした政策を通じて、安全・安心で魅力ある国を構築していきます。
- 環 境 省：** 東日本大震災への対応、低炭素社会づくりの推進、循環型社会の形成、自然共生社会の構築などの環境行政全般を担います。
- 防 衛 省：** 防衛政策の基本的方針である戦略文書作成、戦略実現のための法律・予算策定、政策実現など、我が国の存立に直接関わる政策に従事します。

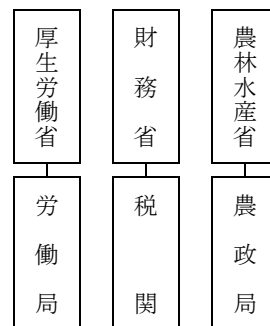
など

国家総合職

1府12省庁職員採用試験の1つ、国家総合職は、「政策の企画及び立案又は調査及び研究に関する事務をその職務とする係員の採用試験」と位置付けられており、主に中央省庁でその分野の政策立案を支えます。最終合格後の官庁訪問を経て、勤務先を選択することができます。機関ごとに採用・内定が出る仕組みになっており、複数の機関を訪問することも可能です。

国家一般職（大卒）

1府12省庁職員採用試験の1つ、国家一般職（大卒）は、「定型的な事務をその職務とする係員の採用試験」と位置付けられており、中央省庁や出先機関でその分野の政策立案を支えます。1次合格発表後の官庁訪問を経て、中央省庁のみならず税関や労働局などの地方出先機関からも、幅広く勤務先を選択することができます。また、機関ごとに採用・内定が出る仕組みになっており、複数の機関を訪問することも可能です。



国家一般職（大卒）には、行政区分の他に9つの技術系区分（デジタル・電気・電子・機械・土木・建築・物理・化学・農学・農業農村工学・林学）があります。行政区分は北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄の各地域別の採用、技術系区分は全国採用です。

行政区分、技術系区分共に1次試験は受験に便利な一都市を選ぶことができます。なお、行政区分の2次試験は採用を希望する地域の2次試験地を選択します（本府省は全ての地域の合格者から採用することが可能で、受験者はその地域の機関と本府省の両方を希望することも可能）。

国税専門官

国税専門官は、国税局や税務署に勤務する国家専門職の1つです。納税者の申告が適正に行われているか調査・指導する国税調査官、税金の督促・納税指導・滞納処分を行う国税徴収官、悪質な脱税の疑いのある者に対して強制捜査・差押え・告発などを行う国税査察官があり、国の礎である税制を支えます。充実した研修制度や、勤続年数に応じて税理士資格の取得が可能な点も、魅力の1つです。

なお、国税専門官採用試験は全国共通ですが、採用は国税局単位（札幌・仙台・東京・関東信越・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・熊本・沖縄）です。

財務専門官

財務専門官は、主に財務局や財務事務所に勤務する国家専門職の1つです。主に各地の財務局において、国の予算及び決算、国有財産の管理、金融機関等の検査など、幅広い業務に従事します。希望すれば、財務省・金融庁の本省に出向する機会が得られる場合もあります。

労働基準監督官

労働基準監督官は、労働局や労働基準監督署に勤務する厚生労働省の専門職です。労働基準関係法令に基づいてあらゆる職場に立ち入り、法に定める基準を事業主に守らせることにより、労働条件の確保・向上、働く人の安全や健康の確保を図り、また、不幸にして労働災害にあわれた方に対する労災補償の業務を行うことを任務としています。

法務省専門職員（人間科学）

＜矯正心理専門職＞ 心理学の専門的な知識、技術等をいかし非行を犯した少年や刑事施設に収容されている受刑者を対象に職務に従事します。

＜法務教官＞ 専門的な知識・技術と懇切で誠意のある態度をもって、少年院・少年鑑別所に収容されている少年や刑事施設に収容されている受刑者を対象に職務に従事します。

＜保護観察官＞ 地方更生保護委員会や保護観察所に勤務し、心理学、教育学、福祉及び社会学等の更生保護に関する専門的知識に基づき、社会の中において、犯罪をした人や非行のある少年の再犯・再非行を防ぎ改善更生を図るための業務に従事します。

航空管制官

航空管制官は、全国各地の航空交通管制部や空港の管制塔に勤務し、航空機の運行に関わる安全を監視している国土交通省航空局の職員です。航空機に管制指示などを与えることで、航空機同士の異常接近や衝突を防ぎ、航空交通管理を行い、安全で円滑な航空機の運行を支えます。

食品衛生監視員

全国の主要な海・空港の検疫所において、輸入食品の安全監視及び指導（輸入食品監視業務）、輸入食品等に係る理化学的、微生物学的試験検査（試験検査業務）、検疫感染症の国内への侵入防止（検疫衛生業務）の業務に従事します。

外務省専門職員

外務省専門職員は、世界各国との関わりが重要視される中で、諸外国との政治的・経済的な連携や駆け引きを通じて、日本の国益を守る役割を担っています。外務専門職員は、外務省が独自に実施しており、この試験から採用された職員は各言語の専門家として活躍することが期待されています。

防衛省専門職員

防衛省専門職は、①特定の語学（英語・ロシア語・中国語）に係る高度の能力を用いた防衛に関する行政事務、②自衛官等に対する語学教育、③海外資料の収集整理、④通訳及び⑤国際関係、地域情勢及び軍事情勢等に関する情報収集・分析等の業務に従事する係員を採用するための採用試験が実施されます。

国立国会図書館

国会と同じ立法府に属する国立国会図書館（東京本館・関西館・国際子ども図書館）において、一体的な業務運営を担うのが、国立国会図書館の職員です。調査業務（法案などの分析・評価、政治・経済・社会の調査など）、司書業務（資料の収集・管理など）、一般事務（総務、人事、連絡調整など）を通じて、主に国会の諸活動を補佐する役割を担っています。

衆議院事務局／参議院事務局

法案などが審議される国政の最前線である国権の最高機関（国会）において、各議会や委員会などを円滑に運営するための仕事に従事するのが、衆議院事務局職員・参議院事務局職員です。採用試験は衆議院と参議院がそれぞれ別々の採用試験を実施しています。

裁判所事務官（裁判所一般職・総合職）

裁判所事務官は、裁判所一般職及び総合職採用試験を通じて採用される裁判所職員の職種の1つです。最終合格し採用されると、各裁判所の裁判部や事務局に配属され、裁判部では裁判所書記官（※）のもとで各種裁判事務に、事務局では総務部・人事課・会計課などで司法行政事務全般に従事します。

※裁判所書記官とは

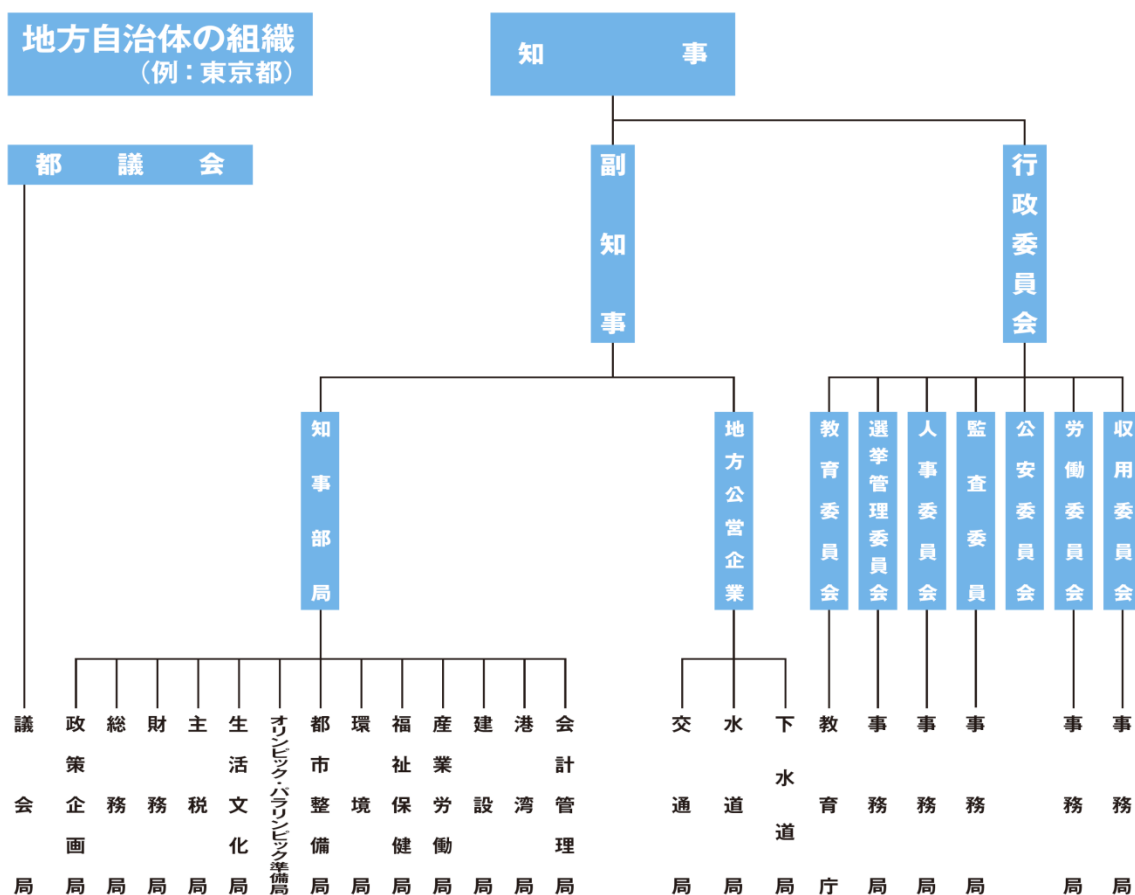
法律の専門家として固有の権限が付与されており、その権限に基づき、法廷立会・調書作成・訴訟上の事項に関する証明・執行文の付与、支払督促の発付等を行います。裁判所書記官になるには、裁判所職員として一定期間勤務した後、裁判所職員総合研修所入所試験に合格し、同研修所で1～2年の研修を受ける必要があります。

家庭裁判所調査官補（裁判所総合職）

家庭裁判所調査官補は、裁判所総合職（家庭裁判所調査官補）採用試験を通じて採用される、裁判所職員の職種の1つです。家庭裁判所調査官補として採用後に裁判所職員総合研修所に入所して、同研修所において約2年間の研修を受けると家庭裁判所調査官になることができます。家庭裁判所調査官は、夫婦や親族間の争いなどの家庭に関する問題や非行をした少年の問題の解決に役立つよう調査や調整を行います。

上記では、国家公務員（大卒程度）を中心に紹介しましたが、これら以外にも多くの職種があります。ご自身の興味に合わせて、HPなどで調べてみてください。

3 地方公務員

地方自治体の組織
(例：東京都)

地方公務員（都道府県・市）の上級（大卒程度）試験で採用された職員は、その自治体の幹部候補生として、幹部に必要な「様々な角度から自治体の状況を理解・把握できる力」を養うため、2～3年程度のサイクルで部局を移動しながら、幅広い分野の業務に携わります。都道府県（広域的自治体）と市（基礎的自治体）、そして自治体の規模や現状により、取り組むべき課題などは異なりますが、様々な分野の仕事に携われることは、地方公務員の大きな魅力です。

地方公務員の受験区分

地方公務員試験の受験区分は、採用後の職務内容に応じて分かれており、受験者は出願時にこれらの中から希望する区分を選択して受験することになります。

行政事務職： 県庁・市役所・区役所や出先機関に勤務する行政事務職の職員は、ゼネラリストとして行政全般の幅広い分野・業務に従事する、民間企業の総合職にあたります。大卒程度試験を通じて採用された職員は、採用された自治体の幹部候補として採用されることから、2～3年程度で様々な部課局を異動しながら、幹部としての素養を養成されていきます。

技術職： 技術職は、それぞれの専門分野が関連する部署に配属され、採用された区分のスペシャリストとして活躍する、各分野のプロフェッショナルです。その役割は、専門知識を活かして暮らしやすい社会を作ることです。交通網や通信ネットワークの整備、災害に強い都市計画、再生可能エネルギーの開発など、多彩な分野で私たちの生活を支える仕事に従事します。

心理職： 都道府県や市の福祉施設・病院等に配属され、精神保健に関する相談及び指導等の専門的業務に従事します。

資格免許職： 福祉職、保健師、看護師、管理栄養士、栄養士など、資格や免許が必要な職種の採用区分が、資格免許職です。これらの区分は、採用時期までに資格・免許を取得、または取得見込みであることが受験資格となっているため、注意が必要です。

公安職： 都道府県における警察官、市町村における消防官（東京消防庁は東京都）が代表的で、住民の安全を守る職種が公安職です。警察官採用試験は都道府県の他の試験区分とは別日程で実施されますが、市町村の消防官は行政事務職などの他の試験区分と同日程で実施されることが多く、その場合は他の試験区分との併願受験はできませんので、注意が必要です。

広域的自治体と基礎的自治体

都道府県： 都道府県は、**市町村単位では処理が困難な業務**（総合開発計画、治山・治水事業、産業立地条件の整備、道路・河川・公共施設の管理及び建設など）や**都道府県全体で統一すべき業務**（義務教育の水準維持、社会福祉の水準維持、各種認可など）といった、**広域的行政サービス**を担います。直接住民と関わる機会は市町村ほど多くなく、仕事をする際の主な相手は国、市町村、民間企業などです。

市町村： 市町村は、**地域住民の行政窓口**として、戸籍住民登録、諸証明の発行などの基礎手続、消防、ごみ処理、上下水道の整備、公園や緑地の整備、まちづくり、各種施設（公民館、保育所、小中学校、図書館など）の運営管理といった、**基礎的行政サービス**を担います。市町村職員は最も身近で、なおかつ地域住民に密着した存在として、住民と協働しながら仕事に従事します。

政令指定都市

政令指定都市は、都道府県と同格の扱いを受ける、法律上は50万人以上の大規模都市です。行政区が置かれ、市町村業務に加え道府県に代わり、福祉や都市計画などの業務も担っています。一般的な市町村に比べ、携わることができる仕事の幅が広いことや一般的な市町村に比べると採用予定数が多いことが魅力です。

＜政令指定都市一覧＞ ※2022年1月時点

札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市

東京特別区（東京23区）

東京特別区とは、東京23区のことを意味します。23区それぞれが区長公選制、区議会、条例制定権、課税権を持ち、区民に対して第一義的に責任を負っています。それぞれの区役所職員になるためには、**特別区人事委員会が一括して実施する特別区職員採用試験に合格する**必要があります。なお、受験時に3つまで希望の区を申請することができ、最終合格後の各区の採用面接を経て、区ごとに採用内定を得ることになります。

＜特別区＞

千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、特別区人事・厚生事務組合、特別区競馬組合、東京23区清掃一部事務組合

第2章

公務員試験ガイド

- ※ 次ページからの公務員試験ガイドは、主に行政事務職及び技術職の試験を対象とした内容です。
- ※ 当オリエンテーションブックでは、主に教養（基礎能力）試験・専門試験・論文試験・人物試験について掲載していますが、これら以外に適性検査や適性試験などが課される場合があります。また、各種情報や解説の内容は、試験種や年度により異なる場合があります。受験の際は必ず最新の試験案内などをご確認ください。

1 受験資格

公務員試験の受験資格は、概ね年齢要件と国籍要件のみとなっており、試験種や自治体ごとに独自に定められています。当オリエンテーションブックに昨年の受験案内の情報を元に試験種や自治体ごとの受験資格を掲載していますが、公務員試験は就職試験であることから、受験資格は年度により変更になる場合があります。受験の際は、必ず最新の試験案内をご確認ください。

※市役所では、受験先の自治体に居住していることが受験資格となっている場合があります。また、高卒程度試験でありながら大卒(見込)者が受験できる場合があります。

※技術系区分や福祉職などの資格免許職などにおいて、大学などの履修科目が要件として設けられている場合があります。また、経験者採用試験には職歴要件が設けられているものがほとんどです。

【受験資格例】2021年度 国家一般職(大卒)の場合

- 1 平成3年4月2日～平成12年4月1日生まれの人
- 2 平成12年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの
 - (1) 大学を卒業した者及び2022年3月までに大学を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者
 - (2) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び2022年3月までに短期大学又は高等専門学校を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者

2 試験の『○○程度』とは

公務員試験の受験案内には、「大学卒業程度(Ⅰ種・上級など)」や「高校卒業程度(Ⅲ種・初級など)」という言葉が出てきますが、これらは主に学歴要件を意味するわけではなく、試験問題のレベルを示していることがほとんどです。つまり、「大学卒業程度試験」と記載してある試験であっても、必ずしも4年制大学を卒業または卒業見込である必要はなく、また近年、学歴要件を課す試験種は減少傾向にあります。

なお、高校卒業程度試験には、高校卒業見込み及び卒業後2年以内などの要件が設けられていることが多い傾向にありますので、大学生や大卒の社会人の方は、受験資格の観点から受験できないケースがほとんどです。

3 試験区分

3-1 事務系職種

行政事務：自治体や試験種により呼称はさまざま(行政、事務、行政事務 など)ですが、特定の部局に限定されることなく、本庁や出先機関の幅広い業務に従事します。

警察事務：警察本部や警察署に勤務し、警察官のサポートや運転免許証の発行・更新等に関する業務に携わります。

学校事務：公立学校に勤務し、公立学校の運営全般にわたる事務に携わります。

3-2 技術系職種(一部抜粋)

土木職：地方自治体の場合は本庁の各部局(土木、建設、水道、下水道、都市など)、国家公務員の場合は国土交通省、経済産業省、農林水産省などに勤務し、主にインフラ整備に携わります。

建築職：地方公務員の場合は建設、土木、住宅、都市部門や出先機関、国家公務員の場合は国土交通省、経済産業省などに勤務し、都市開発や再開発、また建築物の審査・規制・指導に携わります。

機 械 職： 建築、土木、環境、交通、上下水道など、幅広い分野で機械設備の設計や工事監督、設備の運転・管理に携わります。国家公務員は、総務省、警察庁、経済産業省、国土交通省、労働局などに勤務します。

電気・電子・情報職： 電気技術のプロとして、公共施設の安全を守ることが職務です。公共施設の電気設備の維持管理や、電波障害の対応、清掃工場の電気設備の設計・工事などに携わります。また、学校や福祉施設のメンテナンスを計画的に実施するための調査や施設の職員に対する保全指導も行います。

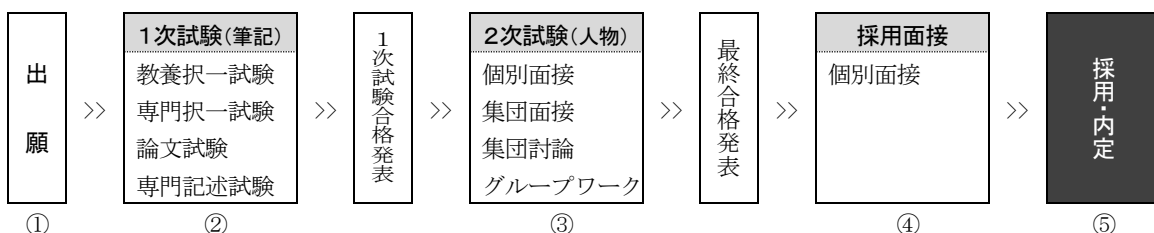
化 学 職： 地方公務員の場合は環境、衛生、保健福祉、上下水道、大気、廃棄物の検査や許認可事務、国家公務員の場合は農林水産省、経済産業省、特許庁、環境省や研究機関などに勤務します。

3-3 心理系職種

心 理 職： 地方自治体の場合は福祉施設や病院等において、精神保健に関する相談及び指導等の業務に従事します。

上記以外に都道府県の公安職である警察官、市町村の公安職である消防官（東京消防庁は東京都）などがあり、また栄養士や福祉職などの資格免許職の区分もあります。試験区分は、自治体ごとに異なりますので、受験の際は必ず最新の試験案内をご確認ください。

4 試験概要



① 出 願： 例年、受験年の2～5月頃にその年の試験案内が、自治体・試験種ごとにHPにて公表され、4月から受験申込受付がスタートします。近年、インターネットによる受験申込受付が主流です。

② 1次試験： 主に**教養択一・専門択一・論文試験**が実施されます。専門記述試験は東京都・裁判所一般職（大卒）・国税専門官・財務専門官・労働基準監督官など、一部の試験種のみで実施されます。
※択一＝五肢択一式でマークシートに解答する形式が主流です。

③ 2次試験： 1次試験合格者を対象に、人物試験として**個別面接**などが実施され、質問内容は、**志望理由や自己PRに関するものが中心**です。個別面接はほぼ全ての公務員試験で、集団面接・集団討論は地方自治体などで実施される傾向にあります。

④ 採用面接： 最終合格者を対象に、主に個別面接が実施されており、**受験者の意思確認を行う場**です。併願状況や複数の試験に合格した場合はどうするのかなどが問われます。なお、**国家一般職(大卒)や国家総合職は、各府省及び機関が実質的には採用面接として『官庁訪問』を実施**します。

⑤ 採用内定： 原則として翌年の4月1日からの採用ですが、既卒者・社会人は、10月から採用されるケースもあります。

※上記は、一般的な公務員試験のモデルケースです。試験実施時期や試験の内容は、自治体・試験種・年度により異なる場合がありますので、受験の際は必ず最新の試験案内をご確認ください。

4-1 1次試験実施日

例：2021（令和3）年度		
4月	25日（日）	国家総合職
5月	1日（土）	参議院事務局総合職
	2日（日）	特別区Ⅰ類（東京23区） 東京都Ⅰ類B（一般方式・新方式）
	8日（土）	裁判所一般職（大卒）
	9日（日）	東京都Ⅰ類A 衆議院事務局一般職（大卒）
	15日（土）	衆議院事務局一般職（大卒）
	16日（日）	北海道一般行政A（第1回） 大阪府行政
6月	6日（日）	国税専門官 財務専門官 労働基準監督官 食品衛生監視員 など
	13日（日）	国家一般職（大卒）
	20日（日）	地方上級（県・政令指定都市） 市役所A日程
7月	4日（日）	国立大学法人等
	11日（日）	市役所B日程
9月	19日（日）	市役所C日程
10月	17日（日）	市役所D日程

※試験実施日程は、年度により異なる場合があります。受験の際は必ず最新の試験案内をご確認ください。

4-2 併願受験を考える

公務員試験は科目ごとの傾向や難易度は異なりますが出題傾向が似通っていること、また1次試験日が重なっていないければ併願受験できることから、受験の際は3～5つ程度の試験種をできる限り併願受験することをおすすめします。

＜併願受験の例 ※行政事務職の場合＞

パターン	併願受験する試験種
幅広く併願	特別区Ⅰ類、裁判所一般職（大卒）、国税専門官、国家一般職（大卒）、地方上級、国立大学法人等、市役所B日程、市役所C日程、市役所D日程
地方公務員のみで併願	特別区Ⅰ類、地方上級、市役所B日程、市役所C日程、市役所D日程
国家公務員のための併願	裁判所一般職（大卒）、国税専門官、国家一般職（大卒）
教養試験のみで併願	東京都Ⅰ類B（新方式）、市役所A日程、市役所B日程、国立大学法人等、市役所C日程、市役所D日程

4-3 より確実に合格を目指すために

数ある公務員試験の中でも、地方上級（都道府県・政令指定都市）や国家公務員は、例年ある程度の採用人数が見込める試験種です。より確実に合格を目指すために、秋に行われる試験（市役所C日程など）が第一志望という方も、できる限り5～6月に実施される地方上級や国家公務員を受験先として考えておくことをおすすめします。

4-4 筆記試験の試験種目

試験種		教養択一 (基礎能力)	専門択一	論文	専門記述
国家公務員	国家一般職（大卒／行政）	●	●	●	—
	国家一般職（大卒／技術）	●	●	—	●
	国税専門官	●	●	—	●
	財務専門官	●	●	—	●
	労働基準監督官	●	●	—	●
	裁判所一般職（大卒）	●	●	●	●
地方公務員	特別区Ⅰ類（事務 一般方式）	●	●	●	—
	特別区Ⅰ類（技術 一般方式）	●	—	●	●
	特別区Ⅰ類（技術 新方式）	適性検査	—	—	●
	東京都Ⅰ類B（行政／技術 一般方式）	●	—	●	●
	東京都Ⅰ類B（行政／技術 新方式）	●	—	プレゼンテーションシート作成	
	地方上級（県・政令指定都市）	●	●	●	▲
	市役所（行政：教養＋専門型／技術）	●	●	●	—
	市役所（行政：教養型）	●	—	●	—
他	国立大学法人等	●	—	—	—

「●」＝実施あり 「▲」＝一部実施あり 「—」＝実施なし

※上記の表は、試験案内及びTAC生からの情報（行政事務職・技術職）を元に作成しています。その他の試験区分（資格免許職・経験者採用試験など）及び詳細な情報は必ず最新の試験案内をご確認ください。

4-5 教養＋専門＋論文対策をしておく、併願受験がしやすい

東京都・裁判所一般職（大卒）・国家専門職などにおいては専門記述試験が課されますが、多くの公務員試験は、**教養択一（基礎能力）試験＋専門択一試験＋論文試験**という構成になっています。したがって、この3つの試験種目の対策を講じることで、幅広く併願受験しやすくなります。

市役所（教養型）や国立大学法人等、専門試験が課されない試験種も一部存在しますが、採用人数が例年それほど多くない傾向にありますので、確保できる学習時間が極端に少なくない場合は、**専門試験対策を含めた受験対策をしておくことをおすすめします。**

4-6 配点比率を意識した効率的な学習を

対策すべき試験種目・科目数が多い公務員試験を攻略するためには、**それぞれの重要度に応じた学習のメリハリが大切です。**

例えば、国家一般職（大卒）の場合は、右記のとおり**専門択一試験は基礎能力試験の2倍の配点**となっていますので、基礎能力試験よりも専門択一試験対策を優先するほうが、得点効率が良いということになります。

また、地方公務員の場合は人物試験重視の配点比率となっていることが多い傾向ですが、**人物試験（2次試験）は1次試験合格者のみが受験できるようになっていますので、面接試験対策をしっかりと行う必要がある一方で、まずは筆記試験対策が重要**ということになります。

2021年 国家一般職（大卒・行政）			
基礎能力	専門択一	論文	面接
2/9	4/9	1/9	2/9

2021年 埼玉県（一般行政）			
教養択一	専門択一	論文	面接
1/6	1/6	1/6	3/6

4-7 地方上級の出題タイプ

地方上級は、出題科目・科目ごとの出題数によって、以下のようにいくつかのタイプに分けることができます。出題タイプにより、出題科目・科目ごとの出題数・傾向が異なりますので、**志望先の出題タイプは事前にチェック**しておいてください。

●地方上級 全国型

特 徴	全国的に広く分布している地方上級試験のベースとなっている出題タイプ 東北・関西～九州・沖縄の府県や政令指定都市が該当する
教 養 試 験	50問中50問 必須解答（120～150分）
専 門 試 験	40問中40問 必須解答（120分）
変 形 タ イ プ	全国型の問題に独自問題・科目を加除して出題数が増減され、選択解答制が導入される

●地方上級 関東型

特 徴	名称の通り 関東地区の県や静岡県 で見られる出題タイプ 全国型に比べて 経済学の出題数が多く 、経済史や経済政策が出題される
教 養 試 験	50問中40問 必須&選択解答（120～150分） ※一般知能分野20～25問は必須解答
専 門 試 験	50問中40問 選択解答（120分） ※問題選択制
変 形 タ イ プ	関東型の問題に独自問題・科目が加わり、出題数・解答数が増える

●地方上級 中部・北陸型

特 徴	名称の通り 愛知県・三重県・石川県など、中部・北陸地方の県 で見られる出題タイプ 民法・行政法の出題数が多く、社会学・社会政策・経済事情が出題される
教 養 試 験	50問中50問 必須解答（150分）
専 門 試 験	50問中40問 選択解答（120分）

●地方上級 法律専門型／経済専門型

特 徴	京都府・和歌山県・広島県・広島市など、 法律／経済区分がある自治体の専門試験 が該当 40問中35問が各々の専門分野から出題され、残り5問は他の分野から出題される
教 養 試 験	50問中40問 必須&選択解答（150分） ※一般知能分野20～25問は必須解答
専 門 試 験	40問中40問 必須解答（90～120分）

※北海道・神奈川県（専門）・徳島県（専門）・札幌市・横浜市（教養）・相模原市（教養）など、上記のどのタイプにも当てはまらない独自の出題構成の試験もあります。また、東京都・特別区は出題構成および出題内容が完全に独自となります。

●近年増加傾向の“新方式”

東京都Ⅰ類B（行政 新方式）が代表的ですが、近年専門試験を課さない公務員試験が増加傾向にあります。学習ボリュームが少ないことから飛びつきたくなる方もいらっしゃるかもしれませんが、これらの区分の採用予定数が一般的な公務員試験に比べると少ない傾向にあり、また倍率が高くなりがちです。急がば回れという言葉もあります。なるべく専門試験がある一般的な方式の試験区分で受験されることを、おすすめします。

4-8 択一試験概要(都道府県)

自治体名	試験区分	分野	教養試験			専門試験		
			出題タイプ	時間 (分)	解答数 /出題数	出題タイプ	時間 (分)	解答数 /出題数
北海道	一般行政A	—	職務基礎力試験(110分・60問)					
青森県	行政	—	全国型	120	40/40	全国型	120	40/40
岩手県	一般行政A	—	全国型	120	40/50	全国型	120	40/50
宮城県	行政	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40
秋田県	行政A	—	全国型	120	40/40	全国型	120	40/40
山形県	行政	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40
福島県	行政事務	—	全国型	120	40/40	その他	60	20/20
茨城県	事務(知事部局)	—	関東型	120	40/50	関東型	120	40/50
栃木県	行政	—	関東型	120	40/50	関東型	120	40/50
群馬県	行政事務	—	関東型	120	40/50	関東型	120	40/50
埼玉県	一般行政	—	関東型	120	40/50	関東型	120	40/50
千葉県	一般行政A	—	関東型	120	40/50	関東型	120	40/50
東京都	I類B行政	一般方式	独自	130	40/40	記述式	120	3/10
神奈川県	行政	—	関東型	120	40/50	その他	120	40/80
新潟県	一般行政	—	関東型	120	40/50	関東型	120	40/50
富山県	総合行政	—	中部・北陸型	150	50/50	中部・北陸型	120	40/50
石川県	行政	—	中部・北陸型	150	50/50	中部・北陸型	120	40/50
福井県	行政	—	中部・北陸型	150	50/50	中部・北陸型	120	40/60
山梨県	行政I	—	関東型	120	40/50	関東型	120	40/50
長野県	行政A	—	関東型	120	40/50	関東型	120	40/50
岐阜県	行政I	—	中部・北陸型	150	50/50	中部・北陸型	120	40/50
静岡県	行政I	—	関東型	120	40/50	関東型	120	40/55
愛知県	行政I	—	中部・北陸型	150	50/50	中部・北陸型	120	40/50
三重県	行政I	—	中部・北陸型	150	50/50	中部・北陸型	120	40/50
滋賀県	行政	専門試験型	全国型	120	40/47	全国型	120	40/50
京都府	行政I A	総合政策	その他	120	40/40	全国型	90	40/40
		法律	その他	120	40/40	法律専門型	90	40/40
		経済	その他	120	40/40	経済専門型	90	40/40
大阪府	行政22-25	—	SPI3(70分)					
兵庫県	一般事務職	—	全国型	150	45/55	全国型	120	40/65
奈良県	総合職	行政A	全国型	105	35/50	全国型	90	30/55
和歌山県	一般行政職(通称枠)	法律	全国型	120	40/55	法律専門型	120	40/40
		経済	全国型	120	40/55	経済専門型	120	40/40
		総合A	全国型	120	40/55	全国型	120	40/60
		総合B	全国型	120	40/55	その他	120	40/60
鳥取県	事務	一般コース	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40
島根県	行政A	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40
岡山県	行政	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40
広島県	行政一般事務A	行政	全国型	150	45/55	全国型	120	40/40
		法律	全国型	150	45/55	法律専門型	120	40/40
		経済	全国型	150	45/55	経済専門型	120	40/40
山口県	行政	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40
徳島県	行政事務	—	全国型	150	50/50	その他	135	45/95
香川県	一般行政事務A	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40
愛媛県	行政事務A	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40
高知県	行政	—	全国型	150	45/55	全国型	120	40/40
福岡県	行政	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40
佐賀県	行政	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40
長崎県	行政A	一般方式	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40
熊本県	行政	—	全国型	150	40/50	その他	120	40/80
大分県	行政	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40
宮崎県	一般行政	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40
鹿児島県	行政	必須解答型	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40
		選択解答型	全国型	150	50/50	その他	120	40/80
沖縄県	行政I	—	全国型	150	50/50	全国型	120	40/40

※上記は、各自治体の令和3年度の試験案内を基に作成した表です。受験の際は、必ず最新の試験案内をご確認ください。

4-9 択一試験概要（政令指定都市・特別区）

自治体名	試験区分	分野	教養試験			専門試験		
			出題タイプ	時間 (分)	解答数 / 出題数	出題タイプ	時間 (分)	解答数 / 出題数
札幌市	一般事務	行政コース	教養系（20問必須解答）			専門系（45問中20問選択解答）		
仙台市	事務	—	全 国 型	120	40/45	全 国 型	120	40/56
さいたま市	行政事務A	—	全 国 型	120	40/50	全 国 型	120	40/50
千葉市	事務	行政A	全 国 型	150	45/55	全 国 型	120	40/50
特別区	I 類	事務	独 自	120	40/48	独 自	90	40/55
横浜市	事務	—	そ の 他	150	50/50	—	—	—
川崎市	行政事務	—	総合筆記試験（60問解答）			180分		
相模原市	行政	—	そ の 他	90	30/30	—	—	—
新潟市	一般行政A	—	全 国 型	120	40/40	全 国 型	120	40/40
	一般行政B	—	全 国 型	120	40/40	—	—	—
静岡市	事務A	—	全 国 型	150	55/55	—	—	—
	事務B	—	—	—	—	全 国 型	150	55/55
浜松市	事務	行政A	全 国 型	150	50/50	全 国 型	120	40/40
名古屋市	事務	行政A	全 国 型	150	50/50	—	—	—
	事務	行政B	そ の 他	90	30/30	そ の 他	150	40/80
京都市	行政	一般方式	そ の 他	90	30/30	全 国 型	90	30/40
大阪市	事務行政 22-25	論文（行政）	適 性 試 験	60	20/20	—	—	—
		択一式（法律）	適 性 試 験	60	20/20	法 律 専 門 型	90	25/30
堺市	大学卒程度	事務	そ の 他	90	30/30	全 国 型	120	40/40
神戸市	大学卒	総合事務	独 自	150	40/45	独 自	80	25/110
岡山市	事務	一般枠A	そ の 他	120	40/40	全 国 型	120	40/40
		法律	全 国 型	150	45/55	法 律 専 門 型	120	40/40
広島市	行政事務	経 済	全 国 型	150	45/55	経 済 専 門 型	120	40/40
		行 政	全 国 型	150	45/55	全 国 型	120	40/40
北九州市	一般事務員	行政 I A	全 国 型	150	50/50	全 国 型	120	40/40
		行政 I B	全 国 型	150	50/50	—	—	—
福岡市	行政事務	行 政	全 国 型	150	50/50	全 国 型	120	40/40
熊本市	事務職	—	全 国 型	150	50/50	全 国 型	120	40/40

※上記は、各自治体の令和3年度の試験案内を基に作成した表です。受験の際は、必ず最新の試験案内をご確認ください。

4-10 択一試験の解答方法

科目選択解答制： 出題科目のうち、指定された科目数を選択して解答する方式で、国家一般職（大卒・行政）、国税専門官、財務専門官及び一部の市役所などで導入されています。

解答する科目を選択する、つまり選択した科目の問題を全問解答しなければならない、難問が含まれていても解答しなければならないため、各科目を深く学習しておくことはもちろん、必要とされている科目数よりも多く科目を準備しておく必要があります。

問題選択解答制： 出題された問題のうち、指定された題数を選択して解答する方式で、地方上級の一部試験で導入されています。教養試験の場合は一般知能分野（数的処理・文章理解）が必須解答、一般知識分野（人文科学・自然科学・社会科学・時事）は選択解答になっている場合が多く、専門試験の場合は出題された全問題の中から任意に問題を選択解答するケースがほとんどです。

解答する問題を選択する、つまり解きやすく自信のある問題を選んで解答できることから得点が稼ぎやすいですが、一方で確実な得点力を身に付けておく必要があります。

5 教養試験・専門試験

5-1 教養択一試験（行政事務職／技術職）

教養択一 (基礎能力)	一般知能分野						一般知識分野													他 時	合 計 出 題 数	合 計 解 答 数	合 計 解 答 時 間	
	数的処理			文章理解			人文科学					自然科学				社会科学								
	数	判	空	資	現	英	世	日	地	思	文	数	物	化	生	地	法	政	経					社
	的	断	間	料	代		界	本		学	芸	術	・	文	学	理	学	物	学					律
目標 約6割	推	理	握	積	文	文	史	史	理	想	学	理	学	物	学	律	治	済	会	事	数	数	間	
国家一般職	4	7	2	3	6	5	1	1	1	1	—	—	1	1	1	—	1	1	1	—	3	40	40	140
国税専門官																								
財務専門官	5	6	2	3	6	5	1	1	1	1	—	—	1	1	1	—	1	1	1	—	3	40	40	140
労働基準監督官A																								
裁判所一般職	6	7	3	1	5	5	1	1	1	1	—	—	1	1	1	1	1	2	2	—	—	40	40	180
特別区I類	6	5	4	4	5	4	1	1	1	1	—	—	2	2	2	2	2	1	—	1	4	48	40	120
東京都I類B	6	2	4	4	4	4	1	1	1	—	1	—	1	1	1	1	1	1	1	—	5	40	40	130
地方上級 全国型	6	6	4	1	3	5	2	2	2	—	—	1	1	2	2	1	2	1	3	6	—	50	50	150
地方上級 関東型	5	3	3	1	3	5	3	3	2	—	—	1	1	2	2	1	3	1	3	3	5	50	40	120
地方上級 中北型	6	6	4	1	3	5	3	2	2	—	—	1	1	2	2	1	2	1	2	6	—	50	50	150
横浜市	5	7	4	1	3	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	5	2	11	—	—	50	50	150
市役所 Standard	5	4	3	2	3	3	2	2	1	—	—	1	1	1	2	1	1	2	5	—	—	40	40	120
市役所 Logical	7	5	3	3	5	4	2	1	—	—	—	—	—	—	—	5	—	5	—	—	—	40	40	120
市役所 Light	「社会への関心と理解」 24 題						「言語的な能力」 18 題						「論理的な能力」 18 題						60	60	75			
国立大学法人等	5	4	3	1	3	4	2	2	2	1	1	1	1	2	1	3	2	2	—	—	—	40	40	120

※太字の数字は、必須解答の科目です。

※左記は過去の試験情報を元に作成していますので、実際とは出題内容が異なる場合があります。

※東京都I類Bは、一般方式の情報です。

※地方上級（法律／経済専門型）は、地方上級（全国型）と同様です。

※横浜市は、教養試験のみと受験案内にありますが、例年、専門科目（憲法・民法・行政法・ミクロ経済学・マクロ経済学・財政学・経済事情・行政学・国際関係など）が、社会科学として出題されています。

※市役所 Standard・Logical・Lightの詳細は第5章の「市役所（政令指定都市以外）の試験概要一覧」を確認してください。

教養試験は、公務員試験独自の数的処理・文章理解、主に高校時代の学習内容である人文科学・自然科学・社会科学・時事が出題されます。なお、地方上級では人文科学・自然科学が出題されない自治体があります。

一般知能	【数的処理&文章理解】 一般知能分野で出題される文章理解と数的処理は、教養試験（基礎能力試験）の解答数に占める割合が50～65%以上に上ります。これらの科目は、論理的に思考する能力と、与えられた情報から推理・整理することが求められます。単純暗記では対応できないため、攻略するためには基礎的計算能力（文章理解を除く）・論理的思考力・経験学習力が必要とされ、それらは「習うこと」も「慣れること」も必要です。
一般知識	【人文・自然・社会科学】 人文科学・自然科学・社会科学の各分野から出題される一般知識は、ある意味単純暗記で対応可能といえるでしょう。しかし、膨大な範囲を覚えるのは至難の業です。効率的な学習が必要であり、頻出分野を中心に攻略することが重要です。講義はそのためにあります。講義で扱った分野を学習することが必然的に「効率的な学習」になり、結果的にライバルに差をつけることに繋がります。

5-2 専門択一試験（行政事務職）

専門択一 目標 約7割	法律系					経済系					政治系					その他										合計 出題数	合計 解答数	解答 時間									
	憲 法	民法 (総則・物権)	民法 (債権・親族・相続)	行政 法	刑 法	労働 法	商 法	ミ ク ロ 経 済 学	マ ク ロ 経 済 学	財 政 学	経 済 事 務 学	経 済 政 策	経 済 史	労働 経済	政治 学	行政 学	社会 学	社会 政策	国際 関係	社会 事情	社会 保障	経営 学	会計 学	労働 事情	英語 (基礎)				英語 (一般)	英語 (商業)	情報 工学	情報 数学	統計 学	心理 学	教育 学		
国家一般職	5	5	5	5	—	—	—	5	5	5	—	—	—	5	5	5	—	5	—	—	—	5	—	—	5	5	—	—	—	—	5	5	80	40	180		
国税専門官	3	6	3	—	—	—	2	2	2	6	2	—	—	—	3	—	2	—	—	1	—	6	8	—	—	6	6	6	6	—	—	—	70	40	140		
財務専門官	6	5	8	—	—	—	1	3	3	6	2	—	—	—	3	—	3	—	—	—	—	6	6	—	—	6	6	6	6	—	—	—	76	40	140		
労働基準監督官A	4	5	4	3	7	—	—	9	—	—	4	—	—	3	—	—	2	—	—	—	2	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	48	40	140	
裁判所一般職	7	13	—	10	—	—	—	5	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	30	90	
特別区I類	5	10	5	—	—	—	—	5	5	5	—	—	—	—	5	5	5	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	55	40	90	
地方上級 全国型	4	4	5	2	2	—	—	5	4	3	—	—	—	—	2	2	—	3	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	40	120
地方上級 関東型	4	6	5	2	2	—	—	12	4	—	2	1	—	—	2	2	—	3	3	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50	40	120
地方上級 中北型	5	7	8	2	2	—	—	4	4	3	2	3	—	—	2	2	2	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50	40	120
地方上級 法専型	5	12	12	3	3	—	—	4	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	40	120
地方上級 経専型	2	3	—	—	—	—	—	18	4	4	3	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	40	40	120
市役所 (必須解答型)	5	5	6	—	—	—	—	4	6	3	—	—	—	—	2	2	—	3	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	40	120
市役所 (8分野選択型)	5	5	5	—	—	—	—	5	5	5	—	—	—	—	5	3	5	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	40	50	120	
市役所 (6分野選択型)	5	5	5	—	—	—	—	5	5	5	—	—	—	—	5	3	5	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	30	50	90	

※太字の数字は、必須解答の科目です。（上記は、過去の試験情報を元に作成していますので、実際とは出題内容が異なる場合があります。）

※市役所8分野及び6分野選択型は科目選択解答制であり、社会学と教育学は合わせて1分野（5問）の扱いとなっています。

専門試験は、法律系・経済系・政治系の3つの分野を中心に、大学の専門課程レベルの問題が出題されます。科目が非常に多いため、メリハリを付けながら、多くの試験で出題される科目を中心に、志望先ごとに必要な科目を必要に応じて選択学習する必要があります。

基本講義科目	多くの試験で出題される憲法・民法・行政法・ミクロ経済学・マクロ経済学・財政学・政治学は、講義及び演習で徹底的に攻略します。これらの科目は、合否を左右する可能性が高い科目ですので、優先的に学習するようにしてください。
選 択 科 目	行政学・社会学・経営学などの選択講義に分類されている科目は、全科目を学習する必要はなく、志望先(併願先を含む)で出題される科目のみを選択学習します。これらの科目は、基本講義を受講した後に学習すべき科目が多くあります。また、志望先によって必要な科目が異なりますので、科目の選択方法などの詳細は、試験対策ゼミでお伝えします。



専門科目は得点が伸ばしやすい！

専門科目は、出身学部による有利不利があるといわれることもありますが、TACの各科目の講義は各科目に関する知識がゼロであることを前提として、最終的に合格レベルを目指すように組んでいます。また、合格者の多くは、最終的には専門科目を得点源としており、学習開始の段階で既に苦手意識がある科目が含まれる教養科目よりも点数が伸ばしやすい傾向にあります。

TACのカリキュラムに従い、科目ごとの重要度に応じたメリハリを付けながら、地道にコツコツと努力を積み重ねて学習を進めてください。

5-3 専門記述試験（行政事務職）

東京都 I 類 B・国家専門職（国税専門官・財務専門官・労働基準監督官 A など）・裁判所一般職（大卒）などを受験する場合は、**専門択一对策に加え専門記述対策が必要**です。専門記述対策は、各科目の専門択一对策をしながら専門記述独自に必要な知識や答案構成の練り方、また予想・頻出論点などを専門記述対策講義で学習し答案添削を受け、対策を行っていきましょう。

試験種	出題科目	解答数／出題数	解答時間
東京都 I 類 B (行政 一般方式)	憲法、行政法、民法、経済学、財政学、政治学、行政学、社会学、会计学、経営学	3 / 10	120 分
国 税 専 門 官	憲法、民法、経済学、会计学、社会学	1 / 5	80 分
財 務 専 門 官	憲法、民法、経済学、会计学、財政学	1 / 5	80 分
労働基準監督官 A	労働法、労働事情 (就業構造、労働需給、労働時間、賃金、労使関係)	2 / 2	120 分
裁判所一般職 (大卒)	憲法	1 / 1	60 分

5-4 専門試験（技術職）

・ 例: 国家一般職(大卒)

試験区分	専門試験（多肢選択式）	専門試験（記述式）
土 木	40 題出題 40 題解答 * 工学に関する基礎② * 構造力学（土木）・水理学・土質力学・測量①、土木材料、土木設計、土木施工③、土木計画④、環境工学（土木）・衛生工学②	必須問題 1 題 土木工学に関連する領域
機 械	40 題出題 40 題解答 * 工学に関する基礎② * 材料力学④、機械力学④、流体力学④、熱工学④、機械設計・機械材料・機械工作④	必須問題 1 題 機械工学に関連する領域
建 築	33 題出題 33 題解答 * 工学に関する基礎② * 構造力学（建築）・建築構造④、建築材料・建築施工②、環境工学（建築）・建築設備③、建築史・建築計画・建築法規・都市計画④	必須問題 1 題 建築設計製図
電気・電子・情報	40 題出題 40 題解答 * 工学に関する基礎② * 電磁気学・電気回路・電気計測・制御・電気機器・電力工学⑧、電子工学・電子回路③、通信工学・情報工学⑨	必須問題 1 題 電気・電子・通信・情報工学に関する領域

※「電気・電子・情報」は、令和 4 年より「デジタル・電気・電子」という試験区分になります。

化	学	44 題出題 40 題解答 * 必須問題 数学・物理⑨、物理化学・分析化学・無機化学・有機化学・工業化学⑦ * 選択問題 生物化学④、化学工学④の 8 題から 4 題を選択	必須問題 1 題 化学に関連する領域
物	理	50 題出題 40 題解答 * 必須問題 物理 [物理数学を含む基礎的な物理] ⑩ * 選択問題 応用物理 [現代物理等] ⑩、地球物理⑩の 20 題から 10 題を選択	必須問題 1 題 物理に関連する領域

• 例:労働基準監督官

試験区分	専門試験(多肢選択式)	専門試験(記述式)
B (理工系)	46 題出題 40 題解答 * 必須: ⑧ 労働事情(就業構造、労働需給、労働時間・賃金、労使関係、労働安全衛生) ⑧ * 選択: 38 題中 32 題選択 工学に関する基礎(工学系に必要な基礎としての数学、物理、化学) ③	4~6 題出題 2 題解答 * 必須 工業事情 1 題 * 選択 工学に関する専門基礎(機械系、電気系、土木系、建築系、衛生・環境系、応用化学系、応用数学系、応用物理系等の工学系の専門工学に関する専門基礎分野)から 3~5 題出題し、うち 1 題選択

• 例:東京都 I 類 B(一般方式) ※出題される5題中3題を本試験時に選択

試験区分	専門試験(記述式)
土木	構造力学、水理学、土質工学、土木材料・測量、都市・土木計画、交通・道路工学、衛生工学、橋梁工学、河川・海岸工学、港湾工学、土木施工、技術情勢
建築	建築史、都市計画、建築計画、建築環境工学、建築設備、構造力学、建築構造、建築材料、建築施工、建築法規、技術情勢
機械	物理、材料力学、熱力学、熱機関、流体力学、流体機械、機械工作、機械材料、計測・制御、管理工学、技術情勢
電気	数学、電気磁気学、電気回路、電気機器、電子回路、発送配電、計測・制御、情報・通信、電気応用、電気法規、技術情勢
環境検査	有機化学、無機化学、分析化学、物理化学、応用化学、生化学、生物学概論、生態学、微生物学

• 例:特別区 I 類(一般方式) ※出題される6題中4題を本試験時に選択

試験区分	専門試験(記述式)
土木造園(土木)	応用力学、土質工学、測量、土木施工、道路・橋梁、都市計画
建築	建築史、建築計画、都市計画、建築設備、建築構造、建築施工、建築法規
機械	物理、材料力学、熱力学・熱機関、流体力学・流体機械、計測・制御、機械材料
電気	電気・電子回路、電磁気学、材料・制御(電気応用を含む)、電気機器、発送配電、情報・通信
衛生監視(化学)	有機化学、無機化学、分析化学、物理化学、生化学、応用化学

・ 例：地方上級（県・政令指定都市）

試験区分		専門試験（主に多肢選択式）
土	木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
総 合	土 木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、材料・施工、農業水利・土地改良・農村環境整備、都市計画、土木計画
農 業	土 木	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利、土地改良、農地造成、農業造構、材料・施工、農業機械、農業一般
建	築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
機	械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学、機械設計、機械材料、機械工作
電	気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電気工学、電子工学、情報・通信工学
化 学 ／ 総 合 化 学		数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
農 芸 化 学		物理化学、分析化学、無機化学、有機化学、生物化学、土壌学・植物栄養学・肥料学、食品化学・食品貯蔵加工学、応用微生物学
農 学 ／ 農 業		栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥料学、植物生理学、畜産一般、農業経営一般
畜 産		家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、畜産物利用学、家畜管理学、畜産経営一般
林 業 ／ 林 学		林業政策、林業経営学、造林学、林業工学、林産一般、砂防工学
水 産		水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
造 園		造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計（都市・地方計画を含む）、造園関連基礎

5－5 専門試験（社会福祉・心理）

・ 社会福祉の出題例

自治体・区分	専門試験（多肢選択式）
地 方 上 級	社会福祉概論（社会保障を含む）、社会学概論、心理学概論（社会心理学を含む）、社会調査
特別区Ⅰ類（福祉）	社会学概論、社会福祉論、社会心理学、児童心理学、ケースワーク

・ 心理の出題例

自治体・区分	専門試験（多肢選択式）
地 方 上 級	一般心理学（心理学史、発達心理学、社会心理学を含む）、応用心理学（教育心理学・産業心理学・臨床心理学）、調査・研究法、統計学
東京都Ⅰ類B（心理）	心理学基礎論、心理学特論、臨床心理学 ※東京都Ⅰ類Bの専門試験は、記述式です。

社会福祉・心理区分などの資格免許職の専門試験は、各資格免許職に必要とされる国家試験の専門試験の学習をそのまま公務員試験対策として活かすことができます。教養試験対策・論文試験対策・面接試験対策においては、受験対策予備校のノウハウが役立ちますので、他の受験者と差をつけ、より確実に合格を目指すために、これらの対策において、受験対策予備校のノウハウやカリキュラムを活用しましょう。

6 論文試験

論文試験は、多くの公務員試験において実施される試験科目です。60分～90分程度の解答時間で、客観的な事実に基づいて社会問題などを分析し、それに対して自分の考えを盛り込んだ800字～1,200字前後の文章を手書きで書くことが求められています。論文対策も、まずは講義を受けることから始めます。講義で原稿用紙の使い方、敬体・常体、頻出テーマ、予想テーマなどの基礎知識などを学び、その後は自分の手で実際に論文を書き、繰り返し答案添削指導を受けることで、合格答案作成力を身につけていってください。

<出題例 ※主に行政事務職>

試験種	出題テーマ
国家一般職（大卒） 2021年度	厚生労働省「国民生活基礎調査」による我が国の「子どもの貧困率」は、2018年時点で13.5%と、子どもの約7人に1人が貧困線*を下回っている。このような状況に関して、以下の資料①、②、③を参考にしながら、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。 なお、同調査における「子どもの貧困率」とは、17歳以下の子どもの全体に占める、貧困線に満たない17歳以下の子どもの割合のことである。 * 貧困線とは、等価可処分所得の中央値の半分の額をいい、等価可処分所得とは、下記により算出した所得である。なお、2018年の貧困線は127万円である。 等価可処分所得＝ $(\text{総所得} - \text{拠出金(税金や社会保険料)}) \div \sqrt{\text{世帯人員数(所得のない子ども等を含む)}}$ (1) 我が国の子どもの貧困問題が社会にどのような影響を及ぼすのか、子どもの貧困に関する現状を踏まえながら、あなたの考えを述べなさい。 (2) 我が国が子どもの貧困問題に取り組む上でどのようなことが課題となるかについて、あなたの考えを具体的に述べなさい。
特別区Ⅰ類（事務） 令和3年度	国際目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」では、持続可能な生産消費形態を確保するため、天然資源の持続可能な管理や効率的な利用をめざすことが必要であると示されています。特別区においてもその目標達成に向けた一層の取組が求められており、食品ロスや廃棄物の削減を進めていくことが重要です。このような状況を踏まえ、ごみの縮減と資源リサイクルの推進について、特別区の職員としてどのように取り組むべきか、あなたの考えを論じなさい。
埼玉県 令和元年度	AI(人工知能)やIoT(物のインターネット)、ロボットなどの新技術により様々な分野での変革が進んでいる。埼玉県ではこうした状況に対応し、スマート社会の実現に向けて、産業分野の生産性を高める第4次産業革命の促進のほか、県民がスマート社会を実感できる施策の展開や県庁の業務効率化に取り組んでいる。 そこで、以下の2点についてあなたの考えを900字以上1,100字以内で論じなさい。 1 AIやIoT、ロボットなどの新技術の活用により県民の生活はどのように変わっていくか。 2 スマート社会の実現に向け、埼玉県が取り組むべきことは何か。
特別区経験者 (2級職) 令和3年度	■職務経験者論文 仕事における目標設定と振り返りについて、あなたのこれまでの職務経験を簡潔に述べてから、その経験を踏まえて採用区分における立場として論じてください。 ■課題式論文（2題中1題を選択） 1 インターネットを活用した誰もが利用できる行政手続に向けた取組について 2 持続可能な財政運営と区民サービスについて

など

7 人物試験

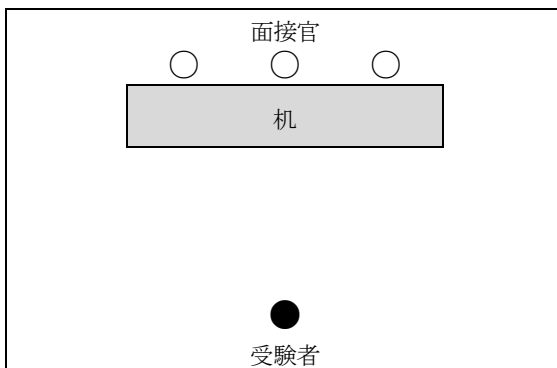
7-1 人物試験の形式

公務員試験の人物試験は、主に『個別面接』『集団面接』『集団討論／グループ・ワーク』が実施されます。人物試験の実施形式は、試験種や年度により異なります。また、人物試験に進むことができるのは、筆記試験合格者のみという場合がほとんどです。

・ 個別面接

個別面接は、受験者1人に対して面接官3～5人程度で、時間は概ね15～30分で実施されており、公務員試験の人物試験の中で最もオーソドックスな人物試験の形式です。質問内容は、主に志望理由と自己PRに関するもので、事前または現場で提出する面接カードに沿った質問及びその掘り下げが中心です。

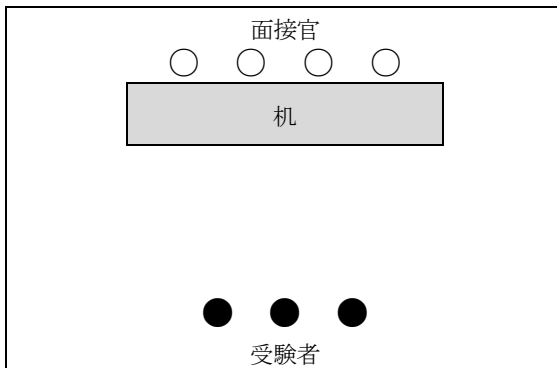
受験者が1人のため、面接官はじっくりと受験者の話を聞くことができ、また面接の様子を観察することができます。受験者は質問への回答を通じて、じっくりと自身の想いを伝えることができます。



・ 集団面接

集団面接は、受験者複数人に対して面接官も複数人で実施される形式で、個別面接や集団討論と併せて実施されることが多い傾向にあります。個別面接とは異なり受験者が複数いるため、詳細な人物評価がし難い反面、共通の質問を全員に回答させることで、相対的な評価がしやすいという特徴があります。また、全ての試験種で実施されるわけではありません。

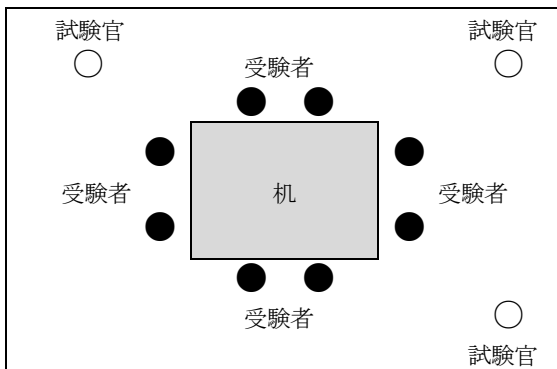
集団面接では、指名式や挙手式で答えさせる場合もあり、また、受験者が複数のため、簡潔かつ要点をおさえた回答が求められています。



・ 集団討論(グループ・ディスカッション)／グループ・ワーク

多くの地方上級や市役所や国家一般職の官庁訪問などで実施されている形式で、個別面接や集団面接と併せて実施されることがほとんどです。課題が与えられ、受験者同士で討論や共同作業をする様子を観察することで、受験者の人物像やキャラクターを詳細に把握でき、また相対評価がしやすいという特徴があります。

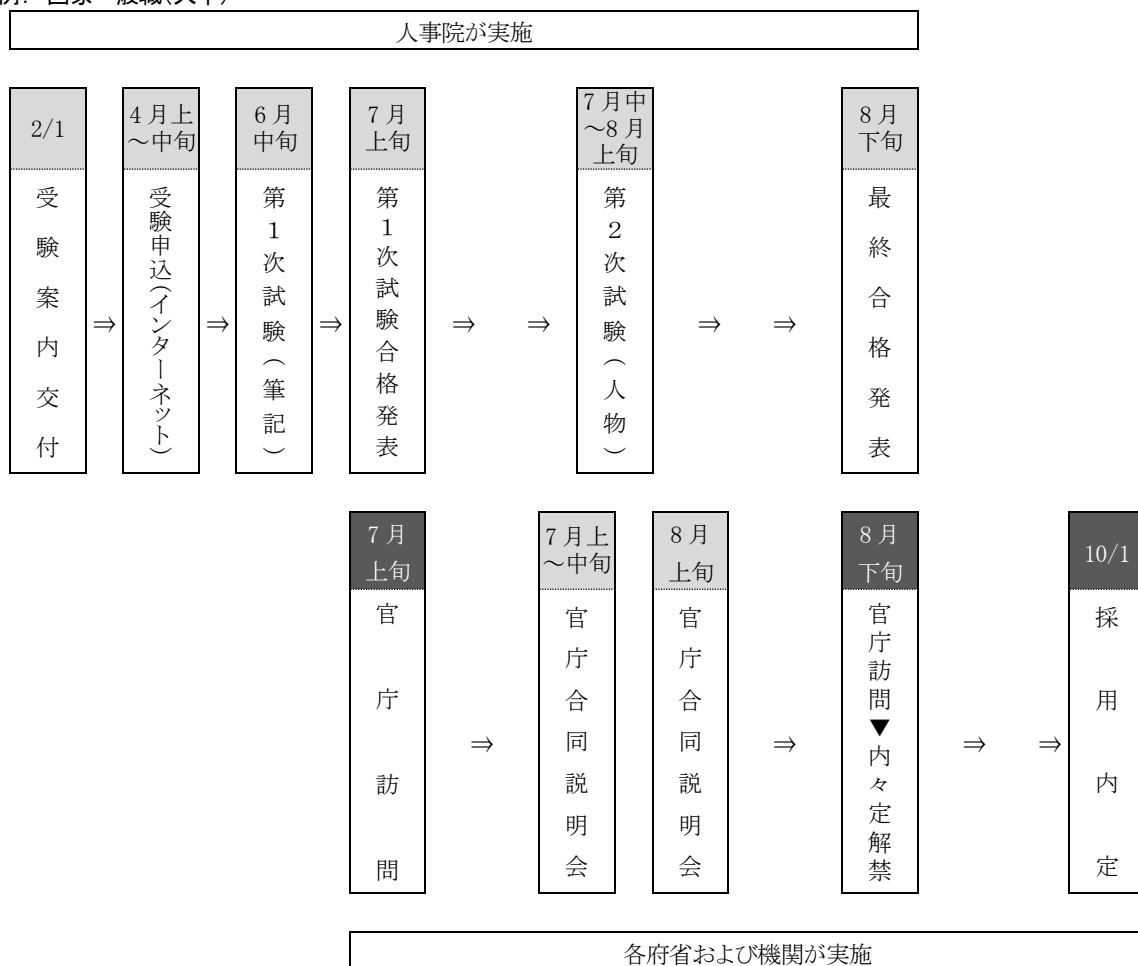
集団討論は、グループで仕事を進める公務員の職場のシミュレーションともいえます。自分自身が目立つとするよりも、いかに受験者同士で協調しながら自分の特徴を発揮できるかが重要です。



7-2 国家一般職（大卒）の官庁訪問とは

国家一般職（大卒）で最終合格すると、採用候補者名簿に登載されますが、最終合格≠採用です。採用のためには、官庁ごとに実施される『官庁訪問』を経て、内々定を得る必要があります。

例：国家一般職（大卒）



※官庁合同業務説明会は、地域及び受験区分により実施日が異なります。

実施日程は1次試験合格発表日頃に国家公務員採用情報NAVIなどにて発表されます。

官庁訪問は、国家一般職（大卒）の1次合格者が就職を希望する官庁を直接訪問し（事前予約が必要な場合がほとんど）、官庁ごとの採用プロセスに参加して業務説明や面接を受ける、**実質的な採用面接の場**です。

官庁訪問の原課の職員の説明や面接の場では、実際の業務内容などの立ち入った話や質問もなされることから、志望官庁の情報収集や自己分析などの事前準備が必要です。また、強い意志を持ち積極的に官庁訪問することが大切です。

官庁訪問の成否は、**情報収集や面接対策などの万全な事前準備、早めの勝負、粘り強さ**で決まります。多くの受験者が夏に内々定を勝ち取る一方で、長期戦を強いられた末に、採用・内定が得られるケースもあります。

8 今からできる面接対策の準備

8-1 官公庁や自治体のHPで調べる

民間就活の場合は、就職情報サイトなどを通じて採用情報などを発信されることがほとんどですが、**官公庁や自治体**の場合は、**各官公庁・自治体のHPやSNSを通じて、随時発信**しています。したがって、公務員受験生は、筆記試験対策などと並行して、空き時間などに**こまめにHPやSNSをチェック**する必要があります。

・ 国家公務員

国家総合職、国家一般職（大卒）、国家専門職（国税専門官・財務専門官・労働基準監督官 など）

- ⇒ 国家公務員試験採用情報NAV I
- ⇒ 国税庁HP内 国税専門官採用試験
- ⇒ 厚生労働省HP内 採用情報 労働基準監督官

裁判所一般職（大卒）、裁判所総合職、家庭裁判所調査官補

- ⇒ 最高裁判所HP内 採用試験情報

など

・ 地方公務員

道府県、政令指定都市、市町村など

- ⇒ 各自治体のHP内 職員採用情報 〇〇県 職員採用 などで検索！

特別区（東京23区）

- ⇒ 特別区人事委員会採用試験情報HP

東京都

- ⇒ 東京都職員採用HP

など

上記は、代表的な試験種のHPのみ掲載しています。HP以外にも、TwitterやFacebookなどのSNSを活用して情報発信をしている場合もありますので、志望先の情報を逃さぬよう各自確認しておきましょう。

8-2 説明会などの採用関連イベントに参加する

民間企業の場合は、大規模なイベントホールなどに複数の企業を集めて合同説明会を実施していますが、公務員の説明会や採用関連イベントは、一部の国家公務員などの合同イベントを除き、**各自治体及び官公庁が単独かつ独自に実施する**ケースがほとんどです。

・ 官公庁・自治体講演会 @TAC主催

- ⇒ 例年12月より順次、TAC校舎に現役職員や採用担当者などをお招きして実施するTAC主催の説明会です。実施情報はTACホームページ及びFacebook・Twitter、各校舎の掲示板などでお知らせします。

・ 各官公庁・自治体ごとの説明会／採用関連イベント

- ⇒ 各官公庁や自治体が主催するオフィシャルな説明会／採用関連イベントは、随時実施されています。官公庁・自治体講演会同様、例年秋～受験申込の始まる春・夏にかけて実施情報が発表されます。なお、一部の説明会は要事前申込（先着順）の場合がありますので志望先のHPなどをこまめに確認してください。

8-3 インターンシップに参加する

すべての自治体・官公庁が実施するわけではありませんが、一部の官公庁や自治体では民間企業と同じように、**インターンシップ(就業体験)が実施**されています。採用・内定を勝ち取るために必須というわけではありませんが、公務に対する理解を深めたり、パンフレット等では伝わりにくい職場の雰囲気を体感できたりするなど、多くのメリットがありますので、ご興味がある方はぜひ積極的に参加を検討してみてください。

- **対象者**

公務員のインターンシップの対象者は、現役の学生を対象としたものが多い傾向にあります。

- **実施情報**

実施情報は、各官公庁・自治体のHPの他、大学の就職課やキャリアセンターなどで得ることができます。多くのインターンシップは夏季休暇期間などに実施されており、その参加申込みは春先（4～6月頃）となっていますので、希望される方は、早めに実施情報をチェックして、準備を始める必要があります。

- **申込方法**

申込窓口は、一部の官公庁・自治体を除き、大学の就職課やキャリアセンター経由となっていることがほとんどです。また、参加申込にあたり、応募書類の作成（志望理由・自己PRなど）や大学からの推薦状が必要な場合が多いことから、事前準備に時間を要する点には注意が必要です。人気の自治体や官公庁の場合は、インターンシップ参加者の決定にあたり、書類選考や面接が実施されることがありますので、しっかりと内容を練り上げておきましょう。



採用関連イベントに参加する

公務員試験は、資格試験ではなく就職試験です。筆記試験の重要度が民間企業の就職試験よりも高いことから、筆記試験対策ばかりに時間をとられてしまいがちですが、1次試験（筆記）後には、人物試験が設けられています。面接カードの作成や模擬面接などの本格的な面接対策は、1次試験（筆記）後からでも構いませんが、情報収集は筆記試験対策と同時並行で進めておきたいところです。

勉強の合間などに説明会や採用関連イベントに参加することで、有益な情報が入手できることはもちろん、目指すものが明確になり、モチベーションアップにも繋がりますので、ぜひ積極的に参加してみてください

9 最終合格者の決定方法

多くの試験種では、筆記試験と人物試験の結果が点数化され、主にその合計点により、公平公正に最終合格者が決定されます。学歴・職歴・性別などによる有利不利などがうわさされることもあります。そのようなものが入り込む余地は無いといって良いでしょう。地道にコツコツと必要な対策をしっかりとやりきった方が合格に近付ける、つまり努力した分、着実に合格へと近づくことができる試験です。

試験種ごとの合格者の決定方法は、第5章 本試験データ集及び最新の受験案内にてご確認ください。

(参考)2021年度国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)合格者の決定方法

1. 得点についての考え方

- ①受験者の筆記試験の得点は、各試験種目の素点（多肢選択式試験の場合は正解数、記述式試験の場合は複数の評価者による評点を総合した値）ではなく、試験種目ごとに平均点、標準偏差^{注1}を用いて下記の方法で算出した「標準点^{注2}」としています。なお、標準点は小数点以下を切り捨てます。

各試験種における標準点の算出方法

$$\text{標準点} = 10 \times \frac{\text{当該試験種目の素点}}{\text{の配点比率}} \times \left(15 \frac{X - M}{\sigma} + 50 \right)$$

ただし、 X ：ある受験者の素点、 M ：当該試験種目の平均点、 σ ：当該試験種目の標準偏差

- (例) 基礎能力試験（配点比率は下表参照）において、ある受験者の素点が24点、平均点が21点、標準偏差が5.5点の場合、この受験者の標準点は129点になります。

$$10 \times \frac{2}{9} \times \left(15 \times \frac{24 - 21}{5.5} + 50 \right) = 129.292 \dots$$

- ②人物試験においては、各受験者についてA～Eの5段階で評価し、この評価結果が正規分布するものとみなして、各段階の標準点を算出しています。

2. 各試験種目の配点比率

標準点を算出する際の各試験種目の配点比率は次のとおりです。

試験種目 区分	基礎能力 試験	専門試験 (多肢選択式)	一般論文 試験	専門試験 (記述式)	人 物 試 験
行政区分	2／9	4／9	1／9	—	2／9
建築区分	2／9	2.5／9	—	2.5／9	2／9
行政及び建築 以外の区分	2／9	4／9	—	1／9	2／9

※標準点の合計は概ね0～1000点の範囲の点数になります。また、全ての試験種目で平均的な成績であれば、標準点の合計はおおよそ500点になります。

3. 基準点等について

基準点（人物試験においては、Dの評価）に達しない試験種目が一つでもある受験者は、他の試験種目の成績にかかわらず不合格となります。

筆記試験の各試験種目の基準点は、多肢選択式試験については原則として満点の30%とし、記述式試験については個別に定めることとしています。

4. 第1次試験合格者の決定

第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験及び専門試験(多肢選択式)において基準点以上である者について、両試験種目の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。

なお、第1次試験で実施している「一般論文試験」又は「専門試験(記述式)」は、第1次試験合格者を対象に評定しています。

5. 最終合格者の決定

第1次試験合格者のうち、一般論文試験又は専門試験(記述式)において基準点以上であり、かつ、人物試験においてA～Dの評価である者について、1次試験を含む全ての試験種目の標準点を合計した得点に基づいて最終合格者を決定します。

(注1) 標準偏差(σ)は、素点のばらつき具合を示す指標です。一般に、ある試験の標準偏差が小さいということは、受験者の素点が平均点付近に多く分布していることを表し、逆に標準偏差が大きいということは、受験者の素点が幅広く分布していることを表しています。標準偏差の算出式は次のとおりです。

$$\sigma = \sqrt{\frac{1}{N} \sum_i (X_i - M)^2}$$

ただし、 X_i : 受験者*i*の素点、 M : 当該試験種目の平均点、 N : 当該試験種目の受験者数

(注2) 標準点は、試験種目によって満点(要解答題数)が異なっていること、受験者の素点のばらつきが異なっていることの影響を修正するために用いられるもので、各受験者の成績が受験者全体の成績の分布の中でどの辺りにあるかを相対的に示しています。

(参考)1次試験合格ライン

- ・ 2021 (令和3) 年度 国家一般職 (大卒 行政)

北海道 地域	基専	12131415161718192021222324252627
東北地 域	基専	121314151617181920212223242526272829303132 262525242322222120201918181716151514131312
関東甲信越 地域	基専	1213141516171819202122232425262728293031323334353637383940 3332313130292828272626252424232221212019191817171615141413
東海北陸地 域	基専	1213141516171819202122232425262728293031323334353637383940 3332313130292828272626252424232221212019191817171615141413
近畿地 域	基専	1213141516171819202122232425262728293031323334353637383940 3332313130292928272626252424232222212020191817171615151413
中国地 域	基専	1213141516171819202122232425262728293031323334 2827262625242423232121201919181717161515141312
四国地 域	基専	1213141516171819202122232425262728293031323334 2827262625242423232121201919181717161515141312
九州地 域	基専	1213141516171819202122232425262728293031323334 2727262525242322222120201918181716161514131312
沖縄地 域	基専	1213141516171819202122232425262728293031323334353637 3029282827262625242323222121201919181717161514141312

- ・ 2021（令和3）年度 国税専門官／財務専門官／労働基準監督官A

国税専門官	基 専	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27										
財務専門官	基 専	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37
労働基準 監督官 A	基 専	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23														
		21	20	20	19	18	17	16	15	14	13	13	12														

※上記の1次試験合格ラインは、人事院が公表している各試験種の『合格者の決定方法』『合格点及び平均点等一覧』に基づいて、1次試験の基準点以上に到達するために必要な択一試験（基礎能力・専門択一）の最低点を元に作成しています。

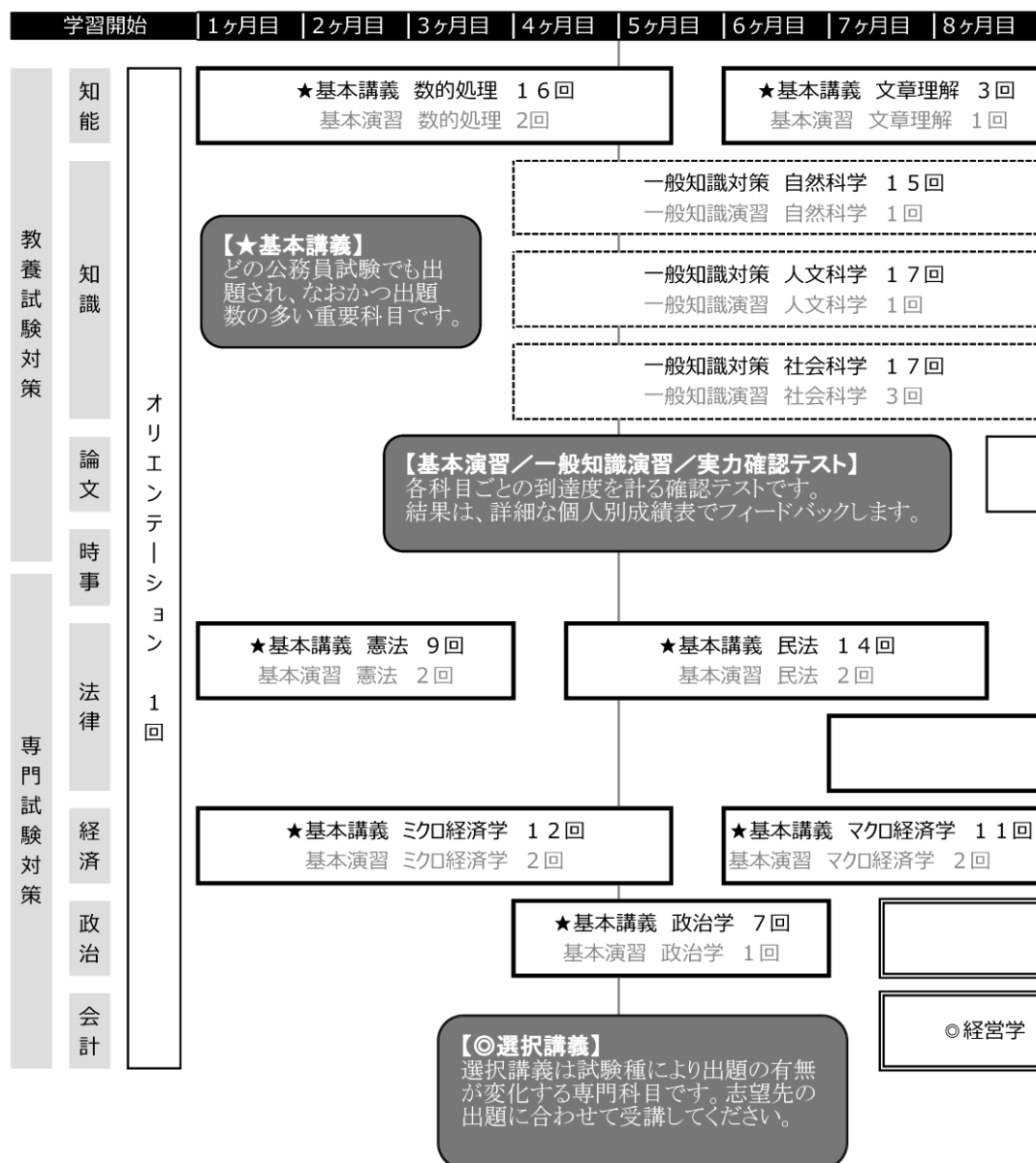
第3章

公務員試験の学習法

※ 次ページからの公務員試験の学習法は、行政事務職の試験を対象とした内容です。

1 総論

TAC総合本科生 学習モデルプラン

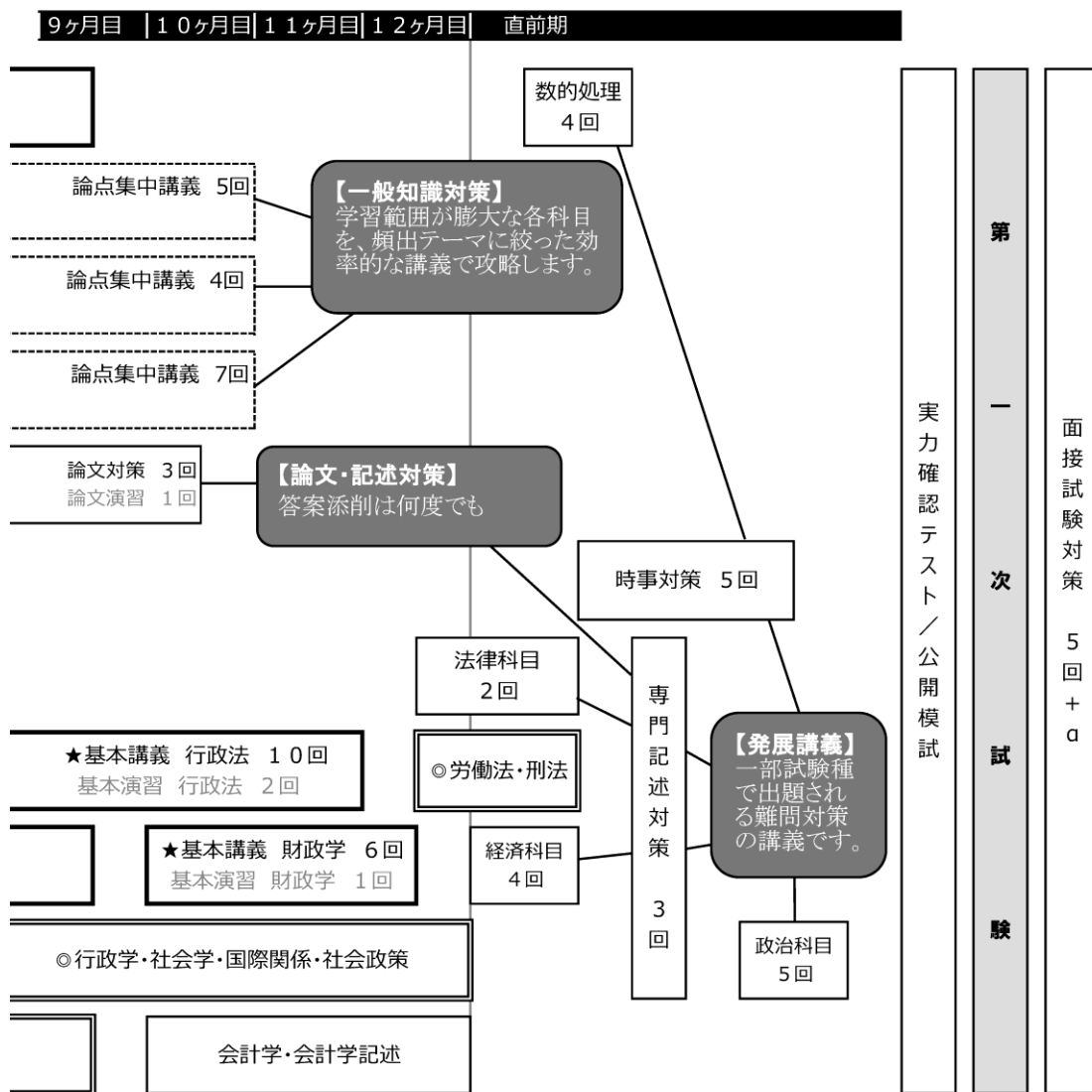


※上記プランは、約1年間の学習期間を目安としております。

学習開始時期によって履修内容が異なりますので、上記スケジュールはあくまで目安とお考えください。

※お申込みのコースにより受講していただく内容が異なります。コースに含まれている科目を受講してください。

なお、コースに含まれている科目は会員証に記載されています。



《社会科学を受講する際の留意事項》

～総合本科生など主な専門科目が含まれているコースで学習される予定の方へ～

社会科学	政治社会 (7回) 論点集中 (1回)	「国際関係」「社会政策」「時事対策(社会事情・国際事情)」で扱う内容を学習する上で必要な内容を扱います。	できる限り、左記「」内の講義を学習する前に論点集中講義の受講を推奨します。
	法律 (5回) 論点集中 (1回)	「憲法」で扱う内容と重複します。 ※第1回講義の法学の内容は触れておくことを推奨します。 ※第5回講義では「民法」「刑法」で扱う内容も含まれます。	左記「」内の講義を受講予定(受講済み)の方は必ずしも受講する必要はありません。
	経済 (5回) 論点集中 (1回)	「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「財政学」で扱う内容と重複します。	左記「」内の講義を受講予定(受講済み)の方は必ずしも受講する必要はありません。

※教養本科生など教養科目を中心に学習される予定の方は、社会科学(17回)の受講を推奨します。

- **重要科目を把握 & 広く浅くを意識して学習する**

公務員試験は、対策すべき試験種目や試験科目が多いため、すべての科目を完璧にすることは難しいといえます。そこで大切なことは、**志望先の出題科目を把握し、さらに科目ごとの出題数を把握**することで、全科目を全力で学習するのではなく、**重要度に応じてメリハリを付けて学習**することです。公務員試験に最終合格するために必要な点数の目安は、**教養試験が6割程度、専門試験が7割程度であり、満点は求められていません**。この特徴を意識しながら、重要科目を中心に広く浅く学習していきましょう。

- **講義はカリキュラム通りに受講する**

TACの講義は、科目ごとに適正な順番で学習ができるようにカリキュラムが設計されています。毎回の講義は前回の内容を踏まえて解説を進めますので、**講義の順番はカリキュラム通りに受講**してください。

ビデオブースやWeb講義で学習される方は、**モデルカリキュラムや教室講座の日程表**をベースにして、自分なりに学習スケジュールを立て、着実に学習を進めると効率的です。

- **学習の優先順位を守る**

公務員試験は科目数が多く、どの科目を優先的に学習するべきか悩むところですが、重要科目は科目ごとの出題数や配点比率に応じて決まります。特に学習計画を立てる際や問題演習をする際は、**＜優先順位①＞基本講義の科目、＜優先順位②＞選択講義・一般知識分野などを基本**としながら、志望先の出題科目と科目ごとの出題数に応じて、メリハリを付けて学習してください。なお、本試験の特徴や試験種ごとの科目の重要度や選択講義の優先順位については「試験対策ゼミ」で解説しますので、それを参考に自分なりにカスタマイズしていきましょう。

- **講義はできる限り休まない & 休んだ場合はフォロー制度を活用する**

学生生活や仕事などと両立しながら学習する受験生にとって、すべての講義に出席することは難しい場合があります。まずは講義をできる限り休まないことを意識しながら、**欠席した場合はクラス振替出席フォローやWeb講義などを活用**して、次の講義までに欠席した講義を受講するようにしてください。

- **あきらめるのではなく、工夫する**

受験生活を過ごしていると、学習時間が確保できない、どうしてもこの科目が理解できないなどの状況が生じ、受験自体をあきらめたり進路変更を検討し始めたりする受講生が一定数生じてきますが、少し考えてみてください。そういった状況が生じているのは、あなただけとは限りませんし、合格者たちはその現状を把握し、**どうしたらこの状況を改善することができるかを考え、自分なりの工夫をして乗り越え**、見事に最終合格を勝ち取っています。

その工夫は立派なものや到底真似できないものばかりではありません。あなたにもできるちょっとした工夫だったりもします。正しい方法で努力を継続し、またちょっとした工夫をしながら、受験生活を乗り越えていきましょう。

学習の進め方

① オリエンテーションを受講する

オリエンテーションでは、公務員試験全般の解説はもちろん、これから本試験までの学習の進め方(学習する科目の順番など)についても、詳しく解説いたします。公務員試験は、学習すべき科目数が多いため、正しい学習方法で効率的&効果的な学習が不可欠です。

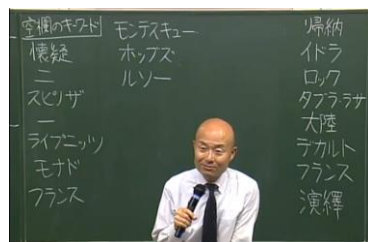
学習開始前に、必ずオリエンテーションを受講して、これから本試験までの正しい学習法を身に付けてください。



② 講義を受講する【INPUT】

TACの講義は予習不要です。まずは、各科目の知識をINPUTするため、講義を受講してください。講義は、主にテキスト(補助教材・講義ノート)や問題集を使用して進めます。講義において重要なポイントや講師の解説などは、教材にどんどん書き込みしたりマーカーで色をつけたりしながら、自分だけのオリジナル教材にしていってください。

※使用教材については、各講師の指示に従ってください。



③ 講義の復習をする【OUTPUT】

TACの講義は予習不要ですが、復習は必ず行ってください。復習は次の講義前までに完了させるように心がけてください。

講義を受講したら、なるべく記憶が鮮明なうちにテキストなどを読み返し、該当範囲の問題などを解いて、講義内容を確認するとともに、理解度を確かめましょう。問題集の各問題には、問題の難易度と頻出度を示してありますので、問題を解く際の参考になしてください。



○ 講師に質問する【質問コーナー】

講義の前後はもちろん、講義以外にも講師に直接質問できる『質問コーナー』や『質問メール』を設けています。学習上の疑問点などは、早めに解決することが大切です。各科目の学習において疑問点が生じたら、どんどん質問コーナーや質問メールを使って、解消してください。

※質問コーナー及び質問メールの利用方法は、受講ガイドを参照してください。



○ 講義を欠席したら【欠席フォロー】

講義を欠席した際は、クラス振替出席フォロー・ビデオブース振替フォローやWeb講義を利用して、次の講義までに欠席回の講義を必ず受講してください。



○ 基本講義は何度でも受講OK!(本科生)

基本講義と面接対策講義は、日程上可能であれば何度でも講義を受講することができます(クラス重複出席フォロー)。特に基本講義の科目は合格を分ける重要科目です。繰り返しの学習で、理解度を深めてください。

新宿校 4月入学(夜中心クラス)			池袋校 8月入学		
日 程	講義名		日 程	講義名	
4月			8月		
14(木) 夜	ミクロ経済学①		5(金) 夜	数的処理①	復習
18(月) 夜	憲法①		12(木) 夜	ミクロ経済学②	
19(火) 夜	数的処理①		22(月) 夜	憲法①	
21(木) 夜	ミクロ経済学②		23(火) 夜	文章読解①	
25(月) 夜	憲法②		25(木) 夜	数的処理②	復習
26(火) 夜	数的処理②		25(木) 夜	憲法②	

学習する順序・進度

○ カリキュラム

教室講座を中心に受講する方は、各校舎・入学月で設定されている講義日程（カリキュラム）に沿って学習を進めていけば問題ありませんが、**ビデオブースやWeb講義**を中心に受講する際は、自分の予定に合わせて学習のスケジュールを管理する必要があります。次頁以降に掲載している**モデルカリキュラム**は、学習期間に応じた目安となっていますので、学習スケジュールや学習進度の参考にしてください。

〈モデルカリキュラム欄の記号〉

●：教養科目	教養試験で出題される科目です。専門試験の対策が必要でない方（教養本科生など）はこの印を目安に学習を進めてください。
◆：基本講義	多くの試験種で共通して出題され、かつ、出題数の多い科目です。公務員試験の対策をする上で 学習の軸となる最優先の科目 です。 ※入学するコースにより基本講義は異なります。
▽：一般知識	学習範囲が広く、 効率的な学習が求められる科目 です。学習経験がある方や一般知識の出題に限られる試験を受験予定の方、学習時間の確保が難しい方は、通常の講義以外で、 ポイントを絞った論点集中講義 を受講することもできます。 ※論点集中講義の配信は2022年10月末以降となっています。詳細は日程表でご確認ください。
□：選択講義	専門試験で取り組む科目のうち、試験種により 出題の有無が変化する科目 です。受験する試験種に合わせて必要な科目だけを選択して受講してください。なお、選択講義を履修する目安については「 試験対策ゼミ① 」でご案内します。

○ 学習進度表

現時点で、どの科目を、どこまで理解していればいいのかが一目でわかるような、「**学習進度表**」をTAC WEB SCHOOLにて定期的に配信しています。何から始めて、今何をすべきなのかがすぐにわかり、効率的に学習を進めることができます。また、オンラインホームルーム（アーカイブ）で実施しているため、他の参加者（受講生）の学習進捗状況も併せて確認することができます。

○ 試験対策ゼミ

主要な公務員試験の**最新情報や時期に応じた学習方法、受験の準備等**について説明する講義を定期的の実施しています。特に学習方法については**試験対策ゼミ①**、**②**、**⑥**でご案内しますので学習の参考にしてください。

※試験対策ゼミの日程については各校日程表や、視聴/配信開始日程表を参照してください。

全8回	内容（予定）
①	学習方法①（各種講義の選択）
②	学習方法②（学習計画・進度）
③	国家公務員編①（国般・国専）
④	地方公務員編①（都・区・道府県）
⑤	地方公務員編②（政令市・市役所） 国家公務員編②（裁判所）
⑥	学習方法③（直前期・模試・他）
⑦	受験準備（ES・他）
⑧	試験概要（試験説明会）

モデルカリキュラム①（学習期間：約12ヶ月）

月	種別	講義名
4月	●	オリエンテーション
	◆	憲法①
	◆	憲法②
	◆	憲法③
	◆	憲法④
	●	数的①－数的推理①
	◆	憲法⑤
	●	数的②－数的推理②
	◆	憲法⑥
	●	数的③－数的推理③
5月	◆	数的④－数的推理④
	●	数的⑤－数的推理⑤
	◆	ミクロ経済学①
	◆	ミクロ経済学②
		演習：憲法①
	◆	ミクロ経済学③
	●	演習：数的処理①
	◆	憲法⑦
	◆	ミクロ経済学④
	◆	政治学①
6月	◆	憲法⑧
	◆	ミクロ経済学⑤
	◆	政治学②
	●	自然①－数学①
	◆	憲法⑨
	◆	ミクロ経済学⑥
	◆	政治学③
	●	自然②－数学②
		演習：憲法②
	●	社会①－政治社会①
7月		演習：ミクロ経済学①
	◆	政治学④
	●	自然③－数学③
	●	文章理解①
	●	社会②－政治社会②
	●	数的⑥－判断推理①
	◆	ミクロ経済学⑦
	◆	政治学⑤
	●	自然④－物理①
	●	文章理解②
8月	●	社会③－政治社会③
	●	数的⑦－判断推理②
	◆	民法①
	◆	ミクロ経済学⑧
	◆	政治学⑥
	●	自然⑤－物理②
	●	文章理解③
	●	社会④－政治社会④
	●	数的⑧－判断推理③
	◆	民法②
9月	◆	ミクロ経済学⑨
	◆	政治学⑦
	●	自然⑥－物理③
	●	文章理解④
	●	社会⑤－政治社会⑤
	●	数的⑨－判断推理④
	◆	民法③
	◆	ミクロ経済学⑩
	◆	政治学⑧
	●	自然⑦－化学①
10月	●	社会⑥－政治社会⑥
	●	数的⑩－判断推理⑤
	◆	民法④
	◆	ミクロ経済学⑪
	●	自然⑧－化学②
	●	社会⑦－政治社会⑦
	◆	民法⑤
	◆	ミクロ経済学⑫
	種別●	教養科目
	種別◆	基本講義

月	種別	講義名
8月	●	自然⑨－化学③
	●	演習：社会－政治社会
	●	演習：数的処理②
	●	社会⑧－法律①
	◆	民法⑥
		演習：ミクロ経済学②
	●	自然⑩－生物①
	□	行政学①
	●	人文①－世界史①
	●	社会⑨－法律②
9月	●	社会⑩－法律③
	◆	民法⑦
	●	自然⑪－生物②
	□	行政学②
	●	人文②－世界史②
	□	経営学①
	●	数的⑪－空間把握①
	●	社会⑪－法律④
		演習：民法①
	◆	マクロ経済学①
10月	●	自然⑫－生物③
	□	行政学③
	●	人文③－世界史③
	□	経営学②
	●	数的⑫－空間把握②
	●	社会⑫－法律⑤
	◆	民法⑧
	◆	マクロ経済学②
	●	自然⑬－地学①
	□	行政学④
11月	●	人文④－世界史④
	□	経営学③
	●	数的⑬－空間把握③
	●	演習：社会－法律
	◆	民法⑨
	◆	マクロ経済学③
	●	自然⑭－地学②
	□	行政学⑤
	●	人文⑤－世界史⑤
	□	経営学④
12月	●	数的⑭－資料解釈①
	◆	民法⑩
	◆	マクロ経済学④
	●	自然⑮－地学③
	□	行政学⑥
	●	人文⑥－日本史①
	□	経営学⑤
	●	数的⑮－資料解釈②
	◆	民法⑪
	◆	マクロ経済学⑤
1月	●	数的⑯－資料解釈③
	●	社会⑬－経済①
	◆	民法⑫
	◆	マクロ経済学⑥
	●	演習：自然科学
	□	社会学①
	●	人文⑦－日本史②
	●	実力確認テスト：数的①
	●	社会⑭－経済②
	◆	民法⑬
2月		演習：マクロ経済学①
	□	社会学②
	●	人文⑧－日本史③
	●	実力確認テスト：数的②
	●	社会⑮－経済③
	◆	民法⑭
	◆	マクロ経済学⑦
	□	社会学③
	種別▽	一般知識（教養）
	種別□	選択講義（専門）

月	種別	講義名
11月	●	人文⑨－日本史④
	●	実力確認テスト：数的③
	●	社会⑯－経済④
	●	演習：民法②
	◆	マクロ経済学⑧
	□	社会学④
	●	人文⑩－日本史⑤
	●	社会⑰－経済⑤
	●	論文①
	◆	行政法①
12月	◆	マクロ経済学⑨
	□	社会学⑤
	●	人文⑪－地理①
	●	演習：社会－経済
	●	論文②
	◆	行政法②
	◆	マクロ経済学⑩
	●	人文⑫－地理②
	●	論文③
	◆	行政法③
1月	◆	マクロ経済学⑪
	●	人文⑬－地理③
	□	刑法①
	●	演習：論文
	◆	行政法④
		演習：マクロ経済学②
	●	人文⑭－地理④
	□	刑法②
	□	国際関係①
	□	行政法⑤
2月	●	人文⑮－思想①
	□	刑法③
	□	国際関係②
		演習：行政法①
	●	人文⑯－思想②
	□	刑法④
	□	国際関係③
	◆	行政法⑥
	●	人文⑰－文化史
	□	刑法⑤
3月	□	国際関係④
	◆	行政法⑦
	●	演習：人文科学
	□	労働法①
		記述：法律
	□	労働法②
		記述：政治
	◆	行政法⑧
	◆	財政学①
	□	労働法③
4月	◆	行政法⑨
	◆	財政学②
	□	労働法④
	◆	行政法⑩
	◆	財政学③
		演習：行政法②
	◆	財政学④
	□	社会政策①
	◆	財政学⑤
	□	社会政策②
5月	◆	財政学⑥
	□	社会政策③
		演習：財政学
	□	社会政策④
	●	時事：国際事情
	●	時事：社会事情①
	●	時事：社会事情②
	●	時事：経済史・経済事情①
	●	時事：経済史・経済事情②
	種別●	教養科目
	種別◆	基本講義

モデルカリキュラム②（学習期間：約10ヶ月）

月	種別	講義名
6月	●	オリエンテーション
	◆	憲法①
	◆	憲法②
	◆	憲法③
	◆	憲法④
	●	◆ 数的①－数的推理①
	◆	憲法⑤
	●	◆ 数的②－数的推理②
	◆	憲法⑥
	●	◆ 数的③－数的推理③
	●	◆ 数的④－数的推理④
	●	◆ 数的⑤－数的推理⑤
	◆	ミクロ経済学①
	◆	ミクロ経済学②
		演習：憲法①
	◆	ミクロ経済学③
	●	演習：数的処理①
	◆	憲法⑦
	◆	ミクロ経済学④
	◆	政治学①
	◆	憲法⑧
	◆	ミクロ経済学⑤
	◆	政治学②
7月	●	▽ 自然①－数学①
	◆	憲法⑨
	◆	ミクロ経済学⑥
	◆	政治学③
	●	▽ 自然②－数学②
		演習：憲法②
	●	▽ 社会①－政治社会①
		演習：ミクロ経済学①
	◆	政治学④
	●	▽ 自然③－数学③
	●	◆ 文章理解①
	●	▽ 社会②－政治社会②
	●	◆ 数的⑥－判断推理①
	◆	ミクロ経済学⑦
	◆	政治学⑤
	●	▽ 自然④－物理①
	●	◆ 文章理解②
	●	▽ 社会③－政治社会③
	●	◆ 数的⑦－判断推理②
8月	◆	民法①
	◆	ミクロ経済学⑧
	◆	政治学⑥
	●	▽ 自然⑤－物理②
	●	◆ 文章理解③
	●	▽ 社会④－政治社会④
	●	◆ 数的⑧－判断推理③
	◆	民法②
	◆	ミクロ経済学⑨
	◆	政治学⑦
	●	▽ 自然⑥－物理③
	●	演習：文章理解①
	●	▽ 社会⑤－政治社会⑤
	●	◆ 数的⑨－判断推理④
	◆	民法③
	◆	ミクロ経済学⑩
		演習：政治学①
	●	▽ 自然⑦－化学①
	●	▽ 社会⑥－政治社会⑥
	●	◆ 数的⑩－判断推理⑤
	◆	民法④
	◆	ミクロ経済学⑪
	●	▽ 自然⑧－化学②
	●	▽ 社会⑦－政治社会⑦
	◆	民法⑤
	◆	ミクロ経済学⑫

種別●：教養科目
種別◆：基本講義

教養本科生は●のみ受講
多くの試験で最重要の科目

月	種別	講義名
9月	●	▽ 自然⑨－化学③
	●	演習：社会－政治社会
	●	演習：数的処理②
	●	▽ 社会⑧－法律①
	◆	民法⑥
		演習：ミクロ経済学②
	●	▽ 自然⑩－生物①
	□	行政学①
	●	▽ 人文①－世界史①
	●	▽ 社会⑨－法律②
	●	▽ 社会⑩－法律③
	◆	民法⑦
	●	▽ 自然⑪－生物②
	□	行政学②
	●	▽ 人文②－世界史②
	□	経営学①
	●	◆ 数的⑪－空間把握①
	●	▽ 社会⑪－法律④
		演習：民法①
	◆	マクロ経済学①
	●	▽ 自然⑫－生物③
	□	行政学③
	●	▽ 人文③－世界史③
	□	経営学②
	●	◆ 数的⑫－空間把握②
	●	▽ 社会⑫－法律⑤
	◆	民法⑧
10月	◆	マクロ経済学②
	●	▽ 自然⑬－地学①
	□	行政学④
	●	▽ 人文④－世界史④
	□	経営学③
	●	◆ 数的⑬－空間把握③
	●	演習：社会－法律
	◆	民法⑨
	◆	マクロ経済学③
	●	▽ 自然⑭－地学②
	□	行政学⑤
	●	▽ 人文⑤－世界史⑤
	□	経営学④
	●	◆ 数的⑭－資料解釈①
	◆	民法⑩
	◆	マクロ経済学④
	●	▽ 自然⑮－地学③
	□	行政学⑥
	●	▽ 人文⑥－日本史①
	□	経営学⑤
	●	◆ 数的⑮－資料解釈②
	◆	民法⑪
	◆	マクロ経済学⑤
	●	◆ 数的⑯－資料解釈③
	●	▽ 社会⑬－経済①
	◆	民法⑫
11月	◆	マクロ経済学⑥
		演習：自然科学
	□	社会学①
	●	▽ 人文⑦－日本史②
	●	実力確認テスト：数的①
	●	▽ 社会⑭－経済②
	◆	民法⑬
		演習：マクロ経済学①
	□	社会学②
	●	▽ 人文⑧－日本史③
	●	実力確認テスト：数的②
	●	▽ 社会⑮－経済③
	◆	民法⑭
	◆	マクロ経済学⑦
	□	社会学③

種別▽：一般知識（教養）受験試験に応じて選択
種別□：選択講義（専門）受験試験に応じて選択

月	種別	講義名
12月	●	▽ 人文⑨－日本史④
	●	実力確認テスト：数的③
	●	▽ 社会⑯－経済④
		演習：民法②
	◆	マクロ経済学⑧
	□	社会学④
	●	▽ 人文⑩－日本史⑤
	●	▽ 社会⑰－経済⑤
	●	論文①
	◆	行政法①
	◆	マクロ経済学⑨
	□	社会学⑤
	●	▽ 人文⑪－地理①
	●	演習：社会－経済
	●	論文②
	◆	行政法②
	◆	マクロ経済学⑩
	●	▽ 人文⑫－地理②
	●	論文③
	◆	行政法③
	◆	マクロ経済学⑪
	●	▽ 人文⑬－地理③
	□	刑法①
	●	演習：論文
	◆	行政法④
		演習：マクロ経済学②
	●	▽ 人文⑭－地理④
1月	□	刑法②
	□	国際関係①
	◆	行政法⑤
	●	▽ 人文⑮－思想①
	□	刑法③
	□	国際関係②
		演習：行政法①
	●	▽ 人文⑯－思想②
	□	刑法④
	□	国際関係③
	◆	行政法⑥
	●	▽ 人文⑰－文化史
	□	刑法⑤
	□	国際関係④
	◆	行政法⑦
	●	演習：人文科学
	□	労働法①
		記述：法律
	□	労働法②
		記述：政治
	◆	行政法⑧
	◆	財政学①
	□	労働法③
	◆	行政法⑨
	◆	財政学②
	□	労働法④
	◆	行政法⑩
	◆	財政学③
		演習：行政法②
	◆	財政学④
	□	社会政策①
	◆	財政学⑤
	□	社会政策②
	◆	財政学⑥
3月	□	社会政策③
		演習：財政学
	□	社会政策④
	●	時事：国際事情
4月	●	時事：社会事情①
	●	時事：社会事情②
	●	時事：経済史・経済事情①
	●	時事：経済史・経済事情②

モデルカリキュラム③（学習期間：約8ヶ月）

月	種別	講義名
8月	●	オリエンテーション
	◆	憲法①
	◆	憲法②
	◆	憲法③
	◆	憲法④
	●	数的①－数的推理①
	◆	憲法⑤
	●	数的②－数的推理②
	◆	憲法⑥
	●	数的③－数的推理③
	●	数的④－数的推理④
	●	数的⑤－数的推理⑤
	◆	ミクロ経済学①
	◆	ミクロ経済学②
		演習：憲法①
	◆	ミクロ経済学③
	●	演習：数的処理①
	◆	憲法⑦
	◆	ミクロ経済学④
	◆	政治学①
	◆	憲法⑧
	◆	ミクロ経済学⑤
	◆	政治学②
	●	自然①－数学①
	◆	憲法⑨
	◆	ミクロ経済学⑥
	◆	政治学③
	●	自然②－数学②
		演習：憲法②
	●	社会①－政治社会①
		演習：ミクロ経済学①
	◆	政治学④
9月	●	自然③－数学③
	●	文章理解①
	●	社会②－政治社会②
	●	数的⑥－判断推理①
	◆	ミクロ経済学⑦
	◆	政治学⑤
	●	自然④－物理①
	●	文章理解②
	●	社会③－政治社会③
	●	数的⑦－判断推理②
	◆	民法①
	◆	ミクロ経済学⑧
	◆	政治学⑥
	●	自然⑤－物理②
	●	文章理解③
	●	社会④－政治社会④
	●	数的⑧－判断推理③
	◆	民法②
	◆	ミクロ経済学⑨
	◆	政治学⑦
	●	自然⑥－物理③
	●	演習：文章理解①
	●	社会⑤－政治社会⑤
	●	数的⑨－判断推理④
	◆	民法③
	◆	ミクロ経済学⑩
		演習：政治学①
	●	自然⑦－化学①
	●	社会⑥－政治社会⑥
	●	数的⑩－判断推理⑤
10月	◆	民法④
	◆	ミクロ経済学⑪
	●	自然⑧－化学②
	●	社会⑦－政治社会⑦
	◆	民法⑤
	◆	ミクロ経済学⑫

種別●：教養科目
種別◆：基本講義

教養本科生は●のみ受講
多くの試験で最重要の科目

月	種別	講義名
10月	●	自然⑨－化学③
	●	演習：社会－政治社会
	●	演習：数的処理②
	●	社会⑧－法律①
	◆	民法⑥
		演習：ミクロ経済学②
	●	自然⑩－生物①
	□	行政学①
	●	人文①－世界史①
	●	社会⑨－法律②
	●	社会⑩－法律③
	◆	民法⑦
	●	自然⑪－生物②
	□	行政学②
	●	人文②－世界史②
11月	□	経営学①
	●	数的⑪－空間把握①
	●	社会⑪－法律④
		演習：民法①
	◆	マクロ経済学①
	●	自然⑫－生物③
	□	行政学③
	●	人文③－世界史③
	□	経営学②
	●	数的⑫－空間把握②
	●	社会⑫－法律⑤
	◆	民法⑧
	◆	マクロ経済学②
	●	自然⑬－地学①
	□	行政学④
12月	●	人文④－世界史④
	□	経営学③
	●	数的⑬－空間把握③
	●	演習：社会－法律
	◆	民法⑨
	◆	マクロ経済学③
	●	自然⑭－地学②
	□	行政学⑤
	●	人文⑤－世界史⑤
	□	経営学④
	●	数的⑭－資料解釈①
	◆	民法⑩
	◆	マクロ経済学④
	●	自然⑮－地学③
	□	行政学⑥
12月	●	人文⑥－日本史①
	□	経営学⑤
	●	数的⑮－資料解釈②
	◆	民法⑪
	◆	マクロ経済学⑤
	●	数的⑯－資料解釈③
	●	社会⑬－経済①
	◆	民法⑫
	◆	マクロ経済学⑥
	●	演習：自然科学
	□	社会学①
	●	人文⑦－日本史②
	●	実力確認テスト：数的①
	●	社会⑭－経済②
	◆	民法⑬
12月		演習：マクロ経済学①
	□	社会学②
	●	人文⑧－日本史③
	●	実力確認テスト：数的②
	●	社会⑮－経済③
	◆	民法⑭
	◆	マクロ経済学⑦
	□	社会学③

種別▽：一般知識（教養）受験試験に応じて選択
種別□：選択講義（専門）受験試験に応じて選択

月	種別	講義名
1月	●	人文⑨－日本史④
	●	実力確認テスト：数的③
	●	社会⑯－経済④
	●	演習：民法②
	◆	マクロ経済学⑧
	□	社会学④
	●	人文⑩－日本史⑤
	●	社会⑰－経済⑤
	●	論文①
	◆	行政法①
	◆	マクロ経済学⑨
	□	社会学⑤
	●	人文⑪－地理①
	●	演習：社会－経済
	●	論文②
	◆	行政法②
	◆	マクロ経済学⑩
	●	人文⑫－地理②
	●	論文③
	◆	行政法③
	◆	マクロ経済学⑪
	●	人文⑬－地理③
	□	刑法①
	●	演習：論文
	◆	行政法④
		演習：マクロ経済学②
	●	人文⑭－地理④
	□	刑法②
	□	国際関係①
	◆	行政法⑤
2月	●	人文⑮－思想①
	□	刑法③
	□	国際関係②
		演習：行政法①
	●	人文⑯－思想②
	□	刑法④
	□	国際関係③
	◆	行政法⑥
	●	人文⑰－文化史
	□	刑法⑤
	□	国際関係④
	◆	行政法⑦
	●	演習：人文科学
	□	労働法①
		記述：法律
3月	□	労働法②
		記述：政治
	◆	行政法⑧
	◆	財政学①
	□	労働法③
	◆	行政法⑨
	◆	財政学②
	□	労働法④
	◆	行政法⑩
	◆	財政学③
		演習：行政法②
	◆	財政学④
		記述：経済
	□	社会政策①
	◆	財政学⑤
4月	□	社会政策②
	◆	財政学⑥
	□	社会政策③
		演習：財政学
	□	社会政策④
	●	時事：国際事情
	●	時事：社会事情①
	●	時事：社会事情②
	●	時事：経済史・経済事情①
	●	時事：経済史・経済事情②

モデルカリキュラム④（学習期間：約6ヶ月）

月	種別	講義名
10月	●	オリエンテーション
	◆	憲法①
	◆	憲法②
	◆	憲法③
	◆	憲法④
	●	◆ 数的①－数的推理①
	◆	憲法⑤
	●	◆ 数的②－数的推理②
	◆	憲法⑥
	●	◆ 数的③－数的推理③
	●	◆ 数的④－数的推理④
	●	◆ 数的⑤－数的推理⑤
	◆	ミクロ経済学①
	◆	ミクロ経済学②
		演習：憲法①
	◆	ミクロ経済学③
		演習：数的処理①
	◆	憲法⑦
	◆	ミクロ経済学④
	◆	政治学①
	◆	憲法⑧
	◆	ミクロ経済学⑤
	◆	政治学②
	●	▽ 自然①－数学①
	◆	憲法⑨
	◆	ミクロ経済学⑥
	◆	政治学③
	●	▽ 自然②－数学②
		演習：憲法②
	●	▽ 社会①－政治社会①
		演習：ミクロ経済学①
	◆	政治学④
	●	▽ 自然③－数学③
	●	◆ 文章理解①
	●	▽ 社会②－政治社会②
	●	◆ 数的⑥－判断推理①
	◆	ミクロ経済学⑦
	◆	政治学⑤
	●	▽ 自然④－物理①
	●	◆ 文章理解②
	●	▽ 社会③－政治社会③
	●	◆ 数的⑦－判断推理②
	◆	民法①
	◆	ミクロ経済学⑧
	◆	政治学⑥
	●	▽ 自然⑤－物理②
	●	◆ 文章理解③
	●	▽ 社会④－政治社会④
	●	◆ 数的⑧－判断推理③
	◆	民法②
	◆	ミクロ経済学⑨
	◆	政治学⑦
	●	▽ 自然⑥－物理③
	●	演習：文章理解①
	●	▽ 社会⑤－政治社会⑤
	●	◆ 数的⑨－判断推理④
	◆	民法③
	◆	ミクロ経済学⑩
		演習：政治学①
	●	▽ 自然⑦－化学①
	●	▽ 社会⑥－政治社会⑥
	●	◆ 数的⑩－判断推理⑤
	◆	民法④
	◆	ミクロ経済学⑪
	●	▽ 自然⑧－化学②
	●	▽ 社会⑦－政治社会⑦
	◆	民法⑤
	◆	ミクロ経済学⑫
種別●：教養科目 種別◆：基本講義		
教養本科生は●のみ受講 多くの試験で最重要の科目		

月	種別	講義名
12月	●	▽ 自然⑨－化学③
	●	演習：社会－政治社会
	●	演習：数的処理②
	●	▽ 社会⑧－法律①
	◆	民法⑥
		演習：ミクロ経済学②
	●	▽ 自然⑩－生物①
	□	行政学①
	●	▽ 人文①－世界史①
	●	▽ 社会⑨－法律②
	●	▽ 社会⑩－法律③
	◆	民法⑦
	●	▽ 自然⑪－生物②
	□	行政学②
	●	▽ 人文②－世界史②
	□	経営学①
	●	◆ 数的⑪－空間把握①
	●	▽ 社会⑪－法律④
		演習：民法①
	◆	マクロ経済学①
	●	▽ 自然⑫－生物③
	□	行政学③
	●	▽ 人文③－世界史③
	□	経営学②
	●	◆ 数的⑫－空間把握②
	●	▽ 社会⑫－法律⑤
	◆	民法⑧
	◆	マクロ経済学②
	●	▽ 自然⑬－地学①
	□	行政学④
	●	▽ 人文④－世界史④
	□	経営学③
	●	◆ 数的⑬－空間把握③
	●	演習：社会－法律
	◆	民法⑨
	◆	マクロ経済学③
	●	▽ 自然⑭－地学②
	□	行政学⑤
	●	▽ 人文⑤－世界史⑤
	□	経営学④
	●	◆ 数的⑭－資料解釈①
	◆	民法⑩
	◆	マクロ経済学④
	●	▽ 自然⑮－地学③
	□	行政学⑥
	●	▽ 人文⑥－日本史①
	□	経営学⑤
	●	◆ 数的⑮－資料解釈②
	◆	民法⑪
	◆	マクロ経済学⑤
	●	◆ 数的⑯－資料解釈③
	●	▽ 社会⑬－経済①
	◆	民法⑫
	◆	マクロ経済学⑥
	●	演習：自然科学
	□	社会学①
	●	▽ 人文⑦－日本史②
	●	実力確認テスト：数的①
	●	▽ 社会⑭－経済②
	◆	民法⑬
		演習：マクロ経済学①
	□	社会学②
	●	▽ 人文⑧－日本史③
	●	実力確認テスト：数的②
	●	▽ 社会⑮－経済③
	◆	民法⑫
	◆	マクロ経済学⑦
	□	社会学③
種別▽：一般知識（教養）受験試験に応じて選択 種別□：選択講義（専門）受験試験に応じて選択		

月	種別	講義名
2月	●	▽ 人文⑨－日本史④
	●	実力確認テスト：数的③
	●	▽ 社会⑯－経済④
		演習：民法②
	◆	マクロ経済学⑧
	□	社会学④
	●	▽ 人文⑩－日本史⑤
	●	▽ 社会⑰－経済⑤
	●	論文①
	◆	行政法①
	◆	マクロ経済学⑨
	□	社会学⑤
	●	▽ 人文⑪－地理①
	●	演習：社会－経済
	●	論文②
	◆	行政法②
	◆	マクロ経済学⑩
	●	▽ 人文⑫－地理②
	●	論文③
	◆	行政法③
	◆	マクロ経済学⑪
	●	▽ 人文⑬－地理③
	□	刑法①
	●	演習：論文
	◆	行政法④
		演習：マクロ経済学②
	●	▽ 人文⑭－地理④
	□	刑法②
	□	国際関係①
	◆	行政法⑤
	●	▽ 人文⑮－思想①
	□	刑法③
	□	国際関係②
		演習：行政法①
	●	▽ 人文⑯－思想②
	□	刑法④
	□	国際関係③
	◆	行政法⑥
	●	▽ 人文⑰－文化史
	□	刑法⑤
	□	国際関係④
	◆	行政法⑦
	●	演習：人文科学
	□	労働法①
		記述：法律
	□	労働法②
		記述：政治
	◆	行政法⑧
	◆	財政学①
	□	労働法③
	◆	行政法⑨
	◆	財政学②
	□	労働法④
	◆	行政法⑩
	◆	財政学③
		演習：行政法②
	◆	財政学④
		記述：経済
	□	社会政策①
	◆	財政学⑤
	□	社会政策②
	◆	財政学⑥
	□	社会政策③
		演習：財政学
	□	社会政策④
	●	時事：国際事情
	●	時事：社会事情①
	●	時事：社会事情②
	●	時事：経済史・経済事情①
	●	時事：経済史・経済事情②
4月		

2 筆記試験対策

教養科目対策

⑧一般知能分野

<数的処理>

数的推理	数的推理は、数学より算数のイメージを持っておくとよいでしょう。しかし、単に方程式を解けというものではなく、文章を読み込み、そこから方程式を作っていくことが求められ、この部分に多くの時間を割いて学習していかなければなりません。また、やや数学的な内容として、場合の数、確率、図形などの内容も出題されます。特に、確率、図形は、いろいろな試験種で、少なくとも1題ずつは出題されているのが現状です。
判断推理	判断推理は、言葉のパズルというイメージを持っておくとよいでしょう。複数の条件を組立てて、確実にいえることを判断していきます。具体的には、命題、対応、順序、位置などが挙げられます。また、複数人の発言をもとに嘘を言っている人を決めるなどの嘘つき問題なども有名です。一方で、集合や数量推理のような数値を伴う問題もあります。
空間把握	空間把握は、図形の問題です。長さ、面積などを求めるケースもありますが、多くは、図形の形状、見え方、個数などと求める内容は単純です。しかし、見えていない部分を判断することや実際に折ったり、切ったりする操作が伴い、平面上での確認は難しいです。想像で解けるなら一番よいのですが、なかなかそうはいかない問題が多く、そのために、他の分野以上に、解き方には様々なテクニックが必要となります。
資料解釈	資料解釈は、統計資料を読み、数値計算をすることで正解肢を見つけていく問題です。数値の判断は、殆どが、「大小を比べる」、「ある値を超えるか超えないか」であり、正確な計算よりは、大まかに計算して判断することが求められます。資料の種類もさまざまあり、実数、指数、総量と構成比、増加率などを扱ったものがあり、さまざまな資料に対応しておく必要があります。

<文章理解>

現代文	現代文は、600字～1200字程度の文章の読解に関する問題が出題されます。一般的な長文読解に加えて、空欄補充や文章整序なども出題されます。出題数が多いので、まとまった文章を2～3分で正確にいくつも読みこなす力を養うことが重要です。そのためにはなるべく多くの問題を解き、文章を読むことに慣れましょう。一度解いたことのある問題を2～3回繰り返し解くことも効果的です。
英文	英文は、200語～500語程度の英文の読解問題が中心に出題されます。難しい単語や細かな文法にはこだわらず、文章全体の流れや、選択肢と関わる本文の箇所の内容をしっかりと読めるようにしましょう。大学入試初級～中級の単語をマスターすることを目標とするとよいです。英語が苦手な人は、短い本文の問題から少しずつ始めて基礎力を身につけてから、長い本文の問題に挑戦するとよいでしょう。

⑧一般知識分野

人文科学	科目ごとの出題数はそれほど多くはありませんが、一般知識分野の中で最も学習範囲が広い分野ですので、頻出テーマに絞って効率的な学習を心がける必要があります。暗記科目ではありますが、ストーリーを意識しながら学習することをおすすめします。また、世界史と日本史の知識が政治系科目と関連しているため、学習することで相乗効果が期待できます。
自然科学	文系の受講生を中心に苦手意識を持ちやすい科目ですが、頻出テーマを薄く広く学習すること、また、暗記科目である化学・生物・地学など、知識だけで解ける科目は力を入れて学習するなど工夫しながら学習することをおすすめします。
社会科学	専門科目の法律系・経済系・政治系の基本的な知識が問われるのが、社会科学です。したがって、専門試験の学習をすることで、教養（基礎能力）試験の社会科学の問題にも十分に対応できるといえますので、専門科目の学習をしっかりと学習することをおすすめします。

	なお、専門科目が含まれていない本科生の場合は、教養試験の科目の中でも出題数の多い分野ですので、力を入れて学習しておくことをおすすめします。
時 事	主に本試験の1年前～直前までに話題になったニュースや白書を元にした問題が、択一試験はもちろん論文試験、面接試験および集団討論でも問われます。講義自体は受験年の3月以降に実施しますが、普段から新聞やニュースに興味を持ち、話題になっている社会問題などに触れておくと、効率的に学習を進めることができます。

専門科目対策（行政事務職）

㊦ 法律系科目

憲 法	憲法は、国家権力のルールを定めています。そして、①人権と②統治（政治システム）から出題されます。出題数は、およそ半々です。出題内容は、①人権では最高裁判例、②統治（政治システム）では憲法の条文からの出題が中心です。憲法は、政治経済等でなじみのある科目であり、とっつきやすい科目です。分量も、民法や行政法に比べると少なく済みます。また、過去問が繰り返し出題されていますので、過去問演習をしっかりとこなせば、高得点が期待できます。合格者にとって憲法は得意科目にしてあたり前といっても過言でありません。是非、得意科目にしましょう。
民 法	民法は、市民の法として、財産と家族に関するルールを定めています。そして、①財産法（総則・物権・債権）②家族法（親族・相続）から出題されます。出題数は、①財産法から8割程度、②家族法から2割程度で、①財産法が圧倒的に出題されます。出題内容としては、①条文②判例からの出題が中心となります。民法は、財産と家族に関するルールであり、日常的なものでもあり、具体的なイメージはつかみやすいといえます。しかし、1050条も条文があることが示す通り、その膨大な分量が、立ちばかりです。そのため、公務員試験の中でも、もっとも対策の難しい科目の一つといわれます。しかし、合格者も多くが不得意科目としているわけですから、悲観する必要はありません。基本的な条文・判例を中心に学習すれば十分合格ラインに達しますので、あまり瑣末な条文・判例にとらわれないようにしましょう。
行 政 法	行政法は、行政に関するルールを定めています。しかし、「行政法」という名の法律はありません。行政に関する法律全般を、行政法として学習します。そして、①組織法②作用法③救済法から出題されます。出題数は①組織法から1割程度、②作用法から4割程度、③救済法から5割程度の出題です。出題内容としては、①行政法の内容・用語②条文③判例の出題が中心です。行政法は、行政に関するルールなので、なじみの薄い法律であり、具体的なイメージがつかみにくいのが特徴です。また、行政に関する法律全般を学者が整理分類しているので、理論的な側面が強い科目でもあります。そのため、苦手にする受験生が比較的多い科目です。しかし、過去問の焼き直しが非常によく出るので、過去問をしっかりとこなせば、高得点が期待できます。過去問中心の学習で、得意科目になるよう頑張りましょう。
刑 法	刑法は、犯罪と刑罰に関するルールです。そして、①総論：犯罪の一般的成立要件②各論：殺人罪等の個別の犯罪類型について定めています。①総論②各論からの出題数は、およそ半々です。出題内容としては、①判例②条文からの出題が中心です。刑法は、犯罪についてのルールなので、ドラマや映画等でおなじみであり、具体的なイメージはつかみやすい法律です。しかし、非常に理論的な科目であり、学説が倒錯し、さらに分量も多いため、攻略が難しい法律でもあります。そこで、理論的な問題にはあまり深入りせずに、判例・条文中心の学習で、効率的な学習を心がけましょう。

労働法	労働法は、労働者と使用者（会社）に関するルールです。①個別的労働関係と②集团的労働関係から出題されます。出題数は、①個別的労働関係からの出題が比較的多いです。出題内容としては、①条文からの出題が中心で、②判例の出題もあります。労働法は、アルバイトや働いた経験があれば、具体的なイメージはつかみやすい法律です。しかも、単純記憶で解ける出題が多いので、比較的攻略しやすい科目です。マイナー科目は、捨て科目にしてしまいがちですが、しっかり得点源にすべき科目といえます。
商法	商法は、商人についてのルールです。①商法総則②会社法③手形小切手法から出題されます。出題数は、②会社法からの出題が圧倒的に多いです。出題内容としては、①条文からの出題が中心です。商法は、なじみの薄い法律でもあり、具体的なイメージをつかみづらい法律です。しかも、条文数が膨大であり、攻略の難しい科目です。マイナー科目でもありますので、あまり入れ込まずに、頻出分野に絞って学習すべき科目といえます。

㊦経済系科目

ミクロ・マクロ 経済学 (経済原論)	ミクロ経済学分野は生産者理論、消費者理論、市場理論、貿易論等からなり、マクロ経済学分野は、国民経済計算(統計)、財市場理論、貨幣市場理論、労働市場理論、経済成長論等から構成されています。概ね基本的な知識・理解を問うものや、定型的な計算問題が出題されているので、学習方針としては、経済用語の定義を理解することと、計算問題の繰り返し演習を行うことで解法を整理しておくことが重要となります。
財政学	財政学は、国家・地方の税財政制度の内容や時事データに関する基本的な知識・理解を問うもの、財政にまつわる諸学説・理論に関する問題が出題されます。学習方針としては、基本的な税・財政制度、時事データ、諸学説・理論を整理することが大事なのですが、むやみに内容を暗記するのではなく、時代背景やデータの趨勢(傾向)をとらえて整理するように心がけることで効率よく得点できるようになります。
経済史・経済 事情	経済史は、概ね第2次大戦以降の戦後復興期からバブル経済崩壊までの内容が出題され、国際通貨体制や為替相場制度の変遷、高度成長期の景気拡大要因、プラザ合意以降の経済・財政情勢等が頻出テーマとなっています。また、経済事情は白書等で掲載されているマクロ指標、トピック等が中心に出題されています。対策としては時代背景やデータの趨勢(傾向)をとらえて整理するように心がけることで効率よく得点できるようになります。

㊦政治系科目

政治学	政治学では、①各国の政治制度、②政治思想、③政治過程（選挙、政党、利益団体）などの分野が主に試験されます。政治現象全体を対象とする学問であるため、範囲も広く覚えるべき事項が非常に多いことが特徴です。また、いわゆる政治系科目の基礎となる科目であり、教養科目の歴史や思想とも重複する部分も多くあります。したがって、勘所をつかみ、効率よく暗記を進めていくことが重要になります。
行政学	行政学とは、簡単に言えば「行政組織の運営方法」について研究する学問であり、国や地方の行政組織の実態やその理論などについて幅広く試験されます。政治学よりは暗記すべき事項は少なくなりますが、行政の最近の動向や変化について時事的な観点からの出題も多く見られるため、時事対策などと併せて学習しておくことが重要になります。
社会学	社会学では、社会学者の学説（社会学説史）と、社会変動・社会集団・家族・都市等の分野ごとの学説、社会調査法等が出題されます。学者や分野ごとの学説については人名やキーワード等をたくさん覚えることが必要になりますが、それぞれの学説の意味・理由を考えつつ、重複する部分が多い政治学・行政学・思想と併せて学習すると効率よく覚えられます。
経営学	経営学では、経営管理學説、経営組織論、経営戦略論などが試験されます。出題内容としては平易で、内容理解の難易度が高い科目ではありません。しかし、学習範囲が多岐にわたるため、薄く広いタイプの学習が必要な科目です。研究者名と内容との対応や経営用語の意義を覚えていく必要があります。

国 際 関 係	国際関係は範囲が広く難しいとされています。近代・現代における国際政治史や、日本外交史、国際経済国際機構、条約、国際関係理論、地域紛争が主な出題範囲なので多岐に渡るように見えます。もともと様々な分野が集まった学際的な分野ですから当然なのですが、そこまで心配することはありません。まずは人文科学の知識を基礎に、国内社会とは違う国際社会の仕組みを理解することが重要です。
社 会 政 策	社会政策は、社会問題（特に貧困問題）の解決を志向する学問であり、労働経済と社会保障に大別されます。社会学・財政学・労働法・経営学・政治学等、様々な科目と関連しているため、他の専門科目の学習後に取り組んだ方が理解しやすいです。「社会政策」という題目での出題は地方上級試験だけですが、実際は様々な科目で社会政策の内容は出題されていますし、論文対策にもつながります。
社 会 事 情	社会事情では、出題範囲が明確な経済事情・国際事情以外の時事的な内容を扱います。たとえば、司法・政治行政・科学技術・防災・エネルギー・環境・消費者・農林漁業・労働経済・社会保障・教育等です。これらの知識を網羅するのは困難ですが、勘所を押さえて学習すれば対応できることが多いですし、その出来事や数値自体を知らなくても解けるように出題されていることもあります。

㊦ 会計系科目

会 計 学	会計学では、会計基準に関する問題が出題されます。簿記の仕訳問題や計算問題が出題されることもあります。会計学を理解する上では、前提として、簿記3級レベルの知識が必要となります。会計学は、学習には時間がかかりますが、出題範囲が明確で、過去問と類似の問題が多いので、まじめに学習すれば比較的得点はしやすい科目といえます。



学習の順番とメリハリ付けを大切にしよう！

専門科目は、学習すべき科目数が大変多いことから、すべての科目を完璧にすることは、限られた時間の中で合格レベルを目指す受講生にとって、事実上不可能に近いです。そこで大切なのは、学習の順番とメリハリです。例えば、法律系科目の民法は憲法のあとに、経済系科目のマクロ経済学はミクロ経済学の後に学習すると学習がしやすいなど、学習するうえでの望ましい順番が存在します。また、試験種により出題科目や科目ごとの出題数が異なりますので、特に選択講義を学習する際は、志望先での出題内容を確認のうえ、各科目の重要度に応じた学習をするように心がけましょう。

選択講義の選択方法については、試験対策ゼミなどでもご案内予定です。

論文対策

① 論文対策講義を受講する

択一試験対策同様に、論文試験対策の最初の一步は、講義からです。まずは、3回の講義で文章の書き方、答案構成の練り方、頻出&出題予想テーマなどを学んでください。



② 演習を受ける(論文を書き答案添削を受ける)

講義を受講したら、演習を受け、実際に自分で論文を書く練習をしましょう。また、添削課題を利用し、積極的に答案添削を受けてください。論文がうまく書けているかどうかは、誰かに見てもらわないとわかりませんので論文を書いたらその都度、答案添削を受けましょう。



③ 添削の評価やアドバイス・指摘を参考に書き直す

提出した答案は、後日総合評価(5段階)とアドバイスが書かれた状態で返却されます。各テーマについて、安定的によい評価が得られる力を付けることを目標に取り組み、自分なりの型(論文の書き方)を構築していきましょう。

専門記述対策

① 基本講義・選択講義を受講する

専門記述対策の各講義は、各科目の択一試験対策を終えていることを前提とした講義ですので、専門記述の講義を受講する前に、ひととおりの学習を終えてください。

② 専門記述対策講義を受講する

専門記述対策講義では、出題予想テーマやテーマごとの答案構成や必要なキーワードなどを解説します。

③ 答案を書き、添削を受ける

論文試験同様に、専門記述の答案についても本科生は何度でも答案添削を受けられます。出題が予想されるテーマは答案添削を受けたり答案構成をストックしたりすることで、答案作成力を養成していきましょう。

3 人物試験対策

事前準備

・ 面接対策講義／官庁訪問対策講義

本格的な面接対策は、面接対策講義からスタートします。公務員試験の面接試験は、主に志望理由と自己PRに関する質問が問われる一般的な就職面接ですが、決して油断はできません。まずは講義を受講して、ひととおりの面接のマナー・面接カードの書き方・よくある質問への対応方法などを学んでください。また、面接対策講義は基本講義同様にクラス重複出席フォローがご利用いただけます。

<講義内容例>

面接のマナー、自己分析の方法、志望動機の組み立て方、面接カードの書き方、試験種ごとの傾向と対策、よくある質問への対応方法 など

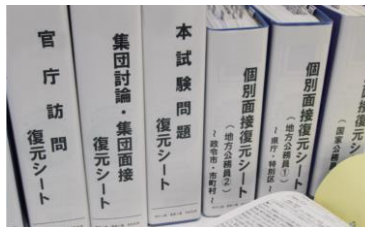


情報収集

・ 面接復元シート／面接対策・官庁訪問対策テキスト

面接／官庁訪問対策テキストには、面接復元シートも掲載されていますので、想定問答を練る際に参考にしてください。

また、TACの本科生はTAC各校受付にて**面接復元シートを自由に閲覧することができます**。復元シートには、面接の質問内容、雰囲気、時間、集団討論のテーマなどが詳細に記載されています。また、復元シートは全国のTAC校舎で情報を共有していますので、どこの校舎でも全国の公務員試験の情報を見ることができます。

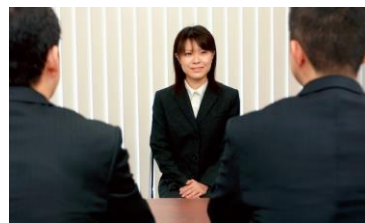


実践練習

・ 模擬面接／模擬集団面接／模擬集団討論

講義を受講して必要な知識をINPUTした後は、繰り返しの実践練習を通じて、**面接そのものに慣れる**ことはもちろん、ご自身の想定問答などを**ブラッシュアップ**しましょう。TACの本科生は、模擬面接を何度でも受けられます。また、模擬面接は面接復元シートを参考にしながら、志望先の傾向に合わせた質問で行いますので、的を射た対策ができます。

模擬面接を受ける際は、毎回**自分なりのテーマ・課題を持って臨み**、**面接官のアドバイスなどを1つ1つ自分のものにしていくことが大切です**。繰り返しの実践練習を通じて、合格レベルを目指して行ってください。



まずは筆記試験対策を万全に！

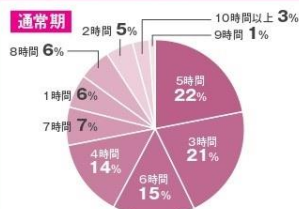
近年、人物試験の重要度が高まる傾向にありますが、ほとんどの公務員試験においては、人物試験を受験できるのは、筆記試験合格者のみです。つまり、人物試験重視とはいえ、まずは筆記試験対策を十分に講じる必要があります。もちろん、人物試験を見据えて各自治体・官公庁の説明会や採用関連イベントに参加しておくことは必要です。合格者の多くは、筆記試験対策中にある程度の情報収集はしていますが、本格的な対策は1次試験終了後から始めていますので、まずは筆記試験対策に多くの時間を費やすことをおすすめします。

合格者 DATA BOOK

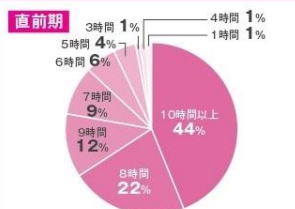
TAC合格者アンケート

2021年公務員試験合格者によるアンケートを実施しました。今後の学習にお役立てください。

Q1 1日あたりの平均学習時間はどれくらいですか？（TACの講義時間含む）

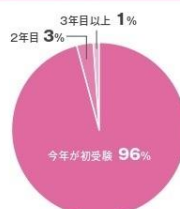


通常期の平均学習時間は5時間と答えた方が22%で1位。次いで3時間・6時間となりました。ちなみに全回答者の平均は4.7時間でした。



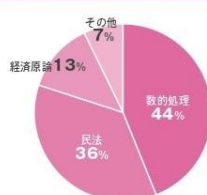
直前期になると、平均学習時間は大幅に伸び、10時間以上と答えた方が44%で半分近くを占めました。また、全回答者の平均は8.8時間で、通常期の約2倍近くとなりました。

Q2 受験回数は何回目ですか？



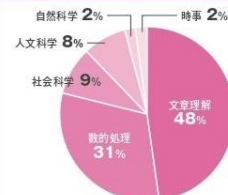
はじめての受験で合格したという方が96%となりました。予備校を活用することで、今回の受験で一発合格を目指すことが可能と言えるでしょう。

Q3 最も力を入れた科目は何ですか？



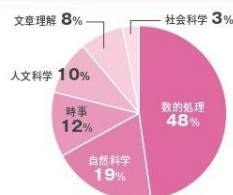
力を入れた科目では、数的処理・民法・経済原論の3科目で90%以上を占めています。これらの科目はいずれも、暗記よりも理解が重要で、予備校生と独学生とは最も差のつく科目です。

Q4 教養試験の得意科目は何ですか？



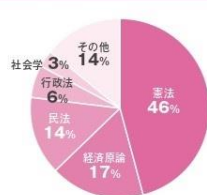
行政事務職を受験される方は文系の方が多いため、文章理解を得意科目とされる方が多いですが、苦手としやすい数的処理を日々の学習で克服して得意科目としている方も多いようです。

Q5 教養試験の不得意科目は何ですか？



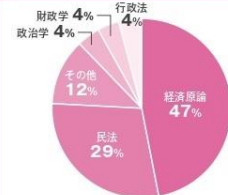
不得意科目の上位は、やはり文系の方の多くが苦手とする数的処理や自然科学といった理系分野の科目でした。つまり、この2分野を克服することが合格へのポイントとなります。

Q6 専門試験の得意科目は何ですか？



専門試験の得意科目は憲法が46%で1位、経済原論が17%で2位となりました。経済原論はTACで学習をはじめてから得意とされた方が多くいらっしゃるようです。

Q7 専門試験の不得意科目は何ですか？



専門試験の不得意科目は、経済原論が47%で1位、民法が29%で2位となりました。いずれも重要な科目ですので、ぜひ克服していただきたいところです。

アンケート対象者

TAC公務員講座本科生
2021年度公務員試験 合格者

アンケート回答者数

297名

※アンケートの数値は小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がございます。



第4章

公務員試験の実施日程・実施状況

試験日程一覧（令和3年度）

・ 地方上級（都道府県）

自治体名	試験区分	分野など	受験申込 ※主にインターネット	1次試験		2次試験以降	最終合格 発表
				実施日	合格発表		
北海道	一般行政A(第1回)	—	3/24(水)～4/2(金)	5/16(日)	6/4(金)	7月上旬～下旬	8月中旬
青森県	行政	—	5/7(金)～5/26(水)	6/20(日)	6/28(月)	7/12(月)～7/20(火)	8/10(火)
岩手県	一般行政A	—	5/6(木)～5/21(金)	6/20(日)	6/25(金)	7/1(木)～8/2(月)	8/11(水)
宮城県	行政	—	5/7(金)～5/28(金)	6/20(日)	7/1(木)	7/16(金)～7/30(金)	8月中旬
秋田県	行政A	—	5/6(木)～5/21(金)	6/20(日)	6月下旬	7/13(火)～8/10(火)	8月下旬
山形県	行政	—	5/7(金)～5/27(木)	6/20(日)	6/28(月)	7/2(金)～7/30(金)	8月上旬
福島県	行政事務	—	4/16(金)～5/21(金)	6/20(日)	6/30(水)	7/8(木)～8/6(金)	8/18(水)
茨城県	事務(知事部局等)	—	4/28(水)～5/19(水)	6/20(日)	6/29(火)	7/12(月)～8/24(火)	8/31(火)
栃木県	行政	—	4/23(金)～5/14(金)	6/20(日)	7/1(木)	7/13(火)～8/6(金)	8/20(金)
群馬県	行政事務	—	5/6(木)～5/21(金)	6/20(日)	7/2(金)	7/12(月)～8/20(金)	9/3(金)
埼玉県	一般行政	—	5/7(金)～5/17(月)	6/20(日)	6/29(火)	7/12(月)～8/20(金)	8/31(火)
千葉県	一般行政A・B	—	5/14(金)～5/28(金)	6/20(日)	7/1(木)	7/8(木)～8/10(火)	8月下旬
東京都	I 類 B	一般方式 新方式	4/2(金)～4/8(木)	5/2(日)	6/2(水)	6/15(火)～6/23(水)	7/13(火)
					5/28(金)	6/11(金)～7/8(木)	7/21(水)
神奈川県	行政	—	4/26(月)～5/10(月)	6/20(日)	6/30(水)	7/5(月)～8/17(火)	8/27(金)
新潟県	一般行政	—	5/11(火)～5/31(月)	6/20(日)	6/30(水)	7/9(金)～7/30(金)	8月中旬
富山県	総合行政	—	5/18(火)～5/27(木)	6/20(日)	6/29(火)	7/16(金)～8/6(金)	8/20(金)
石川県	行政	—	5/12(水)～5/31(月)	6/20(日)	7月中旬	7月下旬～8月上旬	8月中旬
福井県	行政	—	5/14(金)～6/1(火)	6/20(日)	7/1(木)	7/22(木)～7/29(木)	8月中下旬
山梨県	行政I	—	5/10(月)～5/25(火)	6/20(日)	6/25(金)	7/4(日)～8/6(金)	8/20(金)
長野県	行政A	—	5/6(木)～5/26(水)	6/20(日)	7/1(木)	7月中旬～8月上旬	8月中旬
岐阜県	行政I	—	4/23(金)～5/17(月)	6/20(日)	6/30(水)	7月中旬～8月中旬	8月下旬
静岡県	行政	—	5/14(金)～5/28(金)	6/20(日)	7/1(木)	7/12(月)～8/13(金)	8月下旬
愛知県	行政I	—	4/21(水)～5/19(水)	6/20(日)	7/2(金)	7/10(土)～8/3(火)	8/16(月)
三重県	行政I	—	5/11(火)～5/31(月)	6/20(日)	7/8(木)	7/17(土)～8/8(日)	8/16(月)
滋賀県	行政	専門試験型	5/10(月)～5/31(月)	6/20(日) 7月上旬	7月中旬	7月下旬～8月上旬	8月中旬
京都府	行政A	—	4/28(水)～5/24(月)	6/20(日)	7/15(木)	7月下旬～8月上旬	8/17(火)
大阪府	行政	大学卒程度	3/1(月)～4/9(金)	5/16(日)	6/8(火)	6/19(金)～8/6(金)	8/19(木)
兵庫県	行政A	—	5/10(月)～5/28(金)	6/20(日)	7/27(火)	7/5(月)～8/20(金)	8/27(金)
奈良県	行政A	—	5/12(水)～5/26(水)	6/20(日)	7/19(月)	7/28(水)～8/16(月)	8/23(月)
和歌山県	一般行政職	通常枠	4/20(火)～5/21(金)	6/20(日)	7/1(木)	7/14(水)～8/13(金)	8/27(金)
鳥取県	事務(一般コース)	—	3/5(金)～5/17(月)	6/20(日)	7/1(木)	7月中旬～8月上旬	8月中旬
島根県	行政A	—	4/23(金)～5/21(金)	6/20(日)	7/14(水)	7/24(土)～7/30(金)	8月中旬
岡山県	行政	—	4/23(金)～5/28(金)	6/20(日)	6/30(水)	7/14(水)～8/18(水)	8/26(木)
広島県	一般事務A	行政	5/13(木)～6/2(水)	6/20(日)	7/2(金)	7/13(火)～8/3(火)	8/11(水)
		法律 経済					
山口県	行政	—	4/30(金)～5/20(木)	6/20(日)	7/1(木)	7/17(土)～7/29(木)	8月中旬
徳島県	行政事務	—	5/10(月)～5/28(金)	6/20(日)	7月上旬	7/16(木)～8/5(水)	7月下旬
香川県	一般行政事務A	—	5/13(木)～5/28(金)	6/20(日)	7/2(金)	7月中旬～8月上旬	8月中下旬
愛媛県	行政事務A	—	5/10(月)～5/28(金)	6/20(日)	7月上旬	7月上旬～8月上旬	8月中旬
高知県	行政	—	4/9(金)～5/21(金)	6/20(日)	7月上旬	7/18(日)～8/8(日)	8月中旬
福岡県	行政	—	5/10(月)～5/21(金)	6/20(日)	6月下旬	7月中	8月上旬
佐賀県	行政	—	5/6(木)～5/24(月)	6/20(日)	6/30(水)	7/12(月)～7/19(月)	8月上旬
長崎県	行政A	一般方式	5/3(月)～5/21(金)	6/20(日)	7/5(月)	7月中旬～8月上旬	8月下旬
熊本県	行政	—	4/22(木)～5/9(日)	6/20(日)	6/25(金)	7/5(月)～7/31(土)	8月上旬
大分県	行政	—	5/6(木)～5/24(月)	6/20(日)	6/29(火)	7/6(火)～8月中旬	8月下旬
宮崎県	一般行政	—	4/26(月)～5/20(木)	6/20(日)	6/25(金)	7/7(水)～7/31(土)	8月中旬
鹿児島県	行政	—	5/6(土)～5/21(金)	6/20(日)	6/29(火)	7/13(火)～7/29(木)	8月中旬
沖縄県	行政I	—	4/23(金)～5/21(金)	6/20(日)	7/1(木)	7月上旬～8月上旬	8月中旬

・ 地方公務員(政令指定都市・特別区)

自治体名	試験区分	分野	受験申込 ※主にインターネット	1次試験		2次試験以降	最終合格 発 表
				実施日	合格発表		
札幌市	一般事務	行政コース	4/27(火)～5/14(金)	6/20(日)	7/9(金)	7月上旬～8月上旬	8月中旬
仙台市	事務	—	4/22(木)～5/19(水)	6/20(日)	7/9(金)	7/21(水)～8月下旬	8/31(火)
さいたま市	行政事務	—	4/26(月)～5/14(金)	6/20(日)	7/1(木)	7月上旬～8月中旬	8月下旬
千葉市	事務	—	5/12(水)～5/25(火)	6/20(日)	7/9(金)	7/9(金)～8/6(金)	8月中下旬
特別区	I類(一般方式)	事務	3/19(金)～4/5(月)	5/2(日)	6/25(金)	7/6(火)～7/16(金)	8/4(水)
横浜市	事務	—	4/13(火)～5/11(火)	6/20(日)	7/6(火)	7/12(月)～8/11(水)	8/23(月)
川崎市	行政事務	—	4/14(水)～5/12(水)	6/20(日)	7/15(木)	7/26(月)～8/13(金)	8/19(木)
相模原市	行政	—	4/15(木)～5/13(木)	6/20(日)	6/24(木)	7/4(日)～8月上旬	8/25(水)
新潟市	一般行政A・B	—	4/26(月)～5/14(金)	6/20(日)	6/30(水)	7/6(火)～8/20(金)	8/27(金)
静岡市	事務A・B	—	4/27(火)～5/18(火)	6/20(日)	7/26(月)	7/31(土)～8/27(金)	9月上旬
浜松市	行政A	—	5/6(木)～5/28(金)	6/20(日)	7月上旬	7月中旬～8月中旬	8月下旬
名古屋市	事務	行政A 行政B	4/22(木)～5/10(月)	6/20(日)	6/30(水)	7/8(木)～8/11(水)	8/17(火)
京都市	一般事務職	行政(一般方式)	5/14(金)～6/1(火)	6/20(日)	7月上旬	7月下旬～8月下旬	9月上旬
大阪市	行政22-25	—	4/7(水)～4/28(水)	6/20(日)	7/8(木)	7/27(火)～7/30(金)	8/11(水)
堺市	大学卒程度(事務)	—	5/10(月)～5/24(月)	6/20(日)	6月下旬	7/11(日)～8/22(日)	8月下旬
神戸市	一般行政	総合事務	4/22(木)～5/21(金)	6/20(日)	7月上旬	7/13(火)～8/13(金)	8月下旬
岡山市	事務(一般枠)	—	4/23(金)～5/14(金)	6/20(日)	7/6(火)	7月中旬～8月下旬	9月上旬～中旬
広島市	行政事務	法律 経済 行政	4/23(金)～5/17(月)	6/20(日)	6/25(金)	7/2(金)～9/7(火)	9/10(金)
北九州市	行政I A	—	4/28(水)～5/17(月)	6/20(日)	7/27(火)	8/1(日)～8/20(金)	8月下旬
福岡市	行政事務	行政	5/6(木)～5/18(火)	6/20(日)	7/15(木)	8月下旬	9月上旬
熊本市	事務職	—	4/16(金)～5/7(金)	6/20(日)	7/13(火)	7/31(土)～8/13(金)	8/27(金)

・ 国家公務員・国立大学法人等

試験種	区分	受験申込 ※主にインターネット	1次試験		2次試験以降	最終合格 発 表
			実施日	合格発表		
国家総合職	大卒程度	3/26(金)～4/5(月)	4/25(日)	5/7(金)	5/23(日)～6/11(金)	6/21(月)
	大卒程度(教養)	7/30(金)～8/23(月)	10/3(日)	10/20(水)	11/18(木)～11/26(金)	12/10(金)
	院卒者	3/26(金)～4/5(月)	4/25(日)	5/7(金)	5/23(日)～6/11(金)	6/21(月)
	院卒者(法務)	9/7(火)～9/14(火)	10/3(日)	10/12(火)	10/14(木)～10/15(金)	10/22(金)
国家一般職(大卒)	共通	4/2(金)～4/14(水)	6/13(日)	7/7(水)	7/14(水)～8/2(月)	8/17(火)
法務省専門職員(人間科学)	—	3/26(金)～4/7(水)	6/6(日)	6/29(火)	7/5(月)～7/8(木)	8/17(火)
国税専門官	—	3/26(金)～4/7(水)	6/6(日)	6/29(火)	7/5(月)～7/16(金)	8/17(火)
財務専門官	—	3/26(金)～4/7(水)	6/6(日)	6/29(火)	7/5(月)～7/7(水)	8/17(火)
労働基準監督官	共通	3/26(金)～4/7(水)	6/6(日)	6/29(火)	7/13(火)～7/15(木)	8/17(火)
食品衛生監視員	—	3/26(金)～4/7(水)	6/6(日)	7/7(水)	7/14(水)～7/21(水)	8/17(火)
航空管制官	—	3/26(金)～4/7(水)	6/6(日)	6/29(火)	7/7(水)～8/27(金)	10/4(月)
裁判所総合職	裁判所事務官 家庭裁判所調査官補	4/1(木)～4/9(金)	5/8(土)	5/27(木)	6/5(土)～7/9(金)	7/30(金)
裁判所一般職	大卒程度	—	—	—	6/5(土)～6/23(水)	7/9(金)
衆議院事務局職員	総合職	3/26(金)～4/5(月)	4/29(木)	5/12(水)	5/31(月)～6/25(火)	7月下旬
参議院事務局職員	一般職(大卒)	3/26(金)～4/5(月)	5/15(土)	5/21(金)	6/12(土)～7/16(金)	9月上旬
参議院事務局職員	総合職(大卒)	3/1(月)～4/9(金)	5/1(土)	5/7(金)	5/18(火)～7月上旬	7/30(金)
国立国会図書館	大卒程度	3/22(月)～4/7(水)	5/9(日)	5/20(木)	6/6(日)～7/8(木)	7/28(水)
防衛省専門職	共通	4/8(木)～4/22(木)	6/6(日)	7/5(月)	7/26(月)～8/2(月)	8/16(月)
国立大学法人等	共通	5/12(水)～5/26(水)	7/4(日)	7/21(水)	各法人が独自に実施	

主な公務員試験の実施状況

・ 地方公務員(都道府県)

自治体名	試験区分	分野など	採用予定数		申込者数		1次試験				最終合格者数		最終倍率	
			2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年
北海道	一般行政 A(第1回)	—	100	100	983	1,207	867	748	521	401	183	191	4.7	3.9
青森県	行政	—	79	63	285	344	227	265	136	122	80	63	2.8	4.2
岩手県	一般行政 A	—	55	61	263	302	217	231	142	152	71	78	3.1	3.0
宮城県	行政	—	55	65	509	566	373	418	163	184	72	89	5.2	4.7
秋田県	行政 A	—	35	29	292	268	242	243	72	59	44	44	5.5	5.5
山形県	行政	—	65	60	336	377	277	300	130	112	72	63	3.8	4.8
福島県	行政事務	—	79	70	500	591	366	418	169	147	95	94	3.9	4.4
茨城県	事務(知事部局等)	—	69	67	611	757	437	580	177	186	87	86	5.0	6.7
栃木県	行政	—	45	40	356	354	212	269	134	122	61	75	3.5	3.6
群馬県	行政事務	—	65	85	477	536	378	435	171	213	81	106	4.7	4.1
埼玉県	一般行政	—	169	193	1,681	1,765	1,183	1,260	590	756	284	333	4.2	3.8
千葉県	一般行政 A	—	70	100	1,030	1,096	699	746	220	329	129	206	5.4	3.6
東京都	I 類 B	行政 一般方式	85	265	2,313	3,400	1,507	1,626	252	776	110	352	13.7	4.6
		行政 新方式	25	90	616	886	443	494	83	299	31	115	14.3	4.3
神奈川県	行政 I	—	101	110	1,361	1,223	873	705	473	516	159	217	5.5	3.2
新潟県	一般行政	—	38	38	384	387	292	294	127	130	52	50	5.6	5.9
富山県	総合行政	—	44	53	310	279	247	228	87	97	54	63	4.6	3.6
石川県	行政	—	45	46	290	213	220	75	75	75	57	58	3.9	3.7
福井県	行政	—	48	60	216	239	165	199	82	102	57	69	2.9	2.9
山梨県	行政 I	—	57	57	382	415	323	346	114	122	64	65	5.0	5.3
長野県	行政 A	—	50	50	345	382	254	283	154	164	54	71	4.7	4.0
岐阜県	行政 I	—	45	50	317	292	221	227	146	130	61	63	3.6	3.6
静岡県	行政 I	—	69	71	429	408	325	318	190	217	94	81	3.5	3.9
愛知県	行政 I	—	125	130	893	1,051	668	769	383	384	199	208	3.4	3.7
三重県	行政 I	—	65	58	362	340	271	274	132	115	87	78	3.1	3.5
滋賀県	行政	専門試験型	50	50	405	441	297	351	100	100	55	63	5.4	5.6
京都府	行政 A	—	150	115	548	614	360	384	226	226	174	115	2.1	3.3
大阪府	行政	—	145	115	2,196	2,013	899	693	726	578	181	181	5.0	3.8
兵庫県	行政 A	—	80	83	763	795	523	541	400	408	102	103	5.1	5.3
奈良県	行政 A	—	74	58	272	313	186	229	117	116	79	59	2.4	3.9
和歌山県	一般行政職(通常枠)	—	72	82	374	428	280	328	182	247	72	87	3.9	3.8
鳥取県	事務(一般コース)	—	29	33	143	131	104	89	67	65	33	33	3.2	2.7
島根県	行政 A	—	47	56	154	149	115	118	108	97	53	57	2.2	2.1
岡山県	行政	—	66	49	407	456	280	306	201	148	84	74	3.3	4.1
広島県	一般事務 A	—	53	55	537	481	414	363	187	179	98	84	4.2	3.1
山口県	行政	—	40	40	307	331	220	260	139	127	79	86	2.8	3.0
徳島県	行政事務	—	54	55	481	502	379	403	112	110	75	70	5.1	5.8
香川県	一般行政事務 A	—	63	60	339	343	263	281	103	102	67	73	3.9	3.8
愛媛県	行政事務	—	70	70	504	460	367	359	186	177	78	79	4.7	4.5
高知県	行政	—	50	50	244	247	193	187	100	100	54	50	3.6	3.7
福岡県	行政	—	47	45	571	826	386	520	94	90	55	55	7.0	9.5
佐賀県	行政	—	23	23	249	217	171	187	46	46	23	23	7.4	8.1
長崎県	行政 A	—	24	27	184	218	150	162	60	50	37	37	4.1	4.4
熊本県	行政	—	60	74	489	621	354	422	180	223	60	74	5.9	5.7
大分県	行政	—	82	95	370	394	302	332	183	195	98	114	3.1	2.9
宮崎県	一般行政	—	45	39	230	228	176	170	108	104	59	60	3.0	2.8
鹿児島県	行政	—	30	25	414	395	334	321	104	92	47	50	7.1	6.4
沖縄県	行政 I	—	46	25	942	1,020	787	845	115	78	90	64	8.7	13.2

・ 地方公務員(政令指定都市・特別区)

自治体名	試験区分	分野	採用予定数		申込者数		1次試験				最 終 合格者数		最終倍率	
			2021年	2020年	2021年	2020年	受験者数	2021年	2020年	合格者数	2021年	2020年	2021年	2020年
札幌市	一般事務	行政コース	120	155	1,218	1,125	859	756	216	252	143	147	6.0	5.1
仙台市	事務	—	100	90	655	729	579	623	127	126	100	98	5.8	6.4
さいたま市	行政事務	—	90	100	1,097	958	798	659	316	351	153	207	5.2	3.2
千葉市	行政A	—	40	50	615	594	515	479	170	203	72	91	7.2	5.3
特別区	I 類事務	—	874	906	11,449	14,339	9,019	8,121	4,098	4,791	1,881	1,741	4.8	4.7
横浜市	事務	—	220	260	2,561	2,534	2,000	1,918	1,012	1,222	386	381	5.2	5.0
川崎市	行政事務	—	105	120	1,247	1,483	836	901	363	361	251	209	3.3	4.3
相模原市	行政	—	56	76	737	936	559	632	292	328	61	70	9.2	9.0
新潟市	一般行政A	—	10	12	178	264	136	175	71	92	10	13	13.6	13.5
静岡市	事務A	—	90	80	494	488	401	389	158	132	97	73	4.1	5.3
	事務B	—			38	42	24	29	8	11	4	6	6.0	4.8
浜松市	行政	行政A	46	55	194	195	146	145	80	93	35	50	4.2	2.9
名古屋市	事務	行政A	110	100	890	994	630	623	361	306	143	125	4.4	5.0
		行政B	110	100	626	554	458	410	332	306	166	156	2.8	2.6
京都市	一般事務職	行政(一般式)	100	100	528	647	433	506	224	232	100	93	4.3	5.4
大阪市	行政22-25	—	245	240	1,924	1,176	1,195	734	420	403	302	282	4.0	2.6
堺市	事務(一般枠)	—	52	42	331	355	224	194	178	153	46	45	4.9	4.3
神戸市	一般行政	総合事務	70	75	568	642	465	504	335	351	89	105	5.2	4.8
岡山市	事務(一般枠)	—	50	38	319	338	199	193	142	115	54	44	3.7	4.4
広島市	行政事務	—	120	70	596	660	419	488	354	210	147	93	2.9	5.2
北九州市	行政I A	—	26	22	282	292	174	187	37	33	28	26	6.2	7.2
	行政I B	—	18	15	138	151	83	118	26	23	20	17	4.2	6.9
福岡市	行政事務	行政	46	60	839	773	495	471	90	194	53	70	9.3	6.7
熊本市	事務職	—	52	44	537	627	325	365	105	89	52	44	6.3	8.3

・ 国家一般職(大卒)

区分		採用予定数		申込者数		1次試験				最 終 合格者数		最終倍率	
		2021年	2020年	2021年	2020年	受験者数	2021年	2020年	合格者数	2021年	2020年	2021年	2020年
行政	北海道	190	200	991	1,035	778	656	585	535	387	314	2.0	2.1
	東北	200	200	1,600	1,652	1,245	1,023	711	645	479	325	2.6	3.1
	関東甲信越	1,300	680	8,753	9,382	6,258	5,378	2,531	2,310	1,825	1,572	3.4	3.4
	東海北陸	290	300	2,646	2,761	2,157	1,761	1,002	939	700	518	3.1	3.4
	近畿	370	320	3,098	3,265	2,357	1,966	1,012	948	720	566	3.3	3.5
	中国	220	220	1,538	1,500	1,285	938	737	716	537	480	2.4	2.0
	四国	130	90	1,027	1,020	816	633	411	430	275	248	3.0	2.6
	九州	300	300	2,628	2,821	2,039	1,776	1,074	933	618	605	3.3	2.9
沖縄		90	110	794	744	637	492	152	209	101	143	6.3	3.4
電気・電子・情報		250	250	445	427	303	240	270	203	187	136	1.6	1.8
機械		120	110	280	293	179	182	167	160	126	106	1.4	1.7
土木		410	320	1,159	1,200	904	709	814	624	538	306	1.7	2.3
建築		100	80	181	201	138	99	132	95	78	46	1.8	2.2
物理		170	150	278	303	188	204	162	180	130	129	1.4	1.6
化学		110	70	528	557	344	304	308	271	215	177	1.6	1.7
農学		150	100	756	766	590	437	516	361	331	19	1.8	2.3
農業農村工学		40	40	204	206	159	125	152	121	87	46	1.8	2.7
林学		90	80	416	388	341	245	320	237	219	124	1.6	2.0

● 国家総合職(大卒程度)

区分		採用予定数		申込者数		1次試験				最 終		最終倍率	
		2021 年	2020 年	2021 年	2020 年	受験者数		合格者数		合格者数		2021 年	2020 年
法文系	政 治 ・ 国 際	55	40	1,066	1,101	806	413	298	211	154	125	5.2	3.3
	法 律	145	155	7,601	8,882	6,383	3,466	829	885	406	401	15.7	8.6
	経 済	60	60	1,256	1,641	1,003	631	345	332	168	141	6.0	4.5
	人 間 科 学	30	10	358	388	273	195	54	61	28	32	9.8	6.1
理工系	工 学	170	75	1,141	1,386	891	773	443	426	223	292	4.0	2.6
	数理学・物理・地球科学	30	10	194	208	152	127	54	53	28	28	5.4	4.5
	化学・生物・薬学	50	15	387	463	311	264	53	58	27	31	11.5	8.5
農学系	農 業 科 学 ・ 水 産	60	25	416	481	352	253	163	141	89	81	4.0	3.1
	農 業 農 村 工 学	25	20	159	198	143	114	117	87	63	52	2.3	2.2
	森 林 ・ 自 然 環 境	30	10	221	217	190	132	62	56	34	33	5.6	4.0

● 国家専門職

区分		採用予定数		申込者数		1次試験				最 終		最終倍率	
		2021 年	2020 年	2021 年	2020 年	受験者数		合格者数		合格者数		2021 年	2020 年
国税専門官	—	1,500	1,350	13,163	14,131	9,733	9,052	7,415	7,189	4,193	3,903	2.3	2.3
財務専門官	—	170	160	2,503	2,796	1,449	2,796	966	911	597	590	2.4	2.4
労働基準監督官	A (法 文 系)	195	185	2,224	2,699	1,217	2,699	1,050	1,119	336	358	3.6	3.7
	B (理 工 系)	50	45	669	747	411	747	368	307	160	118	2.6	3.0
食品衛生監視員	—	25	25	377	351	245	172	148	127	91	77	2.7	2.2

● 裁判所一般職(大卒)

区分		採用予定数		申込者数		1次試験				最 終		最終倍率	
		2021 年	2020 年	2021 年	2020 年	受験者数		合格者数		合格者数		2021 年	2020 年
裁判所事務官	札幌高等裁判所管轄	8	15	350	435	267	51	144	42	52	18	5.1	2.8
	仙台高等裁判所管轄	30	15	579	767	432	99	278	74	124	41	3.5	2.4
	東京高等裁判所管轄	175	200	3,870	4,870	2,847	1,010	1,255	794	351	514	8.1	2.0
	名古屋高等裁判所管轄	25	35	1,136	1,460	915	197	316	165	100	88	9.2	2.2
	大阪高等裁判所管轄	70	55	1,766	2,007	1,340	358	553	283	200	171	6.7	2.1
	広島高等裁判所管轄	25	20	668	752	531	90	219	60	67	38	7.9	2.4
	高松高等裁判所管轄	20	10	500	593	388	70	138	48	69	15	5.6	4.7
	福岡高等裁判所管轄	40	40	1,406	1,900	1,082	260	371	172	117	85	9.2	3.1

● 国会職員(衆議院・参議院・国立国会図書館)

区分		採用予定数		申込者数		1次試験				最 終		最終倍率	
		2021 年	2020 年	2021 年	2020 年	受験者数		合格者数		合格者数		2021 年	2020 年
衆議院事務局	総 合 職 (大 卒)	若干名	若干名	165	303	101	158	33	53	2	2	50.5	79.0
	一 般 職 (大 卒)	20	20	445	529	314	301	123	144	14	16	22.4	18.8
参議院事務局	総 合 職 (大 卒)	15	15	非公表									
国立国会図書館	総 合 職	若干名	若干名	363	458	295	296	101	129	3	3	98.3	98.7
	一 般 職 (大 卒)	若干名	若干名	507	694	412	435	141	125	8	14	51.5	31.1

第5章

本試験データ集（令和3年度）

※ 次ページからの本試験データ集は、令和3年度の主に大卒程度の行政事務職及び技術職の試験の内容を掲載しています（資格免許職や経験者採用試験などについては掲載しておりません）。

※ 受験資格 主に各試験区分の年齢要件を掲載しています。なお、主に技術職や資格免許職などにおいて、年齢要件とは別途、各試験区分に応じた要件などが設けられている場合があります。

※ 試験概要 主に教養（基礎能力）試験・専門試験・論文試験・人物試験について掲載しています。なお、これら以外に別途、適性検査や適性試験などが課される場合があります。また、合否判定方法や各種試験種目の評価のタイミングは試験ごとに異なります。

➡試験情報は試験種や年度により異なる場合がありますので、受験の際は必ず最新の試験案内などをご確認ください。

国家総合職（大卒程度）

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた方

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	3月26日（金）～4月5日（月）
1 次 試 験 日	4月25日（日）
1次試験合格発表日	5月7日（金）
2 次 試 験 日	5月23日（日）～6月11日（金）
最終合格発表日	6月21日（月）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	共通	180 分	多肢選択式(40 問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験	共通	210 分	多肢選択式(40 問) 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
2次試験	専門試験	政治・国際、法律、経済区分	240 分	記述式(3 問) 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
	政策論文試験	共通	120 分	(1 問) 政策の企画立案に必要な能力その他総合的な判断力及び思考力についての筆記試験(資料の中に英文によるものを含む。)
	人物試験	共通	—	人柄、对人的能力などについての個別面接
英 語 試 験		共通	—	外部英語試験(TOEFL iBT)、TOEIC Listening & Reading Test (平成28年8月5日に名称が変更される前の TOEIC テストを含み、公開テストに限る。)、IELTS、実用英語技能検定)を活用し、スコア等に応じて総得点に 15 点又は 25 点を加算

●配点比率（令和3年度）

共通				
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(記述式)	政策論文試験	人物試験
2/15	3/15	5/15	2/15	3/15

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	共通	【知能分野】27 問 文章理解⑪、判断・推論(資料解釈を含む。)(⑩) 【知識分野】13 問 自然・人文・社会⑬(時事を含む。)
専 門 試 験 (多肢選択式)	政治・国際	55 問中 40 問解答 【必須問題】 政治学⑩、国際関係⑩、憲法⑤の計 25 問 【選択問題】 行政学⑤、国際事情③、国際法⑤、行政法⑤、民法(担保物権、親族及び相続を除く。)(③)、 経済学③、財政学③、経済政策③の 30 問から任意の計 15 問解答
	法律	49 問中 40 問解答 【必須問題】 憲法⑦、行政法⑫、民法⑫の計 31 問 【選択問題】 商法③、刑法③、労働法③、国際法③、経済学・財政学⑥の 18 問から任意の計 9 問解答
	経済	46 問中 40 問解答 【必須問題】 経済理論⑩、財政学・経済政策⑤、経済事情⑤、統計学・計量経済学⑤の計 31 問 【選択問題】 経済史・経済事情③、国際経済学③、経営学③、憲法③、民法(担保物権、親族及び相続を除く。)(③)の 15 問から任意の計 9 問解答
	人間科学	105 問中 40 問解答 【Ⅰ部】5 問 人間科学に関する基礎[人間科学における調査・分析に関する基礎、人間科学における行政的問題を含む。] 【Ⅱ部】15 問 次の選択A、B(各 15 問)から一つを選択 ・選択A 心理系 人間の資質及び行動並びに人間関係の理解に関する心理学的基礎(心理学史、生理、知覚、学習等)⑪、心理学における研究方法に関する基礎④ ・選択B 教育・福祉・社会系 教育学、福祉及び社会学に関する基礎⑫ 教育学、福祉及び社会学における調査・分析に関する基礎③ 【Ⅲ部】20 問 次の 14 科目(各 5 問)から 4 科目を選択し、計 20 問解答 認知心理学、臨床心理学、教育環境学、教育心理学、教育経営学、教育方法学、社会福祉総論、社会福祉各論、福祉計画論、地域福祉論、社会学(理論)、社会学(各論)、社会心理学、現代社会論
	工学	165 問中 40 問解答 【必須問題】 工学に関する基礎[数学及び物理の基礎的な知識に基づく工学的手法の応用能力を問うもの等]の計 20 問 【選択問題】 次の 29 科目(各 5 問)から 4 科目、5 科目又は 6 科目を選択し、その 20～30 問のうちから任意の計 20 問解答 1.技術論[技術の歴史、技術と社会との関連等]、2.基礎化学、3.工学基礎実験、4.情報基礎、5.電気工学、6.電磁気学、7.材料力学[機械系]、8.流体力学[機械系]、9.構造力学(土木)・土木材料・土木施工、10.土質力学・水理学、11.環境工学(土木)・衛生工学、12.構造力学(建築)、13.建築構造・建築材料・建築施工、14.計測工学・制御工学、15.情報工学(ハードウェア)、16.情報工学(ソフトウェア)、17.電子工学、18.通信工学、19.機械力学、20.熱力学・熱機関[機械系]、21.土木計画、22.建築計画・建築法規・建築設備、23.建築史・都市計画、24.材料工学(材料科学)[材料物理、材料化学]、25.材料工学(金属材料・無機材料)、26.原子力工学(原子核・放射線)、27.原子力工学(原子炉・核燃料サイクル)、28.船舶海洋工学(流体)[船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動]、29.船舶海洋工学(構造)[船体強度・振動、船体設計・艦装] (注)8(流体力学[機械系])と 10(土質力学・水理学)の同時選択不可。7(材料力学[機械系])と 9(構造力学(土木)・土木材料・土木施工)と 12(構造力学(建築))の 3 科目のうち、2 科目又は 3 科目の同時選択不可。

数理学・物理・地球科学	115 問中 40 問解答 【Ⅰ部】5 問 基礎数学・情報数学 【Ⅱ部】10 問 次の選択 A、B(各 10 問)から一つを選択 ・選択 A 数理学系:線形代数、解析、確率・統計 ・選択 B 物理・地球科学系:基礎物理、地球科学 【Ⅲ部】25 問 次の 17 科目 90 問のうち任意の計 25 問解答 集合・位相、代数、幾何、解析、確率・統計、情報理論、計算機数学、離散数学、数値計算、数学モデル、オペレーションズ・リサーチ、経営工学(経営数学・生産管理・品質管理)、物理数学、古典物理学、現代物理学(物性物理学を含む。)、地球物理学、地質学
化学・生物・薬学	106 問中 40 問解答 【必須問題】 基礎数学、基礎物理、基礎化学、基礎生物学の計 10 問 【選択問題】 次の 16 科目(各 6 問)から 5 科目又は 6 科目を選択し、その 30～36 問のうちから任意の計 30 問解答 1.数学・物理、2.基礎物理化学・基礎無機化学、3.物理化学・無機化学、4.有機化学、5.工業化学・化学工学、6.分析化学・薬化学、7.薬理学、8.薬剤学・衛生化学、9.食品学、10.土壤肥料学・環境科学・農業、11.生化学・分子生物学、12.応用微生物学・生物工学、13.発生生物学・生理学、14.細胞生物学(形態学を含む。)、放射線生物学、15.遺伝学・進化学、16.生態学(動物行動学を含む。)、系統分類学
農業科学・水産	140 問中 40 問解答 【Ⅰ部】5 問 生物資源に関する基礎(生物資源科学、食料事情、統計学) 【Ⅱ部】10 問 次の選択 A、B(各 10 問)から一つを選択 ・選択 A 農業科学系:農業科学に関する基礎(農業・畜産業、生物学に関する基礎) ・選択 B 水産系:水産学に関する基礎 【Ⅲ部】25 問 次の 23 科目(各 5 問)から 5 科目を選択し、計 25 問解答 1.作物学、2.園芸学、3.育種遺伝学、4.植物病理学、5.昆虫学、6.土壤肥料学・植物生理学、7.経済学、8.農業資源経済学(基礎)、9.農業資源経済学(応用)、10.農業経営学、11.食料政策・農業政策・農業関係法律、12.家畜育種学、13.家畜繁殖学、14.家畜生理学、15.家畜飼養学・家畜栄養学・飼料科学・家畜管理学、16.畜産一般(畜産物生産・畜産物加工・畜産物流通)、17.水産経済学・水産経営学、18.漁政、19.漁業学・水産資源学、20.水産海洋学・水産環境保全、21.水産生物学・増養殖学、22.水産化学・水産利用学、23.水産一般(水産物生産・水産物加工・水産物流通)
農業農村工学	76 問中 40 問解答 【必須問題】 農業農村工学に関する基礎(農業・農村一般③、農業生産・環境一般②、数学・情報処理③、農業農村工学一般⑥、応用力学④、水理学④)の計 22 問 【選択問題】 次の 9 科目(各 6 問)から 3 科目を選択し、計 18 問解答 1.設計・施工、2.農業水利学、3.土地改良、4.農村計画学・公共経済学、5.農村環境整備、6.機械基礎工学(機械力学及び機械要素・設計)、7.生物生産機械工学、8.食料機械工学・生物生産施設工学、9.環境調節工学(農業気象学及び生物工学を含む。)
森林・自然環境	121 問中 40 問解答 【必須問題】 森林・自然環境に関する基礎(森林・自然環境に関する基礎科学④、森林・自然環境の現状と基本政策⑤、森林・自然環境の機能・効用に関する基礎④)の計 13 問 【選択問題】 次の 12 科目(各 9 問)から 3 科目を選択し、計 27 問解答 1.森林環境科学(森林政策及び林業動向を含む。)、2.森林資源科学(森林立地及び森林保護を含む。)、3.森林生物生産科学(森林経営・育林技術、森林工学)、4.砂防学基礎、5.砂防工学、6.流域管理、7.造園学原論・造園材料、8.造園計画(自然公園)[自然環境保全を含む。]、9.造園計画(都市公園)[都市計画を含む。]、10.木材特性・木質構造[木材需給を含む。]、11.木材加工・材質改良、12.木材成分利用(特用林産を含む。)

専 門 試 験 (記 述 式)	政治・国際	【選択問題】3 問 次の 6 科目から 3 科目選択 政治学、行政学、憲法、国際関係②、国際法、公共政策② (注)国際関係又は公共政策を含む選択をする場合にあつては、2 科目又は 3 科目
	法律	【選択問題】3 問 次の 5 科目から 3 科目選択 憲法、行政法、民法、国際法、公共政策② (注)公共政策からは 1 問のみ選択可。
	経済	【必須問題】1 問 経済理論 【選択問題】2 問 次の 3 科目から 2 科目選択 財政学、経済政策、公共政策② (注)公共政策からは 1 問のみ選択可。
	人間科学	【選択問題】2 問 次の 6 問から 2 問選択 心理学に関連する領域②〔人間の資質及び行動並びに人間関係の理解に関する心理学的基礎、行政的な課題・社会的事象について、心理学的な視点から論述するもの〕、教育学、福祉及び社会学に関連する領域①、教育学に関連する領域①、福祉に関連する領域①、社会学に関連する領域① (注)同じ領域から 2 問選択可。
	工学	【選択問題】1 問又は 2 問 次の 29 科目から出題 解答題数 ア.1(建築設計)又は 2(都市設計)を選択する場合は、その 1 科目(1 問)のみを選択解答 イ.ア以外の場合は、2 科目から各 1 問、計 2 問を選択解答 (注)2 問以上出題される科目にあつては、そのうち 1 問のみ選択可。 1.建築設計①、2.都市設計①、3.計測工学①、4.制御工学②、5.情報工学(ハードウェア)①～②、6.情報工学(ソフトウェア)①～②、7.電磁気学・電気回路①、8.電気機器①、9.電力工学①、10.電子工学①、11.通信工学①、12.信頼性工学①、13.材料力学〔機械系〕①、14.機械力学①、15.流体力学〔機械系〕①、16.熱力学・熱機関〔機械系〕①、17.航空工学①、18.構造力学(土木)①、19.土質力学①、20.水理学①、21.土木計画③、22.環境工学(土木)・衛生工学②、23.材料工学(材料科学)〔材料物理、材料化学〕①～②、24.材料工学(金属材料)①～②、25.材料工学(無機材料)①、26.原子力工学(原子核・放射線)①、27.原子力工学(原子炉・核燃料サイクル)①～②、28.船舶海洋工学(流体)〔船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動〕①～②、29.船舶海洋工学(構造)〔船体強度・振動、船舶設計・艦装〕①～② (注 1)13(材料力学〔機械系〕)と 18(構造力学(土木))の同時選択不可。15(流体力学〔機械系〕)と 20(水理学)の同時選択不可。21(土木計画)と 22(環境工学(土木)・衛生工学)の同時選択不可。 (注 2)1(建築設計)及び 2(都市設計)は、「一般的な建築物及び都市・地区の設計を課題とし、マスタープラン(図面及び論述)の作成により、設計する能力及び企画する能力を問う問題」。他の選択科目は、「科目内容に応じて必要な専門的知識、技術などの能力を論述、計算等を通じて問う問題」。
	数理学・物理・地球科学	【選択問題】2 問 次の科目から 15 問出題、任意の 2 問選択 代数、幾何、解析、確率・統計⑤、情報科学①、数学モデル①、経営工学(経営数学・生産管理・品質管理)①、古典物理学、現代物理学(物性物理学を含む。)③、地球物理学②、地質学② (注)同じ科目から 2 問選択可。
	化学・生物・薬学	【選択問題】2 問 次の科目から 19 問出題、任意の 2 問選択 物理化学②、無機化学①、有機化学①、分析化学①、化学工学①、薬化学①、薬理学①、薬剤学①、食品学①、土壤肥科学・農薬①、生化学①、分子生物学・生物工学①、応用微生物学①、発生生物学①、生理学①、細胞生物学(形態学を含む。)①、遺伝学①、生態学(動物行動学を含む。)① (注)同じ科目から 2 問選択可。
	農業科学・水産	【選択問題】2 問 次の 20 科目(各 1 問)から 2 科目選択 1.作物学、2.園芸学、3.育種遺伝学、4.植物病理学、5.昆虫学、6.農業資源経済学、7.農業経

	営学、8.食料政策・農業政策、9.家畜育種学、10.家畜繁殖学、11.家畜生理学、12.家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学、13.漁業学、14.水産資源学、15.水産海洋学、16.水産環境保全、17.水産生物学、18.増養殖学、19.水産化学、20.水産利用学
農業農村工学	【選択問題】2問 次の9科目(各1問)から2科目選択 1.設計・施工、2.農業水科学、3.土地改良、4.農村計画学、5.農村環境整備、6.公共経済学、7.生物生産機械工学、8.食料機械工学・生物生産施設工学、9.環境調節工学〔農業気象学及び生物工学を含む。〕
森林・自然環境	【選択問題】2問 次の4科目(各3問)から1科目を選択し、任意の2問解答 1.森林科学に関する基礎、2.国土保全に関する基礎、3.自然環境・公園緑地に関する基礎、4.木材等林産物に関する基礎

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和3年度）

1次試験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験及び専門試験（多肢選択式）において基準点以上である者について、両試験種目の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。
最終合格者	第1次試験合格者のうち、専門試験（記述式）及び政策論文試験において基準点以上であり、かつ、人物試験においてA～Dの評価である者について、基礎能力試験、専門試験（多肢選択式）、専門試験（記述式）、政策論文試験及び人物試験の標準点を合計し、さらに英語試験による加算点を加えた得点に基づいて最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
政治・国際	55	1,066	806	298	154	5.2
法律	145	7,601	6,383	829	406	15.7
経済	60	1,256	1,003	345	168	6.0
人間科学	30	358	273	54	28	9.8
工学	170	1,141	891	443	223	4.0
数理学・物理・地球科学	30	194	152	54	28	5.4
化学・生物・薬学	50	387	311	53	27	11.5
農業科学・水産	60	416	352	163	89	4.0
農業農村工学	25	159	143	117	63	2.3
森林・自然環境	30	221	190	62	34	5.6

※採用予定数は、院卒者試験・大卒程度試験を合計した人数であり、過年度試験の合格者名簿からの採用を含みます。

国家総合職（院卒者）

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成3年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの 大学院修士課程又は専門職大学院の過程を修了した者及び令和4年3月までに大学院修士課程又は専門職大学院の過程を修了する見込みの者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	3月26日（金）～4月5日（月）
1 次 試 験 日	4月25日（日）
1 次 試験合格発表日	5月7日（金）
2 次 試 験 日	5月23日（日）～6月11日（金）
最 終 合 格 発 表 日	6月21日（月）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	共通	140 分	多肢選択式(30 問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験	共通	210 分	多肢選択式(40 問) 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
2次試験	専門試験	行政	240 分	記述式(3 問) 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
		その他の区分	210 分	記述式(2 問) 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
	政策課題討議試験	共通	90 分	課題に対するグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション力などについての試験(課題に関する資料の中に英文によるものを含む。) 6 人 1 組のグループを基本として実施 レジュメ作成(25 分)→個別発表(1 人当たり 3 分)→グループ討議(30 分)→討議を踏まえて考えたことを個別発表(1 人当たり 2 分)
	人物試験	共通	—	人柄、対人的能力などについての個別面接
英 語 試 験		共通		外部英語試験(TOEFL iBT)、TOEIC Listening & Reading Test(平成28年8月5日(名称が変更される前の TOEIC テストを含み、公開テストに限る。))、IELTS、実用英語技能検定)を活用し、スコア等に応じて総得点に 15 点又は 25 点を加算

●配点比率（令和3年度）

共通				
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(記述)	政策課題討議試験	人物試験
2/15	3/15	5/15	2/15	3/15

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	共通	【知能分野】24 問 文章理解⑧、判断・数的推理（資料解釈を含む。）⑩ 【知識分野】6 問 自然・人文・社会⑥（時事を含む。）
専 門 試 験 （ 多 肢 選 択 式 ）	行政	次の選択Ⅰ、Ⅱ、Ⅲからいずれかを選択し解答 〔選択Ⅰ 政治・国際系〕55 問中 40 問解答 【必須問題】 政治学⑩、国際関係⑩、憲法⑤の計 25 問 【選択問題】 行政学⑤、国際事情③、国際法⑤、行政法⑤、民法（担保物権、親族及び相続を除く。）③、経済学③、財政学③、経済政策③の 30 問から任意の計 15 問解答 〔選択Ⅱ 法律系〕49 問中 40 問解答 【必須問題】 憲法⑦、行政法⑫、民法⑫の計 31 問 【選択問題】 商法③、刑法③、労働法③、国際法③、経済学・財政学⑥の 18 問から任意の計 9 問解答 〔選択Ⅲ 経済系〕46 問中 40 問解答 【必須問題】 経済理論⑩、財政学・経済政策⑤、経済事情⑤、統計学・計量経済学⑤の計 31 問 【選択問題】 経済史・経済事情③、国際経済学③、経営学③、憲法③、民法（担保物権、親族及び相続を除く。）③の 15 問から任意の計 9 問解答
	人間科学	※出題内容は、国家総合職（大卒）と同じです。
	工学	
	数理科学・物理・地球科学	
	化学・生物・薬学	
	農業科学・水産	
	農業農村工学	
	森林・自然環境	
専 門 試 験 （ 記 述 式 ）	行政	【選択問題】3 問 次の 14 科目から 3 科目選択 政治学、行政学、国際関係②、公共政策②、憲法、行政法、民法、商法、刑法、民事訴訟法、国際法、経済理論、財政学、経済政策 （注）国際関係又は公共政策を含む選択をする場合にあっては、2 科目又は 3 科目
	人間科学	※出題内容は、国家総合職（大卒）と同じです。
	工学	
	数理科学・物理・地球科学	
	化学・生物・薬学	
	農業科学・水産	
	農業農村工学	
	森林・自然環境	

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験及び専門試験（多肢選択式）において基準点以上である者について、両試験種目の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験合格者のうち、専門試験（記述式）において基準点以上であり、かつ、政策課題討議及び人物試験においてA～Dの評価にある者について、基礎能力試験、専門試験（多肢選択式）、専門試験（記述式）、政策課題討議試験及び人物試験の標準点を合計し、さらに英語試験による加算点を加えた得点に基づいて最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
行政	50	338	266	236	140	1.9
人間科学	20	105	90	76	46	2.0
工学	90	394	302	267	180	1.7
数理学・物理・地球科学	20	147	99	81	43	2.3
化学・生物・薬学	35	270	200	130	69	2.9
農業科学・水産	30	153	127	120	77	1.6
農業農村工学	5	14	13	13	12	1.1
森林・自然環境	25	90	74	72	47	1.6

※採用予定数は、院卒者試験・大卒程度試験を合計した人数であり、過年度試験の合格者名簿からの採用を含みます。

国家総合職（大卒程度）教養区分

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成3年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	7月30日（金）～8月23日（月）
1 次 試 験 日	10月3日（日）
1次試験合格発表日	10月20日（水）
2 次 試 験 日	11月18日（木）～11月26日（金）
最終合格発表日	12月10日（金）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	総合論文試験	教養	240 分	(2 問) 幅広い教養や専門的知識を土台とした総合的な判断力、思考力についての筆記試験 Ⅰ：政策の企画立案の基礎となる教養・哲学的な考え方に関するもの 1 問 Ⅱ：具体的な政策課題に関するもの 1 問
	基礎能力試験（Ⅰ）	教養	120 分	多肢選択式(24 問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能)についての筆記試験
	基礎能力試験（Ⅱ）	教養	90 分	多肢選択式(30 問) 公務員として必要な基礎的な能力(知識)についての筆記試験
2次試験	企画提案試験（Ⅰ）	教養	120 分	企画力、建設的な思考力及び説明力などについての試験 小論文:課題と資料を与え、解決策を提案させる
	企画提案試験（Ⅱ）	教養	60 分	企画力、建設的な思考力及び説明力などについての試験 プレゼンテーション及び質疑応答:小論文の内容について試験官に説明、その後質疑応答を受ける
	政策課題討議試験	教養	90 分	課題に対するグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション力などについての試験 6 人 1 組のグループを基本として実施 レジュメ作成(20 分)→個別発表(1 人当たり 2 分)→グループ討議(30 分)
	人物試験	教養	—	人柄、対人的能力などについての個別面接
英 語 試 験		教養	—	外部英語試験(TOEFL iBT)、TOEIC Listening & Reading Test(平成28年8月5日に名称が変更される前の TOEIC テストを含み、公開テストに限る。)、IELTS、実用英語技能検定)を活用し、スコア等に応じて総得点に 15 点又は 25 点を加算

●配点比率（令和3年度）

教養					
総合論文試験	基礎能力試験Ⅰ	基礎能力試験Ⅱ	企画提案試験	政策課題討議試験	人物試験
8/28	3/28	2/28	5/28	4/28	6/28

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験（Ⅰ）	教養	【知能分野】文章理解⑧、判断・数的推理(資料解釈を含む。)⑩
基礎能力試験（Ⅱ）	教養	【知識分野】自然⑩、人文⑩、社会⑩ ※時事を含む。

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験のⅠ部及びⅡ部において基準点以上である者について、各部の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験合格者のうち、総合論文試験及び企画提案試験において基準点以上であり、かつ、政策課題討議試験及び人物試験においてA～Dの評価である者について、基礎能力試験、総合論文試験、政策課題討議試験、企画提案試験及び人物試験の標準点を合計し、さらに英語試験による加算点を加えた得点に基づいて最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
教 養	※	3,084	1,973	329	214	9.2

※令和4年4月採用予定

内閣府、警察庁、金融庁、総務省、国税庁、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省において4名以下の採用予定があります。

令和5年4月採用予定

警察庁、金融庁、総務省、外務省、財務省本省、国税庁、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省において採用予定があります。

国家一般職（大卒程度）

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月2日（金）～4月14日（水）
1 次 試 験 日	6月13日（日）
1次試験合格発表日	7月7日（水）
2 次 試 験 日	7月14日（水）～8月2日（月）
最終合格発表日	8月17日（火）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	共通	140 分	多肢選択式(40 問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験	建築	120 分	多肢選択式(33 問) 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
		建築以外	180 分	多肢選択式(40 問) 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
	一般論文試験	行政	60 分	記述式(1 問) 文章による表現力、課題に関する理解力などについての短い論文による筆記試験
	専門試験	建築	120 分	記述式(1 問) 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
		行政・建築以外	60 分	記述式(1 問) 各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
2次試験	人物試験	共通	—	人柄、対人的能力などについての個別面接

●配点比率（令和3年度）

行政			
基礎能力試験	専門試験(択一)	一般論文試験	人物試験
2/9	4/9	1/9	2/9

建築			
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(記述)	人物試験
2/9	2.5/9	2.5/9	2/9

行政・建築以外			
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(記述)	人物試験
2/9	4/9	1/9	2/9

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	共通	【知能分野】27問 文章理解①、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③ 【知識分野】13問 自然・人文・社会⑬（時事を含む。）
専門試験 （多肢選択式）	行政	80問中40問解答 次の16科目（各5問）から8科目を選択し、計40問解答 政治学、行政学、憲法、行政法、民法（総則及び物権）、民法（債権、親族及び相続）、ミクロ経済学、マクロ経済学、財政学・経済事情、経営学、国際関係、社会学、心理学、教育学、英語（基礎）、英語（一般）
	電気・電子・情報	40問必須解答 工学に関する基礎②③ 電磁気学・電気回路・電気計測・制御・電気機器・電力工学⑧ 電子工学・電子回路③、通信工学・情報工学⑨
	機械	40問必須解答 工学に関する基礎②③ 材料力学④、機械力学④、流体力学④、熱工学④、機械設計・機械材料・機械工作④
	土木	40問必須解答 工学に関する基礎②③ 構造力学（土木）・水理学・土質力学・測量①、土木材料・土木設計・土木施工③、土木計画④、環境工学（土木）・衛生工学②
	建築	33問必須解答 工学に関する基礎②③ 構造力学（建築）・建築構造④、建築材料・建築施工②、環境工学（建築）・建築設備③、建築史・建築計画・建築法規・都市計画④
	物理	50問中40問解答 【必須問題】物理〔物理数学を含む基礎的な物理〕⑩ 【選択問題】応用物理〔現代物理等〕⑩、地球物理⑩の20問から10問選択
	化学	44問中40問解答 【必須問題】数学・物理⑨、物理化学・分析化学・無機化学・有機化学・工業化学⑦ 【選択問題】生物化学④、化学工学④の8問から4問選択
	農学	40問必須解答 栽培学汎論⑦、作物学⑦、園芸学⑦、育種遺伝学③、植物病理学③、昆虫学③、土壌肥科学・植物生理学④、畜産一般③、農業経済一般③
	農業農村工学	40問必須解答 数学③、水理学④、応用力学④、土壌物理・土質力学②、測量②、農業水利学・土地改良・農村環境整備⑬、農業造構・材料・施工⑦、農業機械②、農学一般③
	林学	40問必須解答 林業政策⑦、林業経営学⑦、造林学⑩、林業工学④、林産一般⑥、砂防工学⑤
	電気・電子・情報	電気・電子・通信・情報工学に関連する領域
	機械	機械工学に関連する領域
	土木	土木工学に関連する領域
専門試験 （記述式）	建築	建築設計製図
	物理	物理に関連する領域
	化学	化学に関連する領域
	農学	農学に関連する領域
	農業農村工学	農業農村工学に関連する領域
	林学	林学に関連する領域

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和3年度）

1次試験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験及び専門試験（多肢選択式）において基準点以上である者について、両試験種目の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。 なお、第1次試験で実施している「一般論文試験」又は「専門試験（記述式）」は、第1次試験合格者を対象に評定しています。
最終合格者	第1次試験合格者のうち、一般論文試験又は専門試験（記述式）において基準点以上であり、かつ、人物試験においてA～Dの評価である者について、第1次試験を含む全ての試験種目の標準点を合計した得点に基づいて最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分		採用予定		申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
行政	北海道	190	本府省 570	991	778	585	387	2.0
	東北	200		1,600	1,245	711	479	2.6
	関東甲信越	730		8,753	6,258	2,531	1,825	3.4
	東海北陸	290		2,646	2,157	1,002	700	3.1
	近畿	370		3,098	2,357	1,012	720	3.3
	中国	220		1,538	1,285	737	537	2.4
	四国	130		1,027	816	411	275	3.0
	九州	300		2,628	2,039	1,074	618	3.3
	沖縄	90		794	637	152	101	6.3
技術	電気・電子・情報	250	445	303	270	187	1.6	
	機械	120	280	179	167	126	1.4	
	土木	410	1,159	904	814	538	1.7	
	建築	100	181	138	132	78	1.8	
	物理	170	278	188	162	130	1.4	
	化学	110	523	344	308	215	1.6	
	農学	150	756	590	516	331	1.8	
	農業農村工学	40	204	159	152	87	1.8	
林学	90	416	341	320	219	1.6		

※行政区分における本府省への採用については、行政関東甲信越地域からの採用が中心となりますが、全国から有為の人材を確保できるようにするという観点から、それ以外の地域からも採用が可能となっています。

※採用予定数は、2月1日現在の見込みです。

参考:行政区分の採用後の勤務地等

試験の区分	採用時の勤務地等
行政 北海道	北海道
行政 東北	青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県
行政 関東甲信越	茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 山梨県 新潟県 長野県
行政 東海北陸	岐阜県 静岡県 愛知県 三重県 富山県 石川県 福井県
行政 近畿	滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県
行政 中国	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県
行政 四国	徳島県 香川県 愛媛県 高知県
行政 九州	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県
行政 沖縄	沖縄県

本府省
(東京)

法務省専門職員（人間科学）

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者 ※法務教官(社会人)においては、昭和56年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	3月26日(金)～4月7日(水)
1 次 試 験 日	6月6日(日)
1次試験合格発表日	6月29日(火)
2 次 試 験 日	7月5日(月)～7月8日(木)
最 終 合 格 発 表 日	8月17日(火)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	共通	140 分	多肢選択式(40 問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験	矯正心理専門職	140 分	多肢選択式(60 問中 40 問解答) 法務省専門職員(人間科学)として必要な専門的知識などについての筆記試験
		法務教官、保護観察官	140 分	多肢選択式(40 問) 法務省専門職員(人間科学)として必要な専門的知識などについての筆記試験
		矯正心理専門職	105 分	記述式(1 問) 法務省専門職員(人間科学)として必要な専門的知識などについての筆記試験
		法務教官、保護観察官	105 分	記述式(4 問中 1 問解答) 法務省専門職員(人間科学)として必要な専門的知識などについての筆記試験
2次試験	人物試験	共通	—	人柄、对人的能力などについての個別面接 (矯正心理専門職区分:心理臨床場面において必要になる判断力等についての質問も含む)
	身体検査	矯正心理専門職、 法務教官	—	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、眼・聴器その他一般内科系検査
	身体測定	矯正心理専門職、 法務教官	—	視力についての測定

●配点比率（令和3年度）

矯正心理専門職					
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(記述)	人物試験	身体検査	身体測定
2/11	3/11	3/11	3/11	合否判定のみ	合否判定のみ
法務教官					
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(記述)	人物試験	身体検査	身体測定
2/10	3/10	3/10	2/10	合否判定のみ	合否判定のみ
保護観察官					
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(記述)	人物試験		
2/10	3/10	3/10	2/10		

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	共通	【知能分野】27問(文章理解①、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③) 【知識分野】13問(自然・人文・社会⑬(時事を含む。))
専門試験 (多肢選択式)	矯正心理専門職	60問中40問解答 【必須問題】心理学に関連する領域② 【選択問題】次の40問から任意の計20問選択 心理学、教育学、福祉及び社会学に関する基礎 (心理学⑩、教育学⑩、福祉⑩、社会学⑩)
	法務教官、保護観察官	40問必須解答 心理学、教育学、福祉及び社会学に関する基礎 (心理学⑩、教育学⑩、福祉⑩、社会学⑩)
専門試験 (記述式)	矯正心理専門職	心理学に関連する領域 1問
	法務教官、保護観察官	【選択問題】次の領域から1問ずつ計4問出題、任意の1問選択 心理学に関連する領域、教育学に関連する領域、福祉に関連する領域、社会学に 関連する領域

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和3年度）

矯正心理専門職、法務教官	
1次試験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験及び専門試験(多肢選択式)において基準点以上である者について、両試験種目の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。 なお、第1次試験で実施している「専門試験(記述式)」は、第1次試験合格者を対象に評定しています。
最終合格者	第1次試験合格者のうち、専門試験(記述式)において基準点以上であり、かつ、人物試験においてA～Cの評価であり、かつ、身体検査及び身体測定に合格した者について、基礎能力試験、専門試験(多肢選択式)、専門試験(記述式)及び人物試験の標準点を合計した得点に基づいて最終合格者を決定します。

保護観察官	
1次試験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験及び専門試験(多肢選択式)において基準点以上である者について、両試験種目の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。 なお、第1次試験で実施している「専門試験(記述式)」は、第1次試験合格者を対象に評定しています。
最終合格者	第1次試験合格者のうち、専門試験(記述式)において基準点以上であり、かつ、人物試験においてA～Cの評価である者について、第1次試験を含む全ての試験種目の標準点を合計した得点に基づいて最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
矯正心理専門職 A	25	118	83	80	38	2.2
矯正心理専門職 B	15	248	176	65	42	4.2
法務教官 A	110	1,003	704	513	238	3.0
法務教官 B	40	361	272	140	73	3.7
法務教官 A(社会人)	30	104	57	51	32	1.8
法務教官 B(社会人)	15	23	16	16	14	1.1
保護観察官	40	274	164	151	95	1.7

国税専門官

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	3月26日（金）～4月7日（水）
1 次 試 験 日	6月6日（日）
1次試験合格発表日	6月29日（火）
2 次 試 験 日	7月5日（月）～7月16日（金）
最終合格発表日	8月17日（火）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	—	140 分	多肢選択式(40 問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験	—	140 分	多肢選択式(70 問中 40 問) 国税専門官として必要な専門的知識などについての筆記試験
		—	80 分	記述式(1 問) 国税専門官として必要な専門的知識などについての筆記試験
2次試験	人物試験	—	—	人柄、対人的能力などについての個別面接
	身体検査	—	—	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、尿、その他一般内科系検査

●配点比率（令和3年度）

国税専門官				
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(記述)	人物試験	身体検査
2/9	3/9	2/9	2/9	合否判定のみ

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	—	【知能分野】27 問(文章理解①、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③) 【知識分野】13 問(自然・人文・社会⑬(時事を含む。))
専門試験 (多肢選択式)	—	【必須】2 科目 16 問(民法・商法、会计学(簿記を含む。)) 【選択】次の 9 科目 54 問(各 6 問)から 4 科目 24 問選択 憲法・行政法、経済学、財政学、経営学、政治学・社会学・社会事情、英語、商業英語、情報数学、情報工学
専門試験 (記述式)	—	次の 5 科目(各 1 問)のうち 1 科目選択 憲法、民法、経済学、会计学、社会学

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験及び専門試験(多肢選択式)において基準点以上である者について、両試験種目の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。 なお、第1次試験で実施している「専門試験(記述式)」は、第1次試験合格者を対象に評定しています。
最終合格者	第1次試験合格者のうち、専門試験(記述式)において基準点以上であり、かつ、人物試験においてA～Cの評価であり、かつ、身体検査に合格した者について、基礎能力試験、専門試験(多肢選択式)、専門試験(記述式)及び人物試験の標準点を合計した得点に基づいて最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
国 税 専 門 官	1,500	13,163	9,733	7,415	4,193	2.3

参考:各国税局の管轄区域

国税局	管轄区域	国税局	管轄区域
札 幌 国 税 局	北海道	大 阪 国 税 局	滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県
仙 台 国 税 局	青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県	広 島 国 税 局	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県
関 東 信 越 国 税 局	茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 新潟県 長野県	高 松 国 税 局	徳島県 香川県 愛媛県 高知県
東 京 国 税 局	千葉県 東京都 神奈川県 山梨県	福 岡 国 税 局	福岡県 佐賀県 長崎県
金 沢 国 税 局	富山県 石川県 福井県	熊 本 国 税 局	熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県
名 古 屋 国 税 局	岐阜県 静岡県 愛知県 三重県	沖 縄 国 税 事 務 所	沖縄県

参考:税務署訪問

国税専門官には、国家一般職(大卒)の官庁訪問のような公式な制度はありませんが、第2次試験後の期間に『税務署訪問』を受け付けることがあります。なお、一部の税務署では税務署訪問日程が指定されている場合があります。

財務専門官

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	3月26日（金）～4月7日（水）
1 次 試 験 日	6月6日（日）
1次試験合格発表日	6月29日（火）
2 次 試 験 日	7月5日（月）～7月7日（水）
最終合格発表日	8月17日（金）

●試験概要（令和3年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	—	140 分 多肢選択式(40 問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験	—	140 分 多肢選択式(76 問中 40 問解答) 財務専門官として必要な専門的知識などについての筆記試験
		—	80 分 記述式(1 問) 財務専門官として必要な専門的知識などについての筆記試験
2次試験	人物試験	—	— 人柄、対人的能力などについての個別面接

●配点比率（令和3年度）

財務専門官			
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(記述式)	人物試験
2/9	3/9	2/9	2/9

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	—	【知能分野】27 問(文章理解①、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③) 【知識分野】13 問(自然・人文・社会⑬(時事を含む。))
専門試験 (多肢選択式)	—	【必須】2 科目 28 問(憲法・行政法、経済学・財政学・経済事情) 【選択】次の 8 科目 48 問(各 6 問)から 2 科目 12 問選択 民法・商法、統計学、政治学・社会学、会计学(簿記を含む。)、経営学、英語、情報数学、情報工学
専門試験 (記述式)	—	次の 5 科目(各 1 問)のうち 1 科目選択 憲法、民法、経済学、財政学、会计学

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験及び専門試験(多肢選択式)において基準点以上である者について、両試験種目の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。 なお、第1次試験で実施している「専門試験(記述式)」は、第1次試験合格者を対象に評定しています。
最終合格者	第1次試験合格者のうち、専門試験(記述式)において基準点以上であり、かつ、人物試験においてA～Cの評価である者について、第1次試験を含む全ての試験種目の標準点を合計した得点に基づいて最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
財 務 専 門 官	170	2,503	1,449	966	597	2.4

参考:各財務局 業務説明会

第1次試験合格発表後～第2次試験の間で、各財務局で財務専門官受験者向けの業務説明会が実施されます(実施日程などの詳細は、財務局のHPに掲載されます)。

参考:各財務局 職場訪問

第2次試験後～最終合格発表の間で、第2次試験受験者を対象とした職場訪問(要事前予約)が実施されています。例年、内容は国家一般職(大卒)の官庁訪問に近く面接などが実施されていますので、第2次試験の準備をベースに事前準備をしたうえで臨む必要があります。

労働基準監督官

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	3月26日（金）～4月7日（水）
1 次 試 験 日	6月6日（日）
1次試験合格発表日	6月29日（火）
2 次 試 験 日	7月13日（火）～7月15日（木）
最終合格発表日	8月17日（火）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	共通	140分	多肢選択式(40問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験	A(法文系)	140分	多肢選択式(48問中40問解答)
		B(理工系)	140分	多肢選択式(46問中40問解答)
		A(法文系)	120分	記述式(2問必須解答)
2次試験	人物試験	B(理工系)	120分	記述式(4～6問中2問解答)
	身体検査	共通	—	人柄、対人的能力などについての個別面接 主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、その他一般内科系検査

●配点比率（令和3年度）

共通				
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(記述)	人物試験	身体検査
2/7	3/7	2/7	合否判定のみ	合否判定のみ

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	共通	【知能分野】27問(文章理解①、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③) 【知識分野】13問(自然・人文・社会⑬(時事を含む。))
専門試験 (多肢選択式)	A(法文系)	【必須】12問 労働法⑦、労働事情(就業構造、労働需給、労働時間・賃金、労使関係)⑤ 【選択】36問中28問選択 憲法、行政法、民法、刑法⑩、経済学、労働経済・社会保障、社会学②⑩
	B(理工系)	【必須】8問 労働事情(就業構造、労働需給、労働時間・賃金、労使関係、労働安全衛生)⑧ 【選択】38問中32問選択 工学に関する基礎(工学系に共通な基礎としての数学、物理、化学)③⑨
専門試験 (記述式)	A(法文系)	2問必須解答 労働法⑦、労働事情(就業構造、労働需給、労働時間・賃金、労使関係)①
	B(理工系)	4～6問中2問解答 【必須】工業事情 1問 【選択】工学に関する専門基礎(機械系、電気系、土木系、建築系、衛生・環境系、応用化学系、応用数学系、応用物理系等の工学系の専門工学に関する専門基礎分野)から3～5問出題し、うち1問選択

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験及び専門試験（多肢選択式）において基準点以上である者について、両試験種目の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験合格者のうち、専門試験（記述式）において基準点以上であり、かつ、人物試験及び身体検査に合格した者について、基礎能力試験、専門試験（多肢選択式）及び専門試験（記述式）の標準点を合計した得点に基づいて最終合格者を決定します。 なお、第1次試験で実施している「専門試験（記述式）」は、第1次試験合格者を対象に評定しています。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
労働基準監督官A（法文系）	195	2,224	1,217	1,050	336	3.6
労働基準監督官B（理工系）	50	669	411	368	160	2.6

食品衛生監視員

●受験資格（令和3年度）

共通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者で次に掲げるもの (1) 大学において薬学、畜産学、水産学又は農芸化学の課程を修めて卒業した者及び 2022 年(令和4年)3月までに当該課程を修めて大学を卒業する見込みの者 (2) 都道府県知事の登録を受けた食品衛生監視員の養成施設(平成27年4月1日前に厚生労働大臣の登録を受けた食品衛生監視員の養成施設を含む。)において所定の課程を修了した者及び 2022 年(令和4年)3月までに当該課程を修了する見込みの者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	3月26日(金)～4月7日(水)
1 次 試 験 日	6月6日(日)
1次試験合格発表日	7月7日(水)
2 次 試 験 日	7月14日(水)～7月21日(水)
最 終 合 格 発 表 日	8月17日(火)

●試験概要（令和3年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	140 分	多肢選択式(40 問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験	100 分	記述式(6 問中 3 問解答) 食品衛生監視員として必要な専門的知識などについての筆記試験
2次試験	人物試験	—	人柄、対人能力などについての個別面接

●配点比率（令和3年度）

食品衛生監視員		
基礎能力試験	専門試験	人物試験
1/4	2/4	1/4

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	—	知能分野 27 問(文章理解①、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③) 知識分野 13 問(自然・人文・社会⑬(時事を含む。))
専門試験 (記述式)	—	次の 6 問から 3 問選択 分析化学①又は食品化学①のいずれか 1 問 微生物学①又は毒性学①のいずれか 1 問 公衆衛生学①又は食品衛生学①のいずれか 1 問

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験及び専門試験(記述式)において基準点以上である者について、両試験種目の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験合格者のうち、人物試験においてA～Cの評価である者について、第1次試験を含む全ての試験種目の標準点を合計した得点に基づいて最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
食品衛生監視員	25	377	245	148	91	2.7

航空管制官

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	3月26日（金）～4月7日（水）
1 次 試 験 日	6月6日（日）
1次試験合格発表日	6月29日（火）
2 次 試 験 日	7月7日（水）
2次試験合格発表日	8月17日（火）
3 次 試 験 日	8月26日（木）～8月27日（金）
最終合格発表日	10月4日（月）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	—	140 分	多肢選択式(40 問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	適性試験 I 部	—	記憶 20 分 空間 25 分	多肢選択式(60 問) 航空管制官として必要な記憶力、空間把握力についての筆記試験
	外国語試験(聞き取り)	—	40 分	聞き取り(10 問) 英語のヒアリング
	外国語試験	—	120 分	多肢選択式(30 問) 英文解釈、和文英訳、英文法などについての筆記試験
2次試験	外国語試験(面接)	—	—	英会話
	人物試験	—	—	人柄、対人的能力などについての個別面接
3次試験	適性試験 II 部	—	—	航空管制官として必要な記憶力、空間把握力についての航空管制業務シミュレーションによる試験
	身体検査	—	—	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、その他一般内科系検査
	身体測定	—	—	視力、色覚、聴力についての測定

●配点比率（令和3年度）

航空管制官								
基礎能力試験	適性試験 I 部	外国語(聞き取り)	外国語(択一)	外国語(面接)	人物試験	適性試験 II 部	身体検査	身体測定
2/12	2/12	1/12	3/12	1/12	3/12	合否判定のみ	合否判定のみ	合否判定のみ

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	—	知能分野 27 問(文章理解①、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③) 知識分野 13 問(自然・人文・社会⑬(時事を含む。))
適性試験 I 部	—	60 問出題 記憶についての検査(示された図や記号、数値などを記憶するもの)⑮ 空間関係についての検査(空間的な方向や移動などの状態を判断するもの)⑮

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験、適性試験Ⅰ部及び外国語試験（多肢選択式）において基準点以上である者について、これらの試験種目の標準点を合計した得点に基づいて第1次試験合格者を決定します。 なお、第1次試験で実施している「外国語試験（聞き取り）」は、第1次試験合格者を対象に評定しています。
2 次 試 験	第1次試験合格者のうち、外国語試験（聞き取り）及び外国語試験（面接）において基準点以上であり、かつ、人物試験においてA～Cの評価である者について、基礎能力試験、適性試験Ⅰ部、外国語試験（多肢選択式）、外国語試験（聞き取り）、外国語試験（面接）及び人物試験の標準点を合計した得点に基づいて第2次試験合格者を決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験合格者のうち、適性試験Ⅱ部、身体検査及び身体測定に合格した者について、基礎能力試験、適性試験Ⅰ部、外国語試験（多肢選択式）、外国語試験（聞き取り）、外国語試験（面接）及び人物試験の標準点を合計した得点に基づいて最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次合格者	最終合格者	最終倍率
航 空 管 制 官	35	839	489	87	50	42	11.6

裁判所総合職（大卒程度区分）

裁判所事務官（大卒程度区分）

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月1日（木）～4月9日（金）
1 次 試 験 日	5月8日（土）
1次試験合格発表日	5月27日（木）
2 次 試 験 日	6月5日（土）～6月17日（木）
2次試験合格発表日	6月29日（火）
3 次 試 験 日	7月8日（木）～7月9日（金）
最終合格発表日	7月30日（金）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	—	180 分	多肢選択式(40 問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験	—	90 分	多肢選択式(30 問) 裁判所事務官に必要な専門的知識などについての筆記試験
2次試験	論文試験	—	60 分	記述式(1 問)【1次試験日に実施】 文章による表現力、課題に対する理解力などについての記述式による筆記試験 ※特例希望者のみ実施(一般職試験(裁判所事務官、大卒程度区分)での合否判定用)
	専門試験	—	60 分	記述式(憲法 1 問)【1次試験日に実施】 裁判所事務官(大卒程度区分)に必要な専門的知識などについての筆記試験※六法の使用不可
		—	120 分	記述式(民法 1 問、刑法 1 問) 裁判所事務官(大卒程度区分)に必要な専門的知識などについての筆記試験※六法を試験場において各受験者に貸与し、その六法の使用可
	政策論文試験	—	90 分	記述式(1 問) 組織運営上の課題を理解し、解決策を企画立案する能力などについての筆記試験
	人物試験	—	—	人柄、資質、能力などについての個別面接
3次試験	人物試験	—	—	人柄、資質、能力などについての集団討論及び個別面接

●配点比率（令和3年度）

裁判所事務官（大卒程度区分）					
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(記述)	政策論文試験	人物試験(2次)	人物試験(3次)
2/15	2/15	4/15	1/15	合否判定のみ	6/15

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	—	知識分野 27 問、知能分野 13 問
専門試験 (多肢選択式)	—	【必須】憲法 7 問、民法 13 問 【選択】刑法又は経済理論 10 問 ※どちらの科目を解答するかについては、試験当日に問題を見て判断可

●合格者の決定方法（令和3年度）

1次試験	第1次試験の受験者（第1次試験日に実施される第2次試験の試験種目も有効に受験している者に限る。）のうち、第1次試験の基礎能力試験及び専門試験の各素点がいずれも下限の得点以上である者につき、両試験種目の標準点の合計順に第1次試験の合格者を決定します。 なお、第1次試験日に実施される第2次試験の試験種目を有効に受験していない場合は、第1次試験の試験種目も採点の対象になりません。
2次試験	第2次試験の受験者のうち、専門試験及び政策論文試験の各素点並びに専門試験の各科目の素点がいずれも下限の得点以上であり、人物試験の判定がAからCである者につき、人物試験の判定を考慮し、また、第1次試験の基礎能力試験及び専門試験並びに第2次試験の専門試験及び政策論文試験の各標準点の合計順に第2次試験の合格者を決定します。
最終合格者	第3次試験の受験者のうち、人物試験の判定がAからCである者について、全ての試験種目（第2次試験の人物試験を除く。）の標準点の合計順に最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
札幌高裁管轄	1	18	11	6	5	2	2	2	5.5
仙台高裁管轄	2	15	8	8	6	3	3	1	8.0
東京高裁管轄	5	225	142	60	52	17	14	2	71.0
名古屋高裁管轄	2	42	33	10	5	2	1	1	33.0
大阪高裁管轄	3	88	54	18	17	3	3	1	54.0
広島高裁管轄	2	32	23	10	9	2	2	2	11.5
高松高裁管轄	1	11	7	1	1	0	—	—	—
福岡高裁管轄	3	38	32	6	4	0	—	—	—

参考：総合職試験（裁判所事務官、大卒程度区分）の特例希望の受験者の取扱い

受験の申込みに際して、特例を希望して、総合職試験（裁判所事務官、大卒程度区分）の各試験種目を有効に受験すると、同試験に加え、一般職試験（裁判所事務官、大卒程度区分）の受験者としても合否判定を受けることができます。

具体的には、総合職試験（裁判所事務官、大卒程度区分）の第1次試験において不合格となった場合には一般職試験（裁判所事務官、大卒程度区分）の第1次試験の、総合職試験（裁判所事務官、大卒程度区分）の第2次試験又は第3次試験において不合格となった場合には一般職試験（裁判所事務官、大卒程度区分）の第2次試験の、それぞれ有効受験者として扱われ、改めて一般職試験（裁判所事務官、大卒程度区分）の受験者としての合否判定を受けることができます。また、総合職試験（裁判所事務官、大卒程度区分）の第3次試験に合格した場合にも、一般職試験（裁判所事務官、大卒程度区分）の第2次試験の有効受験者として扱われ、一般職試験（裁判所事務官、大卒程度区分）の合否判定を受けることができます。

家庭裁判所調査官補（大卒程度区分）

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月1日(木)～4月9日(金)
1 次 試 験 日	5月8日(土)
1次試験合格発表日	5月27日(木)
2 次 試 験 日	6月5日(土)～6月23日(水)
最 終 合 格 発 表 日	7月9日(金)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	—	180 分	多肢選択式(40 問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
2次試験	専門試験	—	120 分	記述式(15 問中 2 問) 家庭裁判所調査官補に必要な専門的知識などについての筆記試験
	政策論文試験	—	90 分	記述式(1 問) 組織運営上の課題を理解し、解決策を企画立案する能力などについての筆記試験
	人物試験Ⅰ	—	—	人柄、資質、能力などについての個別面接
	人物試験Ⅱ	—	—	人柄、資質、能力などについての集団討論及び個別面接

●配点比率（令和3年度）

家庭裁判所調査官補（大卒程度区分）				
基礎能力試験	専門試験(記述式)	政策論文試験	人物試験Ⅰ	人物試験Ⅱ
4/15	4/15	1/15	2/15	4/15

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	—	知能分野 27 問、知識分野 13 問
専門試験(記述式)	—	次の5領域から出題される 15 問のうち選択する 2 問 心理学に関する領域(3問)、教育学に関する領域(3問)、福祉に関する領域(3問) 社会学に関する領域(2問)、法律学に関する領域(民法2問、刑法2問) ※どの問題を解答するかについては、試験当日に問題を見て判断可 ※六法を試験場において各受験者に貸与し、その六法の使用可。その他の試験では六法の使用不可。

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の受験者のうち、基礎能力試験の素点が下限の得点以上である者につき、同試験の標準点の高点順に第1次試験の合格者を決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の受験者のうち、専門試験及び政策論文試験の各素点がいずれも下限の得点以上であり、人物試験Ⅰ及びⅡの判定がいずれもAからCである者につき、全ての試験種目の標準点の合計順に最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
家庭裁判所調査官補	40	599	502	239	198	61	8.2

裁判所一般職（大卒程度区分）

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月1日（木）～4月9日（金）
1 次 試 験 日	5月8日（土）
1次試験合格発表日	5月27日（木）
2 次 試 験 日	6月7日（月）～7月2日（金）
最終合格発表日	7月30日（金）

●試験概要（令和3年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	—	180 分 多肢選択式(40 問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験(多肢選択式)	—	90 分 多肢選択式(30 問) 裁判所事務官に必要な専門的知識などについての筆記試験
2次試験	論文試験(小論文)	—	60 分 記述式(1 問)【1次試験日に実施】 文章による表現力、課題に対する理解力などについての筆記試験
	専門試験(記述式)	—	60 分 記述式(1 問)【1次試験日に実施】 裁判所事務官(大卒程度区分)に必要な専門的知識などについての筆記試験
	人物試験	—	— 人柄、資質、能力などについての個別面接

●配点比率（令和3年度）

裁判所事務官(大卒程度区分)				
基礎能力試験	専門試験(多肢選択式)	論文試験(小論文)	専門試験(記述式)	人物試験
2/10	2/10	1/10	1/10	4/10

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	—	知能分野 27 問、知識分野 13 問
専門試験(多肢選択式)	—	【必須】憲法 7 問、民法 13 問 【選択】刑法又は経済理論 10 問 ※どちらの科目を解答するかについては、試験当日に問題を見て判断可
専門試験(記述式)	—	憲法 1 問 ※六法の使用不可

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の受験者(第1次試験日に実施される第2次試験の試験種目も有効に受験している者に限る。)のうち、第1次試験の基礎能力試験及び専門試験の各素点がいずれも下限の得点以上である者につき、両試験種目の標準点の合計順に第1次試験の合格者を決定します。 なお、第1次試験日に実施される第2次試験の試験種目を有効に受験していない場合は、第1次試験の試験種目も採点の対象になりません
最終合格者	第2次試験の受験者のうち、論文試験及び専門試験の各素点がいずれも下限の得点以上であり、人物試験の判定がAからCである者につき、全ての試験種目の標準点の合計順に最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
札幌高裁管轄	8	350	267	144	134	52	5.1
仙台高裁管轄	30	579	432	278	263	124	3.5
東京高裁管轄	175	3,870	2,847	1,255	1,245	351	8.1
名古屋高裁管轄	25	1,136	915	316	284	100	9.2
大阪高裁管轄	70	1,766	1,340	553	536	200	6.7
広島高裁管轄	25	668	531	219	214	67	7.9
高松高裁管轄	20	500	388	138	119	69	5.6
福岡高裁管轄	40	1,406	1,082	371	324	117	9.2

※2次試験受験者数は、総合職(裁判所事務官)特例希望者を含みます。

参考:各裁判所の管轄区域

管轄区域			
札幌高等裁判所	北海道	大阪高等裁判所	大阪府 京都府 兵庫県 奈良県 滋賀県 和歌山県
仙台高等裁判所	宮城県 福島県 山形県 岩手県 秋田県 青森県	広島高等裁判所	広島県 山口県 岡山県 鳥取県 島根県
東京高等裁判所	東京都 神奈川県 埼玉県 千葉県 茨城県 栃木県 群馬県 静岡県 山梨県 長野県 新潟県	高松高等裁判所	香川県 徳島県 高知県 愛媛県
名古屋高等裁判所	愛知県 三重県 岐阜県 福井県 石川県 富山県	福岡高等裁判所	福岡県 佐賀県 長崎県 大分県 熊本県 鹿児島県 宮崎県 沖縄県

衆議院事務局職員（大卒程度）

総合職（大卒程度）

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受 験 申 込 受 付	3月26日(金)～4月5日(月)
1 次 試 験 日	4月29日(木)
1次試験合格発表日	5月12日(水)
2 次 試 験 日	5月31日(月)～6月4日(金)
2次試験合格発表日	6月15日(火)
3 次 試 験 日	6月25日(金)
最 終 合 格 発 表 日	7月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	—	120 分	多肢選択式
	専門試験	—	90 分	多肢選択式
2次試験	論文試験	—	180 分	記述式(3 問)
	個別面接試験	—	—	個別面接
3次試験	口述試験	—	—	口述試験

●配点比率（令和3年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専 門 試 験	—	憲法、行政法、民法、刑法、政治学、行政学、経済学、財政学、社会政策、国際関係、英語
論 文 試 験	—	【必須】憲法(1 問) 【選択】行政法(1 問)、民法(1 問)、政治学(1 問)、経済学(1 問) いずれか2 科目を選択

●合格者の決定方法（令和3年度）

非公表

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
総合職（大卒程度）	若干名	165	101	33	25	8	8	2	50.5

一般職（大卒程度）

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受 験 申 込 受 付	3月26日(金)～4月5日(月)
1 次 試 験 日	5月15日(土)
1次試験合格発表日	5月21日(金)
2 次 試 験 日	6月12日(土)
2次試験合格発表日	7月2日(金)
3 次 試 験 日	7月12日(月)～7月16日(金)
最 終 合 格 発 表 日	9月上旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	—	120 分	多肢選択式
	専門試験	—	90 分	多肢選択式
2次試験	論文試験	—	120 分	記述式(2 問)
3次試験	個別面接試験	—	—	個別面接

●配点比率（令和3年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専 門 試 験	—	憲法、行政法、民法、刑法、政治学、行政学、経済学、財政学、社会政策、国際関係、英語
論 文 試 験	—	【必須】憲法(1 問) 【選択】行政法(1 問)、政治学(1 問)、経済学(1 問)いずれか1 科目を選択

●合格者の決定方法（令和3年度）

非公表

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
一 般 職（大 卒 程 度）	20	445	314	123	112	60	40	14	22.4

衆議院法制局職員（総合職）

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受 験 申 込 受 付	3月8日(月)～4月5日(月)
1 次 試 験 日	4月18日(日)
1次試験合格発表日	4月21日(水)以降
2 次 試 験 日	5月29日(土)
2次試験合格発表日	6月11日(金)以降
3 次 試 験 日	6月19日(土)
最 終 合 格 発 表 日	6月28日(月)以降

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	—	120分	多肢選択式
	専門試験	—	120分	多肢選択式
2次試験	論文試験	—	240分	3問
	面接試験	—	—	面接試験
3次試験	口述試験	—	—	憲法を中心とする法律問題
	面接試験	—	—	面接試験

●配点比率（令和3年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	—	文章理解、判断推理、数的推理及び資料解釈に関する一般知能並びに社会、人文及び自然に関する一般知識
専門試験	—	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学・財政学
論文試験	—	憲法(1問)、行政法(1問)、民法(1問)

●合格者の決定方法（令和3年度）

非公表

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
衆議院法制局職員	若干名	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表

参議院事務局総合職（大卒程度）

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成6年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受 験 申 込 受 付	3月1日(月)～4月9日(金)
1 次 試 験 日	5月1日(土)
1次試験合格発表日	5月7日(金)
2 次 試 験 日	5月18日(火)～5月29日(土)
2次試験合格発表日	6月15日以降
3 次 試 験 日	7月上旬以降のいずれか指定する日
最 終 合 格 発 表 日	7月30日(金)以降

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	—	180 分	多枝選択式(50 問)
	専門試験	—	210 分	多枝選択式(80 問中 40 問)
2次試験	専門試験	—	180 分	論文式(3 問)
	人物試験	—	—	集団面接
3次試験	人物試験	—	—	個別面接

●配点比率（令和3年度）

参議院事務局職員総合職(大卒程度)			
基礎能力試験	専門試験(択一)	専門試験(論文)	人物試験(集団面接)
1/10	1/10	4/10	4/10

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	—	社会科学(時事を含む)〔5 問〕、人文科学〔13 問〕、自然科学〔7 問〕、文章理解〔9 問〕、判断推理・数的推理・資料解釈〔16 問〕
専門試験 (多枝選択式)	—	次の 80 問から合計 40 問となるように科目を選択して解答 憲法〔5 問〕、行政法〔10 問〕、民法〔10 問〕、刑法〔5 問〕、労働法〔5 問〕、経済政策〔10 問〕、経済理論〔10 問〕、経済事情・経済史〔5 問〕、財政学〔10 問〕、国際関係〔5 問〕、政治学・行政学〔5 問〕
専門試験 (論文式)	—	「法律部門」を選択した場合 合計 3 問解答 【必須】憲法〔1 問〕 【選択】次の 3 問から合計 2 問選択 行政法〔1 問〕、民法(総則、物権)〔1 問〕、民法(債権、親族・相続)〔1 問〕 「経済部門」を選択した場合 合計 3 問解答 経済理論〔1 問〕、財政学〔1 問〕、経済政策〔1 問〕 ※受験申込時に法律部門及び経済部門のうち 1 部門を選択。

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第3次試験の結果に基づいて決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
参議院事務局総合職	15	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表

参議院法制局職員（総合職）

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受 験 申 込 受 付	3月15日(月)～4月8日(木)
1 次 試 験 日	4月17日(土)
1次試験合格発表日	4月20日(火)
2 次 論 文 試 験 日	4月29日(木)
2次論文試験合格発表日	5月18日(火)以降
2 次 面 接 試 験	5月下旬以降の指定する日時
2次面接試験合格発表日	不明(可否を郵便で通知)
3 次 試 験 日	6月上旬以降の指定する日時
最 終 合 格 発 表 日	不明(可否を郵便で通知)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	—	80 分	多肢選択式(40 問)
	専門試験	—	80 分	多肢選択式(40 問)
2次試験	論文試験	—	180 分	論文試験
	面接試験	—	—	面接試験
3次試験	口述試験	—	—	憲法を中心とする法律問題
	面接試験	—	—	面接試験

●配点比率（令和3年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基 礎 能 力 試 験	—	知能分野（文章理解、判断推理、数的推理及び資料解釈） 知識分野（社会、人文及び自然）
専 門 試 験	—	憲法、行政法、民法及び刑法
論 文 試 験	—	憲法、行政法及び民法

●合格者の決定方法（令和3年度）

非公表

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
参議院法制局職員	若干名	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表

国立国会図書館職員

●受験資格（令和3年度）

共 通	昭和62年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（郵送のみ）	3月22日（月）～4月7日（水）
1 次 試 験 日	5月9日（日）
1次試験合格発表日	5月20日（木）
2 次 試 験 日	6月6日（日）～6月21日（月）
2次試験合格発表日	6月29日（火）
3 次 試 験 日	7月6日（火）～7月8日（木）
最終合格発表日	7月28日（水）以降

●試験概要（令和3年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	共通	120 分 多肢選択式 一般的知識、知能を問う試験
2次試験	専門試験	総合職	120 分 記述式
		一般職	90 分 記述式
	英語試験	共通	60 分 記述式 長文読解
	小論文試験	総合職	60 分 与えられた課題についての小論文(1,200 字)
	人物試験	共通	— 個別面接
3次試験	人物試験	共通	— 個別面接

●配点比率（令和3年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	共通	次のうち、受験者があらかじめ選択する1科目についての筆記試験 法学(憲法、民法、行政法、国際法から受験時に2分野選択)、政治学、経済学、社会学、文学、史学(日本史、東洋史、西洋史から受験時に1分野選択)、図書館情報学、物理学、化学、数学、工学・情報工学(工学全般、情報工学から受験時に1分野選択)、生物学

●合格者の決定方法（令和3年度）

総合職	
1 次 試 験	—
2 次 試 験	専門試験、英語試験及び人物試験の成績を総合して行います。
最終合格者	第3次試験の結果と小論文試験を総合して行います。
一般職	
1 次 試 験	—
2 次 試 験	—
最終合格者	—

●試験実施状況（令和３年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
総合職	若干名	363	295	101	76	13	11	3	98.3
一般職	若干名	507	412	141	99	43	39	8	51.5

参考:総合職試験の特例制度

総合職試験に不合格になった場合に、一般職試験(大卒程度試験)の受験者としての取扱いを受けることができる制度です。総合職試験の受験申込みの際に「特例」を希望し、総合職試験の各試験種目を有効に受験すると(1種目でも欠席又は棄権があった場合、特例は適用されません。)、総合職試験の第1次試験において不合格になった場合には一般職試験(大卒程度試験)の第1次試験の、第2次試験において不合格になった場合には一般職試験(大卒程度)の第2次試験の、第3次試験において不合格になった場合には一般職試験(大卒程度試験)の第3次試験の、それぞれ有効な受験者として扱われ、改めて一般職試験(大卒程度試験)受験者としての合否判定がなされます。なお、特例の希望の有無が合否に影響することはありません。また、採用時や採用後に有利又は不利に扱われることもありません。

外務省専門職員

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受 験 申 込 受 付	3月26日(金)～4月9日(金)
1 次 試 験 日	6月12日(土)～6月13日(日)
1次試験合格発表日	7月6日(火)
2 次 試 験 日	7月13日(火)～7月21日(水)
最 終 合 格 発 表 日	8月18日(水)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	専門試験	—	120分	【必須】記述式 国際法(3問中2問解答)
		—	120分	【選択】記述式 憲法(3問中2問解答)または、記述式 経済学(3問中2問解答)
	時事論文試験	—	90分	記述式(1問)
	基礎能力試験	—	140分	多肢選択式(40問) 知能分野 27問、知識分野 13問
	外国語試験	—	120分	記述式 外国語文和訳(2問)、和文外国語訳(2問)
2次試験	外国語試験(面接)	—	—	外国語会話 1次試験で受験した外国語で実施
	人物試験	—	—	個別面接(2回)、グループ討議
	身体検査	—	—	胸部X線撮影などを含む一般的な身体検査

●配点比率（令和3年度）

外務省専門職員						
基礎能力試験	専門試験	外国語試験 (記述式)	時事論文試験	人物試験	外国語試験 (面接)	身体検査
1/11	2/11	1/11	1/11	5/11	1/11	合否判定のみ

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
外国語試験 (記述式)	—	英語・フランス語・ドイツ語・ロシア語・スペイン語・ポルトガル語・イタリア語・アラビア語・ペルシア語・ミャンマー語・タイ語・ベトナム語・インドネシア語・中国語・朝鮮語のうちから1カ国語を選択

●合格者の決定方法（令和3年度）

非公表

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
外務省専門職員	50	368	248	100	非公表	52	4.7

防衛省専門職員

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付	4月8日(木)～4月22日(木)
1次試験日	6月6日(日)
1次試験合格発表日	7月5日(月)
2次試験日	7月26日(月)～8月2日(月)
最終合格発表日	8月16日(月)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎試験	共通	140分	多肢選択式(40問) 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験	語学	120分	記述式 各試験区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
	論文試験	共通	60分	一般論文又は時事論文 課題に対する総合的な判断力、思考力及び表現力についての筆記試験
2次試験	口述試験	共通	—	人柄、対人的能力などについての個別面接
	身体検査	共通	—	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、尿、その他一般内科系検査

●配点比率（令和3年度）

語学(英語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語)		
基礎能力試験	専門試験	論文試験
1/3	2/3	合否の判定のみ

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	共通	知能分野 27問(文章理解①、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③) 知識分野 13問(自然・人文・社会⑬(時事を含む。))
専門試験 (記述式)	語学(英語)	英文解釈②、語彙問題①、英文法①、英作文①の計5問
	語学(ロシア語)	露文和訳②、和文露訳①、露語文法②の計5問
	語学(中国語)	中文和訳②、和文中訳②、中国語文法①の計5問
	語学(朝鮮語)	朝文和訳②、和文朝訳②、朝鮮語文法①の計5問
	語学(アラビア語)	アラビア語和訳②、和文アラビア語訳②、アラビア語文法①の計5問

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和3年度）

語学(英語、ロシア語、中国語、朝鮮語)	
1次試験	筆記試験の粗点を、各試験種目別にウエイト換算(配点比率参照)し、換算合計点の満点を100点として、個々の得点を算定する。その上で、採用予定者数に過去の辞退率等を加味して必要な合格者数を算定し、成績上位者より第1次試験合格者とする。
2次試験	口述試験の評定をA～Eの5段階で評定し、D以下については不合格とする。身体検査については、勤務に支障があるか否かを医官が判定し合否を決定する。
最終合格者	過去の辞退率等から、必要な合格者数を算定した上で、口述試験の評定Aの者から順次決定する。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
語学（英語）	30	312	224	100	81	75	4.2
語学（ロシア語）	若干名	14	11	3	3	3	4.7
語学（中国語）	若干名	29	22	10	10	9	3.2
語学（朝鮮語）	若干名	34	24	12	12	11	3.1
語学（アラビア語）	若干名	6	5	1	1	1	6.0

自衛隊一般幹部候補生（大卒程度）

●受験資格（令和3年度）

共	通	令和4年4月1日現在、22歳以上26歳未満の者 現に自衛官である者については、22歳以上28歳未満の者

●試験日程（令和3年度）第1回

	一般要員	飛行要員
受験申込受付（WEB）	3月1日（月）～4月28日（木）	
1次試験日	5月8日（土）筆記試験	5月8日（土）筆記試験 5月9日（日）筆記式操縦適性検査
1次試験合格発表日	6月1日（火）	
2次試験日	6月8日（火）～7月14日（月）のうち指定する日	
2次試験合格発表日	－	6月28日（月）海上自衛隊 7月2日（金）航空自衛隊
3次試験日	－	7月5日（月）～7月9日（金）海上自衛隊 7月17日（土）～8月5日（木）航空自衛隊
最終合格発表日	7月23日（金）陸上自衛隊、7月30日（金）海上自衛隊、8月27日（金）航空自衛隊	

●試験日程（令和3年度）第2回

	一般要員
受験申込受付（WEB）	3月1日（月）～6月18日（金）
1次試験日	6月26日（土）筆記試験
1次試験合格発表日	7月23日（金）
2次試験日	8月2日（月）～8月8日（日）のうち指定する日
最終合格発表日	9月22日（水）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	一般教養試験	共通	－	択一式
	専門試験	共通	－	択一式
		共通	－	記述式 ※採点は第1次試験合格者について行い、第2次試験の結果とあわせて最終合格の決定に用います。
2次試験	小論文試験	共通	－	小論文試験
	口述試験	共通	－	口述試験
	身体検査	共通	－	飛行要員希望者のみ航空身体検査を実施
3次試験	航空身体検査（一部）	海上自衛隊（飛行要員）	－	航空身体検査
	操縦適性検査	航空自衛隊（飛行要員）	－	実際に航空機（複座機）に搭乗して行う飛行適性の検査、コンピューター及び面接検査を行います。
	医学適性検査	航空自衛隊（飛行要員）	－	医学適性検査

●配点比率（令和3年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
一般教養試験	共通	第Ⅰ分野(人文科学、社会科学、自然科学及び英語) 第Ⅱ分野(文章理解、数的推理、判断推理及び資料解釈)
専門択一	共通	人文科学、社会科学、理・工学のうちから1科目選択
専門記述	共通	心理、教育、英語、行政、法律、経済、国際関係、社会、数学、物理、化学、情報工学、電気、電子、機械(造船を含む。)、土木、建築、航空工学、海洋・航海のうちから1科目選択

●合格者の決定方法（令和3年度）

非公表

●試験実施状況（令和3年度）第1回

区分		採用予定		申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者		最終倍率
		男子	女子					男子	女子	
陸上自衛隊	一般要員	147	20	非公表	非公表	非公表	非公表	153	34	非公表
海上自衛隊	一般要員	63	15					42	12	
	飛行要員							5		
航空自衛隊	一般要員	53						33	15	
	飛行要員							24	4	

国立大学法人等職員

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成3年4月2日以降に生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	5月12日（水）～5月26日（水）
1 次 試 験 日	7月4日（日）
1次試験合格発表日	7月21日（水）
2 次 試 験 日	各国立大学法人等で実施

●試験概要（令和3年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	120分	多肢選択式(40問) 多肢選択式による筆記試験(大学卒業程度)
2次試験	面接 考査等	—	国立大学法人等ごとに、第一次試験合格者に対して個別に日程を設定して実施します。

●配点比率（令和3年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	—	一般知識 社会⑦、人文⑦及び自然⑥:20問 一般知能 文章理解⑦、判断推理⑧、教養的推理及び資料解釈⑤:20問

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	採用希望地区の実施委員会が教養試験の結果に基づき決定します。 ※第1次試験の合格者は「第一次試験合格者名簿」に登載され、実施委員会において第1次試験合格者発表日から原則として翌年度の合格発表日の前日まで保管します。 各国立大学法人等は、欠員が生じた場合にその都度、この名簿に基づき第2次試験を実施します。

●試験実施状況（令和3年度）

	区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	倍率
事務	北海道地区	45	921	不明	394	2.3
	東北地区	53	1,689	1,328	484	3.5
	関東甲信越地区	213	8,281	5,449	1,788	4.6
	東海・北陸地区	92	2,902	不明	946	3.1
	近畿地区	36	3,048	1,895	658	4.6
	中国・四国地区	94	2,587	不明	1,073	2.4
	九州地区	98	4,366	1,526	1,526	2.9

※倍率は「申込者/1次合格者」で算出

一般行政A、教育行政A、警察行政A（第1回）

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた方

●試験日程（令和3年度）

受 験 申 込 受 付	3月24日(水)～4月2日(金)
1 次 試 験 日	5月16日(日)
1次試験合格発表日	6月4日(金)（警察行政Aは6月11日(金)）
2 次 試 験 日	筆記試験:6月20日(日) 口述試験: 一般行政A・教育行政A: 7月上旬～下旬 警察行政A : 7月上旬
最 終 合 格 発 表 日	一般行政A・教育行政A: 8月中旬 警察行政A : 7月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容・出題科目など
1次試験	職 務 基 礎 力 試 験	一般行政A(第1回) 教育行政A(第1回) 警察行政A(第1回)	40 分	択一式(30問) 社会事情・言語能力
		一般行政A(第1回) 教育行政A(第1回) 警察行政A(第1回)	70 分	択一式(30問) 数的・論理的能力
		小 論 文 試 験 警察行政A(第1回)	90 分	記述式(1問) 文章による表現力、理解力・論理的思考力などについての筆記試験
2次試験	小 論 文 試 験	一般行政A(第1回) 教育行政A(第1回)	90 分	記述式(1問) 文章による表現力、理解力・論理的思考力などについての筆記試験
	口 述 試 験	一般行政A(第1回) 教育行政A(第1回) 警察行政A(第1回)	—	個別面接 コミュニケーション能力、協調性、主体性、行動力、積極性などについての評定

●配点比率（令和3年度）

事務系			
職務基礎力試験 (社会事情・言語能力)	職務基礎力試験 (数的・論理的能力)	小論文試験	人物試験
30	30	5	20

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
職 務 基 礎 力 試 験	一般行政A(第1回)	社会事情・言語能力 : 社会事情、文章理解、長文読解、言葉の用法
	教育行政A(第1回)	数的・論理的能力 : 数的理解、論理的理解、資料理解
	警察行政A(第1回)	

●合格者の決定方法（令和3年度）

一般行政A(第1回)、教育行政A(第1回)	
1 次 試 験	職務基礎力試験の結果に基づいて決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験(小論文試験及び人物試験)の結果に基づいて決定します。
警察行政A(第1回)	
1 次 試 験	職務基礎力試験の結果に基づいて決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験及び小論文試験の結果に基づいて決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
一般行政A（第1回）	100	983	867	521	183	4.7
教育行政A（第1回）	45	170	153	92	62	2.5
警察行政A（第1回）	29	194	174	102	53	3.3

技術系A区分(第1回)

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた方

●試験日程（令和3年度）

受 験 申 込 受 付	5月6日(木)～5月17日(月)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	7月2日(金)
2 次 試 験 日	7月上旬～中旬
最 終 合 格 発 表 日	7月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容・出題科目など
1次試験	職務基礎力試験	環境科学A、農業A、水産A、林業A、総合土木A、建築A、普及職員(農業・水産)A	60 分	択一式(30問) 基礎的な職務能力についての筆記試験
	専門試験	環境科学A、農業A、水産A、林業A、総合土木A、建築A、普及職員(農業・水産)A	120 分	択一式(40問)
2次試験	口述試験	環境科学A、農業A、水産A、林業A、総合土木A、建築A、普及職員(農業・水産)A	—	個別面接(プレゼンテーションを含む。)コミュニケーション能力、協調性、主体性、行動力、積極性などについて評定

●配点比率（令和3年度）

事務系			
職務基礎力試験	専門試験(筆記)	人物試験	専門試験(口述)
30	40	20	5

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
職務基礎力試験	環境科学A、農業A、水産A、林業A、総合土木A、建築A、普及職員（農業・水産）A	社会事情、文章理解、長文読解、言葉の用法、数的理解、論理的理解、資料理解
専門試験	環境科学A	環境法概論、環境政策概論（気候変動を含む）、環境保全政策（大気汚染、水質汚濁、化学物質等）、廃棄物政策（廃棄物、リサイクル、循環型社会形成等）、自然環境政策（自然環境の保全、野生生物、自然公園等）、大気・水環境・水道工学、廃棄物処理工学、生態学
	農業A	作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、土壌肥科学、植物生理学、食品科学、家畜育種学・家畜繁殖学・家畜生理学、家畜飼養学・家畜管理学、飼科学、経済学、農業経済学、農業経営学、食料政策・農業政策
	水産A	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	林業A	森林政策・森林経営学、造林学（森林生態学、森林保護学を含む）、林業工学、林産一般、砌防工学
	総合土木A（農業）	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般
	総合土木A（建設）	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築A	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	普及職員（農業）A	作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学・昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、食品科学、家畜育種学・家畜繁殖学・家畜生理学、家畜飼養学・家畜管理学、飼科学、農業経済学、農業経営学、農業政策、農業機械
	普及職員（水産）A	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学

●合格者の決定方法（令和3年度）

環境科学A、農業A、水産A、林業A、総合土木A、建築A、普及職員（農業）A、普及職員（水産）A	
1 次 試 験	職務基礎力試験及び専門試験の結果に基づいて決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の結果に基づいて決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1 次受験者	1 次合格者	最終合格者	最終倍率
環 境 科 学 A	3	37	30	11	5	6.0
農 業 A	15	33	29	24	18	1.6
水 産 A（第 1 回）	6	14	14	13	8	1.8
林 業 A（第 1 回）	7	18	14	9	7	2.0
総合土木（農業）A（第 1 回）	5	9	8	8	8	1.0
総合土木（建設）A（第 1 回）	11	26	22	14	12	1.8
建 築 A（第 1 回）	8	14	13	11	7	1.9
普及職員（農業）A（第1回）	41	45	36	31	28	1.3
普及職員（水産）A（第1回）	4	5	5	4	3	1.7

総合土木A（専門試験口述型）

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた方

●試験日程（令和3年度）

受 験 申 込 受 付	3月24日(水)～4月2日(金)
1 次 試 験 日	5月16日(日)
1次試験合格発表日	5月28日(金)
2 次 試 験 日	6月上旬
最 終 合 格 発 表 日	6月中旬

●試験概要・出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容・出題科目など
1次試験	職務基礎能力試験	総合土木A (専門試験口述型)	60分 択一式(30題) 基礎的な職務能力についての筆記試験
	専門性確認シート作成	総合土木A (専門試験口述型)	90分 第2次試験で使用する専門性確認シートの作成(筆記)
2次試験	専門性確認のための個別面接	総合土木A (専門試験口述型)	— 個別面接(土木技術者としての専門知識などについての評定) ※専門性確認シートを事前に作成
	人物評価に係る個別面接	総合土木A (専門試験口述型)	— 個別面接 (コミュニケーション能力、協調性、主体性、行動力、積極性などについての評定)

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
職務基礎能力試験	総合土木A (専門試験口述型)	社会事情、文章理解、長文読解、言葉の用法、数的理解、論理的理解、資料理解
専門性確認シート、専門性の確認のための個別面接	総合土木A (専門試験口述型)	【農業土木】 ①土質、基礎 ②構造、材料 ③水文、水理 ④土壌物理 ⑤土地改良 ⑥農業水利 ⑦農業機械、施工、測量 ⑧農村計画、農村環境、農村振興 【建設土木】 ①物理 ②地質、地形 ③土質、材料 ④構造、基礎 ⑤都市及び地方計画、交通 ⑥河川、砂防 ⑦海岸、港湾 ⑧道路 ⑨施工、測量 ⑩環境、衛生 ※選択した3つ以内の分野から出題

●配点比率（令和3年度）

非公表

●合格者の決定方法（令和3年度）

総合土木A(専門試験口述型)	
最 終 合 格 者	第2次試験(専門性の確認のための個別面接及び人物評価に係る個別面接)の結果に基づいて決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
総合土木A (専門試験口述型) 農業土木	9	15	14	12	9	1.6
総合土木A (専門試験口述型) 建設土木	20	42	38	30	23	1.7

一般行政A、教育行政A、警察行政A（第2回）

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた方

●試験日程（令和3年度）

受 験 申 込 受 付	8月16日(月)～8月25日(水)
1 次 試 験 日	9月26日(日)
1次試験合格発表日	10月15日(金)
2 次 試 験 日	一般行政A、教育行政A 筆記試験:10月24日(日) 口述試験:11月中旬～下旬 警察行政A 10月下旬
最 終 合 格 発 表 日	一般行政A、教育行政A 12月中旬 警察行政A 11月下旬

●試験概要・出題科目一覧（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容・出題科目など
1次試験	職 務 基 礎 力 試 験	一般行政A(第2回) 教育行政A(第2回) 警察行政A(第2回)	40 分	択一式(30問) 社会事情・言語能力 基礎的な職務能力についての筆記試験
		一般行政A(第2回) 教育行政A(第2回) 警察行政A(第2回)	70 分	択一式(30問) 数的・論理的能力 基礎的な職務能力についての筆記試験
2次試験	小論文試験	一般行政A(第2回) 教育行政A(第2回) 警察行政A(第2回)	90 分	記述式(1問) 文章による表現力、理解力・論理的思考力などについての筆記試験
	口 述 試 験	一般行政A(第2回) 教育行政A(第2回) 警察行政A(第2回)	—	個別面接 コミュニケーション能力、協調性、主体性、行動力、積極性などについて評定

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
職 務 基 礎 力 試 験	一般行政A(第2回) 教育行政A(第2回) 警察行政A(第2回)	社会事情・言語能力 :社会事情、文章理解、長文読解、言葉の用法 数的・論理的能力 :数的理解、論理的理解、資料理解

●配点比率（令和3年度）

非公表

●合格者の決定方法（令和3年度）

一般行政A(第2回)、教育行政A(第2回)、警察行政A(第2回)	
1 次 試 験	職務基礎力試験の結果に基づいて決定します。
2 次 試 験	第2次試験(小論文及び人物試験)の結果に基づいて決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
一般行政A(第2回)	20	327	252	160	56	4.5
教育行政A(第2回)	20	92	73	62	26	2.8
警察行政A(第2回)	2	30	20	7	2	10.0

水産A、林業A、総合土木A、建築A、普及職員（農業・水産）A（第2回）

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた方

●試験日程（令和3年度）

受 験 申 込 受 付	8月16日(月)～8月25日(水)
1 次 試 験 日	9月26日(日)
1 次 試 験 合 格 発 表 日	10月15日(金)
2 次 試 験 日	10月下旬
最 終 合 格 発 表 日	11月下旬

●試験概要・出題科目一覧（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容・出題科目など
1次試験	職務基礎力試験	水産A(第2回)、林業A(第2回)、総合土木A(第2回)、建築A(第2回)、普及職員A(農業・水産)(第2回)	60 分	択一式(30問) 基礎的な職務能力についての筆記試験
	専門試験	水産A(第2回)、林業A(第2回)、総合土木A(第2回)、建築A(第2回)、普及職員A(農業・水産)(第2回)	120 分	択一式(40 問) 各試験区分に応じて必要な専門的知識、能力などについての筆記試験
2次試験	口述試験	水産A(第2回)、林業A(第2回)、総合土木A(第2回)、建築A(第2回)、普及職員A(農業・水産)(第2回)	—	個別面接(プレゼンテーションを含む) コミュニケーション能力、協調性、主体性、行動力、積極性などについての評定

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
職務基礎力試験	水産A(第2回)、林業A(第2回)、総合土木A(第2回)、建築A(第2回)、普及職員A(農業・水産)(第2回)	社会事情、文章理解、長文読解、言葉の用法、数的理解、論理的理解、資料理解
専門試験	水産A(第2回)	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	林業A(第2回)	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む)、林業工学、林産一般、砂防工学
	総合土木A(農業)(第2回)	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般
	総合土木A(建設)(第2回)	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築A(第2回)	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	普及職員(農業)A(第2回)	作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学・昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、食品科学、家畜有種学・家畜繁殖学・家畜生理学、家畜飼養学・家畜管理学、飼料学、農業経済学、農業経営学、農業政策、農業機械
	普及職員(水産)A(第2回)	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学

●配点比率（令和3年度）

非公表

●合格者の決定方法（令和3年度）

水産A(第2回)、林業A(第2回)、総合土木A(第2回)、建築A(第2回)、普及職員A(農業・水産)(第2回)	
1 次 試 験	職務基礎直試験及び専門試験の結果に基づいて決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の結果に基づいて決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
水 産 A (第 2 回)	2	9	8	7	4	2.0
林 業 A (第 2 回)	3	7	5	1	1	5.0
総 合 土 木 (農 業) A (第 2 回)	2	0	0	0	-	-
総 合 土 木 (建 設) A (第 2 回)	6	16	11	11	7	1.6
建 築 A (第 2 回)	2	6	6	6	3	2.0
普及職員(農業)A(第2回)	10	16	12	8	6	2.0
普及職員(水産)A(第2回)	1	2	2	2	1	2.0

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた方 ※「心理」は資格要件あり。

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	5月7日(金)～5月26日(水)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1 次 試験 合格 発表 日	6月28日(月)
2 次 試 験 日	7月12日(月)～7月20日(火)
最 終 合 格 発 表 日	8月10日(火)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政、警察行政、病院運営、化学、心理、農学、畜産、林業、水産、総合土木、建築、設備、警察科学(化学)	120 分	択一式(40問) 公務員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験
	専門試験	行政、警察行政、病院運営、化学、心理、農学、畜産、林業、水産、総合土木、建築、設備、警察科学(化学)	120 分	択一式(40問) 試験職種ごとに、それぞれの専門的知識及び能力についての筆記試験
2次試験	論文試験	行政、警察行政、病院運営、化学、心理、農学、畜産、林業、水産、総合土木、建築、設備、警察科学(化学)	60 分	一般的課題により職務の遂行に必要な識見、判断力、思考力等についての記述試験(800字以内) ※内容(論理性・思考力)、表現・国語力等を評価 ※1次試験日に実施
	適性検査	行政、警察行政、病院運営、化学、心理、農学、畜産、林業、水産、総合土木、建築、設備、警察科学(化学)	—	公務員としての適性について、作業検査法による検査
	面接試験	行政、警察行政、病院運営、化学、心理、農学、畜産、林業、水産、総合土木、建築、設備、警察科学(化学)	—	人物について、グループワーク及び個別面接による試験(思考力・表現力、協調性・社会性、使命感・責任感、積極性、課題認識力・経験学習力等を評価)

●配点比率（令和3年度）

行政、警察行政、病院運営					
1次試験		2次試験			合計
教養試験	専門試験	論文試験	グループワーク	個別面接	
50	50	50	150		300

化学、心理、農学、畜産、林業、水産、総合土木、建築、設備、警察科学(機械)					
1次試験		2次試験			合計
教養試験	専門試験	論文試験	グループワーク	個別面接	
40	60	50	150		300

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 択 一	行政、警察行政、病院運営、化学、心理、農学、畜産、林業、水産、総合土木、建築、設備、警察科学(化学)	社会科学、人文科学、自然科学、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
	行政、警察行政、病院運営	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係
専 門 択 一	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学
	農学	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	総合土木	受験申込時に、「土木」又は「農業土木」のいずれかの出題分野を選択し申込み (申込受付期間終了後の変更は認めません。) 【土 木】数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、土木計画(都市計画を含む。)、材料・施工 【農業土木】数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	設備	受験申込時に、「機械」又は「電気」のいずれかの出題分野を選択 【機 械】数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作 【電 気】数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	警 察 科 学 (化 学)	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工業

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	各試験種目の合計得点の高い順に決定します。
2 次 試 験	第1次試験及び第2次試験の総合得点による順位で決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政	79	285	227	80	2.8
警 察 行 政	3	17	17	3	5.7
病 院 運 営	2	7	5	2	2.5
化 学	2	8	7	2	3.5
心 理	5	9	9	5	1.8
農 学	6	18	15	6	2.5
畜 産	4	5	4	4	1.0
林 業	1	7	5	1	5.0
水 産	2	6	4	1	4.0
総 合 土 木	19	42	34	17	2.0
建 築	3	4	2	1	2.0
設 備	2	4	3	2	1.5
警 察 科 学 (化 学)	1	6	4	1	4.0

一般行政A、心理、農学、畜産、林学、水産、総合土木A、建築、機械、電気、総合化学

●受験資格（令和3年度）

共 通	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	5月6日（木）～5月21日（金）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	一般行政A： 6月25日（金） 一般行政A以外：7月2日（金）
2 次 試 験 日	一般行政A： 7月1日（木）～7月9日（金） 一般行政A以外：7月12日（月）～7月24日（土）
2次試験合格発表日 （一般行政Aのみ）	7月16日（金）
3 次 試 験 日 （一般行政Aのみ）	7月26日（月）～8月2日（月）
最 終 合 格 発 表 日	一般行政A： 8月11日（水） 一般行政A以外：8月3日（火）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	一般行政A、心理、農学、畜産、林学、水産、総合土木A、建築、機械、電気、総合化学	120 分	公務員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験（多肢選択式、50 題中 40 題選択解答）
	専門試験	一般行政A、心理、農学、畜産、林学、水産、総合土木A、建築、機械、電気、総合化学	120 分	多肢選択式 40 題解答 各職種に応じた専門的知識等についての筆記試験（一般行政Aは、10 題の必須解答を含む 50 題中 40 題の選択解答制）、（総合土木A及び総合化学は、50 題中 40 題の選択解答制）
2次試験	論文試験	一般行政A、心理、農学、畜産、林学、水産、総合土木A、建築、機械、電気、総合化学	80 分	各職種に応じた識見、表現力、判断力、思考力等についての筆記試験（1 題） ※1 次試験の日に行います。 ※一般行政A以外では1次の配点です。
	人物試験	一般行政A、心理、農学、畜産、林学、水産、総合土木A、建築、機械、電気、総合化学	—	適性などをみるための個別面接及び適性検査 ※一般行政A 以外には個別面接を 1 日に 2 回実施します。
	身体検査	一般行政A、農学、心理、畜産、林学、水産、総合土木A、建築、機械、電気、総合化学	—	職務遂行に必要な健康度を有するかどうかを見るための検査（健康についての問診票の提出）
3次試験	人物試験	一般行政A	—	適性などを見るための個別面接及びグループワーク

●配点比率（令和3年度）

一般行政A					
1次試験		2次試験		3次試験	合計
教養試験	専門試験	論文試験	人物試験	人物試験	
200	300	100	350	350	1,300

心理、農学、畜産、林学、水産、総合土木A、建築、機械、電気、総合化学				
1次試験			2次試験	合計
教養試験	専門試験	論文試験	人物試験	
200	300	100	650	1,250

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 択 一	共通	社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈、現代の社会に関する問題
専 門 択 一	一般行政A	【必須解答】10題 行政学、行政法、民法、経済学、財政学、 【選択解答】40題中30題 政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学
	農学	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	林学	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	総合土木A	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、材料・施工、都市計画、土木計画、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	総合化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学、生物有機化学、生物化学、土壌学・植物栄養学、食品科学、応用微生物学

●合格者の決定方法（令和3年度）

1次試験	各試験までの合計得点により決定します。
2次試験	
3次試験	

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
一般行政A	55	263	217	142	71	3.1
心理	6	7	5	3	3	1.7
農学	9	20	14	13	9	1.6
畜産	6	7	6	5	4	1.5
林学	4	10	5	4	3	1.7
水産	4	6	4	4	2	2.0
総合土木A	9	30	25	18	12	2.1
建築	1	1	1	0	0	-
機械	1	6	5	4	1	5.0
電気	1	6	4	3	1	4.0
総合化学	6	11	9	8	4	2.3

行政、少年警察補導員、総合土木、建築、農業、水産、林業、電気、機械、畜産、園芸、農芸化学、心理

●受験資格（令和3年度）

共	通	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	5月7日（金）～5月28日（金）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	7月1日（木）
2 次 試 験 日	論文試験・適性検査（全職種）、身体検査（少年警察補導員）：7月16日（金） 人物試験：7月19日（月）～7月30日（金）
最 終 合 格 発 表 日	8月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政、少年警察補導員、総合土木、建築、農業、水産、林業、電気、機械、畜産、園芸、農芸化学、心理	150 分	択一式(50 問) 公務員として必要な大学卒業程度の一般知識及び知能についての筆記試験
	専門試験	行政、少年警察補導員、総合土木、建築、農業、水産、林業、電気、機械、畜産、園芸、農芸化学、心理	120 分	択一式(40 問) 各職種に応じて必要な大学卒業程度の専門的知識についての筆記試験
2次試験	論文試験	行政、少年警察補導員	120 分	公務員として必要な識見、判断力、思考力等についての筆記試験(1,600 字)
		総合土木、建築、農業、水産、林業、電気、機械、畜産、園芸、農芸化学、心理	80 分	公務員として必要な識見、判断力、思考力等についての筆記試験(1,200 字)
	適性検査	行政、少年警察補導員、総合土木、建築、農業、水産、林業、電気、機械、畜産、園芸、農芸化学、心理	—	職務を行うのに必要な適性についての検査
	人物試験	行政、少年警察補導員、総合土木、建築、農業、水産、林業、電気、機械、畜産、園芸、農芸化学、心理	—	個別面接、集団討論 公務員としての適格性についての人物面からの試験

●配点比率（令和3年度）

行政、少年警察補導員、総合土木、建築、農業、水産、林業、電気、機械、畜産、園芸、農芸化学、心理				
1次試験		2次試験		合計
教養試験	専門試験（択一式）	論文試験	人物試験	
100	100	100	300	600

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験（択一式）	行政、少年警察補導員、総合土木、建築、農業、水産、林業、電気、機械、畜産、園芸、農芸化学、心理	社会科学、人文科学、自然科学、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
専門試験（択一式）	行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、経営学、社会政策、国際関係
	少年警察補導員	社会福祉概論(社会保障を含む。)、社会学概論、心理学概論(社会心理学を含む。)、教育心理学、社会調査
	総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	園芸	果樹園芸学、蔬菜園芸学、花卉園芸学、施設環境学、作物学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、農業経済一般
	農芸化学	一般化学、分析化学、有機化学、生物有機化学、生物化学、土壤学・植物栄養学、食品科学、応用微生物学
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学

●合格者の決定方法（令和3年度）

最終合格者	第1次試験、第2次試験の結果を総合して決定します。 各試験種目において、それぞれの合格基準に満たない種目がある場合は、他の成績にかかわらず不合格になります。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政	55	509	373	163	134	72	5.2
少年警察補導員	3	10	6	1	1	1	6.0
総合土木	25	26	18	14	13	8	2.3
建築	3	14	13	7	7	2	6.5
農業	3	12	10	8	7	3	3.3
水産	3	16	7	4	4	3	2.3
林業	10	16	14	7	7	6	2.3
電気	5	6	5	3	2	1	5.0
機械	5	11	9	4	3	0	-
畜産	5	7	7	6	5	2	3.5
園芸	10	18	17	11	10	9	1.9
農芸化学	5	14	11	6	5	4	2.8
心理	3	14	10	5	5	2	5.0

●受験資格（令和3年度）

共 通	昭和62年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者「農芸化学」は資格要件あり

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	5月6日(木)～5月21日(金)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	6月下旬
2 次 試 験 日	警察行政以外:7月13日(火)～17日(土)及び8月6日(金)～10日(火) 警察行政:7月20日(火)及び8月12日(木)
最 終 合 格 発 表 日	8月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教 養 試 験	各試験区分共通	120 分	択一式(40 問)
	専 門 試 験	行政A、教育行政 A、心理判定、化学、農芸化学、農学(一般)、動物・食品衛生、農業農村工学、畜産、水産、林学、電気、土木A建築、警察行政(事務・少年補導職員)	120 分	択一式(40 問)
	論文試験 I	各試験区分共通	60 分	記述式(1 問) 文章による課題把握力、論理的思考力、文章表現力等を問う試験(論文用紙1 枚 800 字以内) ※評価は2 次試験で行います。
	論文試験 II	行政B I、II	60 分	記述式(1問) 試験区分に関連した課題の小論文によって、積極性、創造性、将来性や県政への意欲を問う試験(論文用紙1 枚 800 字以内)
2次試験	口 述 試 験	行政A、行政B、教育行政 A、心理判定、化学、農芸化学、農学(一般)、農業農村工学、畜産、水産、林学、電気、土木A 建築、警察行政(事務・少年補導職員)	—	個別面接 I
		行政A、教育行政 A、心理判定、化学、農芸化学、農学(一般)、農業農村工学、畜産、水産、林学、電気、土木A 建築、警察行政(事務・少年補導職員)	—	個別面接 II
		行政B	—	プレゼンテーション面接
	適 性 検 査	行政A、教育行政 A、心理判定、化学、農芸化学、農学(一般)、農業農村工学、畜産、水産、林学、電気、土木A 建築、警察行政(事務・少年補導職員)	—	職務遂行に必要な適性についての検査
	身 体 検 査	電気	—	色覚について、職務遂行に支障がないかどうかの調査
		少年補導職員	—	診断書提出による身体精密検査。職務遂行に必要な健康度及び身体等についての検査(視力、色覚等)

●配点比率（令和3年度）

行政A、教育行政A、心理判定、化学、農芸化学、農学(一般)、農業農村工学、畜産、水産、林学、電気、土木、建築					
一次試験		二次試験			合計
教養試験	専門試験	論文試験Ⅰ	個別面接Ⅰ	個別面接Ⅱ	
100	150	50	100	200	600

警察事務・少年補導職員				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験Ⅰ	個別面接	
100	150	50	300	600

行政BⅠ・Ⅱ					
一次試験		二次試験			合計
教養試験	論文試験Ⅱ	論文試験Ⅰ	個別面接Ⅰ	プレゼンテーション面接	
100	50	50	100	300	600

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	各試験区分共通	社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数の推理・資料解釈
専 門 試 験	行政A、教育行政、警察行政（事務）	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係
	警察行政（少年補導職員）	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、財政学、社会政策、国際関係、一般心理学（心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。）、応用心理学（教育心理学）
	心理判定	一般心理学（心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。）、応用心理学（教育心理学・産業心理学・臨床心理学）、調査・研究法、統計学
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	農芸化学	一般化学、分析化学、有機化学、生物有機化学、生物化学、土壌学・植物栄養学、食品科学、応用微生物学
	農学(一般)	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	農業農村工学	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	林学	森林政策・森林経営学、造林学（森林生態学、森林保護学を含む。）、林業工学、林産一般、砂防工学
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	土木A	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工

●合格者の決定方法（令和３年度）

1 次 試 験	行政B I・II以外の区分 第1次試験合格者は、総合得点の高い人から成績順に決定します。総合得点は、教養試験及び専門試験の合計得点。
	行政B I・II 教養試験及び論文試験Ⅱの合計点(教養試験の得点が一定の基準に達しない場合は、論文試験Ⅱは採点されません。)
最 終 試 験 合 格 者	論文試験Ⅰ及び口述試験の合計得点を第2次試験の得点とします。 最終合格者は、第1次試験及び第2次試験の合計得点の高い人から成績順に決定します。 ※行政B区分・教育行政B区分以外のすべての試験種において、英検やTOEIC、TOEFL、韓国語、中国語、ロシア語等の資格試験による第2次試験の総合得点への6点分の加算あり

●試験実施状況（令和３年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 A	35	292	242	72	56	44	5.5
心 理 判 定	4	6	6	4	4	3	2.0
行 政 B I	1	9	9	6	4	2	4.5
行 政 B II	1	3	3	2	1	0	-
化 学	3	10	6	5	4	2	3.0
農 芸 化 学	2	6	5	4	4	2	2.5
農 学 (一 般)	13	29	23	19	16	12	1.9
農 業 農 村 工 学	3	7	6	5	4	4	1.5
畜 産	1	3	3	2	2	2	1.5
水 産	2	5	5	5	5	2	2.5
林 学	9	8	5	3	3	2	2.5
電 気	1	5	5	4	4	1	5.0
土 木 A	6	14	10	7	7	7	1.4
建 築	2	10	9	6	4	4	2.3
教 育 行 政 A	4	17	15	11	9	4	3.8
警 察 事 務	2	22	17	13	12	3	5.7
少 年 補 導 職 員	1	3	3	2	2	1	3.0

●受験資格（令和3年度）

共 通	昭和57年4月2日から平成12年4月1日までにご生まれた者 ※「福祉・心理」は、資格要件あり。

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	5月7日(金)～5月27日(木)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	6月28日(月)
2 次 試 験 日	1回目 7月2日(金) 2回目 7月14日(水)～7月30日(金)のうち指定する1日
最 終 合 格 発 表 日	8月上旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政、警察行政、病院経営、福祉・心理、総合土木、建築、化学、一般農業(農業)、一般農業(畜産)、林業、水産、電気、電子情報、工業化学、警察建築、警察科学(法医)	150 分	多肢選択式(50 問) 一般的な知識及び知能について、大学卒業程度の筆記試験
	専門試験	行政、警察行政、病院経営、福祉・心理、総合土木、建築、化学、一般農業(農業)、一般農業(畜産)、林業、水産、電気、電子情報、工業化学、警察建築、警察科学(法医)	120 分	多肢選択式(40 問) それぞれの試験区分に応じた専門的な知識、技術その他の能力について、大学卒業程度の筆記試験
2次試験	論文試験	行政、警察行政、病院経営、福祉・心理、総合土木、建築、化学、一般農業(農業)、一般農業(畜産)、林業、水産、電気、電子情報、工業化学、警察建築、警察科学(法医)	60 分	論文記述式 総合的な判断力、思考力その他の能力についての筆記試験 (制限字数 1,000 字)
	人物試験	行政、警察行政、病院経営、福祉・心理、総合土木、建築、化学、一般農業(農業)、一般農業(畜産)、林業、水産、電気、電子情報、工業化学、警察建築、警察科学(法医)	—	口述による個別面接(行政のみ2回実施)、集団討論、適性検査及び外国語資格調査

●配点比率（令和3年度）

行政							
1次試験		2次試験					合計
教養試験	専門試験	論文試験	集団討論	個別面接1	個別面接2	外国語資格加点	
150	150	100	100	100	300	20	920

警察行政、病院経営、福祉・心理、総合土木、建築、化学、一般農業(農業)、一般農業(畜産)、林業、水産、電気、電子情報、工業化学、警察建築、警察科学(法医)							
1次試験		2次試験					合計
教養試験	専門試験	論文試験	集団討論	個別面接	外国語資格加点		
150	150	100	100	300	15	815	

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政、警察行政、病院経営、福祉・心理、総合土木、建築、化学、一般農業(農業)、一般農業(畜産)、林業、水産、電気、電子情報、工業化学、警察建築、警察科学(法医)	社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数の推理・資料解釈
専 門 試 験	行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学
	警察行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学
	病院経営	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、経営学、統計学
	福祉・心理	社会福祉概論(社会保障を含む。)、社会学概論、心理学概論、一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、社会調査、調査・研究法、統計学
	総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	一般農業(農業)	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般、食品科学、家政学一般、農村計画
	一般農業(畜産)	栽培学汎論、作物学、土壤肥科学、農業経済一般、食品科学、家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼科学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、防犯工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	工業化学、化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	警察建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	警察科学(法医)	数学・物理、生化学、有機化学、無機化学、物理化学、分析化学、生物化学、応用微生物学

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験合格者は、第1次試験の試験種目についての結果に基づき決定します。
最 終 試 験 合 格 者	最終合格者は、第2次試験の試験種目についての結果に基づき決定します。 ※英検やTOEIC、TOEFL、中国語や韓国語の資格試験の得点に応じて、行政区分は20点、行政以外の区分は15点を、第2次試験で実施する人物試験で加算します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政	65	336	277	130	118	72	3.8
警 察 行 政	5	51	36	15	15	5	7.2
病 院 経 営	5	7	6	4	4	3	2.0
福 祉 ・ 心 理	10	27	22	12	12	9	2.4
総 合 土 木	30	32	29	18	18	17	1.7
建 築	若干名	7	7	6	6	4	1.8
化 学	若干名	9	8	7	5	3	2.7
一 般 農 業（農 業）	15	26	21	17	17	12	1.8
一 般 農 業（畜 産）	若干名	3	3	2	2	1	3.0
林 業	10	13	10	3	3	1	10.0
水 産	若干名	6	5	4	3	1	5.0
電 気	若干名	14	11	6	3	3	3.7
電 子 情 報	若干名	3	2	2	2	1	2.0
工 業 化 学	若干名	6	6	2	1	1	6.0
警 察 建 築	若干名	3	2	0	－	－	－
警 察 科 学（法 医）	若干名	11	6	4	4	1	6.0

●受験資格（令和3年度）

共 通	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者 ※「農芸化学」は資格要件あり。「心理」は昭和61年4月2日以降に生まれた者で、資格要件あり。

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月16日(金)～5月21日(金)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	6月30日(水)
2 次 試 験 日	第一回 7月8日(木)～7月15日(木) 第二回 7月29日(木)～8月6日(金)
最 終 合 格 発 表 日	8月18日(水)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政事務、警察事務	120 分	多肢選択式(40 問) 職員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験
		農業、農業土木、林業、土木、化学、農芸化学、畜産、水産、心理	60 分	多肢選択式(20 問) 職員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験
	専門試験	行政事務、警察事務	60 分	多肢選択式(20 問) 職員として必要な専門知識、技術及び能力についての筆記試験
		農業、農業土木、林業、土木、化学、農芸化学、畜産、水産、心理	120 分	多肢選択式(40 問) 職員として必要な専門知識、技術及び能力についての筆記試験
	論文試験	行政事務、警察事務、農業、農業土木、林業、土木、化学、農芸化学、畜産、水産、心理	60 分	職員として必要な論理性、表現力等についての記述式による筆記試験(800 字以内) ※評価は2次試験で行います。
2次試験	口述試験	行政事務、警察事務、農業、農業土木、林業、土木、化学、農芸化学、畜産、水産、心理	—	学業、サークル活動、ボランティアなどの社会貢献活動をはじめとした幅広い経験などに着目して職員としての素質を見る個別面接(2 回)及びグループの中での指導力や協調性等を見る集団討論
	適性検査	行政事務、警察事務、農業、農業土木、林業、土木、化学、農芸化学、畜産、水産、心理	—	職務遂行に必要な適性についての検査

●配点比率（令和3年度）

行政事務、警察事務、農業、農業土木、林業、土木、化学、農芸化学、畜産、水産、心理				
1次試験		2次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験	
180		30	250	460

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政事務、警察事務	社会科学⑤、人文科学⑨、自然科学⑤、文章理解⑥、判断推理⑨、数的推理・資料解釈⑥
	農業、農業土木、林業、土木、化学、農芸化学、薬学、畜産、水産、心理、福祉	社会科学④、文章理解④、判断推理⑥、数的推理・資料解釈⑥
専 門 試 験	行政事務、警察事務	憲法④、行政法⑤、経済学⑧、財政学③
	農業	栽培学汎論⑤、作物学⑤、園芸学⑤、育種遺伝学⑤、植物病理学④、昆虫学④、土壤肥科学④、植物生理学④、畜産一般②、農業経済一般②
	農業土木	数学③、応用力学③、水理学④、測量②、土壤物理②、農業水利・土地改良・農村環境整備④、農業土木構造物⑤、材料・施工②、農業機械②、農学一般③
	林業	森林政策・森林経営学⑬、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)⑫、林業工学④、林産一般⑤、砂防工学⑥
	土木	数学・物理⑩、応用力学⑥、水理学⑥、土質工学④、測量②、都市計画②、土木計画⑥、材料・施工④
	化学	数学・物理⑦、物理化学⑨、分析化学③、無機化学・無機工業化学⑥、有機化学・有機工業化学⑨、化学工学⑥
	農芸化学	一般化学④、分析化学④、有機化学⑥、生物有機化学②、生物化学⑥、土壌学・植物栄養学⑥、食品科学⑥、応用微生物学⑥
	畜産	家畜育種学⑤、家畜繁殖学④、家畜生理学④、家畜飼養学④、家畜栄養学④、飼科学③、家畜管理学⑥、畜産物利用学⑤、畜産経営一般⑤
	水産	水産事情・水産経済・水産法規⑧、水産環境科学⑤、水産生物学⑤、水産資源学④、漁業学④、増養殖学④、水産化学⑤、水産利用学⑤
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学及び社会心理学を含む)⑮、応用心理学(教育心理学、産業心理学、臨床心理学)⑨、調査・研究法②、統計学③

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	教養試験と専門試験の合計得点の高い順に決定されます。
最 終 試 験 合 格 者	第1次試験と第2次試験の合計得点の高い順に決定されます。また合格者の決定にあたり、教養試験と専門試験それぞれの得点を考慮することがあります。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 事 務	79	500	366	169	160	95	3.9
警 察 事 務	5	52	39	18	16	7	5.6
農 業	12	36	28	25	24	15	1.9
農 業 土 木	8	9	7	7	6	6	1.2
林 業	15	20	13	11	11	11	1.2
土 木	22	34	17	11	11	10	1.7
化 学	5	20	16	13	13	8	2.0
農 芸 化 学	2	11	8	7	6	4	2.0
薬 学	7	7	6	6	5	4	1.5
畜 産	5	8	7	5	4	3	2.3
水 産	2	8	4	4	3	3	1.3
心 理	6	6	6	4	4	3	2.0

事務、電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、畜産、林業、水産、心理

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者 ※「心理」は資格要件あり

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月28日（水）～5月19日（水）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	6月29日（火）
2 次 試 験 日	7月12日（月）～8月24日（火）
最終合格発表日	8月31日（火）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	事務（知事部局等・警察本部）、電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、畜産、林業、水産、心理	120 分	択一式（50 問中 40 問解答） 公務員として必要な一般的知識、知能について大学で履修した程度の問題を出題します。
	専門試験	事務（知事部局等・警察本部）	120 分	択一式（50 問中 40 問選択解答） 職種に応じた専門的知識、能力、技術等について大学で履修した程度の問題を出題します。
		電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、畜産、林業、水産、心理	120 分	択一式（40 問必須解答） 筆記試験とし、職種に応じた専門的知識、能力、技術等について大学で履修した程度の問題を出題します。
2次試験	論文試験	事務（知事部局等・警察本部）、電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、畜産、林業、水産、心理	80 分	文章による表現力、課題に対する理解力等をみます。 （制限字数 1,000 字程度） ※第1次試験日に実施
	口述試験	事務（知事部局等・警察本部）、電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、畜産、林業、水産、心理	—	主として人物についての評定を行うものとし、個別面接（2 回）及び集団討論を実施します。
	適性検査	事務（知事部局等・警察本部）、電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、畜産、林業、水産、心理	—	通常の職務遂行に必要な適性の有無について検査します。

●配点比率（令和3年度）

事務（知事部局等・警察本部）					
1次試験		2次試験			合計
教養試験	専門試験	論文試験	集団討論	個別面接	
150	150	50	100	250	700

電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、畜産、林業、水産、心理					
1次試験		2次試験			合計
教養試験	専門試験	論文試験	集団討論	個別面接	
120	180	50	100	250	700

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	事務(知事部局等・警察本部)、電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、畜産、林業、水産、心理	知識分野⑩(社会科学、人文科学、自然科学、時事一般)、知能分野⑩(文章理解(英語を含む)、判断推理、数的推理、資料解釈)、
専 門 試 験	事務	政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法⑥、刑法②、労働法②、経済原論・経済政策・経済史⑬、財政学④、経営学②、社会政策③、国際関係③
	電気	数学・物理⑩、電磁気学・電気回路⑩、電気計測・制御④、電気機器・電力工学⑥、電子工学⑥、情報・通信工学④
	機械	数学・物理⑩、材料力学④、流体力学④、熱力学④、電気工学②、機械力学・制御④、機械設計⑥、機械材料③、機械工作③
	土木	数学・物理⑩、応用力学⑥、水理学⑥、土質工学④、測量②、材料・施工④、都市計画②、土木計画⑥
	建築	数学・物理⑩、材料科学②、構造力学⑤、環境原論④、建築史②、建築構造④、建築計画⑤、都市計画③、建築設備②、建築施工③
	化学	数学・物理⑦、物理化学⑨、分析化学③、無機化学・無機工業化学⑥、有機化学・有機工業化学⑨、化学工学⑥
	農業	栽培学汎論⑤、作物学⑤、園芸学⑤、育種遺伝学⑤、植物病理学④、昆虫学④、土壤肥料学④、植物生理学④、畜産一般②、農業経済一般②
	農業土木	数学③、応用力学③、水理学④、測量②、土壌物理②、農業水利・土地改良・農村環境整備⑭、農業土木構造物⑤、材料・施工②、農業機械②、農学一般③
	畜産	家畜育種学⑤、家畜繁殖学④、家畜生理学④、家畜飼養学④、家畜栄養学④、飼料学③、家畜管理学⑥、畜産物利用学⑤、畜産経営一般⑤
	林業	森林政策・森林経営学⑬、造林学⑬(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学④、林産一般⑤、砂防工学⑥
	水産	水産事情・水産経済・水産法規⑧、水産環境科学⑤、水産生物学⑤、水産資源学④、漁業学④、増養殖学④、水産化学⑤、水産利用学⑤
	心理	一般心理学⑥(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。)、応用心理学⑨(教育心理学、産業心理学、臨床心理学)、調査・研究法②、統計学③

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	合格者は、全ての試験項目の基準点を満たし、かつ、適性検査が適当と認められる人のうち、合計点の高い人から成績順に決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
事務(知事部局等)	69	611	437	177	157	87	5.0
事務(警察本部)	12	74	62	30	27	14	4.4
電 気	2	13	10	7	6	3	3.3
機 械	3	10	7	4	4	4	1.8
土 木	20	39	31	24	22	15	2.1
建 築	2	15	11	8	7	3	3.7
化 学	5	18	11	10	8	7	1.6
農 業	19	61	48	36	33	19	2.5
農 業 土 木	5	11	8	8	8	5	1.6
畜 産	6	10	8	7	7	7	1.1
林 業	6	7	5	3	2	1	5.0
水 産	3	12	10	6	6	3	3.3
心 理	4	21	17	9	9	5	3.4

行政、行政(福祉型)、化学、農業、畜産、林業、総合土木、建築、電気、機械、心理、水産、警察行政、小中学校事務

●受験資格（令和3年度）

行政、行政(福祉型) 総合土木	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者
上記以外	平成元年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月23日(金)～5月14日(金)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1 次 試 験 合 格 発 表 日	7月1日(木)
2 次 試 験 日	7月13日(火)～7月23日(金)、7月26日(月)～8月6日(金)
最 終 合 格 発 表 日	8月20日(金)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政、行政(福祉型)、化学、農業、畜産、林業、総合土木、建築、電気、機械、心理、水産、警察行政、小中学校事務	120 分	択一式(50 問中 40 問解答) 公務員として必要な一般的知識及び知能について、大学卒業程度の筆記試験を行います。(50 問出題、20 問必須解答、残り 30 問中 20 問選択解答)
		行政、総合土木、警察行政	120 分	択一式(50 問中 40 問解答) 各職種に応じた専門的知識及び能力について、択一式の筆記試験を行います。
	専門試験	行政(福祉型)	120 分	択一式(合計 40 問解答) (福祉及び法律・経済の2分野から各 25 問出題各 20 問解答) 各職種に応じた専門的知識及び能力について、択一式の筆記試験を行います。
		化学、農業、畜産、林業、建築、電気、機械、心理、水産	120 分	択一式(合計 40 題必須解答) 各職種に応じた専門的知識及び能力について、択一式の筆記試験を行います。
2次試験	論文試験	行政、行政(福祉型)、化学、農業、畜産、林業、総合土木、建築、電気、機械、心理、水産、警察行政、小中学校事務	90 分	公務員として必要な表現力、論理性等について、論文試験を行います。 (1,100 字程度) ※1次試験日に実施
		行政、行政(福祉型)、化学、農業、畜産、林業、総合土木、建築、電気、機械、心理、水産、警察行政、小中学校事務	約 40 分	口述試験Ⅰ あらかじめ提示した課題について受験者1名あたり2分程度(1グループ5名程度)で企画提案をした後、受験者間で質疑応答などを行う集団試験を行います。
	口述試験	行政、行政(福祉型)、化学、農業、畜産、林業、総合土木、建築、電気、機械、心理、水産、警察行政、小中学校事務	約 30 分	口述試験Ⅱ 主として人物について、個別面接試験を行います。
	適性検査	行政、行政(福祉型)、化学、農業、畜産、林業、総合土木、建築、電気、機械、心理、水産、警察行政、小中学校事務	—	公務員として必要な素質及び適性を有するかについて検査します。

●配点比率（令和3年度）

行政、行政(福祉型)、化学、農業、畜産、林業、総合土木、建築、電気、機械、心理、水産、警察行政、					
1次試験		2次試験			合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験Ⅰ	口述試験Ⅱ	
50	50	50	110	240	500

小中学校事務				
1次試験		2次試験		
教養試験		論文試験	口述試験Ⅰ	口述試験Ⅱ
100		50	110	240
		合計		
		500		

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政、行政(福祉型)、化学、農業、畜産、林業、総合土木、建築、電気、機械、心理、水産、警察行政、小中学校事務	必須解答:文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈 選択解答:社会科学、人文科学、自然科学
専 門 試 験	行政、警察行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、経済原論、経済政策、経済史、財政学、社会政策、国際関係、経営学
	行政(福祉型)	【福祉分野】社会福祉概論(社会保障含む)、社会学概論、心理学概論(社会心理学含む)、社会調査 【法律・経済分野】行政学、憲法、行政法、民法、刑法、経済学、財政学、社会政策
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、土壌物理、測量、材料・施工、都市計画、土木計画、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	最終合格者は、第1次試験の得点と第2次試験の得点を合計した総合得点の高い順に決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政	45	356	212	134	120	61	3.5
行政（福祉型）	10	29	22	14	13	10	2.2
化学	1～2	17	11	8	7	3	3.7
農業	10	48	38	30	29	14	2.7
畜産	8	11	7	7	7	5	1.4
林業	8	18	14	10	10	9	1.6
総合土木	35	45	34	24	24	20	1.7
建築	3	11	10	6	6	5	2.0
電気	5	12	7	5	5	5	1.4
機械	6	15	13	10	9	6	2.2
心理	8	21	16	9	6	4	4.0
水産	1	7	6	6	6	1	6.0
警察行政	15	57	40	20	17	10	4.0
小中学校事務	10	147	90	31	27	13	6.9

行政（特別枠）

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	3月1日（月）～3月22日（月）
1次試験日	4月11日（日）
1次試験合格発表日	4月27日（火）
2次試験日	5月15日（土）、16日（日）
最終合格発表日	6月4日（金）

●試験概要（令和3年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力検査	行政（特別枠）	60分 択一式（120問全問必須解答） 一般的知識及び知能についての筆記試験
	適性検査	行政（特別枠）	35分 職務遂行に必要な素質及び適性を有するかについて検査します。
	論文試験	行政（特別枠）	90分 表現力、論理性等について記述式による筆記試験を行います。（1,100字程度）
2次試験	口述試験	行政（特別枠）	約40分 口述試験Ⅰ あらかじめ提示した課題について受験者1名当たり2分程度（1グループ5名程度）で企画提案した後、受験者間で質疑応答等を行う集団試験を行います。
			約30分 口述試験Ⅱ 主として人物について個別面接試験を行います。
資格調査	行政（特別枠）	—	受験資格の有無、申込書記載事項の真否等について調査します。

●配点比率（令和3年度）

行政（特別枠）				
1次試験		2次試験		合計
基礎能力検査	論文試験	口述試験Ⅰ	口述試験Ⅱ	
75	75	110	240	500

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力検査	行政（特別枠）	文章読解能力、数的能力、推理判断能力、時事・教養、基礎英語

●合格者の決定方法（令和3年度）

最終合格者	最終合格者は、第1次試験の得点と第2次試験の得点を合計した総合得点の高い順に決定します。ただし、基礎能力検査、論文試験及び口述試験Ⅱの得点にはそれぞれ合格基準を定めており、この基準に達しない場合は、他の試験の得点にかかわらず不合格となります。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政（特別枠）	20	669	556	80	76	30	18.5

I 類 行政事務、森林、農業、水産、化学、設備、建築、総合土木

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	5月6日（木）～5月21日（金）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	7月2日（金）
2 次 試 験 日	適性検査・論文試験 7月12日（月） 個別面接 7月15日（木）～7月26日（月）
2次試験合格発表日	8月6日（金）
3 次 試 験 日	8月16日（月）～8月20日（金）
最終合格発表日	9月3日（金）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政事務、森林、農業、水産、化学、設備、建築、総合土木	120 分	択一式(50 問中 40 問解答) 公務員として必要な一般的知識及び知能について、大学卒業程度の試験を行います。 知識分野 30 問のうち 20 問を選択解答 知能分野 20 問は全問必須解答
	専門試験	行政事務、総合土木	120 分	択一式(50 問中 40 問解答) 各試験区分に応じて必要な専門的知識について、大学卒業程度の試験を行います。(必須解答なし)
		設備	120 分	択一式(50 問中 40 問解答) 各試験区分に応じて必要な専門的知識について、大学卒業程度の試験を行います。 50 問のうち 20 問は必須解答、残り 30 問のうち 20 問を選択解答
		森林、農業、水産、化学、建築	120 分	択一式(40 問全問必須解答) 各試験区分に応じて必要な専門的知識について、大学卒業程度の試験を行います。
2次試験	人物試験	行政事務、森林、農業、水産、化学、設備、建築、総合土木	—	個別面接及び適性検査を行い、人物について総合的に試験を行います。
	論文試験	行政事務、森林、農業、水産、化学、設備、建築、総合土木	90 分	識見、思考力、表現力等について試験を行います。(1200 字) ※採点は3次試験で行います。
3次試験	人物試験	行政事務、森林、農業、水産、化学、設備、建築、総合土木	—	個別面接(2 回目)を行い、人物について試験を行います。 個別面接では、自己PRタイム(約 1 分間)を設けます。

●配点比率（令和3年度）

行政事務、森林、農業、水産、化学、設備、建築、総合土木					
教養試験	専門試験	人物試験(2次)	人物試験(3次)	論文試験	合計
200	200	200	300	100	1000

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政事務、森林、農業、化学、設備、建築、総合土木	【知識分野】社会科学、人文科学、自然科学 【知能分野】文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
専 門 試 験	行政事務	政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法⑥、刑法②、労働法②、経済学⑩、経済原論①、経済政策②、財政学④、経済史①、社会政策③、国際関係③、経営学②
	森林	森林政策・森林経営学⑬、造林学⑫、林業工学④、林産一般⑤、砂防工学⑥
	農業	栽培学汎論⑤、作物学⑤、園芸学⑤、育種遺伝学⑤、植物病理学④、昆虫学④、土壤肥科学④、植物生理学④、畜産一般②、農業経済一般②
	水産	水産事情・水産経済・水産法規⑧、水産環境科学⑤、水産生物学⑤、水産資源学④、漁業学④、増養殖学④、水産化学⑤、水産利用学⑤
	化学	数学・物理⑦、物理化学⑨、分析化学③、無機化学・無機工業化学⑥、有機化学・有機工業化学⑨、化学工学⑥
	設備	【必須解答】数学・物理⑩、電気工学基礎・機械工学基礎⑩ 【選択解答】電磁気学・電気回路⑥、電気計測・制御・電気機器・電力工学⑤、電子工学・情報・通信工学⑤、材料力学・流体力学・熱力学⑨、機械力学・機械設計・機械材料・機械工作⑤
	建築	数学・物理⑩、構造力学⑤、材料学②、環境原論④、建築史②、建築構造④、建築計画⑤、都市計画③、建築設備②、建築施工③
	総合土木	数学・物理⑨、応用力学⑥、水理学⑥、土質工学④、測量②、材料・施工⑤、農業水利・土地改良・農村環境整備⑩、都市計画②、土木計画⑥

●合格者の決定方法（令和3年度）

2 次 試 験 合 格 者	第1次試験及び第2次試験の合計点による成績に基づいて決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験、第2次試験及び第3次試験の合計点による成績に基づいて決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次合格者	最終合格者	最終倍率
行 政 事 務	65	477	378	171	98	81	4.7
森 林	6	9	8	6	5	4	2.0
農 業	8	31	27	20	13	8	3.4
水 産	1	12	8	7	5	2	4.0
化 学	3	25	21	16	9	4	5.3
設 備	4	17	14	11	7	4	3.5
建 築	3	9	7	3	1	1	7.0
総 合 土 木	16	59	45	38	24	17	2.6

一般行政、心理、設備、設備（警察）、総合土木、建築、化学、農業、林業

●受験資格（令和3年度）

共 通 平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	5月7日（金）～5月17日（月）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	6月29日（火）
2 次 試 験 日	1回目 7月12日（月）～7月16日（金） 2回目 8月2日（月）～8月20日（金）
最 終 合 格 発 表 日	8月31日（火）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	一般行政、心理、設備、設備（警察）、総合土木、建築、化学、農業、林業	120 分	多肢択一式(50 問中 40 問解答) 公務員として必要な一般的知識及び知能について、多肢択一式により行います。 【知能分野】22 問必須解答 【知識分野】28 問中 18 問選択解答
		一般行政	120 分	多肢択一式(50 問中 40 問解答) 事務職員としての専門的知識、その他の能力について、多肢択一式により行います。
	専門試験	心理、設備、設備（警察）、総合土木、建築、化学、農業、林業	120 分	多肢択一式(40 問必須解答) 職種に応じた専門的知識、技術、その他の能力について、多肢択一式により行います。
2次試験	論文試験	一般行政、心理、設備、設備（警察）、総合土木、建築、化学、農業、林業	75 分	文章による表現力、課題に対する理解力、思考力、その他の能力について、900 字～1,100 字の記述式による筆記試験を行います。
	人物試験	一般行政、心理、設備、設備（警察）、総合土木、建築、化学、農業、林業	—	社会性、積極性、信頼性、達成力などについて、個別面接(2 回)による試験を行います。また、人物試験の参考とするため、公務員として職務遂行上必要な素質及び適性についての検査を行います。

●配点比率（令和3年度）

一般行政、心理、設備、設備（警察）、総合土木、建築、化学、農業、林業				
第一次試験		第二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	個別面接	
100	100	100	300	600

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	一般行政、心理、設備、設備（警察）、総合土木、建築、化学、農業、林業	【知能分野】文章理解(英語を含む。)、判断推理、数的推理、資料解釈 【知識分野】社会科学(法律、政治、経済、社会一般)、人文科学(日本史、世界史、地理)、自然科学(物理、化学、生物、地学、数学)
専 門 試 験	一般行政	政治学、社会政策、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学(経済原論、経済政策、経済史)、財政学、国際関係、経営学
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学
	設備 設備(警察)	I (電気) 数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
		II (機械) 数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	総合土木	I (農業土木) 数学、水理学、応用力学、土壌物理、測量、材料・施工、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、農学一般、農業機械
		II (土木) 数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、材料・施工、都市計画、測量、土木計画
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、建築史、環境原論、建築計画、都市計画、建築構造、建築施工、建築設備
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、家畜一般、農業経済一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、砂防工学、林産一般

※「設備」、「設備(警察)」及び「総合土木」は、申込みの際に「Ⅰ」又は「Ⅱ」の希望する出題分野を選択。申込受付終了後の変更不可。

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第1次試験、第2次試験の結果を総合して決定します。 ※一定の基準に達しない試験種目がある場合は、他の成績にかかわらず不合格となります

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
一 般 行 政	169	1,681	1,183	590	284	4.2
心 理	11	50	33	28	16	2.1
設 備	10	46	28	22	7	4.0
設 備 (警 察)	2	5	5	2	2	2.5
総 合 土 木	36	87	69	65	27	2.6
建 築	3	12	9	8	3	3.0
化 学	5	37	27	20	5	5.4
農 業	14	83	55	50	16	3.4
林 業	6	14	11	8	5	2.2

新方式(設備、総合土木、建築)

●受験資格 (令和3年度)

共 通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程 (令和3年度)

受験申込受付(WEB)	5月7日(金)～5月17日(月)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	6月29日(火)
2 次 試 験 日	1回目 7月12日(月)～7月16日(金) 2回目 8月2日(月)～8月20日(金)
最 終 合 格 発 表 日	8月31日(火)

●試験概要 (令和3年度)

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	専門試験	新方式(設備、総合土木、建築)	120 分
2次試験	人物試験	新方式(設備、総合土木、建築)	—

多肢択一式(40問必須解答)
職種に応じた専門的知識、技術、その他の能力について、多肢択一式により行います。

社会性、積極性、信頼性、達成力などについて、個別面接(3回、うち1回はプレゼンテーションを含む。)による試験を行います。
また、人物試験の参考とするため、公務員として職務遂行上必要な素質及び適性についての検査を行います。
※プレゼンテーション試験の問題及び答案用紙は、第1次試験合格者に対し送付します。

●配点比率 (令和3年度)

新方式(設備、総合土木、建築)		
第一次試験(専門試験)	第二次試験(個別面接)	合計
100	400	500

●筆記試験 出題科目一覧 (令和3年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など	
新 方 式	設備	I (電気)	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
		II (機械)	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	総合土木	I (農業土木)	数学、水理学、応用力学、土壌物理、測量、材料・施工、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、農学一般、農業機械
		II (土木)	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、材料・施工、都市計画、測量、土木計画
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、建築史、環境原論、建築計画、都市計画、建築構造、建築施工、建築設備	

※「設備」及び「総合土木」は、申込みの際に「I」又は「II」の希望する出題分野を選択。申込受付終了後の変更不可。

●合格者の決定方法 (令和3年度)

最 終 合 格 者	第1次試験、第2次試験の結果を総合して決定します。 ※一定の基準に達しない試験種目がある場合は、他の成績にかかわらず不合格となります。

●試験実施状況 (令和3年度)

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
設 備 (新 方 式)	2	6	4	3	2	2.0
総 合 土 木 (新 方 式)	5	12	7	4	2	3.5
建 築 (新 方 式)	2	8	6	5	2	3.0

警察事務

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	5月7日(金)～5月17日(木)
1次試験日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	6月29日(火)
2次試験日	1回目 7月12日(月)～7月16日(金) 2回目 8月2日(月)～8月20日(金)
最終合格発表日	8月31日(火)

●試験概要（令和3年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	警察事務	120分 多肢択一式(50問中40問解答) 公務員として必要な一般的知識及び知能について、選択解答制による多肢択一式により行います。 【知能分野】22問必須解答 【知識分野】28問中18問選択解答
	専門試験	警察事務	120分 多肢択一式(50問中40問解答) 事務職員としての専門的知識、その他の能力について、選択解答制による多肢択一式により行います。
2次試験	論文試験	警察事務	75分 文章による表現力、課題に対する理解力、思考力、その他の能力について900～1,100字の記述式による筆記試験を行います。
	人物試験	警察事務	— 社会性、積極性、信頼性、達成力などについて、個別面接による試験を行います。また、人物試験の参考とするため、公務員として職務遂行上必要な素質及び適性についての検査を行います。

●配点比率（令和3年度）

警察事務				
第一次試験		第二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	個別面接	
100	100	100	200	500

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	警察事務	【知能分野】文章理解(英語を含む)、判断推理、数的推理、資料解釈 【知識分野】社会科学(法律、政治、経済、社会一般)、人文科学(日本史、世界史、地理)、自然科学(物理、化学、生物、地学、数学)
専門試験	警察事務	政治学、社会政策、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学(経済原論、経済政策、経済史)、財政学、国際関係、経営学

●合格者の決定方法（令和3年度）

最終合格者	第1次試験、第2次試験の結果を総合して決定します。 ※一定の基準に達しない試験種目がある場合は、他の成績にかかわらず不合格となります。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
警察事務	21	192	117	87	27	4.3

小・中学校事務

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	5月7日(金)～5月17日(月)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	6月29日(火)
2 次 試 験 日	1回目 7月12日(月)～7月16日(金) 2回目 8月2日(月)～8月20日(金)
最 終 合 格 発 表 日	8月31日(火)

●試験概要（令和3年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	小・中学校事務	120 分
			多肢択一式(50 問中 40 問解答) 公務員として必要な一般的知識及び知能について、選択解答制による多肢択一式により行います。 【知能分野】22 問必須解答 【知識分野】28 問中 18 問選択解答
2次試験	論文試験	小・中学校事務	75 分
	人物試験	小・中学校事務	—
			文章による表現力、課題に対する理解力、思考力、その他の能力について 900～1,100 字の記述式による筆記試験を行います。 社会性、積極性、信頼性、達成力などについて、個別面接(2回)による試験を行います。また、人物試験の参考とするため、公務員として職務遂行上必要な素質及び適性についての検査を行います。

●配点比率（令和3年度）

小・中学校事務			
第一次試験	第二次試験		合計
教養試験	論文試験	個別面接	
100	100	300	500

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	小・中学校事務	【知能分野】文章理解(英語を含む)、判断推理、数的推理、資料解釈 【知識分野】社会科学(法律、政治、経済、社会一般)、人文科学(日本史、世界史、地理)、自然科学(物理、化学、生物、地学、数学)

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第1次試験、第2次試験の結果を総合して決定します。 ※一定の基準に達しない試験種目がある場合は、他の成績にかかわらず不合格となります。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
小・中 学 校 事 務	24	244	183	83	30	6.1

一般行政A、一般行政B、心理、農業、林業、水産、畜産、農業土木、土木、建築、化学、電気、機械

●受験資格（令和3年度）

一般行政A	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者
一般行政B	昭和61年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた者
上記以外	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	5月14日(金)～5月28日(金)
1次試験日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	7月1日(木)
2次試験日	7月8日(木)～8月10日(火)のうち2日
最終合格発表日	8月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	一般行政A、一般行政B、心理、農業、林業、水産、畜産、農業土木、土木、建築、化学、電気、機械	120分	択一式(50問中40問解答(25問必須解答・25問中15問選択解答)) 各試験職種共通の試験問題による公務員として必要な一般的知識及び知能についての大学卒業程度の筆記試験。
	専門試験	一般行政A	120分	択一式(50問中40問解答) 試験職種に応じた専門的な知識・技術・能力等についての大学卒業程度の筆記試験。
		農業	120分	択一式(50問中40問解答(25問必須解答・25問中15問選択解答)) 試験職種に応じた専門的な知識・技術・能力等についての大学卒業程度の筆記試験。
		心理、林業、水産、畜産、農業土木、土木、建築、化学、電気、機械	120分	択一式(40問) 試験職種に応じた専門的な知識・技術・能力等についての大学卒業程度の筆記試験。
	論文試験	一般行政A、一般行政B、心理、農業、林業、水産、畜産、農業土木、土木、建築、化学、電気、機械	90分	記述式(1題) 各試験職種共通の課題についての判断力、専門的知識、文章による表現力、文章構成力その他の能力についての筆記試験。
	自己アピールシート作成	一般行政B	120分	記述式。自らの能力・経験等についてのアピールシートを作成。 ※個別面接で使用。
2次試験	人物試験	一般行政A、一般行政B、心理、農業、林業、水産、畜産、農業土木、土木、建築、化学、電気、機械	—	【個別面接】主として人柄・志向等についての個別面接による試験 (評定項目:積極性、堅実性、社会性、職務適性等) ※一般行政Bの個別面接においては、自己アピールシートを基にした5分程度のプレゼンテーションを含みます 【集団討論】主として人柄・志向等についての集団討論による試験 (評定項目:社会性、指導性、論理性等) 【適性検査】職員として職務遂行上必要な素質、性格についての検査(質問紙法及び作業検査法)

●配点比率（令和3年度）

一般行政A、心理、農業、林業、水産、畜産、農業土木、土木、建築、化学、電気、機械				
第一次試験		第二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	人物試験	
100	100	100	400	700

一般行政B				
第一次試験		第二次試験		合計
教養試験		論文試験	人物試験	
100		100	400	600

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	一般行政A、一般行政B、 心理、農業、林業、水産、畜 産、農業土木、土木、建築、 化学、電気、機械	【必須解答】社会一般、文章理解(英語を含む。)、判断推理、数的処理、資料解釈 【選択解答】法律、政治、経済、世界史、日本史、地理、数学、物理、化学、生物、地学
専 門 試 験	一般行政A	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、経営学、社会政策、国際関係
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。)、 応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学
	農業	【必須解答】栽培学汎論、作物学、園芸学、農業経済一般、農業政策 【選択解答】育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、食品化学、食品加工、人間工学、農村計画
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砌防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第2次試験の成績に基づいて決定し、第1次試験の成績は反映されません。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
一般行政 A	70	1,030	699	220	192	129	5.4
一般行政 B	10	180	112	43	39	13	8.6
心理	41	61	49	48	43	34	1.4
農業	19	84	56	49	45	24	2.3
林業	12	36	29	27	21	17	1.7
水産	2	18	16	8	7	3	5.3
畜産	5	9	9	9	5	5	1.8
農業土木	12	18	13	13	10	9	1.4
土木	47	98	74	70	65	60	1.2
建築	11	29	19	19	16	14	1.4
化学	4	40	28	12	12	5	5.6
電気	20	52	34	33	30	24	1.4
機械	12	28	18	17	15	12	1.5

I 類B【一般方式】 行政、土木、建築、機械、電気、環境検査、林業、畜産、水産、造園、心理

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月2日（金）～4月8日（木）
1 次 試 験 日	5月2日（日）
1次試験合格発表日	6月2日（水）
2 次 試 験 日	6月15日（火）～6月23日（水）
2次試験合格発表日	7月13日（火）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政（一般方式）、環境検査、林業、畜産、水産、造園、心理	130 分	五肢択一式(40 問) 一般教養についての五肢択一式
		土木（一般方式）、建築（一般方式）、機械、電気	150 分	五肢択一式(44 問中 40 問解答) (知能分野) 27 題必須解答 (知識分野) 社会事情: 3 題必須解答 その他: 14 題中 10 題選択解答 一般教養についての五肢択一式
	専門試験	行政（一般方式）	120 分	記述式(10 問中 3 問解答) 職務に必要な専門知識についての記述式
		土木（一般方式）、建築（一般方式）、機械、電気、環境検査、林業、畜産、水産、造園、心理	120 分	記述式(5 問中 3 問解答) 職務に必要な専門知識についての記述式
	論 文	行政（一般方式）、土木（一般方式）、建築（一般方式）、機械、電気、環境検査、林業、畜産、水産、造園、心理	90 分	課題式(1 問) 解答文字数: 1,000 字以上 1,500 字程度
2次試験	口述試験	行政（一般方式）、土木（一般方式）、建築（一般方式）、機械、電気、環境検査、林業、畜産、水産、造園、心理	—	主として人物についての個別面接

●配点比率（令和3年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政（一般方式）、土木（一般方式）、建築（一般方式）、機械、電気、環境検査、林業、畜産、水産、造園、心理	【知能分野】文章理解、英文理解、判断推理、数的処理、資料解釈、空間概念 【知識分野】人文科学系（文化、歴史、地理）、社会科学系（法律、政治、経済）、自然科学系（物理、化学、生物、地学）、社会事情
専 門 試 験	行政（一般方式）	憲法、行政法、民法、経済学、財政学、政治学、行政学、社会学、会计学、経営学
	土木（一般方式）	構造力学、水理学、土質工学、土木材料、測量、都市・土木計画、交通・道路工学、衛生工学、橋梁工学、河川・海岸工学、港湾工学、土木施工、技術情勢
	建築（一般方式）	建築史、都市計画、建築計画、建築環境工学、建築整備、構造力学、建築構造、建築材料、建築施工、建築法規、技術情勢
	機械	物理、材料力学、熱力学、熱機関、流体力学、流体機械、機械工作、機械材料、計測・制御、管理工学、技術情勢
	電気	数学、電気磁気学、電気回路、電気機器、電子回路、発送配電、計測・制御、情報・通信、電気応用、電気法規、技術情勢
	環境検査	有機化学、無機化学、分析化学、物理化学、応用化学、生化学、生物学概論、生態学、微生物学
	林業	林政学、森林経理学、造林学、砂防工学、森林土木学、林産一般、生物学概論
	畜産	家畜繁殖学、家畜飼養学、飼料学、家畜衛生学、生物学概論、生態学、育種学
	水産	水産通論、海洋学、水産資源学、水産法制、水産生物学、水産増殖学、漁業学、水産利用学、水産経済学
	造園	造園原論（造園史を含む。）、造園植物（植栽を含む。）、造園工学（測量を含む。）、造園計画設計管理（自然・都市公園、都市・地方計画を含む。）。造園関連基礎（土壌肥科学、花き園芸学等）、生物学概論、生態学
	心理	心理学基礎論、心理学特論、臨床心理学

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	全ての科目の成績を合わせた総合成績により決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験及び第2次試験の成績を合わせた総合成績により決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	最終合格者	最終倍率
行政（一般方式）	85	2,313	1,507	110	13.7
土木（一般方式）	43	278	191	68	2.8
建築（一般方式）	6	69	36	8	4.5
機 械	18	72	55	30	1.8
電 気	14	82	52	31	1.7
環 境 検 査	6	85	60	8	7.5
林 業	4	70	56	8	7.0
畜 産	2	17	14	4	3.5
水 産	3	45	37	4	9.3
造 園	3	39	31	4	7.8
心 理	29	134	96	39	2.5

I 類B【新方式】 行政、ICT

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月2日(金)～4月8日(木)
1 次 試 験 日	5月2日(日)
1次試験合格発表日	5月28日(金)
2 次 試 験 日	6月11日(金)又は6月14日(月)のうち指定する1日
2次試験合格発表日	6月24日(木)
3 次 試 験 日	7月7日(水)又は7月8日(木)のうち指定する1日
最 終 合 格 発 表 日	7月21日(水)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教 養 試 験	行政(新方式)	130 分	五肢択一式(40 問中 35 問解答) 一般教養についての五肢択一式 (知能分野)30 問必須解答 (知識分野)10 問中 5 問選択解答
		ICT(新方式)	150 分	五肢択一式(40 問) 一般教養についての五肢択一式
	プ レ ゼ ン テーション・シート作成	行政(新方式) ICT(新方式)	90 分	都政課題に関するプレゼンテーション・シート作成
2次試験	口 述 試 験	行政(新方式)、 ICT(新方式)	—	プレゼンテーション及び人物についての個別面接
3次試験	口 述 試 験	行政(新方式) ICT(新方式)	—	グループワーク及び人物についての個別面接

●配点比率（令和3年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政(新方式)	【知能分野】文章理解、英文理解、判断推理、数的処理、資料解釈、空間概念 【知識分野】人文科学系(文化、歴史、地理)、社会科学系(法律、政治、経済)、自然科学系(物理、化学、生物、地学)、社会事情(都政における重要施策を含む。)
	ICT(新方式)	【知能分野】文章理解、英文理解、判断推理、数的処理、資料解釈、空間概念 【知識分野】情報通信技術、社会事情(都政における重要施策を含む。) ※情報通信技術 ①テクノロジーに関するもの(基礎理論、情報テクノロジー、情報セキュリティ、開発技術等) ②マネジメントに関するもの(プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント等) ③ストラテジに関するもの(システム戦略、経営戦略、関係法令等)

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	全ての科目の成績を合わせた総合成績により決定します。
2 次 試 験	第1次試験及び第2次試験の成績を合わせた総合成績により決定します。 ※ただし、第2次試験の成績が一定基準に達しない場合、第1次試験の結果にかかわらず、不合格になります。
最 終 合 格 者	第1次試験、第2次試験及び第3次試験の成績を合わせた総合成績により決定します。 ※ただし、第3次試験の成績が一定基準に達しない場合、第1次試験及び第2次試験の結果にかかわらず、不合格になります。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	最終合格者	最終倍率
行政(新方式)	25	616	443	31	14.3
ICT(新方式)	5	80	51	8	6.4

I 類A 事務、土木、建築、機械、電気

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成2年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月2日(金)～4月8日(木)
1 次 試 験 日	5月9日(日)
1次試験合格発表日	6月15日(火)
2 次 試 験 日	6月24日(木)又は6月25日(金)のうち指定する1日
最終合格発表日	7月13日(火)

●試験概要（令和3年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	事務	130 分 五肢択一式(40 問) 一般教養についての五肢択一式
		土木、建築、機械、電気	150 分 五肢択一式(44 問中 40 問解答) (知能分野)27 題必須解答 (知識分野)社会事情:3題必須解答 その他:14 題中 10 題選択解答 一般教養についての五肢択一式
	専門試験	事務	150 分 記述式(5 問中 1 問解答) 高度な専門知識についての記述式
		土木、建築、機械、電気	150 分 記述式(2 問中 1 問解答) 高度な専門知識についての記述式
	論 文	事務、土木、建築、機械、電気	90 分 課題式(1 問) 解答文字数:1,000 字以上 1,500 字程度
2次試験	口述試験	事務、土木、建築、機械、電気	— 職務に関連する専門知識及び人物についての個別面接

●配点比率（令和3年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	事務、土木、建築、機械、電気	【知能分野】文章理解、英文理解、判断推理、数的処理、資料解釈、空間概念 【知識分野】人文科学系(文化、歴史、地理)、社会科学系(法律、政治、経済)、自然科学系(物理、化学、生物、地学)、社会事情
専 門 試 験	事務	【公法】憲法、行政法 【民事法】民法、民事訴訟法 【経済原論】ミクロ経済学、マクロ経済学 【財政学】財政学 【公共政策】法学、政治学、行政学、経済学等を基礎とした公共政策
	土木	構造力学、水理学、土質工学、土木材料、測量、都市・土木計画、交通・道路工学、衛生工学、橋梁工学、河川・海岸工学、港湾工学、土木施工、技術情勢
	建築	建築史、都市計画、建築計画、建築環境工学、建築設備、構造力学、建築構造、建築材料、建築施工、建築法規、技術情勢
	機械	物理、材料力学、熱力学、熱機関、流体力学、流体機械、機械工作、機械材料、計測・制御、管理工学、技術情勢
	電気	数学、電気磁気学、電気回路、電気機器、電子回路、発送配電、計測・制御、情報・通信、電気応用、電気法規、技術情勢

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	全ての科目の成績を合わせた総合成績により決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験及び第2次試験の成績を合わせた総合成績により決定します。 ※ただし、第2次試験の成績が一定基準に達しない場合、第1次試験の結果にかかわらず、不合格になります。

●試験実施状況（令和3年度）

区分		採用予定	申込者	1次受験者	最終合格者	最終倍率
事	務	20	772	370	24	15.4
土	木	12	80	43	16	2.7
建	築	4	48	23	5	4.6
機	械	9	51	31	15	2.1
電	気	8	36	23	10	2.3

行政、農政技術(農業)、農政技術(森林)、水産、総合土木、建設技術(建築)、環境技術、機械、電気

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月26日(月)～5月10日(月)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	6月30日(水)
2 次 試 験 日	1回目 7月5日(月)～7月19日(月) 2回目 7月9日(金)～8月17日(火)
最 終 合 格 発 表 日	8月27日(金)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政	120 分	択一式(50 問中 40 問解答) (知識分野)28 問中 18 問選択解答 (知能分野)22 問必須解答 公務員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験
		農政技術(農業・森林)、水産、建設技術(建築)、環境技術、機械、電気	120 分	択一式(40 問) 各試験区分に応じて必要な専門的知識についての筆記試験
	専門試験	行政	120 分	択一式(80 問中 40 問解答) 各試験区分に応じて必要な専門的知識についての筆記試験
		総合土木	120 分	択一式(50 問中 22 問必須解答、残り 28 問中 18 問選択) 各試験区分に応じて必要な専門的知識についての筆記試験
2次試験	論文試験	行政、農政技術(農業・森林)、水産、総合土木、建設技術(建築)、環境技術、機械、電気	90 分	記述式(1 問 1,200 字程度) 思考力、創造力、論理力、柔軟性等についての筆記試験 ※1次試験日に実施
	人物試験	行政、農政技術(農業・森林)、水産、総合土木、建設技術(建築)、環境技術、機械、電気	第1回 15 分 第2回 30 分	個別面接 2 回 人柄、性向等についての試験

●配点比率（令和3年度）

行政					
第一次試験		第二次試験			合計
教養試験	専門試験	論文試験	第1回個別面接	第2回個別面接	
100	100	50	50	250	550

農政技術(農業)、農政技術(森林)、水産、総合土木、建設技術(建築)、環境技術、機械、電気				
第一次試験	第二次試験			合計
専門試験	論文試験	第1回個別面接	第2回個別面接	
100	50	50	250	450

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政	【知識分野(選択解答)】 法律、政治、経済、社会一般、日本史、世界史、地理、物理、化学、生物、地学、数学 【知能分野(必須解答)】 文章理解(英文を含む。)、判断推理(言語、非言語)、数の処理、資料解釈
	専門試験	行政 憲法、政治学、行政学、行政法、民法、刑法、労働法から26問 経済学(経済原論、経済政策、経済事情、経済史)、財政学、経営学から23問 社会政策、心理学、統計学、社会学、国際関係(国際政治学、国際経済学、国際法)、教育学から18問 数学・物理、情報・通信工学から13問
専 門 試 験	農政技術(農業)	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	農政技術(森林)	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	総合土木	【必須解答】 数学・物理、応用力学、水理学、測量、材料・施工 【選択解答】 応用力学、水理学、土質工学、都市計画、土木計画、材料・施工、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物
	建築技術(建築)	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	環境技術	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業、化学、化学工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	最終合格者は、第2次試験の結果のみで決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政	101	1,361	873	473	357	159	5.5
農 政 技 術（農 業）	5	65	42	29	24	6	7.0
農 政 技 術（森 林）	7	45	32	30	23	10	3.2
水 産	1	29	21	16	15	2	10.5
総 合 土 木	31	87	55	51	37	27	2.0
建 設 技 術（建 築）	5	29	19	17	13	7	2.7
環 境 技 術	6	43	22	19	13	7	3.1
機 械	3	22	14	13	8	5	2.8
電 気	7	28	14	13	8	6	2.3

公立小中学校等事務

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月26日（月）～5月10日（月）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1 次 試 験 合 格 発 表 日	6月30日（水）
2 次 試 験 日	7月5日（月）～8月17日（火）
最 終 合 格 発 表 日	8月27日（金）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	公立小中学校等事務	120 分	【知識分野（選択解答）】 法律、政治、経済、社会一般、日本史、世界史、地理、物理、化学、生物、地学、数学 【知能分野（必須解答）】 文章理解（英文を含む。）、判断推理（言語、非言語）、数的処理、資料解釈
	専門試験	公立小中学校等事務	120 分	択一式（80 問中 40 問解答） 各試験区分に応じて必要な専門的知識についての筆記試験
2次試験	論文試験	公立小中学校等事務	60 分	記述式（1 問800 字程度） 思考力、構成力等についての筆記試験 ※1次試験日に実施
	人物試験	公立小中学校等事務	30 分	個別面接 人柄、性向等についての試験

●配点比率（令和3年度）

小中学校等事務				
第一次試験		第二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	個別面接	
100	100	50	250	500

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	公立小中学校等事務	【知識分野（選択解答）】 法律、政治、経済、社会一般、日本史、世界史、地理、物理、化学、生物、地学、数学 【知能分野（必須解答）】 文章理解（英文を含む。）、判断推理（言語、非言語）、数的処理、資料解釈
専 門 試 験	公立小中学校等事務	憲法、政治学、行政学、行政法、民法、刑法、労働法から 26 問 経済学（経済原論、経済政策、経済事情、経済史）、財政学、経営学から 23 問 社会政策、心理学、統計学、社会学、国際関係（国際政治学、国際経済学、国際法）、教育学から 18 問 数学・物理、情報・通信工学から 13 問

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	最終合格者は、第2次試験の結果のみで決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
公立小中学校等事務	8	67	42	35	34	8	5.3

警察事務

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月26日(月)～5月10日(月)
1次試験日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	6月30日(水)
2次試験日	7月5日(月)～7月12日(月)
最終試験合格発表日	8月27日(金)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	警察事務	120分	知識分野(選択解答) 法律、政治、経済、社会一般、日本史、世界史、地理、物理、化学、生物、地学、数学 【知能分野(必須解答)】 文章理解(英文を含む。)、判断推理(言語、非言語)、数的処理、資料解釈
	専門試験	警察事務	120分	択一式(80問中40問解答) 警察事務に必要な大学卒業程度の専門的知識についての筆記試験
2次試験	論文試験	警察事務	60分	(1問 800字程度)※第1次試験日に実施 思考力、構成力等についての筆記試験
	適性試験	警察事務	—	職務遂行上必要な素質及び適性についての検査
	人物試験	警察事務	約20分	人柄、性向等についての個別面接試験

●配点比率（令和3年度）

警察事務				
第一次試験		第二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	人物試験	
100	100	50	200	450

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	警察事務	【知識分野】 法律、政治、経済、社会一般、日本史、世界史、地理、物理、化学、生物、地学、数学 【知能分野】 文章理解(英文を含む。)、判断推理(言語、非言語)、数的処理、資料解釈
専門試験	警察事務	憲法、政治学、行政学、行政法、民法、刑法、労働法から26問 経済学(経済原論、経済政策、経済事情、経済史)、財政学、経営学から23問 社会政策、心理学、統計学、社会学、国際関係(国際政治学、国際経済学、国際法)、教育学から18問 数学・物理、情報・通信工学から13問

●合格者の決定方法（令和3年度）

最終合格者	第2次試験の結果のみで決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
警察事務I種	42	248	163	143	138	55	3.0

行政（秋季チャレンジ）、総合土木（秋季技術職）、電気（秋季技術職）

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	9月3日（金）～9月17日（金）
1 次 試 験 日	10月24日（日）
1次試験合格発表日	11月10日（水）
2 次 試 験 日	1回目 11月17日（水）～11月19日（金） 2回目 11月20日（土）～12月9日（木）
最 終 合 格 発 表 日	12月17日（金）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎教養試験	行政(秋季チャレンジ)	120分	択一式(40問) (知識分野)15問必須解答、(知能分野)25問必須解答 公務員として必要な一般的かつ基礎的な知識及び知能についての筆記試験
	自己PRシート	行政(秋季チャレンジ)	60分	記述式 意欲、向上心、行動力等についての筆記試験 ※基礎教養試験の成績が一定の水準に達しない場合は採点されません。
	専門試験	総合土木(秋季技術職)	120分	択一式(40問中17問必須解答、残り23問中13問選択) 当該試験区分において必要な専門的知識についての筆記試験
		電気(秋季技術職)	120分	択一式(30問必須解答) 当該試験区分において必要な専門的知識についての筆記試験
2次試験	論文試験	総合土木(秋季技術職)、電気(秋季技術職)	90分	記述式(1問 1,200字程度)※第1次試験日に実施。 思考力、創造力、論理力、柔軟性等についての筆記試験
	人物試験	行政(秋季チャレンジ)	—	個別面接2回 人柄、志向等についての試験 第1回個別面接:約15分 ※面接とは別に特別な活動や資格等を評価 第2回個別面接:約35分(5分程度のプレゼンテーションを含む)
		総合土木(秋季技術職)、電気(秋季技術職)	—	個別面接2回 人柄、志向等についての試験 第1回個別面接:約15分 第2回個別面接:約30分

●配点比率（令和3年度）

行政(秋季チャレンジ)				
第一次試験		第二次試験		合計
基礎教養試験	自己PRシート	第1回個別面接	第2回個別面接	
40	60	50	250	400

総合土木(秋季技術職)、電気(秋季技術職)				
第一次試験		第二次試験		合計
専門試験	論文試験	第1回個別面接	第2回個別面接	
100	50	50	250	450

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎教養試験	行政(秋季チャレンジ)	【知識分野】 法律、政治、経済、社会一般、日本史、世界史、地理、数学、物理、化学、生物 【知能分野】 文章理解(英文を含む。)、判断推理(言語、非言語)、数的処理、資料解釈
専門試験	総合土木(秋季技術職)	【必須解答】 数学・物理、応用力学、水理学、測量、材料・施工 【選択解答】 応用力学、水理学、土質工学、都市計画、土木計画、材料・施工、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物
	電気(秋季技術職)	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学

●合格者の決定方法（令和3年度）

最終合格者	第2次試験の結果のみで決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政(秋季チャレンジ)	35	1,287	708	251	210	50	14.2
総合土木(秋季技術職)	10	58	31	29	27	17	1.8
電気(秋季技術職)	2	23	13	12	8	3	4.3

一般行政、一般行政(病院)、警察行政、福祉行政、福祉行政(心理)、総合土木、林業、農業、水産、建築、環境、電気、少年警察補導員

●受験資格(令和3年度)

共 通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程(令和3年度)

受験申込受付(WEB)	5月11日(火)～5月31日(月)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	6月30日(水)
2 次 試 験 日	面接試験以外 7月9日(金) 面接試験 7月15日(木)～7月30日(金)
最 終 合 格 発 表 日	8月中旬

●試験概要(令和3年度)

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	一般行政、一般行政(病院)、警察行政、福祉行政、福祉行政(心理)、総合土木、林業、農業、水産、建築、環境、電気、少年警察補導員	120 分	択一式(50 問中 40 問解答) (知能分野)20 問必須解答、(知識分野)30 問中 20 問選択解答 公務員として必要な一般的知識及び知能について、筆記試験を行います。
	専門試験	一般行政、一般行政(病院)、警察行政、総合土木	120 分	択一式(50 問中 40 問) 専門的知識及び能力について、筆記試験を行います。
		福祉行政、福祉行政(心理)、林業、農業、水産、建築、環境、電気、少年警察補導員	120 分	択一式(40 問) 専門的知識及び能力について、筆記試験を行います。
2次試験	論文試験	一般行政、一般行政(病院)、警察行政、福祉行政、福祉行政(心理)、総合土木、林業、農業、水産、建築、環境、電気、少年警察補導員	75 分	記述式(1,000 字) 課題の理解力、表現力、文章構成力等について筆記試験を行います。
	面接試験	一般行政、一般行政(病院)、警察行政、福祉行政、福祉行政(心理)、総合土木、林業、農業、水産、建築、環境、電気、少年警察補導員	—	集団討論面接、個別面接 積極性、協調性、柔軟性、責任性等について面接試験を行います。 ※一般行政、一般行政(病院)については、個別面接を同一日に2回行います。 ※福祉行政(心理)の受験者で、福祉行政と併願した者が、両職種で第1次試験に合格した場合は、面接試験を同一日にまとめて1回行います。
	適性検査	一般行政、一般行政(病院)、警察行政、福祉行政、福祉行政(心理)、総合土木、林業、農業、水産、建築、環境、電気、少年警察補導員	—	職務遂行上必要な素質及び適性について検査を行います。 面接試験の参考とします。

※資格調査:受験資格の有無及び、申込内容の真否について調査します。

●配点比率(令和3年度)

一般行政、一般行政(病院)、警察行政、福祉行政、福祉行政(心理)、総合土木、林業、農業、水産、建築、環境、電気、少年警察補導員				
第一次試験		第二次試験		合計
教養試験	専門試験	面接試験	論文試験	
100	100	130	20	350

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	一般行政、一般行政（病院）、警察行政、福祉行政、福祉行政（心理）、総合土木、林業、農業、水産、建築、環境、電気、少年警察補導員	【必須解答】文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈② 【選択解答】社会科学、人文科学、自然科学⑩
	専 門 試 験	憲法④、行政法⑤、民法⑥、刑法②、労働法②、経済原論⑩、財政学④、経済政策②、経済史①、経営学②、政治学②、行政学②、社会政策③、国際関係③等
専 門 試 験	福祉行政、福祉行政（心理）	社会福祉概論（社会保障を含む。）⑪、一般心理学（心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。）⑩、応用心理学（教育心理学・産業心理学・臨床心理学）④、社会学概論⑤、社会調査③、統計学②等
	総合土木	数学・物理⑨、応用力学⑤、水理学⑥、土質工学④、測量②、都市計画②、土木計画⑥、材料・施工④、農業水利・土地改良・農村環境整備⑦、農業土木構造物④、農業一般①等
	林業	森林政策・森林経営学⑬、造林学（森林生態学、森林保護学を含む。）⑫、林業工学④、林産一般⑤、砂防工学⑥等
	農業	作物学⑦、園芸学⑥、育種遺伝学③、植物病理学③、昆虫学③、土壤肥科学③、植物生理学③、農業経済一般②、生物化学①、食品科学③、家畜育種学①、家畜繁殖学①、飼料学①、家畜管理学①、畜産経営一般②等
	水産	水産事情・水産経済・水産法規⑧、水産環境科学⑤、水産生物学⑤、水産資源学④、漁業学④、増養殖学④、水産化学⑤、水産利用学⑤等
	建築	数学・物理⑩、構造力学⑤、材料学②、環境原論④、建築史②、建築構造④、建築計画⑤、都市計画③、建築設備②、建築施工③等
	環境	数学・物理⑩、環境科学④、分析化学③、無機化学・無機工業化学⑤、有機化学・有機工業化学⑦、化学工学⑤、物理化学⑥、生物学④等
	電気	数学・物理⑩、電磁気学・電気回路⑩、電気計測・制御④、電気機器・電力工学⑥、電子工学⑥、情報・通信工学④等
	少年警察補導員	教育心理学⑥、社会心理学⑦、発達心理学⑦、応用心理学⑧、社会学概論⑤、社会福祉概論⑦等

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第2次試験の結果に基づき決定し、第1次試験の成績は反映されません。 ※福祉行政、福祉行政（心理）の併願者：福祉行政（心理）の最終合格を優先し、福祉行政の合否は、併願者のうち福祉行政（心理）で合格した者を除き、決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
一 般 行 政	38	384	292	127	52	5.6
一 般 行 政（ 病 院 ）	3	2	2	2	1	2.0
警 察 行 政	4	21	15	12	5	3.0
福 祉 行 政	12	38	32	24	8	4.0
福 祉 行 政（ 心 理 ）	3	11	10	8	2	5.0
総 合 土 木	15	28	23	18	11	2.1
林 業	7	10	9	6	5	1.8
農 業	9	25	24	20	10	2.4
水 産	2	12	8	7	2	4.0
建 築	1	7	5	5	1	5.0
環 境	3	14	9	8	3	3.0
電 気	5	13	12	10	6	2.0
少 年 警 察 補 導 員	1	7	6	2	1	6.0

総合土木（新方式）

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	5月11日（火）～5月31日（月）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1 次 試験合格発表日	6月30日（水）
2 次 試 験 日	面接試験以外 7月9日（金） 面接試験 7月15日（火）～7月30日（金）
最 終 合 格 発 表 日	8月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	専 門 試 験	総合土木(新方式)	120 分	択一式(50 問中 40 問) 専門的知識及び能力について、筆記試験を行います。
2次試験	プレゼンテーションシート (自己PRシート) 作 成	総合土木(新方式)	75 分	記述式 面接試験で使用するプレゼンテーションシート(自己PR シート)の作成を行います。(1,000 字) ※ シート自体は評価の対象とはせず、面接試験において評価します。
	プレゼンテーションを含む 面 接 試 験	総合土木(新方式)	—	集団討論面接、個別面接 積極性、協調性、柔軟性、責任性等について、集団討論面接及び5分間のプレゼンテーションを含む個別面接を行います。
	適 性 検 査	総合土木(新方式)	—	職務遂行上必要な素質及び適性について検査を行います。 面接試験の参考とします。

※資格調査:受験資格の有無及び、申込内容の真否について調査します。

●配点比率（令和3年度）

総合土木(新方式)		
第一次試験	第二次試験	合計
専門試験	面接試験	
100	130	230

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専 門 試 験	総合土木(新方式)	数学・物理⑨、応用力学⑤、水理学⑥、土質工学④、測量②、都市計画②、土木計画⑥、材料・施工④、農業水利・土地改良・農村環境整備⑦、農業土木構造物④、農学一般①等

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第2次試験の結果に基づき決定し、第1次試験の成績は反映されません。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
総合土木（新方式）	3	5	4	2	1	4.0

●受験資格（令和3年度）

共 通	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者 ※「心理」は別途資格要件あり。

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	5月18日（火）～5月27日（木）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	6月29日（火）
2 次 試 験 日	総合行政 7月16日（金） および7月29日（木）～8月6日（金）のうちの1日 それ以外の区分 7月15日（木） および7月29日（木）～8月6日（金）のうちの1日
最 終 合 格 発 表 日	8月20日（金）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	総合行政、警察事務、心理、環境、工業研究（機械・金属）、農業、林業、水産、総合土木、建築設備、機械、電気	150 分	択一式(50 問) 一般的知識(社会科学、人文科学、自然科学)及び知能(文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等)についての択一式による試験
		総合行政、警察事務	120 分	択一式(50 問中 40 問解答) 専門的知識についての択一式による試験
	専門試験	農業	120 分	択一式(60 問中 40 問解答) 専門的知識についての択一式による試験
		総合土木	120 分	択一式(67 問中 40 問解答) 専門的知識についての択一式による試験
		心理、環境、工業研究（機械・金属）、林業、水産、建築、機械、電気	120 分	択一式(40 問) 専門的知識についての択一式による試験
2次試験	論文試験	総合行政、警察事務、心理、環境、工業研究（機械・金属）、農業、林業、水産、総合土木、建築、機械、電気	—	試験区分に応じて与えられた課題についての記述式による試験
	集団討論	総合行政、警察事務、心理、環境、工業研究（機械・金属）、農業、林業、水産、総合土木、建築、機械、電気	—	指定されたグループごとに与えられた課題についての集団討論
	個別面接	総合行政、警察事務、心理、環境、工業研究（機械・金属）、農業、林業、水産、総合土木、建築、機械、電気	—	主として人柄、対人的能力等についての個別面接 (指定する同一日に2回)
	適性検査	総合行政、警察事務、心理、環境、工業研究（機械・金属）、農業、林業、水産、総合土木、建築、機械、電気	—	職務遂行に必要な適性についての検査

●配点比率（令和3年度）

総合行政、警察事務、心理、環境、工業研究(機械・金属)、農業、林業、水産、総合土木、建築設備、機械、電気					
第一次試験		第二次試験			合計
教養試験	専門試験	論文試験	集団討論	個別面接	
100	160	20	40	380	700

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	総合行政、警察事務、心理、環境、工業研究(機械・金属)、農業、林業、水産、総合土木、建築、機械、電気	社会科学、人文科学、自然科学、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等
専 門 試 験	総合行政、警察事務	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済原論、経済政策、財政学、経済事情、政治学、行政学、社会政策、社会学、国際関係
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学
	環境	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	工業研究(機械・金属)	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作、金属加工学、金属組織学、鉄鋼材料学、非鉄材料学、材料分析・試験法
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、分析化学、有機化学、生物化学、食品科学、家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料科学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、農業機械、農学一般
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	上記各試験の結果を総合的に判定し、決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	最終合格者	最終倍率
総 合 行 政	44	310	247	54	4.6
警 察 事 務	5	49	38	5	7.6
心	4	14	12	6	2.0
環	2	14	14	6	2.3
工業研究(機械・金属)	2	3	2	0	-
農	5	19	16	8	2.0
林	2	6	6	3	2.0
水	2	5	3	2	1.5
総 合 土 木	20	28	20	12	1.7
建	2	7	4	2	2.0
機	2	6	4	2	2.0
電	3	5	4	2	2.0

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者 ※「心理」は別途資格要件あり。

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	5月12日（水）～5月31日（月）正午
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	7月中旬
2 次 試 験 日	7月下旬～8月上旬
最 終 合 格 発 表 日	8月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政、心理、農学（農業・畜産）、林学、水産、総合土木、建築、造園、機械、総合化学	150 分	択一式（50 問） 公務員として必要な一般的知識及び能力について択一式による筆記試験を行います。
	専門試験	行政	120 分	択一式（50 問中 40 問） 試験区分に応じて、必要な専門的知識及び能力について択一式による筆記試験を行います。
		農学（農業・畜産）、総合化学	120 分	択一式（60 問中 40 問） 試験区分に応じて、必要な専門的知識及び能力について択一式による筆記試験を行います。
		心理、林学、水産、総合土木、建築、造園、機械	120 分	択一式（40 問） 試験区分に応じて、必要な専門的知識及び能力について択一式による筆記試験を行います。
	論文試験	行政、心理、農学（農業・畜産）、林学、水産、総合土木、建築、造園、機械、総合化学	70 分	課題に対する理解度、思考力及び文章による表現力について論文試験を行います。（800 字程度）
	適性検査	行政、心理、農学（農業・畜産）、林学、水産、総合土木、建築、造園、機械、総合化学	—	職務の遂行に必要な素質及び適性について検査を行います。 ※適性検査の結果は、第2次試験の面接の参考として使用します。
2次試験	口述試験	行政	—	主として人物について、個別面接により試験を行います。 また、集団討論面接も行います。
		心理、農学（農業・畜産）、林学、水産、総合土木、建築、造園、機械、総合化学	—	主として人物について、個別面接により試験を行います。

●配点比率（令和3年度）

行政					
第一次試験			第二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	個別面接	集団討論	
100	120	80	800	400	1500

心理、農学(農業・畜産)、林学、水産、総合土木、建築、造園、機械、総合化学					
第一次試験			第二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	個別面接		
100	160	60	800		1120

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政、心理、農学(農業・畜産)、林学、水産、総合土木、建築、造園、機械、総合化学	社会、国語、英語、理科、判断推理、数的処理、資料解釈等
専 門 試 験	行政	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済原論、経済政策、財政学、経済事情、政治学、行政学、社会政策、社会学、国際関係等
	心理	一般心理学、心理学史、発達心理学、社会心理学、教育心理学、産業心理学、臨床心理学、調査・研究法、統計学等
	農学(林業・畜産)	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、農業経済一般、家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般等
	林学	森林政策・森林経営学、造林学、森林生態学、森林保護学、林業工学、林産一般、砂防工学等
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学等
	総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、農業機械、農学一般等
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計、都市・地方計画、造園関連基礎等
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作等
	総合化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学、物理・化学・生物、衛生、薬理、薬剤等

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第1次試験及び第2次試験の成績を総合して決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
行 政	45	290	220	75	57	3.9
心 理	4	17	13	8	4	3.3
農 学（ 農 業 ・ 畜 産 ）	8	19	14	8	6	2.3
林 学	6	8	5	3	1	5.0
水 産	3	10	7	6	3	2.3
総 合 土 木	18	32	29	23	18	1.6
建 築	1	9	5	3	1	5.0
造 園	2	2	1	1	1	1.0
機 械	1	5	5	3	1	5.0
総 合 化 学	3	12	11	6	3	3.7

行政、警察行政、福祉・心理、電気、土木（総合）、建築、化学、農学、林学、水産、機械・金属、情報処理（警察）、生物（警察）

●受験資格（令和3年度）

共	通	昭和62年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	5月14日(金)～6月1日(火)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	7月1日(木)
2 次 試 験 日	7月22日(木・祝)～7月29日(木)のうち指定する2日(なお、7月22日は全員出席が必要となります)
最 終 合 格 発 表 日	8月中下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	一般方式の各試験区分共通	150 分	択一式(50 問) 公務員として必要な一般的知識および知能について、択一式による筆記試験を行います。
	専門試験	行政、警察行政、生物(警察)	120 分	択一式(60 問中 40 問解答) 試験区分に応じた専門的知識および能力について、択一式による筆記試験を行います。
		情報処理(警察)	120 分	記述式(5 問必須解答) 試験区分に応じた専門的知識および能力について、択一式による筆記試験を行います。
		農学	120 分	択一式(80 問中 40 問解答) 試験区分に応じた専門的知識および能力について、択一式による筆記試験を行います。
		土木(総合)	120 分	択一式(50 問中 40 問解答) 試験区分に応じた専門的知識および能力について、択一式による筆記試験を行います。
		電気、建築、化学、林学、水産、機械・金属	120 分	択一式(40 問) 試験区分に応じた専門的知識および能力について、択一式による筆記試験を行います。
	適性検査 I	一般方式の全試験区分	—	公務員として職務遂行上必要な素質および適性を有するかどうかについて検査を行います。
2次試験	論文試験	一般方式の全試験区分	70 分	県政の課題に対する理解度、思考力および文章による表現力等について、記述式による筆記試験を行います。
	口述試験	一般方式の全試験区分	—	受験者の人柄、性格、職務遂行能力等について、集団討論および個別面接を行います。
	適性検査 II	一般方式の全試験区分	—	公務員として職務遂行上必要な素質および適性を有するかどうかについて検査を行います。
	外国語資格加算	一般方式の全試験区分	—	英語の一定水準以上の語学資格を有する方に対して、一定点を加算します。

●配点比率（令和3年度）

行政、警察行政、福祉・心理、電気、土木（総合）、建築、化学、農学、林学、水産、機械・金属、情報処理（警察）、生物（警察）				
第一次試験		第二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験	
100	200	100	400	800

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政、警察行政、福祉・心理、電気、土木（総合）、建築、化学、農学、林学、水産、機械・金属、情報処理（警察）、生物（警察）	社会科学、人文科学、自然科学、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
専 門 試 験	行政、警察行政	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済原論、経済政策、財政学、経済事情、政治学、行政学、社会政策、社会学、国際関係、心理学、教育学
	福祉・心理	社会福祉概論（社会保障を含む。）、一般心理学（心理学史、発達心理学および社会心理学を含む。）、応用心理学（教育心理学、産業心理学、臨床心理学）、心理学概論（社会心理学を含む。）、社会学概論、社会調査、調査・研究法、統計学
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	土木（総合）	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、農学一般
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	農学	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、農業経済一般、一般化学、分析化学、有機化学、生物化学、食品科学、応用微生物学、家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学
	林学	森林政策・森林経営学、造林学（森林生態学、森林保護学を含む。）、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	機械・金属	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	情報処理（警察）	数学、情報処理一般、ハードウェアの知識、ソフトウェアの知識、プログラム作成、通信ネットワーク、情報セキュリティ等
	生物（警察）	物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、一般化学、有機化学、生物有機化学、生物化学、応用微生物学、食品科学、物理・化学・生物（薬学）、薬理、薬剤

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第1次試験および第2次試験の成績を総合して決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政	48	216	165	82	80	57	2.9
警 察 行 政	6	81	57	23	17	12	4.8
福 祉 ・ 心 理	12	24	22	14	14	12	1.8
農 学（一般方式）	6	15	15	10	10	7	2.1
林 学（一般方式）	3	5	2	2	2	2	1.0
水 産	5	15	12	10	10	5	2.4
建 築（一般方式）	2	3	3	2	2	1	3.0
土 木（総合）（一般方式）	6	8	7	6	6	6	1.2
機 械 ・ 金 属	1	3	3	2	1	1	3.0
電 気	3	7	4	3	3	3	1.3
化 学	2	5	3	2	2	2	1.5
情 報 処 理（警察）	1	4	4	3	3	1	4.0
生 物（警察）	1	41	29	4	4	2	14.5

【新方式】土木（総合）、建築、農学、林学

●受験資格（令和3年度）

共 通	昭和62年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	5月14日（金）～6月1日（火）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	7月1日（木）
2 次 試 験 日	7月22日（木・祝）～7月29日（木）のうち指定する2日（なお、7月22日は全員出席が必要となります）
最終合格発表日	8月中下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験（SPI3）	新方式（土木（総合）、建築、農学、林学）	70 分	公務員として必要な基礎的な能力について、筆記試験（SPI3（能力検査のみ））を行います。
	専門試験	農学（新方式）	120 分	択一式（80 問中 40 問解答） 試験区分に応じた専門的知識および能力について、択一式による筆記試験を行います。
		土木（総合）（新方式）	120 分	択一式（50 問中 40 問解答） 試験区分に応じた専門的知識および能力について、択一式による筆記試験を行います。
		建築（新方式）、林学（新方式）	120 分	択一式（40 問） 試験区分に応じた専門的知識および能力について、択一式による筆記試験を行います。
	適性検査Ⅰ	新方式（土木（総合）、建築、農学、林学）	—	公務員として職務遂行上必要な素質および適性を有するかどうかについて検査を行います。
2次試験	論文試験	新方式（土木（総合）、建築、農学、林学）	70 分	県政の課題に対する理解度、思考力および文章による表現力等について、記述式による筆記試験を行います。
	口述試験	新方式（土木（総合）、建築、農学、林学）	—	受験者の人柄、性格、職務遂行能力等について、集団討論および個別面接を行います。
	適性検査Ⅱ	新方式（土木（総合）、建築、農学、林学）	—	公務員として職務遂行上必要な素質および適性を有するかどうかについて検査を行います。
	外国語資格加点	新方式（土木（総合）、建築、農学、林学）	—	英語の一定水準以上の語学資格を有する方に対して、一定点を加点します。

●配点比率（令和3年度）

土木（総合）（新方式）、建築（新方式）、農学（新方式）、林学（新方式）				
第一次試験		第二次試験		合計
基礎能力試験	専門試験	論文試験	口述試験	
100	200	100	400	800

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	土木（総合）（新方式）	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、農学一般
	建築（新方式）	数学・物理、構造力学、材料科学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	農学（新方式）	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、農業経済一般、一般化学、分析化学、有機化学、生物化学、食品科学、応用微生物学、家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料科学、家畜管理学
	林学（新方式）	森林政策・森林経営学、造林学（森林生態学、森林保護学を含む。）、林業工学、林産一般、砂防工学

●合格者の決定方法（令和３年度）

最 終 合 格 者	第1次試験および第2次試験の成績を総合して決定します。

●試験実施状況（令和３年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
農 学（新 方 式）	5	7	6	5	5	4	1.5
林 学（新 方 式）	3	2	2	0	－	－	－
建 築（新 方 式）	2	2	2	2	2	2	1.0
土木(総合)(新方式)	5	12	11	8	6	4	2.8

●受験資格（令和3年度）

共	通	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	5月10日(月)～5月25日(火)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	6月25日(金)
2 次 試 験 日	① 7月4日(日) ② 7月31日(土)～8月6日(金)のうち指定する1日
最終合格発表日	8月20日(金)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政Ⅰ、行政Ⅱ、警察行政、農業、林業、土木、農業土木、建築、電気、畜産、研究(林業)、研究(電子)	120分	五肢選択式(50問中40問) 公務員として必要な一般的知識及び知能について、五肢選択式による大学卒業程度の筆記試験を行います。 (出題数50問のうち、知能分野20問を必須解答し、知識分野30問中20問を選択解答します。)
	専門試験	行政Ⅰ、警察行政	120分	五肢選択式(50問中40問) 各試験職種に応じた専門的知識、能力等について、五肢選択式による大学卒業程度の筆記試験を行います。
		農業、林業、土木、農業土木、建築、電気、畜産、研究(林業)、研究(電子)	120分	五肢選択式(40問) 各試験職種に応じた専門的知識、能力等について、五肢選択式による大学卒業程度の筆記試験を行います。
	自己アピール試験	行政Ⅱ	90分	記述式 専門試験に代えて、自らの経験等から得た能力・実績についての記述式による試験を行います。
2次試験	人物試験	行政Ⅰ、行政Ⅱ、警察行政、農業、林業、土木、農業土木、建築、電気、畜産、研究(林業)、研究(電子)	—	公務員として職務遂行に必要な素質及び適性を有するかどうかについて適性検査を行います。 表現力、積極性、創造性等について個別面接(2回)を行います。
	論文試験	行政Ⅰ、行政Ⅱ、警察行政、社会福祉Ⅰ、社会福祉Ⅱ、農業、林業、土木、農業土木、建築、電気、畜産、研究(林業)、研究(電子)	90分	記述式 文章による表現力、構成力、課題に対する理解力等について記述式による試験を行います。

●配点比率（令和3年度）

行政Ⅰ、警察行政、農業、林業、土木、農業土木、建築、電気、畜産、研究(林業)、研究(電子)				
第一次試験		第二次試験		合計
教養試験	専門試験	人物試験	論文試験	
40	40	140	20	240

行政Ⅱ				
第一次試験		第二次試験		合計
教養試験	自己アピール試験	人物試験	論文試験	
20	60	140	20	240

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政Ⅰ、行政Ⅱ、警察行政、農業、林業、土木、農業土木、建築、電気、畜産、研究(林業)、研究(電子)	知能分野:文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈 知識分野:社会科学、人文科学、自然科学
	専 門 試 験	
	行政Ⅰ、警察行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学(経済原論、経済政策、経済史)、財政学、経営学、社会政策、国際関係
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農業一般
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼科学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	研究(林業)	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	研究(電子)	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	教養試験及び専門試験(行政Ⅱの場合は、教養試験及び自己アピール試験)の合計得点の高い順に決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験、第2次試験の合計得点の高い順に決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 I	57	382	323	114	107	64	5.0
行 政 II	2	17	12	7	7	2	6.0
警 察 行 政	8	54	43	18	18	8	5.4
農 業	6	22	18	14	14	9	2.0
林 業	11	31	22	20	20	14	1.6
土 木	14	20	20	20	18	17	1.2
農 業 土 木	5	6	5	5	5	4	1.3
建 築	2	5	4	2	2	2	2.0
電 気	1	4	2	2	2	2	1.0
畜 産	2	4	3	3	2	2	1.5
研 究 (林 業)	1	5	1	1	1	1	1.0
研 究 (電 子)	3	6	6	5	4	3	2.0

行政A、心理、電気、機械、化学、農業、総合土木、建築、林業

●受験資格（令和3年度）

共 通	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	5月6日（木）～5月26日（水）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	7月1日（木）
2 次 試 験 日	第一回 7月中旬～7月下旬の指定する1日 第二回 7月下旬～8月上旬の指定する1日
最 終 合 格 発 表 日	8月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政A	120 分	択一式(50 問中 40 問) 大学卒業程度の一般的な知識及び知能についての択一式試験
	基礎能力 検 査	心理、電気、機械、化学、農 業、総合土木、建築、林業	70 分	SPI3(能力検査のみ)
	専門試験	行政A、総合土木	120 分	択一式(50 問中 40 問) 試験区分に応じた大学卒業程度の専門的な知識及び能力についての択一式試験
		心理、電気、機械、化学、農 業、建築、林業	120 分	択一式(40 問) 試験区分に応じた大学卒業程度の専門的な知識及び能力についての択一式試験
	論文試験	行政A、心理、電気、機械、 化学、農業、総合土木、建 築、林業	90 分	一般的事項についての論文試験(1,200 字以内) ※論文試験は第1次試験日に実施しますが、採点は第2次試験で行います。
	外 国 語 資 格 等 の 加 算	行政A、心理、電気、機械、 化学、農業、総合土木、建 築、林業	—	英語、中国語、韓国語の一定水準以上の語学資格を有する方に対して、一定点を加算します。
2次試験	適性検査	行政A、心理、電気、機械、 化学、農業、総合土木、建 築、林業	—	職務遂行に必要な適性についての検査
	口述試験	行政A、心理、電気、機械、 化学、農業、総合土木、建 築、林業	—	グループワーク、個別面接(2 回)

●配点比率（令和3年度）

行政A				
第一次試験		第二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験(適性検査含む)	
400	800	300	900	2400

心理、電気、機械、化学、農業、総合土木、建築、林業				
第一次試験		第二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験(適性検査含む)	
320	800	300	900	2320

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政A	【知識分野＝選択解答】社会科学⑭、人文科学⑨、自然科学⑦ 【知能分野＝必須解答】文章理解(英語を含む。)⑧、判断推理⑦、数的処理・資料解釈⑤
	心理、電気、機械、化学、農業、総合土木、建築、林業	SPI3(知能分野のみ)
専 門 試 験	行政A	政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法⑥、刑法②、労働法②、経済原論・経済政策(経済事情を含む。）・経済史(経済学説史を含む。)⑬、財政学④、社会政策③、国際関係③、経営学②(※このうち40問を選択解答)
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学及び社会心理学を含む。)⑫、応用心理学⑨、調査・研究法②、統計学③
	電気	数学・物理⑩、電磁気学・電気回路⑩、電気計測・制御④、電気機器・電力工学⑥、電子工学⑥、情報・通信工学④
	機械	数学・物理⑩、材料力学④、流体力学④、熱力学④、電気工学②、機械力学・制御④、機械設計⑥、機械材料③、機械工作③
	化学	数学・物理⑦、物理化学⑨、分析化学③、無機化学・無機工業化学⑥、有機化学・有機工業化学⑨、化学工学⑥
	農業	栽培学汎論⑤、作物学⑤、園芸学⑤、育種遺伝学⑤、植物病理学④、昆虫学④、土壌肥科学④、植物生理学④、畜産一般②、農業経済一般②
	総合土木	数学・物理⑩、応用力学⑥、水理学⑥、測量②、材料・施工④、土質工学④、都市計画②、土木計画⑥、農業水利・土地改良・農村環境整備⑥、農業土木構造物③、土壌物理①(※このうち40問を選択解答)
	建築	数学・物理⑩、構造力学⑤、材料学②、環境原論④、建築史②、建築構造④、建築計画⑤、都市計画③、建築設備②、建築施工③
	林業	森林政策・森林経営学⑬、造林学(森林生態学・森林保護学を含む)⑫、林業工学④、林産一般⑤、砂防工学⑥

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の基準を満たす者の合計点の上位者から決定します。
2 次 試 験	資格調査の合格者のうち第2次試験の全ての基準を満たす者の合計点の上位者から決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 A	50	345	254	154	133	54	4.7
心 理	若干名	11	11	5	4	3	3.7
電 気	5	10	6	5	5	3	2.0
機 械		12	9	5	5	3	3.0
化 学	若干名	12	9	5	4	2	4.5
農 業	10	64	53	30	28	14	3.8
総 合 土 木	25	42	35	29	24	17	2.1
建 築	5	10	6	4	3	3	2.0
林 業	10	33	26	12	9	8	3.3

行政B

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	3月8日(月)～3月26日(金)
1 次 試 験 日	4月11日(日)
1次試験合格発表日	4月28日(水)
2 次 試 験 日	第一回 5月12日(水)～17日(月)のいずれか1日 第二回 5月24日(月)～27日(木)のいずれか1日
最 終 合 格 発 表 日	6月上旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力検査	行政B	70 分	SPI3(能力検査のみ)
	自己アピール試験	行政B	事前作成の 当日提出	自らの経験や実績等をアピールする記述試験 (自己アピールの内容は第2次試験の参考資料としても使用)
	論文試験	行政B	90 分	一般的事項についての論文試験(1,200 字以内) ※採点は2次試験で行います。
2次試験	外国語資格等の加算	行政B	—	英語、中国語、韓国語の一定水準以上の語学資格を有する方に対して、一定点を加算します。
	適性検査	行政B	—	職務遂行に必要な適性についての検査
	口述試験	行政B	—	グループワーク、個別面接(2回)

●配点比率（令和3年度）

行政B				
第一次試験		第二次試験		合計
基礎能力検査	自己アピール試験	論文試験	口述試験	
640	600	300	900	2460

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力検査	行政B	SPI3(能力検査のみ)

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の基準を満たす者の合計点の上位者から決定します。
最 終 合 格 者	資格調査の合格者のうち第2次試験の全ての基準を満たす者の合計点の上位者から決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 B	25	483	348	99	85	33	10.5

●受験資格（令和3年度）

共 通	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月22日(木)～5月19日(水)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	7月上旬
2 次 試 験 日	第1回 7月18日(日) 第2回 8月上旬
最 終 合 格 発 表 日	8月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政、建築	120 分	択一式(50 問中 40 問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能についての大学卒業程度の選択解答制による択一式筆記試験。
	専門試験	行政	120 分	択一式(50 問中 40 問) 専門的な知識及び能力についての大学卒業程度の選択解答制による択一式筆記試験
		建築	120 分	択一式(40 問必須解答) 専門的な知識及び能力についての大学卒業程度の選択解答制による択一式筆記試験
2次試験	論文試験	行政、建築	90 分	一般的事項についての論文試験(1,200 字以内) 【評定項目】論理性、文章力、理解・判断力、構想力
	適性検査	行政、建築	－	警察行政職員として職務遂行に必要な適性についての検査
	口述試験	行政、建築	－	態度、表現力、協調性、積極性、判断力、堅実性、創造性

●配点比率（令和3年度）

行政、建築				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験(適性検査含む)	
400	400	250	750	1800

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政、建築	【知識分野(30 題出題 20 題選択解答)】社会科学⑭、人文科学⑨、自然科学⑦ 【知能分野(20 題必須解答)】文章理解(英語を含む。)⑧、判断推理⑦、数的推理・資料解釈⑤
専 門 試 験	行政	【50 題出題 40 題選択解答】政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法⑥、刑法②、労働法②、経済原論・経済政策(経済事情を含む。)-経済史(経済学説史を含む。)-⑮、財政学④、社会政策③、国際関係③、経営学②
	建築	【40 題必須解答】数学・物理⑩、構造力学⑤、材料学②、環境原論④、建築史②、建築構造④、建築計画⑤、都市計画③、建築設備②、建築施工③

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の基準を満たす者の合計点の上位者から決定します。
最 終 合 格 者	資格調査の合格者のうち第2次試験の全ての基準を満たす者の合計点の上位者から決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政	5	142	82	24	23	7	11.7
建 築	若干名	1	1	1	1	0	-

行政B【秋季チャンス】・デジタル

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	7月16日(金)～8月27日(金)
1 次 試 験 日	9月12日(日)
1次試験合格発表日	9月30日(木)
2 次 試 験 日	第1回 10月8日(金)、10月11日(月)のいずれか1日 第2回 10月18日(月)、10月19日(火)のいずれか1日
最 終 合 格 発 表 日	10月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力検査	行政B(秋季チャンス)、デジタル	70分	SPI3(能力検査のみ)
	自己アピール試験	行政B(秋季チャンス)、デジタル	-	自らの経験や実績等をアピールする記述試験。事前に作成し、1次試験日に提出。 (自己アピールの内容は2次試験の参考資料としても使用)
	論文試験	行政B(秋季チャンス)	90分	一般的事項についての論文試験(1,200字以内) ※採点は2次試験で行います。
	専門論述試験	デジタル	90分	専門的な知識、技術、見識についての論述試験
	外国語資格等の加算	行政B(秋季チャンス)、デジタル	-	英語、中国語、韓国語の一定水準以上の語学資格を有する方に対して、一定点を加算します。
2次試験	適性検査	行政B(秋季チャンス)、デジタル	-	職務遂行上必要な適性についての検査
	口述試験	行政B(秋季チャンス)、デジタル	-	個別面接(1回目)、グループワーク:オンラインによる面接 個別面接(2回目):対面による面接

●配点比率（令和3年度）

行政B(秋季チャンス)				
一次試験		二次試験		合計
基礎能力検査	自己アピール試験	論文試験	口述試験	
640	600	300	900	2440

デジタル				
一次試験			二次試験	合計
基礎能力検査	自己アピール試験	専門論述試験	口述試験	
640	600	600	900	2740

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力検査	行政B(秋季チャンス)、デジタル	SPI3(能力検査のみ)

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の基準を満たす者の合計点の上位者から決定します。
最 終 合 格 者	資格調査の合格者のうち第2次試験の全ての基準を満たす者の合計点の上位者から決定します。

●試験実施状況（令和３年度）

区分	採用予定	申込者	受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政 B （秋季チャンス）	10	359	215	31	24	9	23.9
デジタル	若干名	16	14	8	6	1	14.0

行政Ⅰ、警察行政、心理、農学、畜産、森林科学、土木、建築、農業土木、電気、機械、水産、市町村立小中学校等事務職員

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月23日（金）～5月17日（月）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	6月30日（水）
2 次 試 験 日	7月中旬～8月中旬の間の連続する2日間
最 終 合 格 発 表 日	8月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政Ⅰ、警察行政、心理、農学、畜産、森林科学、土木、農業土木、機械、水産、建築、電気、市町村立小中学校等事務職員	150 分	択一式(50 問) 択一式による筆記試験を大学卒業程度で行います。
	専門試験	行政Ⅰ、警察行政、市町村立小中学校等事務職員	120 分	択一式(50 問中 40 問) 専門的知識、技術又はその他の能力について、択一式による筆記試験を大学卒程度で行います。
		心理、農学、畜産、森林科学、土木、農業土木、機械、水産、建築、電気	120 分	択一式(40 問) 専門的知識、技術又はその他の能力について、択一式による筆記試験を大学卒程度で行います。
	論文試験	行政Ⅰ、警察行政、心理、農学、畜産、森林科学、土木、農業土木、機械、水産、建築、電気、市町村立小中学校等事務職員	60 分	識見、論理性、思考力等について試験を行います。 ※第2次試験として評価します。
2次試験	口述試験	行政Ⅰ、警察行政、心理、農学、畜産、森林科学、土木、農業土木、機械、水産、建築、電気、市町村立小中学校等事務職員	—	人物及び専門的知識について個別面接による試験を行います。
	集団討論試験	行政Ⅰ、警察行政、心理、農学、畜産、森林科学、土木、農業土木、機械、水産、建築、電気、市町村立小中学校等事務職員	—	社会性、協調性、指導力、説得力等について集団討論による試験を行います。
	適性検査	行政Ⅰ、警察行政、心理、農学、畜産、森林科学、土木、農業土木、機械、水産、建築、電気、市町村立小中学校等事務職員	—	職務遂行上必要な素質及び適性について検査を行います。

●配点比率（令和3年度）

行政Ⅰ、心理、農学、畜産、森林科学、土木、農業土木、機械、水産、建築、電気					
一次試験		二次試験			合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験	集団討論試験	
100	200	100	500	100	1000

警察行政、市町村立小中学校等事務職員					
一次試験		二次試験			合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験	集団討論試験	
100	200	200	500	300	1300

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政Ⅰ、警察行政、心理、農学、畜産、森林科学、土木、農業土木、機械、水産、建築、電気、市町村立小中学校等事務職員	一般的知能(文章理解(英語を含む。)、判断推理、数的推理及び資料解釈の能力)及び一般的知識(社会及び現代の社会に関する問題、人文及び自然の知識)
専 門 試 験	行政Ⅰ、警察行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済原論、経済政策、経済事情、財政学、社会政策、社会学、国際関係等
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学及び社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学等
	農学	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥料学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般等
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料科学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般等
	森林科学	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む)、林業工学、林産一般、防犯工学等
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、材料・施工、都市計画、土木計画等
	建築	数学・物理、材料学、構造力学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壤物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般等
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学等
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作等
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学等
	市町村立小中学校等事務職員	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済原論、経済政策、経済事情、財政学、社会政策、社会学、国際関係等

●合格者の決定方法（令和3年度）

行政Ⅰ、心理、農学、畜産、森林科学、土木、農業土木、機械、水産、建築、電気	
1 次 試 験 合 格 者	第1次試験の合計得点により決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の合計得点及び適性検査の結果により決定されます。ただし第1次試験の得点を算入します
警察行政、市町村立小中学校等事務職員	
1 次 試 験 合 格 者	第1次試験の合計得点により決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の合計得点及び適性検査の結果により決定されます。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政Ⅰ	45	317	221	146	130	61	3.6
警察行政	10	57	36	23	21	13	2.8
心理	若干名	9	8	4	4	2	4.0
農学	10	21	16	11	10	7	2.3
畜産	若干名	5	4	3	3	3	1.3
森林科学	10	19	17	13	11	6	2.8
土木	15	16	12	11	8	8	1.5
建築	若干名	7	3	3	2	2	1.5
農業土木	5	11	9	7	7	5	1.8
電気	5	4	4	3	3	2	2.0
機械	若干名	8	6	4	1	0	－
水産	若干名	12	9	3	3	3	3.0
市町村立小中学校事務職員	10	50	36	20	18	11	3.3

行政Ⅱ

●受験資格（令和3年度）

共 通	昭和57年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	3月1日（月）～3月22日（月）
1 次 試 験 日	4月18日（日）
1次試験合格発表日	5月7日（金）
2 次 試 験 日	5月21日（金）～25日（火）
2次試験合格発表日	6月上旬
3 次 試 験 日	6月中旬
最 終 合 格 発 表 日	6月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教 養 試 験	行政Ⅱ	60 分	択一式(120 問) 択一式による筆記試験を大学卒業程度で行います。
	論 文 試 験	行政Ⅱ	60 分	識見、論理性、思考力等について試験を行います。
2次試験	口述試験(プレゼンテーション試験)	行政Ⅱ	—	人物及び専門的知識について個別面接による試験を行います。
	適 性 検 査	行政Ⅱ	—	職務遂行上必要な素質及び適性について検査を行います。 ※結果は第3次試験でも使用します。
3次試験	口 述 試 験	行政Ⅱ	—	人物及び専門的知識について個別面接による試験を行います。
	集 団 討 論 試 験	行政Ⅱ	—	社会性、協調性、指導力、説得力等について集団討論による試験を行います。

●配点比率（令和3年度）

行政Ⅱ					
一次試験		二次試験	三次試験		合計
教養試験	論文試験	口述試験 (プレゼンテーション試験)	口述試験 (2回目)	集団討論	
100	100	400	400	200	1200

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政Ⅱ	文章読解能力、数的能力、推理判断能力、人文・社会、自然に関する一般知識、基礎英語

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の合計得点により決定します。
2 次 試 験	第2次試験の合計得点及び適性検査の結果により決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験と第3次試験の合計得点及び適性検査の結果により決定されます。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 Ⅱ	10	367	277	74	63	26	25	9	30.8

●受験資格（令和3年度）

共 通	【行政Ⅰ、小中学校事務、警察行政】 平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者
	【行政Ⅱ、行政（静岡がんセンター事務）、土木、農業、林業、農業土木、建築、水産、電気、機械、工業化学】 昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者
	【心理】 昭和61年4月2日以降に生まれた者。別途資格要件あり。

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	5月14日（金）～5月28日（金）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	7月1日（木）
2 次 試 験 日	7月12日（月）～8月13日（金）
最 終 合 格 発 表 日	9月3日（金）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政Ⅰ、小中学校事務、警察行政、土木、農業、林業、農業土木、建築、心理、水産、電気、機械、工業化学	120分	択一式(50問中40問) 大学卒業程度の一般的知識及び知能についての択一式による筆記試験
	専門試験	行政Ⅰ、小中学校事務、警察行政	120分	択一式(55問中40問解答) 職種に応じた大学卒業程度の専門的知識、技術等についての筆記試験
		土木、農業、林業、農業土木、建築、心理、水産、電気、機械、工業化学	120分	択一式(40問) 職種に応じた大学卒業程度の専門的知識、技術等についての筆記試験
	総合能力試験	行政Ⅱ、行政静岡がんセンター事務	120分	択一式(40問) 大学卒業程度の総合的知識及び知能についての択一式による筆記試験
	論文試験	行政Ⅱ、行政静岡がんセンター事務	90分	記述式 課題に対する理解力、論理性、表現等についての記述式による筆記試験 ※採点は、総合能力試験が一定の基準に達した人についてのみ行います。
2次試験	論文試験	行政Ⅰ、小中学校事務、警察行政、土木、農業、林業、農業土木、建築、心理、水産、電気、機械、工業化学	90分	記述式 課題に対する理解力、論理性、表現力等についての記述式による筆記試験 ※第1次試験日に実施
	面接試験（1回目）	行政Ⅰ、行政Ⅱ、小中学校事務、警察行政、行政静岡がんセンター事務、土木、農業、林業、農業土木、建築、心理、水産、電気、機械、工業化学	—	人物についての個別面接及び集団討論による口述試験
	面接試験（2回目）	行政Ⅰ、行政Ⅱ、行政静岡がんセンター事務	—	人物についての個別面接による口述試験
	適性検査	行政Ⅰ、行政Ⅱ、小中学校事務、警察行政、行政静岡がんセンター事務、土木、農業、林業、農業土木、建築、心理、水産、電気、機械、工業化学	—	職員としての適性についての検査

●配点比率（令和3年度）

行政Ⅰ、小中学校事務、警察行政				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	面接試験	
40	40	40	480	600

行政Ⅱ、行政(静岡がんセンター事務)			
一次試験		二次試験	合計
総合能力試験	論文試験	面接試験	
50	50	500	600

土木、農業、林業、農業土木、建築、心理、水産、電気、機械、工業化学				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	面接試験	
32	48	40	480	600

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政Ⅰ、小中学校事務、警察行政、土木、農業、林業、農業土木、建築、心理、水産、電気、機械、工業化学	【知識分野】社会科学⑨、人文科学⑨、自然科学⑦のうち15題選択回答 【知能分野】文章理解⑧、判断推理⑩、数的推理・資料解釈⑦
	行政Ⅰ、小中学校事務、警察行政	政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法⑤、刑法①、労働法②、経済原論⑧、経済事情①、経済政策③、財政学④、社会政策③、国際関係④、経営学③、教育学③、心理学②、社会福祉③
専 門 試 験	土木	数学・物理⑩、応用力学⑥、水理学⑥、土質工学④、測量②、都市計画②、土木計画⑥、材料・施工④
	農業	栽培学汎論⑤、作物学⑤、園芸学⑤、育種遺伝学⑤、植物病理学④、昆虫学④、土壤肥科学④、植物生理学④、畜産一般②、農業経済一般②
	林業	森林政策・森林経営学⑬、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)⑫、林業工学④、林産一般⑤、砂防工学⑥
	農業土木	数学③、応用力学③、水理学④、測量②、土壌物理②、農業水利・土地改良・農村環境整備⑭、農業土木構造物⑤、材料・施工②、農業機械②、農学一般③
	建築	数学・物理⑩、構造力学⑤、材料科学②、環境原論④、建築史②、建築構造④、建築計画⑤、都市計画③、建築整備②、建築施工③
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。)⑩、応用心理学(教育心理学、産業心理学、臨床心理学)⑨、調査・研究法②、統計学③
	水産	水産事情・水産経済・水産法規⑧、水産環境科学⑤、水産生物学⑤、水産資源学④、漁業学④、増養殖学④、水産化学⑤、水産利用学⑤
	電気	数学・物理⑩、電磁気学・電気回路⑩、電気計測・制御④、電気機器・電力工学⑥、電子工学⑥、情報・通信工学④
	機械	数学・物理⑩、材料力学④、流体力学④、熱力学④、電気工学②、機械力学・制御④、機械設計⑥、機械材料③、機械工作③
	工業化学	数学・物理⑦、物理化学⑨、分析化学③、無機化学・無機工業化学⑥、有機化学・有機工業化学⑨、化学工学⑥
総 合 能 力 試 験	行政Ⅱ、行政(静岡がんセンター事務)	【総合能力試験1(90分)】現代社会(時事)⑤、文章理解⑬、判断推理⑤、数的推理・資料解釈⑦
		【総合能力試験2(30分)】社会政策⑤、国際関係⑤

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第1次試験の得点と第2次試験の得点を合計した総合得点の高い順に決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 I	69	429	325	190	155	94	3.5
行 政 II	36	279	208	111	90	40	5.2
小 中 学 校 事 務	6	32	25	18	17	6	4.2
警 察 行 政	20	107	81	49	44	26	3.1
行 政 (静岡がんセンター事務)	2	19	11	10	9	2	5.5
土 木	16	34	26	19	16	15	1.7
農 業	9	56	36	35	30	10	3.6
林 業	9	28	24	21	20	12	2.0
農 業 土 木	10	20	15	13	11	10	1.5
建 築	5	10	3	3	3	2	1.5
心 理	6	18	12	10	9	6	2.0
水 産	2	18	11	11	11	2	5.5
電 気	3	13	10	8	7	4	2.5
機 械	3	10	6	6	6	3	2.0
工 業 化 学	1	8	5	5	4	2	2.5

県職員(行政Ⅰ、行政Ⅱ、心理、電気、機械、化学、環境工学、農芸化学、農学、畜産、水産、林学、農業土木、土木、建築)

●受験資格 (令和3年度)

共 通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者 ※「心理」は別途資格要件あり。

●試験日程 (令和3年度)

受験申込受付(WEB)	4月21日(水)～5月19日(水)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	7月2日(金)
2 次 試 験 日	7月10日(土)～8月3日(火)のうち2日間
最 終 合 格 発 表 日	8月16日(月)

●試験概要 (令和3年度)

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政Ⅰ、行政Ⅱ、心理、電気、機械、化学、環境工学、農芸化学、農学、畜産、水産、林学、農業土木、土木、建築	150 分	択一式(50 問) 全ての試験区分を通じて、職員として必要な一般的な知識及び知能について、大学卒業程度の択一式による筆記試験を行います。
		行政Ⅰ	120 分	択一式(50 問中 40 問) 試験区分に応じた専門的な知識及び能力について、大学卒業程度の筆記試験を行います。
	専門試験	心理、電気、機械、化学、農芸化学、農学、畜産、水産、林学、農業土木、土木、建築	120 分	択一式(40 問) 試験区分に応じた専門的な知識及び能力について、大学卒業程度の筆記試験を行います。
		環境工学	120 分	記述式(10 問) 試験区分に応じた専門的な知識及び能力について、大学卒業程度の筆記試験を行います。
	論文試験	行政Ⅱ	120 分	職員として必要な思考力、表現力等をみるため、一定の課題による筆記試験を行います。
2次試験	論文試験	行政Ⅰ、心理、電気、機械、化学、環境工学、農芸化学、農学、畜産、水産、林学、農業土木、土木、建築	90 分	職員として必要な思考力、表現力等をみるため、一定の課題による筆記試験を行います。
		口述試験	—	主として人物について、面接による試験を行います。
	口述試験	行政Ⅰ、電気、化学、農芸化学、環境工学、農学、畜産、水産、林学、農業土木、土木、建築	—	面接及び模擬相談による試験を行います
		心理	—	主として人物について、面接及び集団討論による試験を行います。
	適性検査	行政Ⅱ	—	職員として必要な素質及び適性をみるため、簡単な試験を行います。
		行政Ⅰ、行政Ⅱ、心理、電気、機械、化学、環境工学、農芸化学、農学、畜産、水産、林学、農業土木、土木、建築	—	

●配点比率 (令和3年度)

行政Ⅰ、心理、電気、機械、化学、環境工学、農芸化学、農学、畜産、水産、林学、農業土木、土木、建築				
第1次試験		第2次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験	
15	30	10	45	100

行政Ⅱ			
第1次試験		第2次試験	合計
教養試験	論文試験	口述試験	
30	15	55	100

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	行政Ⅰ	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済原論、経済政策、財政学、経済事情、政治学、行政学、社会政策、社会学、国際関係等
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む)、応用心理学(教育心理学、産業心理学、臨床心理学)、調査・研究法、統計学等
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学等
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作等
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学等
	環境工学	環境設計工学(環境計画、環境アセスメント、物質循環)、環境化学、地球環境学、生態学、気象学、水理学、保全生物学等
	農芸化学	一般化学、分析化学、有機化学、生物有機化学、生物化学、土壌学・植物栄養学、食品科学、応用微生物学等
	農学	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥料学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般等
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼科学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般等
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学等
	林学	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む)、林業工学、林産一般、砂防工学等
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般等
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工等
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等

●合格者の決定方法（令和3年度）

非公表

●試験実施状況（令和3年度）

区分			採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
職員	行政Ⅰ	行 政 Ⅰ	125	893	668	383	199	3.4
		行 政 Ⅱ	40	393	243	103	46	5.3
	心理	心 理	10	39	30	26	15	2.0
		電 気	5	13	6	6	3	2.0
	機械	機 械	5	15	10	10	3	3.3
		化 学	5	32	23	21	8	2.9
	環境工学	環 境 工 学	若干名	9	6	5	2	3.0
		農 芸 化 学	若干名	16	10	7	3	3.3
	農学	農 学	15	52	43	42	18	2.4
		畜 産	5	17	12	11	6	2.0
	水産	水 産	5	18	14	14	5	2.8
		林 学	10	18	16	13	8	2.0
	農業土木	農 業 土 木	10	19	12	11	8	1.5
		土 木	40	61	35	33	29	1.2
	建 築		10	26	16	15	8	2.0

警察職員(行政Ⅰ、行政Ⅱ、情報管理、機械、化学、建築)

●受験資格 (令和3年度)

共	通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程 (令和3年度)

受験申込受付(WEB)	4月21日(水)～5月19日(水)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	7月2日(金)
2 次 試 験 日	7月10日(土)～8月3日(火)のうち2日間
最 終 合 格 発 表 日	8月30日(月)

●試験概要 (令和3年度)

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政Ⅰ、行政Ⅱ、情報管理、機械、化学、建築	150 分	択一式(50 問) 全ての試験区分を通じて、職員として必要な一般的な知識及び知能について、大学卒業程度の択一式による筆記試験を行います。
	専門試験	行政Ⅰ	120 分	択一式(50 問中 40 問) 試験区分に応じた専門的な知識及び能力について、大学卒業程度の筆記試験を行います。
		機械、化学、建築	120 分	択一式(40 問) 試験区分に応じた専門的な知識及び能力について、大学卒業程度の筆記試験を行います。
		情報管理	120 分	記述式(4 問) 試験区分に応じた専門的な知識及び能力について、大学卒業程度の筆記試験を行います。
	論文試験	行政Ⅱ	120 分	警察職員として必要な思考力、表現力等をみるため、一定の課題による筆記試験を行います。
2次試験	論文試験	行政Ⅰ、情報管理、機械、化学、建築	90 分	警察職員として必要な思考力、表現力等をみるため、一定の課題による筆記試験を行います。
	口述試験	行政Ⅰ、情報管理、機械、化学、建築	—	主として人物について、面接による試験を行います。
		行政Ⅱ	—	主として人物について、面接及び集団討論による試験を行います。
	適性検査	行政Ⅰ、行政Ⅱ、情報管理、機械、化学、建築	—	警察職員として必要な素質及び適性をみるため、簡単な試験を行います。

●配点比率 (令和3年度)

行政Ⅰ、情報管理、機械、化学、建築				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験	
15	30	10	45	100

行政Ⅱ			
一次試験		二次試験	
教養試験	論文試験	口述試験	
30	15	55	
		100	

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	行政Ⅰ	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済原論、経済政策、財政学、経済事情、政治学、行政学、社会政策、社会学、国際関係等
	情報管理	(記述式) 数学、物理(電子工学を含む。)、情報工学(通信工学を含む。)、経営工学等
	機械	数学・物理、材料力学、液体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作等
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学等
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等

●合格者の決定方法（令和3年度）

非公表

●試験実施状況（令和3年度）

区分		採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
警察職員	行政Ⅰ	5	78	52	30	4	13.0
	行政Ⅱ	5	96	63	20	3	21.0
	情報管理	若干名	11	7	6	1	7.0
	機械	若干名	5	5	4	0	－
	化学	若干名	29	14	7	1	14.0
	建築	若干名	0	－	－	－	－

行政Ⅰ、環境化学、農学、林学、水産、総合土木、建築、電気

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	5月11日（火）～5月31日（月）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	7月8日（木）
2 次 試 験 日	1 日目 7月17日（土） 2 日目 7月24日（土）～8月8日（日）
最 終 合 格 発 表 日	8月16日（月）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政Ⅰ、環境化学、農学、林学、水産、総合土木、建築、電気	150 分	択一式(50 問) 公務員として必要な一般的知識及び知能についての択一式による筆記試験を行います。
	専門試験	行政Ⅰ	120 分	択一式(50 問中 40 問) 試験区分に応じ、それぞれに必要な専門的知識及び能力についての択一式による筆記試験を行います。
		環境化学、農学、林学、水産、総合土木、建築、電気	120 分	択一式(40 問) 試験区分に応じ、それぞれに必要な専門的知識及び能力についての択一式による筆記試験を行います。
2次試験	論文試験	行政Ⅰ、環境化学、農学、林学、水産、総合土木、建築、電気	90 分	記述式 総合的な判断力・思考力・表現力等の能力についての記述式による筆記試験を行います。
	総合人物試験	行政Ⅰ、環境化学、農学、林学、水産、総合土木、建築、電気	—	人柄、性格等についての個別面接及び適性検査を行います。

●配点比率（令和3年度）

行政Ⅰ、環境化学、農学、林学、水産、総合土木、建築、電気				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	総合人物試験	
100	100	100	300	600

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政Ⅰ、環境化学、農学、林学、水産、総合土木、建築、電気	【一般知識分野】社会科学、人文科学、自然科学 【一般知能分野】文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
	行政Ⅰ	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済原論、経済政策、経済事情、財政学、政治学、行政学、社会政策、社会学、国際関係
専 門 試 験	環境化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	農学	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	林学	森林政策・森林経営学、造林学（森林生態学、森林保護学を含む。）、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	総合土木	【Ⅰ】数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般 【Ⅱ】数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工 ※申込みの際にⅠまたはⅡのいずれか希望する出題分野を選択。
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第1次試験と第2次試験の結果を総合して決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 Ⅰ	65	362	271	132	129	87	3.1
環 境 化 学	4	14	10	8	8	5	2.0
農 学	12	32	26	22	20	14	1.9
林 学	7	10	8	6	6	4	2.0
水 産	4	24	19	11	8	6	3.2
総 合 土 木	21	33	25	21	21	18	1.4
建 築	3	5	2	2	2	2	1.0
電 気	2	7	4	4	4	2	2.0

行政Ⅱ

●受験資格（令和3年度）

行 政 Ⅱ	平成元年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	5月11日(火)～5月31日(月)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1 次 試 験 合 格 発 表 日	7月8日(木)
2 次 試 験 日	1日目 7月17日(土) 2日目 7月24日(土)～8月8日(日) ※いずれも、土・日曜日、祝日に実施
2 次 試 験 合 格 発 表 日	8月16日(月)
3 次 試 験 日	8月28日(土)または8月29日(日)
最 終 合 格 発 表 日	9月8日(水)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政Ⅱ	150 分	択一式(50 問) 公務員として必要な一般的知識及び知能についての択一式による筆記試験を行います。
	エントリーシート試験	行政Ⅱ	90 分	記述式 これまでの経験、自己アピール等についての記述式による筆記試験を行います。
2次試験	論文試験	行政Ⅱ	90 分	記述式 総合的な知識力・理解度、論理的表現力、論理的思考力等の能力についての記述式による筆記試験を行います。
	総合人物試験	行政Ⅱ	—	人柄、性格等についての個別面接及び適性検査を行います。
3次試験	自己アピール面接	行政Ⅱ	30 分	自己アピール書を使用した自己アピール面接を行います。 (自己アピール面接(30 分程度)では、5 分程度の自己アピールを実施します。)

●配点比率（令和3年度）

行政Ⅱ					
一次試験		二次試験		三次試験	合計
教養試験	エントリーシート試験	論文試験	総合人物試験	自己アピール面接	
100	100	100	300	200	800

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政Ⅱ	【一般知識分野】社会科学、人文科学、自然科学 【一般知能分野】文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第1次試験から第3次試験までの結果を総合して決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 Ⅱ	18	98	75	39	35	25	24	21	3.6

警察事務、学校事務

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成6年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	7月16日(金)～8月23日(月)
1 次 試 験 日	9月26日(日)
1次試験合格発表日	10月12日(火)
2 次 試 験 日	1回目:10月22日(金) 2回目:10月25日(月)～11月3日(水)
最 終 合 格 発 表 日	11月16日(火)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	警察事務、学校事務	150 分	択一式(50 問) 公務員として必要な一般的知識及び知能についての択一式による筆記試験を行います。
	専門試験	警察事務、学校事務	120 分	択一式(40 問) 試験区分に応じ、それぞれに必要な専門的知識及び能力についての択一式による筆記試験を行います。
2次試験	論文試験	警察事務、学校事務	90 分	記述式 総合的な知識力・理解度、論理的表現力、論理的思考力等の能力についての記述式による筆記試験を行います。
	総合人物試験	警察事務、学校事務	—	人柄、性格等についての個別面接及び適性検査を行います。

●配点比率（令和3年度）

警察事務、学校事務				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	総合人物試験	
100	100	100	300	600

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	警察事務、学校事務	一般知識分野(25 題):社会科学、人文科学、自然科学 一般知能分野(25 題):文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
専 門 試 験	警察事務、学校事務	政治学、行政学、社会学、社会事情、憲法、行政法、民法、経済学、財政学、国際関係

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第1次試験と第2次試験の結果を総合して決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
警 察 事 務	7	81	48	19	16	8	6.0
学 校 事 務	22	127	86	44	40	22	3.9

行政(専門試験型)、警察事務、環境行政、化学、農業、林業、建築、電気(電気工学)、機械、総合土木

●受験資格 (令和3年度)

共 通	昭和62年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程 (令和3年度)

受験申込受付(WEB)	5月10日(月)～5月31日(月)
1 次 試 験 日	筆記試験:6月20日(日) 口述試験:7月上旬
1次試験合格発表日	7月中旬
2 次 試 験 日	7月下旬～8月上旬
最終合格発表日	8月中旬

●試験概要 (令和3年度)

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政(専門試験型)、警察事務、環境行政、化学、農業、林業、建築、電気(電気工学)、機械、総合土木	120 分	択一式(47 問中 40 問解答) 公務員として必要な社会、人文および自然の各科学、現代の社会に関する知識(知識分野)ならびに文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等に関する能力(知能分野)についての筆記試験
	専門試験	行政(専門試験型)、警察事務	120 分	択一式(50 問中 40 問) 各試験区分に応じて必要な専門的知識および能力についての筆記試験
		総合土木	120 分	択一式(70 問中 40 問) 各試験区分に応じて必要な専門的知識および能力についての筆記試験
		環境行政、化学、農業、林業、建築、電気(電気工学)、機械	120 分	択一式(40 問) 各試験区分に応じて必要な専門的知識および能力についての筆記試験
	口述試験	行政(専門試験型)、警察事務、環境行政、化学、農業、林業、建築、電気(電気工学)、機械、総合土木	—	人物についての個別面接による試験
2次試験	論文試験	行政(専門試験型)、警察事務、環境行政、化学、農業、林業、建築、電気(電気工学)、機械、総合土木	90 分	識見、思考力、表現力等についての筆記試験
	口述試験	行政(専門試験型)、警察事務、環境行政、化学、農業、林業、建築、電気(電気工学)、機械、総合土木	—	人物についての個別面接および集団討論による試験
	適性検査	行政(専門試験型)、警察事務、環境行政、化学、農業、林業、建築、電気(電気工学)、機械、総合土木	—	公務員として必要な適性についての検査

●配点比率（令和3年度）

行政(専門試験型)、警察事務、環境行政、化学、農業、林業、建築、電気(電気工学)、機械、総合土木					
一次試験			二次試験		合計
教養試験	専門試験	口述試験(1次)	論文試験	口述試験(2次)	
100	100	100	100	300	700

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政(専門試験型)、警察事務、環境行政、化学、農業、林業、建築、電気(電気工学)、機械、総合土木	知能分野:文章理解⑧、判断推理⑩、数的推理⑥、資料解釈① 知識分野:人権①、県関連①、社会科学⑧、人文科学⑥、自然科学⑥ ※知能分野と、知識分野の人権、県関連の計27問は必須回答。社会科学、人文科学、自然科学のうち13問を選択回答。
	専門試験	
専 門 試 験	行政(専門試験型)、警察事務	政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法④、刑法②、労働法②、経済学⑥、経営学③、財政学③、社会政策③、国際関係③、統計学②、心理学概論③、社会学概論③、教育学③
	環境行政	環境法③、環境政策・計画③、環境経済学③、憲法④、行政法④、経済学④、環境化学③、環境工学③、生態学③、物理化学⑤、生物化学⑤
	化学	数学・物理⑦、物理化学⑨、分析化学③、無機化学・無機工業化学⑥、有機化学・有機工業化学⑨、化学工学⑥
	農業	栽培学汎論⑤、作物学④、園芸学④、育種遺伝学④、植物病理学④、昆虫学④、土壤肥科学④、植物生理学④、畜産一般②、農業経済一般②、食品科学③
	林業	森林政策・森林経営学⑬、造林学⑫、林業工学④、林産一般⑤、砂防工学⑥
	建築	数学・物理⑩、構造力学⑤、材料学②、環境原論④、建築史②、建築構造④、建築計画⑤、都市計画③、建築設備②、建築施工③
	電気(電気工学)	数学・物理⑩、電磁気学・電気回路⑩、電気計測・制御④、電気機器・電気工学⑥、電子工学⑥、情報・通信工学④
	機械	数学・物理⑩、材料力学④、流体力学④、熱力学④、電気工学②、機械力学・制御④、機械設計⑥、機械材料③、機械工作③
	総合土木	数学・物理⑩、応用力学③、水理学④、測量②、材料・施工②、土質工学④、都市計画②、土木計画⑥、土壌物理①、農業水利・土地改良・農村環境整備⑧、農業土木構造物②、農学一般①

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和3年度）

非公表

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次筆記受験者	1次口述受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政(専門試験型)	50	405	297	215	100	97	55	5.4
警 察 事 務	7	46	35	23	14	14	7	5.0
環 境 行 政	2	10	8	5	4	4	2	4.0
化 学	3	16	8	8	6	5	2	4.0
農 業	8	29	28	27	16	15	9	3.1
林 業	2	9	6	3	2	2	2	3.0
建 築	4	9	8	8	7	7	4	2.0
電 気 (電 気 工 学)	2	5	1	1	1	1	0	-
機 械	1	8	5	4	2	1	1	5.0
総 合 土 木	16	31	20	17	15	14	9	2.2

行政(アピール試験型)

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成7年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	5月10日(月)～5月31日(月)
1 次 試 験 日	筆記試験:6月13日(日) 口述試験:7月上旬
1次試験合格発表日	7月中旬
2 次 試 験 日	7月下旬～8月上旬
最 終 合 格 発 表 日	8月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	能力検査	行政(アピール試験型)	70 分	SPI(能力検査のみ)
	口述試験	行政(アピール試験型)	—	人物についての個別面接(プレゼンテーションを含む。)による試験
2次試験	論文試験	行政(アピール試験型)	90 分	識見、思考力、表現力等についての筆記試験
	口述試験	行政(アピール試験型)	—	人物についての個別面接および集団討論による試験
	適性検査	行政(アピール試験型)	—	公務員として必要な適性についての検査

●配点比率（令和3年度）

行政(アピール試験型)				
一次試験		二次試験		合計
能力検査	口述試験(1次)	論文試験	口述試験(2次)	
100	100	100	300	600

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
能力検査	行政(アピール試験型)	SPI(能力検査のみ)

●合格者の決定方法（令和3年度）

非公表

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次筆記受験者	1次口述受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政(アピール試験型)	10	200	138	63	30	28	18	7.7

※総合政策分野：全国型／法律分野：法律専門型／経済分野：経済専門型

行政A、総合土木、電気・電子・情報工学、電気・電子工学(警察)、機械、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、環境

●受験資格（令和3年度）

行政A	平成7年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者
総合土木	昭和56年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者
上記以外	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月28日（水）～5月24日（月）
1次試験日	筆記試験：6月20日（日） 口述試験：7月上旬～中旬
1次試験合格発表日	筆記試験：6月25日（金） 口述試験：7月15日（木）
2次試験日	7月下旬～8月上旬
最終合格発表日	8月17日（火）

●試験概要（令和3年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政A	120分 多肢選択式(40問) 公務員に必要な一般的知識及び知能についての筆記試験
		電気・電子・情報工学、電気・電子工学(警察)、機械、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、環境	90分 多肢選択式(25問) 公務員に必要な一般的知識及び知能についての筆記試験
	基礎能力試験	総合土木	70分 多様な業務に共通して求められる汎用的な知的能力についての筆記試験。(SPI3(能力検査のみ)・多肢選択式)
	専門試験	行政A、電気・電子・情報工学、電気・電子工学(警察)、機械、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、環境	90分 多肢選択式(40問) それぞれの試験区分に応じた必要な専門的知識についての筆記試験 ※行政IAは、専門試験時間内に「総合政策」「法律」「経済」の中から1科目を選択
		総合土木	90分 多肢選択式(60問中40問) それぞれの試験区分に応じた必要な専門的知識についての筆記試験
	論文試験	行政A、総合土木、電気・電子・情報工学、電気・電子工学(警察)、機械、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、環境	90分 課題に対する理解力、分析力、思考力、表現力等についての記述試験(採点は2次試験で行う。)
	適性検査	行政A、総合土木、電気・電子・情報工学、電気・電子工学(警察)、機械、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、環境	— 職務の遂行に必要な適性についての検査(口述試験等受験者が対象。判定は2次試験で行う。)
	口述試験	行政A、総合土木、電気・電子・情報工学、電気・電子工学(警察)、機械、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、環境	— 1グループ4名程度に対する集団面接
2次試験	口述試験	行政A、総合土木、電気・電子・情報工学、電気・電子工学(警察)、機械、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、環境	— 個別面接及びグループワーク※(第1次試験合格者が対象) ※与えられた課題について、6～8人程度のグループで作業等を行う。

●配点比率（令和3年度）

行政A						
1次試験			2次試験			合計
教養試験	専門試験	集団面接	個別面接	グループワーク	論文試験	
75	150	125	400	100	100	950

総合土木、電気・電子・情報工学、電気・電子工学(警察)、機械、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、環境						
1次試験			2次試験			合計
教養試験/基礎能力試験(SPI)	専門試験	集団面接	個別面接	グループワーク	論文試験	専門試験
75	150	125	300	100	100	100
						950

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政A	社会科学⑮(法律・政治③、経済④、社会⑥、人権②)、文章理解⑨(英文⑥、現代文③)、判断推理⑩、数的推理⑤、資料解釈①
	電気・電子・情報工学、電気・電子工学(警察)、機械、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、環境	社会科学②(人権②)、文章理解⑧(英文⑤、現代文③)、判断推理⑩、数的推理⑤
専 門 試 験	行政A	【総合政策】政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法④、刑法②、労働法②、経済学①①、財政学③、社会政策③、国際関係② 【法律】憲法⑤、行政法⑫、民法⑫、刑法③、労働法③、経済学⑤ 【経済】経済原論⑮、財政学④、経済史④、統計学②、経済事情④、経済政策③、憲法及び民法⑤
	電気・電子・情報工学、電気・電子工学(警察)	【必須解答35問】数学・物理⑩、電磁気学・電気回路⑩、電気計測・制御③、電気機器・電力工学⑤、電子工学③、情報・通信工学④ 【選択解答5問】A、Bのいずれかを選択 A:電気計測・制御①、電気機器・電力工学①、電子工学③ B:情報・通信工学⑤
	機械	数学・物理⑩、材料力学④、流体力学④、熱力学④、電気工学②、機械力学・制御④、機械設計⑥、機械材料③、機械工作③
	総合土木	数学⑥、応用力学⑥、水理学⑥、測量②、材料・施工④、土質工学④、都市計画②、土木計画⑥、物理④、土壌物理②、農業水利・土地改良・農村環境整備⑨、農業土木構造物④、農業機械②、農業一般③ ※上記の出題範囲のうち、必須解答は20問(数学、応用力学、水理学、測量、材料・施工)、ほか選択解答20問
	建築	数学・物理⑩、構造力学⑤、材料学②、環境原論④、建築史②、建築構造④、建築計画⑤、都市計画③、建築設備②、建築施工③
	化学	数学・物理⑦、物理化学⑨、分析化学③、無機化学・無機工業化学⑥、有機化学・有機工業化学⑨、化学工学⑥
	農業	栽培学汎論⑤、作物学⑤、園芸学⑤、育種遺伝学⑤、植物病理学④、昆虫学④、土壌肥料学④、植物生理学④、畜産一般②、農業経済一般②
	畜産	家畜育種学⑤、家畜繁殖学④、家畜生理学④、家畜飼養学④、家畜栄養学④、飼料学③、家畜管理学⑥、畜産物利用学⑤、畜産経営一般⑤
	林業	森林政策・森林経営学⑬、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)⑫、林業工学④、林産一般⑤、砂防工学⑥
	水産	水産事情・水産経済・水産法規⑧、水産環境科学⑤、水産生物学⑤、水産資源学④、漁業学④、増養殖学④、水産化学⑤、水産利用学⑤
	環境	数学・物理・化学⑧、環境概論⑤、廃棄物・資源循環工学⑤、エネルギー⑤、環境経済学③、大気・水・土壌環境学⑤、生態学⑤、環境衛生学④

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第2次試験の結果及び第1次試験の論文試験の結果に基づき決定します。 (行政の試験区分については、第1次試験結果をリセットします。)

行政B

●受験資格（令和3年度）

行政B	平成7年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月28日(水)～5月24日(月)
1次試験日	筆記試験:6月20日(日) 口述試験:7月上旬～中旬
1次試験合格発表日	筆記試験:6月25日(金) 口述試験:7月15日(木)
2次試験日	7月下旬～8月上旬
最終合格発表日	8月17日(火)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
一次試験	基礎能力試験	行政B	70 分	多様な業務に共通して求められる汎用的な知的能力についての筆記試験(SPI3(能力検査のみ)・多肢選択式)
	自己アピール試験	行政B	90 分	自らの経験や意欲等をアピールする記述試験
	論文試験	行政B	90 分	課題に対する理解力、分析力、思考力、表現力等についての記述試験 (採点は2次試験で行う。)
	適性検査	行政B	—	職務の遂行に必要な適性についての検査 (口述試験等受験者が対象。判定は2次試験で行う。)
	口述試験	行政B	—	自己アピール試験 アピール型個別面接で記述した内容について自己アピールを行った後、個別面接
2次試験	口述試験	行政B	—	個別面接及びグループワーク※(第1次試験合格者が対象) ※与えられた課題について、6～8人程度のグループで作業等を行う。

●配点比率（令和3年度）

行政B						
1次試験			2次試験			合計
基礎能力試験(SPI)	自己アピール試験	アピール型個別面接	個別面接	グループワーク	論文試験	
100	125	125	400	100	100	950

行政A（10月）

●受験資格（令和3年度）

行政A（10月）	令和3年10月1日の採用に応じられる者で、平成6年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月28日(水)～5月24日(月)
1次試験日	筆記試験:6月20日(日) 口述試験:7月上旬～中旬
1次試験合格発表日	筆記試験:6月25日(金) 口述試験:7月15日(木)
2次試験日	7月下旬～8月上旬
最終合格発表日	8月17日(火)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政A(10月)	120分	多肢選択式(40問) 公務員に必要な一般的知識及び知能についての筆記試験
	専門試験	行政A(10月)	90分	多肢選択式(40問) それぞれの試験区分に応じた必要な専門的知識についての筆記試験 ※専門試験時間内に「総合政策」・「法律」・「経済」の中から1科目を選択 (採点は2次試験で行う。)
	論文試験	行政A(10月)	90分	課題に対する理解力、分析力、思考力、表現力等についての記述試験 (採点は2次試験で行う。)
	適性検査	行政A(10月)	—	職務の遂行に必要な適性についての検査 (口述試験等受験者が対象。判定は2次試験で行う。)
	口述試験	行政A(10月)	—	1グループ4名程度に対する集団面接
2次試験	口述試験	行政A(10月)	—	個別面接及びグループワーク※(第1次試験合格者が対象) ※与えられた課題について、6～8人程度のグループで作業等を行う。

●配点比率（令和3年度）

行政A(10月)						
1次試験			2次試験			合計
教養試験	専門試験	集団面接	個別面接	グループワーク	論文試験	
75	150	125	400	100	100	950

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	行政A(10月)	社会科学⑬(法律・政治③、経済④、社会⑥、人権②)、文章理解⑨(英文⑥、現代文③)、判断推理⑩、数的推理⑤、資料解釈①
専門試験	行政A(10月)	【総合政策】政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法④、刑法②、労働法②、経済学⑩、財政学③、社会政策③、国際関係② 【法律】憲法⑤、行政法⑫、民法⑫、刑法③、労働法③、経済学⑤ 【経済】経済原論⑬、財政学④、経済史④、統計学②、経済事情④、経済政策③、憲法及び民法⑤

●合格者の決定方法（令和3年度）

最終合格者	第2次試験の結果及び第1次試験の論文試験の結果に基づき決定します。 (行政の試験区分については、第1次試験結果をリセットします。)

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政 A	150	548	360	226	222	174	2.1
行政 B		159	57	18	18	7	8.1
行政 A（10月）		48	27	15	15	6	4.5
電気・電子・情報工学	若干名	9	4	4	4	3	1.3
電気・電子工学(警察)	若干名	1	1	1	1	1	1.0
機械	若干名	5	1	1	1	1	1.0
総合土木	25	17	4	1	1	1	4.0
建築	若干名	13	5	4	4	4	1.3
化学	5	17	8	7	6	4	2.0
農業	10	29	21	17	16	11	1.9
畜産	若干名	4	3	3	3	3	1.0
林業	10	18	12	10	10	9	1.3
水産	若干名	8	6	3	3	1	6.0
環境	若干名	3	0	-	-	-	-

警察事務職員 A、学校事務職員 A

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成7年4月2日以降に生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	8月6日（金）～8月20日（金）
1 次 試 験 日	筆記試験: 9月26日（日） 口述試験: 10月中旬
1 次 試験 合格 発表 日	10月26日（火）
2 次 試 験 日	11月上旬～中旬
最 終 合 格 発 表 日	11月26日（金）

●試験概要（令和3年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	警察事務職員 A、学校事務職員 A	120 分
	作文試験	警察事務職員 A、学校事務職員 A	60 分
	口述試験	警察事務職員 A、学校事務職員 A	—
2次試験	適性検査	警察事務職員 A、学校事務職員 A	—
	口述試験	警察事務職員 A、学校事務職員 A	—

●配点比率（令和3年度）

警察事務職員 A、学校事務職員 A				
1次試験			2次試験	合計
教養試験	口述試験	作文試験	口述試験	
100	100	100	300	600

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	警察事務職員 A、学校事務職員 A	【必須解答（34 題）】 社会科学（法律・政治③、経済②、社会②、人権②）、文章理解（英文③、現代文⑤）、判断推理⑨、数的推理⑥、資料解釈② 【選択解答（16 題中 11 題）】 人文科学（国語②、地理③、日本史②、世界史②）、自然科学（数学・物理②、化学②、生物②、地学①）

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	最終合格者は、第2次試験の結果及び第1次試験の作文試験の結果に基づき決定します。 教養試験又は専門試験において、一定の基準に達しない場合は、総合得点にかかわらず不合格となります。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
警 察 事 務 職 員 A	15	221	130	42	39	11	11.8
学 校 事 務 職 員 A	15	175	112	51	48	24	4.7

行政（22-25）

●受験資格（令和3年度）

行政（22-25） 平成8年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた人

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	3月1日（月）～4月9日（金）
1次試験日	5月16日（日）※エントリーシートは事前に記入し、第1次試験日に提出。
1次試験合格発表日	6月8日（火）
2次試験日	論文：6月19日（土）、6月20日（日）のいずれか1日 個別面接：6月26日（土）～7月4日（日）
2次合格発表日	7月14日（水）
3次試験日	7月29日（木）～8月6日（金）
最終合格発表日	8月19日（木）

●試験概要（令和3年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	S P I 3	約 70 分	言語的理解力や数的処理能力、論理的思考力を問います。
2次試験	論文	60 分	次の(1)、(2)の2つの分野から出題します。受験申込み時に、いずれか1分野を選択してください。申込み後に、選択した分野の変更はできません。 (1) 見識又は法律・経済分野・・・①見識(社会事象に対する基礎的知識や、論理的思考力、企画提案力、文章作成力などを問います。)、②憲法、③行政法、④民法、⑤経済原論、⑥財政学、⑦経済政策、⑧経営学 に関する問題を出題します。(①から⑧のうち、1科目を第2次試験当日に選択) (2) 情報分野・・・情報処理に関連する分野の論文と、情報処理の基礎的な知識を問う記述式の問題を出題します。
	個別面接	—	—
3次試験	個別面接	—	2回実施します。
	グループワーク	—	5人から8人程度のグループで、与えられた課題についての作業などを行います。

●配点比率（令和3年度）

非公表

●合格者の決定方法（令和3年度）

最終合格者 第1次試験、第2次試験及び第3次試験の結果を総合的に判定し、決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
行政（22-25）	145	2,196	899	726	585	291	277	181	5.0

土木（「造園分野」を含む。）、建築、機械、電気、環境（「水産分野」を含む。）、農学、農業工学、林学

●受験資格（令和3年度）

技 術	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	3月1日（月）～4月9日（金）
1 次 試 験 日	5月16日（日）※エントリーシートは事前に記入し、第1次試験日に提出。
1次試験合格発表日	5月31日（月）
2 次 試 験 日	専門試験（記述式） 6月20日（日） 個別面接 6月12日（土）、6月13日（日）、6月19日（土）、6月20日（日）のいずれか1日
2次試験合格発表日	7月9日（金）
3 次 試 験 日	7月17日（土）～7月18日（日）のいずれか1日
最終合格発表日	8月5日（木）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	S P I 3	土木（「造園分野」を含む。）、建築、機械、電気、環境（「水産分野」を含む。）、農学、農業工学、林学	約70分	言語的理解力や数的処理能力、論理的思考力を問います。
2次試験	専門試験	土木（「造園分野」を含む。）、建築、機械、電気、環境（「水産分野」を含む。）、農学、農業工学、林学	90分	記述式
	個別面接	土木（「造園分野」を含む。）、建築、機械、電気、環境（「水産分野」を含む。）、農学、農業工学、林学	—	—
3次試験	個別面接	土木（「造園分野」を含む。）、建築、機械、電気、環境（「水産分野」を含む。）、農学、農業工学、林学	—	2回実施します。

●配点比率（令和3年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	土木（「造園分野」を含む。）	構造力学、水理学、土質、材料、施工、測量、都市計画、河川、道路、港湾、衛生、交通 等 申込み時に「土木（造園分野）」を選択した人には、構造力学、水理学、土質、測量、都市計画の5分野に造園学原論、造園計画・設計、造園管理、造園材料・施工等が加わります。 ※受験申込み時に、「土木」又は「土木（造園分野）」のいずれか1分野を選択してください。 申込み後に、選択した分野の変更はできません。
	建築	構造力学、建築構造、建築史、建築計画、都市計画、建築環境工学、建築設備、建築材料、建築関係法規、建築施工等
	機械	材料力学、機械力学、流体力学、流体機械、熱力学（熱機関含む。）、機械材料、制御工学、機械加工、機械設計等
	電気	電磁気学、電気回路、電子工学、電子回路、情報工学、電力工学、電気応用、通信工学、電器機器、電気計測、制御工学、電気関係法規等
	環境（「水産分野」を含む。）	環境概論、環境化学、大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、廃棄物、地球環境、エネルギー、化学物質管理 等 申込み時に「環境（水産分野）」を選択した人には、これに漁業学、水産資源学、水産環境学、水産生物学、水産増殖学、水産食品化学、水産関係法規、漁業政策等が加わります。 ※受験申込み時に、「環境」又は「環境（水産分野）」のいずれか1分野を選択してください。 申込み後に、選択した分野の変更はできません。
	農学	栽培学汎論、植物防疫一般、土壌肥科学、植物生理学、農業政策、生物化学、食品化学、食品衛生学、農村計画学等
	農業工学	水理学、構造力学、土質力学、測量、材料、施工、水資源利用、水環境学、土地利用・農村計画学、農業土木施設、農業政策等
	林学	森林政策、造林学、林産、砂防工学、自然環境計画、生物多様性、自然公園計画、森林生態、森林病理学 等

●合格者の決定方法（令和3年度）

最終合格者	第1次試験、第2次試験及び第3次試験の結果を総合的に判定し、決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
土 木	35	103	55	49	39	36	33	31	1.8
建 築	10	43	19	15	10	10	10	10	1.9
機 械	5	31	18	15	14	10	10	7	2.6
電 気	5	32	10	9	7	5	5	4	2.5
環 境	5	58	27	24	20	13	13	8	3.4
農 学	5	51	30	25	17	12	12	8	3.8
農 業 工 学	5	8	6	6	5	5	5	5	1.2
林 学	5	35	19	18	16	14	14	8	2.4

警察行政

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	3月1日（月）～4月9日（金）
1 次 試 験 日	5月16日（日） ※エントリーシートは事前に記入し、第1次試験日に提出。
1次試験合格発表日	6月8日（火）
2 次 試 験 日	論文・適性検査:6月19日（土）、6月20日（日）のいずれか1日 個別面接:6月26日（土）～7月4日（日）
2 次 合 格 発 表 日	7月14日（水）
3 次 試 験 日	7月29日（木）～8月6日（金）
最 終 合 格 発 表 日	8月19日（木）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	S P I 3	警察行政	約 70 分	言語的理解力や数的処理能力、論理的思考力を問います。
2次試験	論 文	警察行政	60 分	次の(1)、(2)の2つの分野から出題します。 受験申込み時に、いずれか1分野を選択。申込み後の分野変更はできません。 (1) 見識又は法律・経済分野・・・①見識(社会事象に対する基礎的知識や、論理的思考力、企画提案力、文章作成力などを問います。)、②憲法、③行政法、④民法、⑤経済原論、⑥財政学、⑦経済政策、⑧経営学 に関する問題を出題します。(①から⑧のうち、1科目を第2次試験当日に選択) (2) 情報分野・・・数学・物理、情報工学、数理工学、経営工学、通信工学、コンピュータ(ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク)等の知識を問う記述式の問題を出題します。
	個 別 面 接	警察行政	—	—
	適 性 検 査	警察行政	—	—
3次試験	個 別 面 接	警察行政	—	個別面接1回。
	グループワーク	警察行政	—	5人から8人程度のグループで、与えられた課題についての作業などを行います。

●配点比率（令和3年度）

非公開

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第1次試験、第2次試験及び第3次試験の結果を総合的に判定し、決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
警 察 行 政	30	451	254	152	133	60	58	32	7.9

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成6年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者 【心理判定員】昭和51年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者。別途資格要件あり。

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	5月10日(月)～5月28日(金)
筆 記 試 験 日	6月20日(日)
筆記試験合格発表日	6月29日(火)
1 次 面 接 試 験 日	7月5日(月)～7月16日(金)
1次面接合格発表日	7月27日(火)
最 終 面 接 試 験 日	8月2日(月)～8月20日(金)
最 終 合 格 発 表 日	8月27日(金)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
筆記試験	教養試験	一般事務職、警察事務職、 教育事務職、小中学校事務 職	150 分	択一式(55 問中 45 問解答) 大学卒業程度の一般教養について択一式により試験を行います。
	専門試験	一般事務職、警察事務職、 教育事務職、小中学校事務 職	120 分	択一式(65 問中 40 問解答) 各職種に必要な大学卒業程度の専門的知識について択一式により試験を行います。
		心理判定員、林学職、水産 職、環境科学職、建築職(一 般・警察)、機械職、電気職	120 分	択一式(40 問) 各職種に必要な大学卒業程度の専門的知識について択一式により試験を行います。
		農学職、総合土木職	120 分	択一式(60 問中 40 問解答) 各職種に必要な大学卒業程度の専門的知識について択一式により試験を行います。
	論文試験	一般事務職、警察事務職、 教育事務職、心理判定員、 農学職、林学職、水産職、 環境科学職、総合土木、建 築職(一般・警察)、機械職、 電気職、小中学校事務職	90 分	(1 題 1,200 字) 一般的な課題により大学卒業程度の理解力・判断力、独創性・説得力、文章 表現力・文章構成力について試験を行います。
1次面接	面接試験	一般事務職、警察事務職、 教育事務職、心理判定員、 農学職、林学職、水産職、 環境科学職、総合土木、建 築職(一般・警察)、機械職、 電気職、小中学校事務職	20～25 分	1 人あたり 20～25 分程度で、若者らしいバイタリティや行動力等について、 試験を行います。
	適性検査	一般事務職、警察事務職、 教育事務職、心理判定員、 農学職、林学職、水産職、 環境科学職、総合土木、建 築職(一般・警察)、機械職、 電気職、小中学校事務職	—	職務の遂行に必要な適性について検査します。
最終面接	面接試験	一般事務職、警察事務職、 教育事務職、心理判定員、 農学職、林学職、水産職、 環境科学職、総合土木、建 築職(一般・警察)、機械職、 電気職、小中学校事務職	25～30 分	1 人あたり 25～30 分程度で、思考の論理性や柔軟性、判断力や使命感等の 職員としての適性について、試験を行います。

●配点比率（令和3年度）

一般事務職、警察事務職、教育事務職、小中学校事務職			
筆記試験	1次面接試験	最終面接試験	合計
150	450	300	900

心理判定員、農学職、林学職、水産職、環境科学職、総合土木、建築職（一般・警察）、機械職、電気職			
筆記試験	1次面接試験	最終面接試験	合計
450	450	300	1200

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	一般事務職、警察事務職、教育事務職、小中学校事務職	【知識分野】県関係、時事、政治・法律、経済、社会、日本史、世界史、地理、数学、物理、化学、生物、地学など 【知識分野】現代文、古文、英文、判断推理、数的推理、資料解釈など
	一般事務職、警察事務職、教育事務職、小中学校事務職	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済原論、財政学、経済史、統計学、経済事情、経済政策、経営学、社会政策、社会福祉、国際関係など
専 門 試 験	心理判定員	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む) 応用心理学(教育心理学、産業心理学、臨床心理学)調査・研究法 統計学など
	農学職	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般、家畜繁殖学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般など
	林学職	森林政策、森林経営学、造林学、林業工学、林産一般、砂防工学など
	水産職	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学など
	環境科学職	数学・物理、化学、生物学、環境概論、環境化学、環境生物・生態学、環境法概論、環境工学、廃棄物資源工学など
	総合土木職	数学・物理、応用力学、水理学、測量、土質工学、都市計画、土木計画、土壌物理、農業水利、土地改良、農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般、造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計(都市・地方計画を含む)、造園関連基礎など
	建築職(一般・警察)	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工など
	機械職	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作など
	電気職	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学など

●合格者の決定方法（令和3年度）

筆 記 試 験	教養試験、専門試験の合計得点順(事務系職種)、専門試験(技術系職種)の得点順に決定します。
1 次 面 接 試 験	面接試験の得点に筆記試験(教養(事務系職種のみ)・専門・論文)の得点を加算した合計得点順に決定します。
最 終 合 格 者	最終面接試験の結果に基づき決定し、筆記試験、1次面接試験の結果は反映されません。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	最終合格者	最終倍率
一般事務職	80	763	523	102	5.1
警察事務職	6	71	44	8	5.5
教育事務職	24	119	96	34	2.8
小中学校事務職	13	71	53	16	3.3
心理判定員	3	25	17	5	3.4
農学職	16	72	53	19	2.8
林学職	4	19	14	5	2.8
水産職	4	21	15	5	3.0
環境科学職	2	16	8	3	2.7
総合土木職	26	54	35	21	1.7
建築職（一般）	4	18	11	5	2.2
建築職（警察）	1	3	2	2	1.0
機械職	3	8	2	1	2.0
電気職	3	12	8	3	2.7

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	5月12日（水）～5月26日（水）
1 次 試 験 日	筆記試験 6月20日（日） 口述試験 7月5日（月）～7月11日（日）
1次試験合格発表日	7月19日（月）
2 次 試 験 日	7月28日（水）～8月16日（月）
最 終 合 格 発 表 日	8月23日（月）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政A、行政B、総合土木、造園、建築、設備（電気・機械）、化学、農学、林学、警察行政	105 分	択一式(50 問中 35 問) 公務員として必要な一般的知識及び知能について、大学卒業程度で択一式による試験を行います。
	専門試験	行政A、警察行政	90 分	択一式(55 問中 30 問) 専門的知識及び能力について、大学卒業程度で択一式による試験を行います。
		総合土木、造園、建築、設備（電気・機械）、化学、農学、林学	90 分	択一式(40 問中 30 問) 専門的知識及び能力について、大学卒業程度で択一式による試験を行います。
	論文試験	行政A、総合土木、造園、建築、設備（電気・機械）、化学、農学、林学、警察行政	75 分	分野ごとの課題により大学卒業程度の知識、構成力、表現力などについて筆記試験を行います。(800 字程度) ※採点は2次試験で実施
	時事論文試験	行政B	75 分	時事問題等に関する課題により、大学卒業程度の分析力、解決力、発想力、構成力などについて筆記試験を行います。(800 字程度)
	口述試験	行政A、行政B、総合土木、造園、建築、設備（電気・機械）、化学、農学、林学、警察行政	—	集団面接による試験を行います。
	適性検査	行政A、行政B、総合土木、造園、建築、設備（電気・機械）、化学、農学、林学、警察行政	—	公務員として必要な適性について検査を行います。
2次試験	口述試験	行政A、総合土木、造園、建築、設備（電気・機械）、化学、農学、林学、警察行政	—	グループワーク及び個別面接による試験を行います。
		行政B	—	グループワーク及び個別プレゼンテーション面接（自己アピールを内容とした 5 分程度のプレゼンテーションをしていただきます。）による試験を行います。

●配点比率（令和3年度）

行政A、総合土木、造園、建築、設備（電気・機械）、化学、農学、林学、警察行政					
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験(1次)	口述試験(2次)	合計
100	100	100	300	400	1000

行政B				
教養試験	時事論文試験	口述試験(1次)	口述試験(2次)	合計
100	100	300	400	900

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政A、行政B、総合土木、造園、建築、設備(電気・機械)、化学、農学、林学、警察行政	文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈、人権関連、社会科学、人文科学、自然科学等
専 門 試 験	行政A、警察行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、経済事情、経営学、社会政策、国際関係、教育学、一般心理学、統計学、社会学概論、数学・物理等
	総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、材料・施工、都市計画、土木計画、造園一般、農業工学一般等
	造園	造園学原論、造園材料・施行、造園管理、造園計画・設計(都市・地方計画を含む。)、造園関連基礎等
	建築	数学・物理、材料学、構造力学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等
	設備(電気)	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電子工学、電気機器・電力工学、情報・通信工学等
	設備(機械)	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作等
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学、無機工業化学、有機化学、有機工業化学、化学工学等
	農学	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般等
	林学	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学及び森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学等

●合格者の決定方法（令和3年度）

行政A、総合土木、造園、建築、設備(電気・機械)、化学、農学、林学、警察行政			
1	次	試 験	教養試験、専門試験及び口述試験の合計得点(500点満点)により決定します。
2	次	試 験	論文試験及び口述試験の合計得点(500点満点)により決定します。
行政B			
1	次	試 験	教養試験、時事論文試験及び口述試験の合計得点(500点満点)により決定します。
2	次	試 験	口述試験の得点(400点満点)により決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 A	74	272	186	117	114	79	2.4
行 政 B	10	76	47	25	25	11	4.3
総 合 土 木	43	31	17	10	8	8	2.1
造 園	2	4	3	1	1	1	3.0
建 築	17	16	11	6	6	3	3.7
設 備	7	7	4	3	3	3	1.3
化 学	3	9	7	3	3	1	7.0
農 学	6	20	16	12	12	7	2.3
林 学	4	15	11	9	9	4	2.8
警 察 行 政	3	30	16	5	5	3	5.3

※法律分野：法律専門型／経済分野：経済専門型／総合A分野：全国型／総合B分野：その他

一般行政職（通常枠）、警察事務職、情報職 A・B、総合土木職、建築職、電気職、化学職、農学職、林学職、水産職、心理職員

●受験資格（令和3年度）

共 通	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者 ※「心理職員」は、昭和57年4月2日以降に生まれた者。別途資格要件あり。

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月20日(火)～5月21日(金)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	7月1日(木)
2 次 試 験 日	【一般行政職(通常枠)】個別面接①、論文試験 7月14日(水)～7月20日(火) 個別面接② 8月4日(水)～8月13日(金) 【警察事務職・技術系職種】7月14日(水)～7月26日(月) 【心理職員】7月26日(月)～7月29日(木)
最 終 合 格 発 表 日	【一般行政職】8月27日(金) 【一般行政職以外】8月17日(火)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	一般行政職(通常枠)、警察事務職、情報職 A・B、総合土木職、建築職、電気職、化学職、農学職、林学職、水産職、心理職員	120 分	択一式(55 問中 40 問) 公務員として必要な一般的知識及び能力についての筆記試験
		一般行政職(通常枠)、警察事務職	120 分	択一式(40 問) 試験区分に応じた専門的知識及び能力についての筆記試験 受験申込時に4科目(法律、経済、総合A及び総合B)から1科目を選択する。 法律又は経済を選択…40 題を全問必須解答(択一式) 総合A又は総合Bを選択…60 題中 40 題を選択解答(択一式)
	専門試験	総合土木職	120 分	択一式(45 問中 40 問解答) 試験区分に応じた専門的知識及び能力についての筆記試験
		情報職 A・B	120 分	記述式及び択一式(40 問) 試験区分に応じた専門的知識及び能力についての筆記試験
		建築職、電気職、化学職、農学職、林学職、水産職、心理職員	120 分	択一式(40 問) 試験区分に応じた専門的知識及び能力についての筆記試験
	適性検査	各区分共通	—	通常の職務遂行に必要な適性についての検査
2次試験	論文試験	一般行政職(通常枠)、警察事務職、情報職 A・B、総合土木職、建築職、電気職、化学職、農学職、林学職、水産職、心理職員	90 分	一定のテーマによる識見、表現力、判断力等についての記述試験(1,200 字程度)
	面接試験	一般行政職(通常枠)、警察事務職、情報職 A・B、総合土木職、建築職、電気職、化学職、農学職、林学職、水産職、心理職員	—	人物、能力、性格等についての個別面接 ※一般行政職(通常枠)は2回。

●配点比率（令和3年度）

一般行政職(通常枠)、警察事務職、情報職A・B、総合土木職、建築職、電気職、化学職、農学職、林学職、水産職、心理職員			
一次試験		二次試験	
教養試験	専門試験	論文試験	面接試験
400	600	200	(通常枠):1,800／(通常枠)以外:1,400

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	一般行政職(通常枠)、警察事務職、情報職A・B、総合土木職、建築職、電気職、化学職、農学職、林学職、水産職、心理職員	【選択解答】社会科学、人文科学、自然科学 【必須解答】文章理解、判断推理、数的推理及び資料解釈
	一般行政職(通常枠)、警察事務職	【法律】憲法⑤、行政法⑫、民法⑫、刑法③、労働法③、経済学・財政学⑤ 【経済】経済原論⑬、財政学④、経済史④、統計学②、経済事情④、経済政策③、憲法・行政法・民法⑤ 【総合A】政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法④、刑法②、労働法②、経済学⑪、財政学③、社会政策③、国際関係②、教育学⑤、社会福祉概論⑤、社会学概論⑤、心理学概論⑤ 【総合B】政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法④、刑法②、労働法②、経済学⑪、財政学③、社会政策③、国際関係②、数学・物理・化学②
専 門 試 験	情報職A	数学・物理③、情報・通信工学④、情報基礎理論④、通信・ネットワーク⑧、システム開発・運用⑪、情報セキュリティ⑧、ICT関係の政策②
	情報職B	数学・物理⑩、情報・通信工学⑤、情報基礎理論⑥、通信・ネットワーク⑤、システム開発・運用⑤、情報セキュリティ⑥
	総合土木職	数学・物理⑩、応用力学⑤、水理学⑥、土質工学④、測量②、都市計画①、土木計画⑤、材料・施工⑤、土壌物理①、農業水利・土地改良・農村環境整備⑤、農業土木構造物①
	建築職	数学・物理⑩、構造力学⑤、材料科学②、環境原論④、建築史②、建築構造④、建築計画⑤、都市計画③、建築設備②、建築施工③
	電気職	数学・物理⑩、電磁気学・電気回路⑩、電気計測・制御④、電気機器・電力工学⑥、電子工学⑥、情報・通信工学④
	化学職	数学・物理⑦、物理化学⑨、分析化学③、無機化学・無機工業化学⑥、有機化学・有機工業化学⑨、化学工学⑥
	農学職	栽培学汎論④、作物学④、園芸学⑤、育種遺伝学⑤、植物病理学④、昆虫学④、土壌肥科学④、植物生理学④、畜産一般②、農業経済一般②、食品科学②
	林学職	森林政策・森林経営学⑬、造林学(森林生態学及び森林保護学を含む。)⑫、林業工学④、林産一般⑤、砂防工学⑥
	水産職	水産事情・水産経済・水産法規⑧、水産環境科学⑤、水産生物学⑤、水産資源学④、漁業学④、増養殖学④、水産化学⑤、水産利用学⑤
	心理職員	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。)⑥、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)⑨、調査・研究法②、統計学③

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	各試験種目の総合得点順に決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験及び第2次試験を合わせた総合得点順に決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
一般行政職(通常枠)	72	374	280	182	164	72	3.9
警 察 事 務 職	6	27	15	11	11	6	2.5
情 報 職 A	2	10	6	4	4	2	3.0
情 報 職 B	1	2	2	2	2	1	2.0
総 合 土 木 職	13	25	18	16	13	13	1.4
建 築 職	5	7	6	4	4	4	1.5
電 気 職	3	7	4	3	3	3	1.3
化 学 職	1	12	10	6	5	1	10.0
農 学 職	8	28	21	18	15	8	2.6
林 学 職	5	9	8	6	6	5	1.6
水 産 職	2	12	8	7	6	2	4.0
心 理 職 員	9	11	9	9	8	8	1.1

一般行政職（特別枠）

●受験資格（令和3年度）

共 通	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月21日（火）～5月22日（金）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	7月1日（木）
2 次 試 験 日	7月12日（月）又は7月13日（火）
最 終 合 格 発 表 日	8月17日（火）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	一般行政職（特別枠）	120 分	択一式（55 問中 40 問解答） 公務員として必要な一般的知識及び能力についての筆記試験
	専門試験	一般行政職（特別枠）	120 分	択一式（40 問） 受験申込時に4科目（法律、経済、総合A及び総合B）から1科目を選択。 法律又は経済を選択…40 題を全問必須解答（択一式） 総合A又は総合Bを選択…60 題中 40 題を選択解答（択一式）
	アピール論文試験	一般行政職（特別枠）	—	高度な能力や実績等の特筆性、取得の困難性及びその能力等を得る過程で培った意欲・行動力・精神力をアピールする論文試験 （1,200 字以内、能力・実績を証明する書類と併せて申込時に提出）
	適性検査	一般行政職（特別枠）	—	通常の職務遂行に必要な適性についての検査
2次試験	論文試験	一般行政職（特別枠）	90 分	一定のテーマによる識見、表現力、判断力等についての記述試験（1,200 字程度）
	面接試験	一般行政職（特別枠）	—	人物、能力、性格等についての個別面接（自身が培った意欲・行動力・精神力を県政にどのように生かすか等）

●配点比率（令和3年度）

一般行政職（特別枠）					
教養試験	専門試験	アピール論文試験	論文試験	面接試験	合計
120	180	700	200	1400	2600

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	一般行政職（特別枠）	【選択解答】社会科学、人文科学、自然科学 【必須解答】文章理解、判断・推理、数的推理及び資料解釈
専 門 試 験	一般行政職（特別枠）	【法律】憲法⑤、行政法⑫、民法⑫、刑法③、労働法③、経済学・財政学⑤ 【経済】経済原論⑬、財政学④、経済史④、統計学②、経済事情④、経済政策③、憲法・行政法・民法⑤ 【総合A】政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法④、刑法②、労働法②、経済学⑪、財政学③、社会政策③、国際関係②、教育学⑤、社会福祉概論⑤、社会学概論⑤、心理学概論⑤ 【総合B】政治学②、行政学②、憲法④、行政法⑤、民法④、刑法②、労働法②、経済学⑪、財政学③、社会政策③、国際関係②、数学・物理・化学⑩

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	各試験種目の総合得点順に決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験及び第2次試験を合わせた総合得点順に決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
一般行政職（特別枠）	5	23	20	15	15	5	4.0

事務（一般コース・総合分野コース）、社会福祉（心理コース）、総合化学（一般コース・食品化学コース）、農業、林業、土木、畜産、建築、電気

●受験資格（令和3年度）

共 通	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者 ※心理は別途資格要件あり

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	事務:3月5日（金）～5月17日（月） 事務以外:4月28日（水）～5月17日（月）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	7月1日（木）
2 次 試 験 日	7月中旬～8月上旬
最 終 合 格 発 表 日	8月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	150 分	多肢選択式(50 問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能についての筆記試験
	専門試験	120 分	多肢選択式(40 問) 必要な専門的知識についての筆記試験
		120 分	多肢選択式(50 問中 40 問) 必要な専門的知識についての筆記試験
	エントリーシート	120 分	①志望理由、②自己PR、③チャレンジした経験の3つのテーマで出題します。（事前提出ではなく、第1次試験当日に試験会場で記入します。具体的な質問事項は、第1次試験当日に提示します。なお、試験時間中に資料等を見ることはできません。） ※エントリーシートは、第2次試験の人物試験の参考資料としても使用します。
	論文試験	60 分	(1 問) 公務員として必要な識見、思考力、表現力等の能力についての筆記試験 第1次試験日に実施しますが、評価等は第2次試験で行います。
	適性検査	—	職務遂行に関する適性についての検査
2次試験	人物試験	—	集団討論及び個別面接(2回)による人物についての口述試験
		—	集団討論及び個別面接(2回)による人物、専門的知識についての口述試験

●配点比率（令和3年度）

事務（一般コース）				
教養試験	専門試験	論文試験	人物試験	合計
150	160	120	600	1030
事務（総合分野コース）				
教養試験	エントリーシート	論文試験	人物試験	合計
100	100	120	600	920
社会福祉（心理コース）、総合化学（一般コース・食品化学コース）、農業、林業、土木、畜産、建築、電気				
教養試験	専門試験	論文試験	人物試験	合計
150	300	120	600	1170

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	事務（一般コース・総合分野コース）、社会福祉（心理コース）、総合化学（一般コース・食品化学コース）、農業、林業、土木、畜産、建築、電気	社会科学・人文科学・自然科学 文章理解・判断推理・数的推理・資料解釈等
専 門 試 験	事務（一般コース）	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係
	社会福祉（心理コース）	一般心理学（心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。）、応用心理学（教育心理学・産業心理学・臨床心理学）、調査・研究法、統計学
	総合化学（一般コース）	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	総合化学（食品化学コース）	一般化学、分析化学、有機化学、生物有機化学、生物化学、土壌学・植物栄養学、食品科学、応用微生物学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学（森林生態学、森林保護学を含む。）、林業工学、林産一般、砂防工学
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、造林学（森林生態学、森林保護学を含む。）、林業工学、砂防工学
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学

●合格者の決定方法（令和3年度）

事務（一般コース）、社会福祉（心理コース）、総合化学（一般コース・食品化学コース）、農業、林業、土木、畜産、建築、電気	
1 次 試 験	第1次試験の教養試験と専門試験の得点を合計した得点の高い順により決定します。
採 用 候 補 者	第1次試験で実施する論文試験と第2次試験で実施する人物試験の得点を合計した得点の高い順により決定します。
事務（総合分野コース）	
1 次 試 験	第1次試験の教養試験とエントリーシートの得点を合計した得点の高い順により決定します。
採 用 候 補 者	第1次試験で実施する論文試験と第2次試験で実施する人物試験の得点を合計した得点の高い順により決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	採用候補者	最終倍率
事務（一般コース）	29	143	104	67	63	33	3.2
事務(総合分野コース)	5	24	16	12	11	4	4.0
社会福祉(心理コース)	3	5	5	3	3	2	2.5
総合化学(一般コース)	2	7	3	3	3	2	1.5
総合化学 (食品化学コース)	3	4	1	1	1	1	1.0
農業	8	21	18	12	12	6	3.0
林業	4	12	5	4	4	3	1.7
土木	6	12	9	6	5	4	2.3
畜産	1	3	3	2	2	2	1.5
建築	1	2	0	-	-	-	-
電気	1	4	2	1	1	1	2.0

事務（キャリア総合コース）

●受験資格（令和3年度）

共 通	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	3月5日（金）～4月5日（月）
1 次 試 験 日	5月9日（日）
1次試験合格発表日	5月20日（木）
2 次 試 験 日	6月上旬
最終合格発表日	6月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	事務（キャリア総合コース） 70分	SPI3（基礎能力のみ） 公務員として必要な一般的な知識及び知能についての筆記試験
	アピールシート	事務（キャリア総合コース） 90分	県職員として働く上で有用と考える経験等のテーマで出題します。（事前提出ではなく、第1次試験当日に試験会場で記入します。具体的な質問事項は、第1次試験当日に提示します。なお、試験時間中に資料等を見ることはできません。） ※アピールシートは、第2次試験の人物試験の参考資料とするとともに、人物試験において記載内容をアピールしていただく予定です。
	適性検査	事務（キャリア総合コース） —	職務遂行に関する適性についての検査
2次試験	人物試験	事務（キャリア総合コース） —	個別面接（2回）による人物についての口述試験

●配点比率（令和3年度）

事務（キャリア総合コース）		
基礎能力試験・アピールシート	人物試験	合計
200	600	800

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	事務（キャリア総合コース）	SPI3

●合格者の決定方法（令和3年度）

事務（キャリア総合コース）	
1 次 試 験	第1次試験の基礎能力試験とアピールシートの得点を合計した得点の高い順により決定します。
採用候補者	第2次試験で実施する人物試験の得点の高い順により決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	採用候補者	最終倍率
事務（キャリア総合コース）	23	250	152	60	55	26	5.8

警察行政

●受験資格（令和3年度）

共 通	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	3月5日(金)～5月17日(月)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	7月1日(木)
2 次 試 験 日	8月4日(水)
最 終 合 格 発 表 日	8月23日(月)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	警察行政	150 分	多肢選択式(50問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能についての筆記試験
	論文試験	警察行政	60 分	1問 公務員として必要な識見、思考力、表現力等の能力についての筆記試験 ※論文試験は、第2次試験の人物試験の参考資料としても使用します。
2次試験	適性検査	警察行政	—	職務遂行に関する適性についての検査
	人物試験	警察行政	—	個別面接による人物についての口述試験

●配点比率（令和3年度）

警察行政			
教養試験	論文試験	人物試験	合計
150	200	500	850

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	警察行政	社会科学・人文科学・自然科学に関する知識、文章理解・判断推理・数的推理・資料解釈等

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の教養試験の得点を合計した得点の高い順により決定します。
採 用 候 補 者	第1次試験で実施する論文試験と第2次試験で実施する人物試験の得点を合計した得点の高い順により決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
警 察 行 政	4	27	20	12	11	8	2.5

行政 A

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた人

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月23日（金）～5月19日（水）
1 次 試 験 日	筆記試験 6月20日（日） ※行政Aについては、7月6日（火）又は 7 日（水）に面接試験を実施します。 6月25日（金）に島根県人事委員会事務局ホームページに対象者の受験番号を掲示するほか、対象者に日程を通知します
1次試験合格発表日	7月14日（水）
2 次 試 験 日	7月24日（土）～7月30日（金）
最終合格発表日	8月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政 A	150 分	択一式(50 問) 公務員として必要な知識及び知能について、択一式による筆記試験を行います。
	専門試験	行政 A	120 分	択一式(40 問) 専門的な知識及び能力について、択一式による筆記試験を行います。
	面接試験	行政 A	—	択一試験結果の上位の方を対象に個別面接を行います。
2次試験	論文試験	行政 A	90 分	文章による表現力、課題に対する理解力等について論文試験を行います。 ※第1次試験日に実施(採点は第2次試験で行います)。
	面接試験	行政 A	—	職務遂行能力等をみる目的で個別面接を行います。
	集団討論試験	行政 A	—	集団内における個人の適応性や社会性をみる目的で集団討論を行います。
	適性検査	行政 A	—	職務遂行に必要な適性を検査します。

●配点比率（令和3年度）

行政 A						
教養試験	専門試験	面接試験(1次)	論文試験	面接試験(2次)	集団討論	合計
100	100	100	200	300	200	1000

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政 A	文章理解、判断推理、数的推理・資料解釈、社会科学、人文科学、自然科学
専 門 試 験	行政 A	法律分野(憲法、民法、行政法、刑法、労働法)、経済分野(経済学、財政学)、行政分野(政治学、行政学、社会政策、国際関係)

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第2次試験の評価のみで決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 A	47	154	115	108	103	53	2.2

行政B（自己アピール型）

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた人

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	3月1日(月)～3月23日(火)
1 次 試 験 日	4月18日(日)
1次試験合格発表日	5月11日(火)
2 次 試 験 日	5月22日(土)～25日(火) 適性検査、集団討論試験及び面接試験
最 終 合 格 発 表 日	6月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	行政B	70 分	職務に求められる基礎的な能力について、択一式による筆記試験（SPI3（基礎能力検査のみ））を行います。
	自己アピール論文試験	行政B	120 分	県職員として働く意欲及びこれまでの経験を通じて培った能力や成果等について自己アピールを行う論文試験を行います。
2次試験	集団討論試験	行政B	—	集団内における個人の適応性や社会性をみる目的で集団討論を行います。
	面接試験①	行政B	—	職務遂行能力等をみる目的で個別面接を行います。 ※面接の冒頭で、自己アピール論文試験で作成した論文に基づくプレゼンテーションを5分間程度実施していただきます。
	面接試験②	行政B	—	職務遂行能力等をみる目的で個別面接を行います。
	適性検査	行政B	—	職務遂行に必要な適性を検査します。

●配点比率（令和3年度）

行政B					
基礎能力試験	自己アピール論文試験	集団討論試験	面接試験①	面接試験②	合計
100	100	200	200	200	800

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	行政B	SPI3

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第2次試験の評価のみで決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 B	20	159	129	51	44	23	5.6

化学、心理、農業、畜産、林業、水産、総合土木、建築、機械、電気、警察事務、少年補導、警察建築、情報処理

●受験資格（令和3年度）

総合土木以外	平成元年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた人
総合土木	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた人

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月23日(金)～5月19日(水)
1次試験日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	7月2日(金)
2次試験日	7月24日(土)～7月30日(金)のうち指定する日
最終合格発表日	8月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	化学、心理、農業、畜産、林業、水産、総合土木、建築、機械、電気、警察事務、少年補導、警察建築、情報処理	150分	択一式(50問) 公務員として必要な知識及び知能について、択一式による筆記試験を行います。
	専門試験	化学、心理、農業、畜産、林業、水産、総合土木、建築、機械、電気、少年補導、警察建築	120分	択一式(40問) 専門的な知識及び能力について、択一式による筆記試験を行います。
		警察事務	90分	択一式(55問中20問) 専門的な知識及び能力について、択一式による筆記試験を行います。
		情報処理	120分	択一式及び記述式 専門的な知識及び能力について、択一式及び記述式による筆記試験を行います。
2次試験	論文試験	化学、心理、農業、畜産、林業、水産、総合土木、建築、機械、電気、警察事務、少年補導、警察建築、情報処理	90分	文章による表現力、課題に対する理解力等について論文試験を行います。 ※第1次試験日に実施(採点は第2次試験で行います)。
	面接試験	化学、心理、農業、畜産、林業、水産、総合土木、建築、機械、電気、警察事務、少年補導、警察建築、情報処理	—	職務遂行能力等をみる目的で個別面接を行います。
	適性検査	化学、心理、農業、畜産、林業、水産、総合土木、建築、機械、電気、警察事務、少年補導、警察建築、情報処理	—	職務遂行に必要な適性を検査します。
	筆記実技試験	建築、警察建築	—	「建築設計製図」の筆記実技試験

●配点比率（令和3年度）

化学、心理、農業、畜産、林業、水産、総合土木、機械、電気、少年補導				
教養試験	専門試験	論文試験	面接試験	合計
150	150	200	500	1000

情報処理				
教養試験	専門試験	論文試験	面接試験	合計
150	150	200	500	1000

警察事務				
教養試験	専門試験	論文試験	面接試験	合計
200	100	200	500	1000

建築、警察建築					
教養試験	専門試験	論文試験	面接試験	筆記実技試験	合計
150	150	200	500	200	1200

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	化学、心理、農業、畜産、林業、水産、総合土木、建築、機械、電気、警察事務、少年補導、警察建築、情報処理	文章理解、判断推理、数的推理・資料解釈、社会科学、人文科学、自然科学
専 門 試 験	警察事務	○法律分野(20題):憲法、行政法、民法、刑法、労働法 ○経済分野(20題):経済学、財政学、経済史、統計学、経済事情、経済政策 ○行政分野(9題):政治学、行政学、社会政策、国際関係 ○その他(6題):経営学、教育学 [55題中20題の選択解答]
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学及び社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学及び森林保護学を含む)、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物
	建築、警察建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	少年補導	社会学概論、社会心理学、一般心理学、教育心理学、社会調査、社会福祉概論、児童福祉
	情報処理	アルゴリズムとプログラミング、コンピューターシステム、ヒューマンインターフェース、ネットワーク、データベース、セキュリティ、開発技術、プロジェクトマネジメント、システム企画、法務

●合格者の決定方法（令和3年度）

非公表

●試験実施状況（令和3年度）

区分		採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
化	学	2	12	7	5	4	2	3.5
心	理	3	4	2	1	1	1	2.0
農	業	11	16	11	8	7	6	1.8
畜	産	3	4	2	2	2	1	2.0
林	業	8	10	5	2	2	2	2.5
水	産	1	2	2	2	2	1	2.0
総 合	土 木	19	18	16	13	13	12	1.3
建	築	1	4	2	2	2	1	2.0
機	械	1	2	2	2	0	-	-
電	気	1	5	3	3	2	1	2.0
警 察 事 務		7	26	17	14	13	7	2.4
少 年 補 導		6	17	14	6	5	3	4.7
警 察 建 築		1	4	3	2	1	1	3.0
情 報 処 理		1	7	5	4	3	2	2.5

行政、環境、農業、土木、農業土木、畜産、林業、建築、電気

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月23日(金)～5月28日(金)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	6月30日(水)
2 次 試 験 日	口述試験① 7月14日(水)～7月21日(水) 口述試験② 8月7日(土)～8月18日(水)
最 終 合 格 発 表 日	8月26日(月)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政、環境、農業、土木、農業土木、畜産、林業、建築、電気	150 分	択一式(50 問) 大学卒業程度の一般的知識及び知能
	専門試験	行政、環境、農業、土木、農業土木、畜産、林業、建築、電気	120 分	択一式(40 問)
	適性検査	行政、環境、農業、土木、農業土木、畜産、林業、建築、電気	20 分	性格、心理等について、検査を行います。なお、検査結果は、第二次試験で実施する口述試験の参考とします。
2次試験	口述試験①	行政、環境、農業、土木、農業土木、畜産、林業、建築、電気	—	人柄や特性等について、第一次個別面接により行う試験（コミュニケーション能力、積極性、忍耐力・堅実性、協調性、創造力・企画力等を評価します。）
	口述試験②	行政、環境、農業、土木、農業土木、畜産、林業、建築、電気	—	人柄や特性等について、第二次個別面接により行う試験（表現力・構成力、コミュニケーション能力、積極性、忍耐力・堅実性、協調性、創造力・企画力等を評価します。） ※第二次個別面接の冒頭3分程度で自己PRを行っていただきます

●配点比率（令和3年度）

行政、環境、農業、土木、農業土木、畜産、林業、建築、電気				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	口述試験①	口述試験②	
100	120	150	400	770

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政、環境、農業、土木、農業土木、畜産、林業、建築、電気	社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等
専 門 試 験	行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係等
	環境	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学等
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般等
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工等
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般等
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般等
	林業	森林政策・森林経営学、造林学（森林生態学、森林保護学を含む）、林業工学、林産一般、砂防工学等
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学等

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	教養試験と専門試験の合計得点の高い順により決定します。
2 次 試 験	第1次試験の成績にかかわらず、口述試験①と口述試験②の合計得点の高い順により決定します。ただし、口述試験①において、一定の基準に達しない場合は、口述試験②を受験することはできません。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政	66	407	280	201	183	84	3.3
環 境	3	21	17	9	8	5	3.4
農 業	10	53	40	30	27	13	3.1
土 木	15	25	14	11	10	10	1.4
農 業 土 木	5	9	9	7	7	6	1.5
畜 産	2	6	4	4	4	3	1.3
林 業	2	9	5	4	4	3	1.7
建 築	2	5	2	2	2	1	2.0
電 気	5	16	11	10	10	5	2.2

警察行政職員 A

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月23日(金)～5月28日(金)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	7月7日(水)
2 次 試 験 日	7月31日(土)、8月1日(日)のうち指定する日
最 終 合 格 発 表 日	8月12日(木)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	警察行政職員 A	150 分	大学卒業程度の一般的知識及び知能について、50問の択一式により行う試験
	論文試験	警察行政職員 A	90 分	与えられた課題についての記述試験(1,200 字以内) (表現力、理解力、構成力、企画力等を評価します。)
	適性検査	警察行政職員 A	80 分	性格、心理等について、2種類の検査を行います。なお、検査結果は、第二次試験で実施する口述試験の参考とします。
2次試験	口述試験	警察行政職員 A	-	人柄や特性等について、集団面接及び個別面接により行う試験 ○集団面接では、コミュニケーション能力、正義感、自己統制力等を評価します。 ○個別面接では、コミュニケーション能力、積極性・指導力、堅実性・忍耐力、協調性、責任感・使命感等を評価します。

●配点比率（令和3年度）

警察行政職員 A				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	論文試験	集団面接	個別面接	
100	40	40	300	480

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	警察行政職員A	社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	教養試験と論文試験の合計得点の高い順により決定します。
2 次 試 験	第1次試験の成績にかかわらず、口述試験の得点の高い順により決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
警 察 行 政 職 員 A	5	171	128	33	27	7	18.3

A採用試験 行政（アピール型）

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成7年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	3月1日(月)～3月31日(水)
1 次 試 験 日	4月18日(日)
1次試験合格発表日	5月12日(水)
2 次 試 験 日	6月3日(木)～6月8日(火)のうち指定する日
最 終 合 格 発 表 日	6月17日(木)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験 (SPI3)	行政(アピール型)	70 分	択一式(70問) 言語的理解力や数量的処理能力、論理的思考力についての筆記試験
	アピールシート試験	行政(アピール型)	90 分	自らの経験や県政に携わる意欲等をアピールする記述試験 ①チャレンジした経験、②リーダーシップを発揮した経験、③経験等の県政への活用 の3つのテーマで出題します。(各600字以内) (積極性、調整力・コミュニケーション能力、意欲、表現力・国語力等を評価します。)
	適性検査	行政(アピール型)	40 分	性格、心理等について、検査を行います。なお、検査結果は、第二次試験で実施する口述試験の参考とします
試験2次	口述試験①	行政(アピール型)	-	与えられた課題について、グループワークにより行う試験 (説明能力、リーダーシップを評価します。)
	口述試験②	行政(アピール型)	-	経験や能力等について、第一次個別面接により行う試験 (経験の有用性、主体性・行動力、コミュニケーション能力、公務に対する意欲を評価します。)
	口述試験③	行政(アピール型)	-	人柄や特性等について、第二次個別面接により行う試験 (コミュニケーション能力、積極性、忍耐力・堅実性、協調性、創造力・企画力を評価します。)

●配点比率（令和3年度）

行政(アピール型)					
基礎能力試験(SPI3)	アピールシート試験	口述試験①	口述試験②	口述試験③	合計
100	100	150	150	400	900

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	基礎能力試験(SPI3)とアピールシート試験の合計得点の高い順により決定します。
2 次 試 験	口述試験①、口述試験②及び口述試験③の合計得点の高い順により決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政(アピール型)	11	259	210	45	38	17	12.4

※行政分野：全国型／法律分野：法律専門型／経済分野：経済専門型

一般事務 A、小中学校事務、警察事務、心理、農業、林業、畜産一般、水産、工業(機械)、工業(電気)、工業(材料工学)、総合土木、建築

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	5月13日(木)～6月2日(水)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	7月2日(金)
2 次 試 験 日	7月13日(火)～8月3日(火)
最 終 合 格 発 表 日	8月11日(水)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	一般事務 A、小中学校事務、警察事務、心理、農業、林業、畜産一般、水産、工業(機械)、工業(電気)、工業(材料工学)、総合土木、建築	150 分	択一式(55 問中 45 問) 公務員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験
		一般事務 A、小中学校事務、警察事務、心理、農業、林業、畜産一般、工業(機械)、工業(電気)、工業(材料工学)、建築	120 分	択一式 各試験区分に応じた専門的知識、能力、技術等についての筆記試験
		水産、総合土木	120 分	択一式(50 問中 40 問解答) 各試験区分に応じた専門的知識、能力、技術等についての筆記試験
	論文試験	一般事務 A、小中学校事務、警察事務	90 分	思考力、構成力等についての筆記試験(800 字程度)
	専門記述試験	心理、農業、林業、畜産一般、水産、工業(機械)、工業(電気)、工業(材料工学)、総合土木、建築	90 分	各試験区分の専門分野に応じた思考力、構成力等についての論述式による筆記試験(B4判用紙 1 枚)
2次試験	面接試験	一般事務 A、小中学校事務、警察事務、心理、農業、林業、畜産一般、水産、工業(機械)、工業(電気)、工業(材料工学)、総合土木、建築	—	使命感、信頼感、コミュニケーション力、判断力、積極性、達成力等についての面接試験 ※2段階の個別面接を実施します。

●配点比率（令和3年度）

一般事務 A、小中学校事務、警察事務				
一次試験			二次試験	合計
教養試験	専門試験	論文試験	面接試験	
45	55	20	60	180

心理、農業、林業、畜産一般、水産、工業(機械)、工業(電気)、工業(材料工学)、総合土木、建築				
一次試験			二次試験	合計
教養試験	専門試験	専門記述試験	面接試験	
45	55	20	60	180

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など	
教 養 試 験	一般事務 A、小中学校事務、警察事務、心理、農業、林業、畜産一般、水産、工業(機械)、工業(電気)、工業(材料工学)、総合土木、建築	知能分野:文章理解、判断推理、数の推理、資料解釈等 知識分野:社会科学、人文科学、自然科学等	
専 門 試 験	一般事務 A、小中学校事務、警察事務	行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係
		法律	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学
		経済	経済原論、財政学、経済史、統計学、経済事情、経済政策、憲法及び民法
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学及び社会心理学を含む)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学	
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、農業経済一般、応用微生物学、生物化学、食品科学、情報処理	
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学	
	畜産一般	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料科学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般	
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学、基礎航海学、航海情報計測学、漁船運用学、漁船安全学、内燃機関、船舶機関システム学、船用補機、伝熱工学	
	工業(機械)	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作	
	工業(電気)	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学	
	工業(材料工学)	数学・物理、物理化学、材料力学、機械材料	
	総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工、土壤物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、農業機械、農学一般	
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工	

●合格者の決定方法（令和３年度）

第 2 次 試 験	第2次試験と第1次試験の論文試験又は専門記述試験の成績に基づき決定し、第1次試験のうち、教養試験と専門試験の成績は反映されません。
最 終 合 格 者	第3次試験、第2次試験及び第1次試験の論文試験の成績に基づき決定します。

●試験実施状況（令和３年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
一 般 事 務 A	53	537	414	187	163	98	4.2
小 中 学 校 事 務	13	21	18	13	13	13	1.4
警 察 事 務	9	61	51	23	23	11	4.6
心 理	3	12	8	2	2	2	4.0
農 業	5	39	29	10	10	6	4.8
林 業	2	9	9	7	6	3	3.0
畜 産 一 般	2	7	6	5	5	2	3.0
水 産	4	21	19	13	12	6	3.2
工 業（機 械）	3	5	2	2	1	1	2.0
工 業（電 気）	4	9	9	7	5	3	3.0
工 業（材 料 工 学）	1	3	3	2	2	1	3.0
総 合 土 木	15	51	36	27	24	21	1.7
建 築	2	10	5	3	3	3	1.7

一般事務B

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成7年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	5月13日(木)～6月2日(水)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	7月2日(金)
2 次 試 験 日	7月13日(火)～7月19日(月)
2次試験合格発表日	7月21日(水)
3 次 試 験 日	8月10日(火)～8月12日(木)
最終合格発表日	8月20日(金)

●試験概要（令和3年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	一般事務B	150 分
	アピールシート試験	一般事務B	60 分
	論文試験	一般事務B	90 分
2次試験	面接試験	一般事務B	—
3次試験	面接試験	一般事務B	—

●配点比率（令和3年度）

一般事務B					
一次試験			二次試験	三次試験	合計
教養試験	アピールシート試験	論文試験	面接試験(2次)	面接試験(3次)	
45	45	20	60	120	290

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	一般事務B	知能分野: 文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等 知識分野: 社会科学、人文科学、自然科学等

●合格者の決定方法（令和3年度）

2 次 試 験	第2次試験と第1次試験の論文試験の成績に基づき決定し、第1次試験のうち、教養試験とアピールシート試験の成績は反映されません。
最 終 合 格 者	第3次試験、第2次試験、第1次試験の論文試験の成績に基づき決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終比率
一 般 事 務 B	18	109	76	58	51	42	40	20	3.8

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月30日（金）～5月20日（木）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	7月1日（木）
2 次 試 験 日	論文試験 7月17日（土） 口述試験 7月19日（月）～7月29日（木）
最 終 合 格 発 表 日	8月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政、警察行政、社会福祉（一般・心理）、土木、建築、農業、農業土木、林業、畜産、水産、機械、電気、化学	150 分	択一式(50問) 公務員として必要な一般的知識及び知能についての教養試験
	専門試験	行政、警察行政、社会福祉（一般・心理）、土木、建築、農業、農業土木、林業、畜産、水産、機械、電気、化学	120 分	択一式(40問) 職務に必要な専門的な知識及び技術に関する専門試験
2次試験	論文試験	行政、警察行政、社会福祉（一般・心理）、土木、建築、農業、農業土木、林業、畜産、水産、機械、電気、化学	60 分	思考力、表現力及び構成力等の総合的能力について筆記試験を行います。
	口述試験等	行政、警察行政、社会福祉（一般・心理）、土木、建築、農業、農業土木、林業、畜産、水産、機械、電気、化学	—	人物について総合的に評定するため、個別面接及び集団討論を行います。

●配点比率（令和3年度）

行政、警察行政、社会福祉（一般・心理）、土木、建築、農業、農業土木、林業、畜産、水産、機械、電気、化学			
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験等
40	60	60	140

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政、警察行政、社会福祉（一般・心理）、土木、建築、農業、農業土木、林業、畜産、水産、機械、電気、化学	社会科学、人文科学、自然科学、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
専 門 試 験	行政、警察行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係
	社会福祉	一般 社会福祉概論(社会保障を含む)社会学概論、心理学概論(社会心理学を含む。)、社会調査
		心理 一般心理学(心理学史、発達心理学及び社会心理学を含む。)、教育心理学、産業心理学、臨床心理学、社会調査、心理学研究法、統計学
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼科学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学

●合格者の決定方法（令和3年度）

行政、警察行政	
1 次 試 験	教養試験及び専門試験の各得点を合計した得点の高い順に決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験の得点にかかわらず、第2次試験の得点順に決定します。

社会福祉(一般・心理)、土木、建築、農業、農業土木、林業、畜産、水産、機械、電気、化学	
1 次 試 験	教養試験及び専門試験の各得点を合計した得点の高い順に決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験の専門試験の得点と第2次試験の各得点を合計した得点の高い順に決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政	40	307	220	139	122	79	2.8
警 察 行 政	5	15	7	5	3	3	2.3
社会福祉（一般）	1	8	5	4	3	1	5.0
社会福祉（心理）	2	3	3	3	3	3	1.0
土 木	6	22	12	10	10	10	1.2
建 築	2	4	3	2	2	2	1.5
農 業	5	13	9	9	9	9	1.0
農 業 土 木	5	7	6	4	4	4	1.5
林 業	3	8	7	7	6	5	1.4
畜 産	1	0	-	-	-	-	-
水 産	1	8	7	4	4	1	7.0
機 械	1	6	4	3	2	1	4.0
電 気	1	7	6	5	4	3	2.0
化 学	1	9	7	4	4	2	3.5

●受験資格（令和3年度）

総 合 土 木 以 外	昭和60年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者
総 合 土 木	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受 験 申 込 受 付	5月10日(月)～5月28日(金)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	7月上旬
2 次 試 験 日	論文試験・適性検査 7月9日(金) 口述試験 7月15日(木)～7月27日(火)
最 終 合 格 発 表 日	8月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政事務、学校事務、警察事務、電気 A、電気 B、機械、建築、総合土木、農業、農業(畜産)、林業、水産、心理、化学	150 分	択一式(50 問) 公務員として必要な一般的知識、知能について、大学卒業程度の筆記試験を行います。
		専門試験	135 分	択一式(95 問中 45 問) 各試験区分に応じて、それぞれの専門的知識及び能力について、大学卒業程度の筆記試験を行います。
	専門試験	総合土木	120 分	択一式(50 問中 40 問) 各試験区分に応じて、それぞれの専門的知識及び能力について、大学卒業程度の筆記試験を行います。
		学校事務、警察事務、電気 A、電気 B、機械、建築、農業、農業(畜産)、林業、水産、心理、化学	120 分	択一式(40 問) 各試験区分に応じて、それぞれの専門的知識及び能力について、大学卒業程度の筆記試験を行います。
2次試験	論文試験	行政事務、学校事務、警察事務、電気 A、電気 B、機械、建築、総合土木、農業、農業(畜産)、林業、水産、心理、化学	90 分	(1 問 約 1,000 字) 公務員として必要な課題について、課題に対する理解力、論理性、文章による表現力等を有するかどうかをみるための論文試験を行います。
	口述試験	行政事務、学校事務、警察事務、電気 A、電気 B、機械、建築、総合土木、農業、農業(畜産)、林業、水産、心理、化学	—	主として人柄、能力、性格等をみるため、プレゼンテーション及び個別面接 2 回を行います。 ※学校事務・警察事務・建築 B は、プレゼンテーション及び個別面接 1 回とし、個別面接の冒頭にプレゼンテーションを行います。 【プレゼンテーション】第1次試験合格通知に記載された課題について、個別に自分の考えを 1 分以上 2 分以内で述べてもらいます。
	適性検査	行政事務、学校事務、警察事務、電気 A、電気 B、機械、建築、総合土木、農業、農業(畜産)、林業、水産、心理、化学	—	公務員として職務遂行上必要な素質及び適性について、書面による検査を行います

●配点比率（令和3年度）

行政事務、学校事務、警察事務、電気A、電気B、機械、建築、総合土木、農業、農業(畜産)、林業、水産、心理、化学				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験	
40	60	40	160	300

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など		
教 養 試 験	行政事務、学校事務、警察事務、電気A、電気B、機械、建築、総合土木、農業、農業（畜産）、林業、水産、心理、化学	知識（社会、人文、自然、現代の社会に関する問題等）及び 知能（文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等）		
専 門 試 験	行政事務	必須問題		【40 問】政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学等
		選択問題※	社会科学Ⅰ	【15 問】行政法、民法、経済政策、経済事情、統計学、経済史、国際関係、経営学等
			社会科学Ⅱ	【15 問】社会福祉概論（社会保障を含む。）、一般心理学（心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。）、応用心理学（教育心理学・産業心理学・臨床心理学）、教育学等
			自然科学Ⅰ	【15 問】建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工、応用力学、水理学、土質工学、測量、土木計画、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、食品科学等
			自然科学Ⅱ	【10 問】栽培学汎論、育種遺伝学、植物病理学、畜産一般、農業経済一般、森林政策・森林経営学、造林学（森林生態学、森林保護学を含む。）、林業工学、林産一般、砂防工学等
	学校事務、警察事務	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学等		
	電気A、電気B	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学等		
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作等		
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等		
	総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、農業機械、農学一般等		
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般等		
	農業（畜産）	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般等		
	林業	森林政策・森林経営学、造林学（森林生態学、森林保護学を含む。）、林業工学、林産一般、砂防工学等		
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学等		
	心理	一般心理学（心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。）、応用心理学（教育心理学・産業心理学・臨床心理学）、調査・研究法、統計学等		
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学等		

※専門試験「行政事務」の選択問題は、全分野合わせて55問のうちから5問を選択解答。

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第1次試験の得点と第2次試験の得点を合計した総合得点の高い順に決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政事務	54	481	379	112	103	75	5.1
学校事務	4	72	54	16	16	8	6.6
警察事務	6	78	63	18	17	12	5.3
電気 A	3	9	7	6	5	5	1.4
電気 B	1	2	2	2	2	2	1.0
機械	2	9	7	5	4	4	1.8
建築	3	10	9	4	4	4	2.3
総合土木	20	26	23	19	19	17	1.4
農業	12	33	32	23	22	16	2.0
農業（畜産）	2	3	2	1	1	1	2.0
林業	7	9	8	7	7	7	1.1
水産	1	10	7	4	3	2	3.5
心理	3	12	12	6	6	5	2.4
化学	1	8	7	5	4	2	3.5

一般行政事務 A、学校事務、警察行政事務、心理、機械、化学、森林科学、農業、畜産、農業土木、建築、土木、造園、警察科学(化学)

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成4年4月2日から平成12年4月1日まで生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受 験 申 込 受 付	インターネット 5月13日(木)～5月28日(金) 持参・郵送 5月13日(木)～6月1日(火)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	7月2日(金)
2 次 試 験 日	集団討論、適性検査 7月中旬 個別面接 8月上中旬
最 終 合 格 発 表 日	8月中下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	一般行政事務 A、学校事務、警察行政事務、心理、機械、化学、森林科学、農業、畜産、農業土木、建築、土木、造園、警察科学(化学)	150 分	択一式(50問) 公務員として必要な一般的知識及び知能について行います。
	専門試験	一般行政事務 A、学校事務、警察行政事務、心理、機械、化学、森林科学、農業、畜産、農業土木、建築、土木、造園、警察科学(化学)	120 分	択一式(40問) 各試験区分に応じて必要な専門的知識、技術等の能力について行います。
	論文試験	一般行政事務 A、学校事務、警察行政事務、心理、機械、化学、森林科学、農業、畜産、農業土木、建築、土木、造園、警察科学(化学)	90 分	文章による表現力、構成力、論理性等について行います。 ※採点は2次試験
2次試験	適性検査	一般行政事務 A、学校事務、警察行政事務、心理、機械、化学、森林科学、農業、畜産、農業土木、建築、土木、造園、警察科学(化学)	—	職務遂行に必要な素質・適性について検査します。
	集団討論 個別面接	一般行政事務 A、学校事務、警察行政事務、心理、機械、化学、森林科学、農業、畜産、農業土木、建築、土木、造園、警察科学(化学)	—	積極性、使命感、社会性、創造力、表現力等人物について、集団討論及び個別面接を行います。

●配点比率（令和3年度）

一般行政事務 A、学校事務、警察行政事務、心理、機械、化学、森林科学、農業、畜産、農業土木、建築、土木、造園、警察科学(化学)				
教養試験	専門試験	論文	集団討論	個別面接
400	400	配点非公開		

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	共通	一般知識分野:社会科学、人文科学、自然科学 一般知能分野:文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
専 門 試 験	一般行政事務A、学校事務、警察行政事務	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、経営学、社会政策、国際関係
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学及び社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	化学、警察科学(化学)	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	森林科学	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般、食品科学
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼科学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良、農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計(都市・地方計画を含む。)、造園関連基礎

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	教養試験及び専門試験の得点の合計(800点満点)で合格者を決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の試験成績に基づいて決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
一 般 行 政 事 務 A	63	339	263	103	90	67	3.9
学 校 事 務	9	35	30	17	17	9	3.3
警 察 行 政 事 務	10	36	30	21	18	11	2.7
社 会 福 祉	5	12	11	6	5	5	2.2
心 理	2	5	5	3	3	2	2.5
機 械	1	3	1	1	1	1	1.0
化 学	1	9	6	4	4	1	6.0
森 林 科 学	2	2	2	1	1	1	2.0
農 業	5	30	27	10	8	5	5.4
畜 産	1	4	2	1	1	1	2.0
農 業 土 木	3	2	2	2	2	2	1.0
建 築	1	0	-	-	-	-	-
土 木	5	8	6	5	5	5	1.2
造 園	1	0	-	-	-	-	-
警 察 科 学 (化 学)	1	5	3	3	3	1	3.0

一般行政事務B

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成8年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受 験 申 込 受 付	インターネット 5月13日(木)～5月28日(金) 持参・郵送 5月13日(木)～6月1日(火)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	7月2日(金)
2 次 試 験 日	集団討論、適性検査 7月中旬 個別面接 8月上中旬
最 終 合 格 発 表 日	8月中下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	SPI3(基礎能力検査)	一般行政事務B	70 分	択一式(70問) 言語的理解力、数的処理能力、論理的思考力について行います。 (第1次試験当日に、試験会場にてペーパーテスト(マークシート)形式で行います。)
	自 己 アピール 試 験	一般行政事務B	90 分	記述式 経験、意欲、文章による表現力、構成力、論理性等について評価します。 (事前提出ではなく、第1次試験当日に試験会場で記入してもらいます。試験時間中に資料等の閲覧はできません。)
2次試験	適性検査	一般行政事務B	—	職務遂行に必要な素質・適性について検査します。
	集団討論 個別面接	一般行政事務B	—	積極性、使命感、社会性、創造力、表現力等人物について、集団討論及び個別面接を行います。

●配点比率（令和3年度）

一般行政事務B			
SPI3(基礎能力検査)	自己アピール試験	集団討論	個別面接
500	300	配点非公開	

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基 礎 能 力 検 査	一般行政事務B	SPI3

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	試験種目の得点の合計(800点満点)で合格者を決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の試験成績に基づいて決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
一 般 行 政 事 務 B	5	53	41	15	11	5	8.2

行政事務A、行政事務（情報）、学校事務、警察事務、総合土木、建築、農業、畜産、林業、水産、電気・電子、化学、心理

●受験資格（令和3年度）

共	通	昭和62年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者（「心理」は資格要件あり）

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	5月10日（月）～5月28日（金）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	7月上旬
2 次 試 験 日	7月上旬～8月上旬
最 終 合 格 発 表 日	8月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政事務A、行政事務（情報）、学校事務、警察事務	150 分	択一式(50 問) 大学卒業程度の一般的知識及び知能について、筆記試験を行います。
	専門試験	共通	120 分	択一式(40 問) 各試験区分に応じて大学卒業程度の専門的知識及び技能について、筆記試験を行います。
2次試験	口述試験	共通	—	人物について総合的に評定するため、個別面接及び集団討論を行います。
	作文試験	共通	60 分	(1 問) 識見、思考力、表現力等について、作文試験を行います。
	適性検査	共通	—	職務遂行に必要な適性について、検査を行います。

●配点比率（令和3年度）

行政事務A、行政事務（情報）、学校事務、警察事務				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	口述試験	作文試験	
50	40	290	50	430
総合土木、建築、農業、畜産、林業、水産、電気・電子、化学、心理				
一次試験		二次試験		合計
専門試験		口述試験	作文試験	
90		290	50	430

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	行政事務A、学校事務、警察事務	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、経営学、財政学、社会政策、国際関係
	行政事務(情報)	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、経済学、数学・物理、電子工学、情報・通信工学、情報処理論、コンピューターネットワーク
	総合土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼科学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む)、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	電気・電子	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学、産業心理学、臨床心理学)、調査・研究法、統計学

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	各試験種目の合計得点の高い順に決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験の得点と第2次試験の得点を合計した総合得点の高い順に決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
行政事務A	70	504	367	186	78	4.7
行政事務(情報)	2	8	5	5	1	5.0
学校事務	22	117	87	59	24	3.6
警察事務	9	87	69	27	18	3.8
総合土木	16	30	22	20	15	1.5
建築	2	10	7	6	3	2.3
農業	14	38	34	33	15	2.3
畜産	2	8	7	6	3	2.3
林業	5	14	13	10	5	2.6
水産	3	21	19	9	4	4.8
電気・電子	2	14	10	6	2	5.0
化学	3	25	17	10	4	4.3
福祉	6	18	17	15	6	2.8
心理	5	11	10	9	5	2.0

行政事務B

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成6年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	3月9日（火）～3月23日（火）
1 次 試 験 日	基礎能力検査（SPI3）受験期間 4月1日（木）～4月13日（火） 自己アピール試験登録（提出）期間 受験申し込みと同時に提出
1次試験合格発表日	5月中旬
2 次 試 験 日	5月下旬
最 終 合 格 発 表 日	6月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
一次試験	基礎能力検査（SPI3）	行政事務B	—	多様な業務に共通して求められる汎用的な知的能力についての検査及び性格検査を行います（性格検査は配点なし）。
	自己アピール試験	行政事務B	—	自らの経験や意欲等について、受付期間内に登録（提出）された自己アピール内容により審査します
2次試験	口述試験	行政事務B	—	人物について総合的に評定するため、個別面接及び集団討論、集団面接を行います。
	作文試験	行政事務B	60 分	（1 問） 識見、思考力、表現力等について、作文試験を行います。
	適性検査	行政事務B	—	職務遂行に必要な適性について、検査を行います。

●配点比率（令和3年度）

行政事務B				
一次試験		二次試験		合計
基礎能力検査	自己アピール試験	口述試験	作文試験	
40	30	310	50	430

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力検査	行政事務B	SPI3

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	SPI3と自己アピール試験の合計得点の高い順に決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験の得点と第2次試験の得点を合計した総合得点の高い順に決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
行 政 事 務 B	15	222	174	46	19	9.2

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月9日(金)～5月21日(金)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	7月上旬
2 次 試 験 日	論文試験・適性検査 7月18日(日) 口述試験 7月29日(木)～8月8日(日)
最 終 合 格 発 表 日	8月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	共通	150 分	五肢択一式(55 問中 45 問解答) 公務員として必要な大学卒業程度の一般的知識及び知能に関する五肢択一式による筆記試験
	専門試験	共通	120 分	五肢択一式(40 問) 職務に必要な専門的知識、技術等に関する五肢択一式による筆記試験
2次試験	論文試験	共通	—	職務遂行に必要な識見、判断力、思考力等に関する筆記試験
	口述試験	共通	—	人物、人柄等に関する集団討論及び個別面接による試験 (個別面接は2回行います。)
	適性検査	共通	—	職務遂行に必要な適格性に関する検査

●配点比率（令和3年度）

行政、警察事務、教育事務				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験	
50	50	50	150	300

建築、建築(警察)、土木、農業、畜産、林業、水産、農芸化学、電気				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験	
40	60	50	150	300

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	共通	社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈、現代の社会に関する問題
専 門 試 験	行政、警察事務、教育事務	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築 建築（警察）	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼科学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学（森林生態学、森林保護学を含む）、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	農芸化学	一般化学、分析化学、有機化学、生物有機化学、生物化学、土壌学・植物栄養学、食品科学、応用微生物学
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第1次試験と第2次試験の総合得点(300点満点)に基づいて決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者		1次受験者		1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
		第1志望	第2志望	第1志望	第2志望				
行 政	50	244	30	193	25	100	91	54	3.3
警 察 事 務	7	19	72	12	59	21	17	8	
教 育 事 務	10	37	149	33	116	30	27	10	
建 築	1	3	1	1	1	1	1	1	2.0
建 築（ 警 察 ）	1	1	2	1	1	0	-	-	
土 木	13		13		12	9	8	5	2.4
農 業	13		19		15	14	14	11	1.4
畜 産	1		4		3	3	3	1	3.0
林 業	7		8		6	5	5	5	1.2
水 産	2		7		3	3	3	2	1.5
農 芸 化 学	2		6		5	5	5	2	2.5
電 気	1		4		1	1	1	1	1.0

●受験資格（令和3年度）

下 記 以 外	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者
行 政（ 早 期 採 用 ）	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受 験 申 込 受 付	インターネット 5月10日(月)～5月18日(火) 郵送 5月10日(月)～5月21日(金)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	6月下旬
2 次 試 験 日	7月中
最 終 合 格 発 表 日	8月上旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	共通	150 分	五肢択一式(50 問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能についての択一式による筆記試験
	専門試験	共通	120 分	五肢択一式(40 問) 各試験区分に必要な専門的知識等の能力についての択一式による筆記試験
2次試験	論文試験	共通	—	専門的知識、文章による表現力、文章構成力等の能力についての筆記試験
	人物試験	共通	—	人柄等についての個別面接、集団討論及び適性検査による試験

●配点比率（令和3年度）

行政、教育行政、警察行政				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	人物試験	
50	50	20	100	220

土木、建築、化学、農業、農業土木、林業、畜産、水産				
一次試験		二次試験		合計
教養試験	専門試験	論文試験	人物試験	
40	60	20	100	220

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	行政、教育行政、警察行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、経営学、社会政策、国際関係
	土木	数学、物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学、物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	化学	数学、物理、物理化学、分析化学、無機化学、無機工業化学、有機化学、有機工業化学、化学工学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壤物理、農業水利、土地改良、農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般
	林業	森林政策、森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	水産	水産事情、水産経済、水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学

●合格者の決定方法（令和3年度）

最終合格者	第2次試験の結果に基づき決定し、第1次試験の結果は反映されません。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政	47	571	386	94	75	55	7.0
行政（早期）	20	209	116	50	41	27	4.3
教育行政	23	159	115	53	48	29	4.0
警察行政	13	128	92	39	36	16	5.8
土木	5	45	20	15	15	6	3.3
建築	7	24	16	9	8	7	2.3
化学	3	22	14	9	8	4	3.5
農業	25	61	51	43	40	27	1.9
農業土木	5	8	6	6	5	5	1.2
林業	6	13	9	6	5	5	1.8
畜産	2	8	7	6	5	3	2.3
水産	2	13	9	7	7	2	4.5

行政、教育行政、警察事務、心理、電気、機械、土木、化学、農政、畜産、農業土木、林業、水産、少年補導職員

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	5月6日（木）～5月24日（月）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	6月30日（水）
2 次 試 験 日	7月12日（月）～7月19日（月）
最 終 合 格 発 表 日	8月上旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	共通	150 分	五肢択一式(50 問) 筆記試験
	専門試験	共通	120 分	五肢択一式(40 問) 筆記試験
	語学資格保有者への加 点	共通	—	英語、中国語、韓国語、フランス語について、相当高い程度の語学資格を保有すると認められる人を対象に加点
2次試験	論文試験	共通	90 分	思考力、論理性及び文章による表現力等を総合的に評価する筆記試験（一般的課題を出題）※1次試験日に実施。
	面接試験	共通	50 分程度	職員として適する人物かどうかを評価する個別面接（2 回の面接を同日中に実施） ※1人当たり 25 分程度の面接を 2 回

●配点比率（令和3年度）

行政、教育行政、警察事務、電気、総合土木、建築、化学、農政、林業、水産						
一次試験			二次試験			合計
教養試験	専門試験	語学資格保有者への加点	論文試験	面接試験Ⅰ	面接試験Ⅱ	
80	120	※20	100	200	100	600(※620)

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	共通	社会科学(法律、政治、経済、社会一般、人権等)、人文科学(日本史、世界史、地理、思想・哲学、文学・芸術等)、自然科学(数学、物理、化学、生物、地学等)、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈、現代の社会に関する問題等
専 門 試 験	行政、教育行政、警察事務	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学、教育学等
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学等
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学等
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作等
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工等
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学等
	農政	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般等
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般等
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般等
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む)、林業工学、林産一般、砂防工学等
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増殖殖学、水産化学、水産利用学等
	少年補導職員	憲法、行政法、民法、社会福祉概論(社会保障を含む)、一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学含む)、応用心理学(教育心理学、産業心理学、臨床心理学)、調査・研究法等

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験 合 格 者	教養試験及び専門試験のそれぞれの得点を合計した得点(200 点満点)の高点順に決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験、第2次試験(論文試験及び面接試験)の得点を合計した総合得点の高点順に決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政	23	249	171	46	42	23	7.4
教 育 行 政	7	69	51	14	14	7	7.3
警 察 事 務	4	25	19	13	11	6	3.2
心 理	1	3	1	1	1	1	1.0
電 気	1	9	4	3	3	1	4.0
機 械	1	2	2	2	2	1	2.0
土 木	8	27	13	13	13	8	1.6
化 学	3	13	7	7	6	3	2.3
農 政	12	41	33	24	23	12	2.8
畜 産	1	4	3	3	3	1	3.0
農 業 土 木	4	13	11	8	8	4	2.8
林 業	3	6	3	2	2	1	3.0
水 産	1	8	7	3	2	1	7.0
少 年 補 導 職 員	1	3	3	3	3	2	1.5

行政特別枠、教育行政特別枠

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成8年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	3月1日(月)～3月19日(金)
書類選考通過者発表	4月1日(木)
1次試験日	4月6日(火)～4月19日(月)
1次試験合格発表日	4月26日(月)
2次試験日	5月10日(月)～5月15日(土)
2次試験合格発表日	5月下旬
3次試験日	面接試験 6月1日(月)～6月6日(日) 論文試験 6月3日(木)
最終合格発表日	6月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
書 類 選 考		共通	—	受験申込時に提出するアピールシートによる審査
1次試験	教 養 試 験 (書類選考通 過 者 の み)	共通	60 分	五肢択一式 120 問の筆記試験(テストセンター方式による)
	語 学 加 点	共通	—	英語、中国語、韓国語、フランス語について、相当高い程度の語学 資格を保有すると認められる人に加点
2次試験	面 接 試 験 1	共通	25～30 分	職員として適する人物かどうかを評価する個別面接(1 回)
3次試験	面 接 試 験 2	共通	25 分	職員として適する人物かどうかを評価する個別面接(1 回)
	論 文 試 験	共通	90 分	思考力、論理性及び文章による表現力等を総合的に評価する筆記 試験(一般的課題を出題)

●配点比率（令和3年度）

行政特別枠、教育行政特別枠					
一次試験		二次試験	三次試験		合計
教養試験	語学加点	面接試験1	論文試験	面接試験2	
100	10	200	100	300	710

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	行政特別枠、教育行政特別枠	文章読解能力、数的能力、推理判断能力、人文・社会、自然に関する一般知識、基礎英語

●合格者の決定方法（令和3年度）

書類選考通過者	アピールシートを審査して決定します。
1次試験	教養試験の平均点、標準偏差等を用いて算出した得点の高点順に決定します。なお、語学資格に対して加点された人は当該加点点数を加えた点数を得点とします。
2次試験	第2次試験の得点(200点満点)の高点順に決定します。
最終合格者	第3次試験の論文試験(100点満点)及び面接試験2(300点満点)の合計得点(400点満点)の高点順に決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政特別枠	33	475	450	156	147	36	12.5
教育行政特別枠	4	73	73	17	13	4	18.3

行政 A、教育事務、警察事務、水産、農業、畜産、林業、農業土木、土木 A、土木 B、建築、環境科学、電気

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	5月3日（月）～5月21日（金）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	7月5日（月）
2 次 試 験 日	7月中旬～8月上旬
最 終 合 格 発 表 日	8月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政 A、教育事務、警察事務、水産、農業、畜産、林業、農業土木、土木 A、建築、環境科学、電気	150 分 五枝択一式(50 問) 公務員として必要な一般的な知識及び能力についての大学卒業程度の五枝択一式による筆記試験
	SPI3(基礎能力検査)	土木 B	70 分 (70 問) 言語的理解力や数的処理能力、論理的思考力等についての択一式による筆記試験
	専門試験	行政 A、教育事務、警察事務、水産、農業、畜産、林業、農業土木、土木 A、土木 B、建築、環境科学、電気	120 分 五枝択一式(40 問) 専門的知識及び能力についての五枝択一式による筆記試験
2次試験	人物試験	行政 A、教育事務、警察事務、水産、農業、畜産、林業、農業土木、土木 A、土木 B、建築、環境科学、電気	— グループワーク及び人柄等についての個別面接による試験
	適性検査	行政 A、教育事務、警察事務、水産、農業、畜産、林業、農業土木、土木 A、土木 B、建築、環境科学、電気	— 職務遂行に必要な適性についての検査
	論文試験	行政、教育事務、警察事務	90 分 職務遂行に必要な思考力、判断力、構成力等についての論文試験(1,200 字)
	専門論述試験	水産、農業、畜産、林業、農業土木、土木 A、土木 B、建築、環境科学、電気	90 分 職務遂行に必要な専門的知識等についての論述試験(3問)

●配点比率（令和3年度）

行政、教育事務、警察事務	
人物試験	論文試験
600	180
水産、農業、畜産、林業、農業土木、土木 A、土木 B、建築、環境科学、電気	
人物試験	専門論述試験
600	180

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政 A、教育事務、警察事務、水産、農業、畜産、林業、農業土木、土木 A、建築、環境科学、電気	一般知識：社会、人文、自然 一般知能：文章理解（英文を含む）、判断推理、数的推理、資料解釈
基 礎 能 力 検 査	土木B	SPI3
専 門 試 験	行政、教育事務、警察事務	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学
専 門 択 一 試 験 専 門 論 述 試 験	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学（森林生態学、森林保護学を含む）、林業工学、林産一般、砂防工学
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壤物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般
	土木A、土木B	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料科学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	環境科学(化学系)	環境法概論、環境政策概論、地球環境、大気汚染、水質汚濁、廃棄物対策、自然環境保全対策、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、生物化学
	環境科学(自然環境系)	環境法概論、環境政策概論、地球環境、大気汚染、水質汚濁、廃棄物対策、自然環境保全対策、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計（都市・地方計画を含む）、自然環境一般
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、情報・通信工学

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	【土木B以外】各試験種目の標準点を合計した総合得点の高い順に決定します。 【土木B】 SPI3と専門試験のそれぞれの標準点を合計した総合得点の高い順に決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の得点の高い順に決定し、第1次試験の得点は反映されません。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政	24	184	150	60	56	37	4.1
教 育 事 務	25	86	77	47	45	31	2.5
警 察 事 務	1	14	9	5	5	1	9.0
水 産	5	17	14	10	10	6	2.3
農 業	8	12	9	5	4	3	3.0
畜 産	4	7	6	4	4	3	2.0
林 業	1	2	2	1	1	1	2.0
農 業 土 木	2	2	2	1	1	1	2.0
土 木 A	13	25	17	13	10	10	1.7
土 木 B	5	8	5	3	1	1	5.0
建 築	3	6	6	2	2	2	3.0
環 境 科 学	2	6	6	5	5	3	2.0
電 気	2	6	4	3	3	2	2.0

行政B（SPI方式）

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	3月1日（月）～3月19日（金）
1 次 試 験 日	4月18日（日）
1次試験合格発表日	4月26日（月）
2 次 試 験 日	5月中旬～下旬
最 終 合 格 発 表 日	6月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	SPI3（基礎能力検査）	行政B（SPI方式）	70 分	（70 問） 言語的理解力や数的処理能力、論理的思考力等についての択一式による筆記試験
2次試験	プレゼンテーションシート作成	行政B（SPI方式）	60 分	人物試験の際に使用するプレゼンテーションを作成していただきます。
	人 物 試 験	行政B（SPI方式）	—	グループワーク及び人柄等についての個別面接による試験 ※冒頭に5分程度シート内容についてプレゼンテーションあり。
	論 文 試 験	行政B（SPI方式）	90 分	職務遂行に必要な思考力、判断力、構成力等についての論文試験（1,200 字）
	適 性 検 査	行政B（SPI方式）	—	職務遂行に必要な適性についての検査

●配点比率（令和3年度）

行政B（SPI方式）	
人物試験	論文試験
600	180

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力検査	行政B（SPI方式）	SPI3

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	標準点の高い順に決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の得点の高い順に決定し、第1次試験の得点は反映されません。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政B（SPI方式）	15	444	393	46	40	20	19.7

●受験資格（令和3年度）

共 通	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者（「心理判定員」は資格要件あり）

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月22日（木）～5月9日（日）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1 次 試 験 合 格 発 表 日	6月25日（金）
2 次 試 験 日	7月5日（月）～7月10日（土）、7月12日（月）～7月13日（火）
2 次 試 験 合 格 発 表 日	7月中旬
3 次 試 験 日	7月24日（土）～7月31日（土）
最 終 合 格 発 表 日	8月上旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政、警察行政、教育行政、心理判定員、総合土木、建築、機械、電気、化学、農学、林学、畜産、水産	150 分	択一式(50 問中 40 問解答) 一般的知識及び能力等について、択一式による筆記試験を行います。
		行政、警察行政、教育行政	120 分	択一式(80 問中 40 問解答) 専門的知識及び能力等について、択一式による筆記試験を行います。
	専門試験	総合土木	120 分	択一式(60 問中 40 問解答) 専門的知識及び能力等について、択一式による筆記試験を行います。
		心理判定員、建築、機械、電気、化学、農学、林学、畜産、水産	120 分	択一式(40 問) 専門的知識及び能力等について、択一式による筆記試験を行います。
	資格加点	行政、警察行政	—	一定水準以上の語学資格を有する方については、第1次試験において 20 点を加点します。
2次試験	論文試験	行政、警察行政、教育行政、心理判定員、総合土木、建築、機械、電気、化学、農学、林学、畜産、水産	90 分	記述式 職務遂行に必要な識見や表現力、論理性などについて、記述式による筆記試験を行います。※1次試験日に実施
	面接試験	行政、警察行政、教育行政、心理判定員、総合土木、建築、機械、電気、化学、農学、林学、畜産、水産	—	表現力、積極性、協調性、堅実性、理解力などについて、個別面接による口述試験を行います。 なお、第3次試験の参考とするために、適性検査を行います。
3次試験	面接試験	行政、警察行政、教育行政、心理判定員、総合土木、建築、機械、電気、化学、農学、林学、畜産、水産	—	表現力、積極性、協調性、堅実性、理解力などについて、個別面接及び集団討論による口述試験を行います。

●配点比率（令和3年度）

行政、警察行政					
教養試験	専門試験	資格加点	論文試験	面接試験(2次)	面接試験(3次)
200	240	20	50	200	300

教育行政、心理判定員、総合土木、建築、機械、電気、化学、農学、林学、畜産、水産				
教養試験	専門試験	論文試験	面接試験(2次)	面接試験(3次)
200	240	50	200	300

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	共通	【知能分野(必須解答)】 社会一般、文章理解(英語含む。)、判断推理、数的推理、資料解釈 【知識分野(選択解答)】 社会一般、地理、日本史、世界史、数学、物理、化学、生物、地学 等
専 門 試 験	行政、警察行政、教育行政	【必須解答】民法②、憲法③、経済学⑤ 【選択解答】民法⑩、行政法⑫、憲法②、労働法③、刑法③、経済学⑥、経営学②、財政学④、経済原論⑦、経済史③、統計学②、経済事情③、経済政策③、国際関係③、社会政策③、政治学②、行政学②
	心理判定員	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む)⑥、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)⑨、調査・研究法②、統計学③
	総合土木	【必須解答】数学④、応用力学⑤、水理学⑤、測量②、材料・施工④ 【選択解答】数学・物理⑥、応用力学①、水理学①、土質工学④、都市計画②、土木計画⑥、土壌物理①、農業水利・土地改良・農村環境整備⑩、農業土木構造物⑤、農業機械①、農業一般②
	建築	数学・物理⑩、構造力学⑤、材料学②、環境原論④、建築史②、建築構造④、建築計画⑤、都市計画③、建築設備②、建築施工③
	機械	数学・物理⑩、材料力学④、流体力学④、熱力学④、電気工学②、機械力学・制御④、機械設計⑥、機械材料③、機械工作③
	電気	数学・物理⑩、電磁気学・電気回路⑩、電気計測・制御④、電気機器・電力工学⑥、電子工学⑥、情報・通信工学④
	化学	数学・物理⑦、物理化学⑨、分析化学③、無機化学・無機工業化学⑥、有機化学・有機工業化学⑨、化学工学⑥
	農学	栽培学汎論⑤、作物学⑤、園芸学⑤、育種遺伝学⑤、植物病理学④、昆虫学④、土壌肥科学④、植物生理学④、畜産一般②、農業経済一般②
	林学	森林政策・森林経営学⑬、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)⑫、林業工学④、林産一般⑤、砂防工学⑥
	畜産	家畜育種学⑤、家畜繁殖学④、家畜生理学④、家畜飼養学④、家畜栄養学④、飼料学③、家畜管理学⑥、畜産物利用学⑤、畜産経営一般⑤
	水産	水産事情・水産経済・水産法規⑧、水産環境科学⑤、水産生物学⑤、水産資源学④、漁業学④、増養殖学④、水産化学⑤、水産利用学⑤

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第1次試験、第2次試験及び第3次試験の合格者は、それぞれ総合得点の高い順に決定されます。 第1次試験の結果は第2次試験及び第3次試験に、第2次試験の結果は第3次試験に反映されません。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
行政	60	489	354	180	75	72	60	5.9
警察行政	6	46	30	11	9	8	6	5.0
教育行政	10	72	54	30	15	15	10	5.4
心理判定員	3	13	9	5	5	5	3	3.0
総合土木	19	38	19	16	15	14	11	1.7
建築	3	8	7	7	5	5	3	2.3
機械	1	5	0	0	0	0	0	-
電気	2	11	8	6	3	3	3	2.7
化学	2	20	10	5	3	3	2	5.0
農学	11	31	21	15	12	12	11	1.9
林学	5	10	10	5	4	4	4	2.5
畜産	4	11	7	6	4	4	4	1.8
水産	4	14	10	8	5	5	4	2.5

行政 A、教育事務、警察事務、心理、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、機械、電気

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	5月6日（木）～5月24日（月）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1 次 試験 合格 発表 日	6月29日（火）
2 次 試 験 日	論文試験・専門試験・適性検査 7月6日（火） 面接試験 7月中旬～8月中旬
最 終 合 格 発 表 日	8月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政、教育事務、警察事務、心理、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、機械、電気	150 分	五枝択一式(50 問) 公務員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験
	専門試験	行政、教育事務、警察事務、心理、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、機械、電気	120 分	五枝択一式(40 問) 専門的知識、技術等の能力についての筆記試験
2次試験	論文試験	行政、教育事務、警察事務	80 分	職務の遂行に必要な論理性、表現力等についての筆記試験
	専門試験	心理、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、機械、電気	90 分	記述式 専門的知識、技術等の能力についての記述式による筆記試験
	適性検査	行政、教育事務、警察事務、心理、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、機械、電気	—	職務の遂行に必要な適応性についての性格検査 ※検査結果は、面接試験の参考資料とします。
	面接試験	行政、教育事務、警察事務、心理、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、機械、電気	—	人物について個別面接(1回 20 分～30 分程度の面接を3回実施)

●配点比率（令和3年度）

行政、教育事務、警察事務			
教養試験	専門択一	論文試験	面接試験
80	120	60	340

心理、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、機械、電気			
教養試験	専門択一	専門記述	面接試験
80	120	100	300

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政、教育事務、警察事務、心理、司書、建築、化学、農業、畜産、林業、水産、機械、電気	一般知識:社会、人文、自然 一般知能:文章理解(英文を含む。)、判断推理、数的推理、資料解釈
専 門 択 一	行政、教育事務、警察事務	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、経営学、財政学、社会政策、国際関係
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼科学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む)、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
専 門 記 述	心理	臨床心理学、発達心理学、心理検査手法
	建築	建築計画、構造力学、建築構造、建築法規、建築施工
	化学	分析化学、無機化学、有機化学、環境工学
	農業	栽培学汎論、植物生理学、農業経済学、農村社会学
	畜産	家畜繁殖学、家畜飼養学、飼科学、畜産経営一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学
	水産	水産生物学、水産資源学、水産増殖学、水産経済学
	機械	材料力学、機械力学(制御を含む。)、流体力学、熱力学(熱機関を含む。)
	電気	電磁気学、電気回路、電気計測・制御、電力工学、電気機器工学

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	教養試験及び専門試験それぞれの得点を合計した得点の高得点順に決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験及び第2次試験の得点を合計した総合得点の高得点順に決定します。 最終合格ラインに同点者がいる場合は、第2次試験の得点により決定します。 さらになお、同点者がいる場合は、面接試験の得点により決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分		採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
行	政	82	370	302	183	98	3.1
教 育 事 務		15	49	42	28	15	2.8
警 察 事 務		9	45	36	24	9	4.0
心	理	5	7	7	3	2	3.5
建	築	2	6	5	4	2	2.5
化	学	4	19	12	7	4	3.0
農	業	16	26	21	14	10	2.1
畜	産	6	4	3	2	2	1.5
林	業	6	12	8	4	4	2.0
水	産	5	18	11	8	6	1.8
機	械	3	13	10	6	3	3.3
電	気	3	10	7	4	3	2.3

行政B（特別枠）

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成8年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	3月1日（月）～3月19日（金）
1 次 試 験 日	4月18日（日）
1次試験合格発表日	4月27日（火）
2 次 試 験 日	適性検査 4月27日（火）～5月11日（火） 面接試験 5月下旬
最 終 合 格 発 表 日	6月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	行政(特別枠)	70 分	択一式(70問) 多様な業務に共通して求められる汎用的な知的能力について70問の択一式による筆記試験(SPI3(能力検査のみ))
	アピールシート	行政(特別枠)	—	事前に作成したものを受験申込時に提出
2次試験	論 文 試 験	行政(特別枠)	80 分	職務の遂行に必要な論理性、表現力等についての筆記試験(1,000字以内)
	適 性 検 査 (WEB 受 検)	行政(特別枠)	—	職務の遂行に必要な適応性についての性格検査 検査結果は、面接試験の参考資料にします。
	面 接 試 験	行政(特別枠)	—	人物について個別面接(1回 20 分～30 分程度の面接を3回実施)

●配点比率（令和3年度）

行政(特別枠)		
基礎能力試験	論文試験	面接試験
100	60	340

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	行政(特別枠)	SPI3(能力検査のみ)

●合格者の決定方法（令和3年度）

第1次試験合格者	基礎能力試験の得点の高得点順に決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験及び第2次試験の得点を合計した総合得点の高得点順に決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
行 政（ 特 別 枠 ）	25	360	336	77	25	13.4

一般行政、警察事務

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月26日(月)～5月20日(木)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	6月25日(金)
2 次 試 験 日	論文試験・適性検査 7月7日(水) 個別面接 7月21日(水)～7月31日(土)
最 終 合 格 発 表 日	8月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	一般行政、警察事務	150 分	多肢選択式(50 問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能についての多肢選択式による筆記試験
	専門試験	一般行政、警察事務	120 分	多肢選択式(40 問) 専門的な知識、技術その他の能力についての多肢選択式による筆記試験
2次試験	論文試験	一般行政・警察事務	90 分	記述式 理解力、論理力、表現力についての記述式による筆記試験
	人物試験	一般行政、警察事務	—	個別面接及び適性検査

●配点比率（令和3年度）

一般行政、警察事務			
教養試験	専門試験	論文試験	人物試験
100	100	60	360

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専 門 試 験（ 択 一 ）	一般行政、警察事務	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学等

●合格者の決定方法（令和3年度）

非公表

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
一 般 行 政	45	230	176	108	98	59	3.0
警 察 事 務	2	39	25	10	10	5	5.0

心理、電気、土木、建築、化学、農業、農業土木、畜産、林業、水産

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者（「心理」は資格要件あり）

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	3月26日（金）～4月30日（金）
1 次 試 験 日	テストセンターで受験する場合 4月26日（月）～5月25日（火） 県庁会場で受験する場合 5月20日（木）～5月25日（火）
1次試験合格発表日	5月31日（月）
2 次 試 験 日	専門試験・専門論文試験 6月20日（日） 個別面接 6月26日（土）～7月4日（日）
最 終 合 格 発 表 日	7月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目			区分	解答時間	試験内容
1次試験	SPI3	基礎能力検査	共通	約65分	職務遂行に必要な総合的な基礎能力についての検査
		性格検査			職務遂行に必要な適性についての検査
2次試験	専 門 試 験		共通	120分	多肢択一式(40問) 専門的な知識、技術その他の能力についての筆記試験
	専門論文試験		共通	90分	記述式 課題に対する知識、論理性、結論の妥当性、文章構成力等についての記述式による筆記試験
	人 物 試 験		共通	—	個別面接、集団討論

●配点比率（令和3年度）

心理、電気、土木、建築、化学、農業、農業土木、畜産、林業、水産			
SPI3	専門試験	専門論文試験	人物試験
100	200	90	540

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験 （択一・論文）	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学及び社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学等
	電気	数学、物理、電磁気学、電気回路、電気計測・制御、電気機器、電力工学、電子工学、情報・通信工学等
	土木	数学、物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工等
	建築	数学、物理、材料学、構造力学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等
	化学	数学、物理、物理化学、分析化学、無機化学、無機工業化学、有機化学、有機工業化学、化学工学等
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般等
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般等
	畜産	家畜有種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般等
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学等
	水産	水産事情、水産経済、水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学等

●合格者の決定方法（令和3年度）

非公表

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
心 理	1	8	7	7	5	2	3.5
電 気	1	9	7	5	4	1	7.0
土 木	14	33	28	27	21	14	2.0
建 築	3	8	7	7	7	3	2.3
化 学	1	10	8	8	5	2	4.0
農 業	10	32	29	28	24	13	2.2
農 業 土 木	2	5	4	4	3	2	2.0
畜 産	5	9	9	8	7	5	1.8
林 業	2	13	13	12	11	5	2.6
水 産	3	13	9	9	8	4	2.3

一般行政（特別枠）

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	3月1日（月）～3月31日（水）
1 次 試 験 日	テストセンターで受験する場合 4月7日（水）～4月21日（水） 県庁会場で受験する場合 4月7日（水）～4月16日（金）
1次試験合格発表日	4月27日（火）
2 次 試 験 日	論文試験 5月10日（月） 個別面接 5月10日（月）～5月19日（水）
最終合格発表日	5月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目			区分	解答時間	試験内容
1次試験	SPI3	基礎能力検査	一般行政特別枠	約65分	職務遂行に必要な総合的な基礎能力についての検査
		性格検査			職務遂行に必要な適性についての検査 ※第2次試験で実施する人物試験の参考とします。
2次試験	論文試験		一般行政特別枠	90分	記述式 理解力、論理力、表現力等についての筆記試験
	人物試験		一般行政特別枠	—	個別面接、集団討論

●配点比率（令和3年度）

一般行政特別枠		
SPI3	論文試験	人物試験
200	60	360

●合格者の決定方法（令和3年度）

非公表

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
一般行政特別枠	10	324	259	77	62	25	10.4

※必須解答型：全国型／選択解答型：その他

行政、警察事務、心理、農業、畜産、農業土木、林業、水産、土木、建築、電気、化学 I

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	5月6日（木）～5月21日（金）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	6月29日（火）
2 次 試 験 日	7月13日（火）～7月29日（木）
最 終 合 格 発 表 日	8月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政、警察事務、心理、農業、畜産、農業土木、林業、水産、土木、建築、電気、化学 I	150 分	択一式(50 問) 全試験区分共通の一般教養について択一式により行います。
	専門試験	行政	120 分	試験区分に応じた基礎的専門知識について択一式により行います。 どちらかを選んで解答。 【40 問必須解答型】択一式(12 分野 40 問必須解答) 【選択解答型】択一式(12 分野 40 問中 30 問解答と 10 分野 40 問中 10 問解答)
		警察事務、心理、農業、畜産、農業土木、林業、水産、土木、建築、電気、化学 I	120 分	択一式(40 問) 試験区分に応じた基礎的専門知識について択一式により行います。
2次試験	論文試験	行政、警察事務	90 分	記述式 一般的知識、理解力、構成力、表現力等について(1,000 字以内)行います。
	専門試験	心理、農業、畜産、農業土木、林業、水産、土木、建築、電気、化学 I	120 分	記述式 試験区分に応じた専門知識、構成力、表現力等について行います。
	面接試験	行政	—	人物について個別面接(2 回)により行います。 同日中に実施します。
		警察事務、心理、農業、畜産、農業土木、林業、水産、土木、建築、電気、化学 I	—	人物について個別面接(1 回)により行います。
	適性検査	行政、警察事務、心理、農業、畜産、農業土木、林業、水産、土木、建築、電気、化学 I	—	職務遂行に必要な適性について検査を行います。

●配点比率（令和3年度）

行政			
教養試験	専門試験	論文試験	面接試験
100	150	100	400
警察事務			
教養試験	専門試験	論文試験	面接試験
100	100	100	400

心理、農業、畜産、農業土木、林業、水産、土木、建築、電気、化学 I			
教養試験	専門試験(1次)	専門試験(2次)	面接試験
100	100	100	300

●筆記試験 出題科目一覧 (令和3年度)

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験 専 門 試 験 (1 次)	全区分	社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
	行政	【40問必須解答型】政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、経営学、財政学、社会政策、国際関係 【選択解答型】一般心理学、応用心理学、統計学、社会福祉概論、社会学概論、心理学概論、社会調査、教育学、数学・物理、情報・通信工学
	警察事務	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、経営学、財政学、社会政策、国際関係
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学及社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	化学 I	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
専 門 試 験 (2 次)	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学及び社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学等
	農業	作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学の6科目のうちから2科目選択、農業政策に関する論文
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜飼養学、家畜管理学、畜産経営一般
	農業土木	農業水利、土地改良、農村環境整備、材料・施工
	林業	森林経営学、造林学、林業工学、林産一般、砂防工学の5科目のうちから2科目選択と森林政策の計3科目
	水産	水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産利用学の6科目のうちから2科目選択
	土木	河川、道路、海岸、港湾、コンクリート、土質
	建築	建築設計製図及び設計趣旨等の記述
	電気	電磁気学、電気回路、電気計測・制御、電気機器、電力工学
	化学 I	無機系化学分野(無機化学及び無機工業化学)、有機系化学分野(有機化学及び有機工業化学)、物理化学と化学工学の2科目のうちから1科目選択、環境問題に関する論文

●合格者の決定方法 (令和3年度)

最 終 合 格 者	第2次試験の結果に基づき決定し、第1次試験の結果は反映されません。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政	30	414	334	104	97	47	7.1
警察事務	4	30	27	16	15	5	5.4
心理	1	14	9	5	5	4	2.3
農業	22	37	29	24	22	21	1.4
畜産	5	8	8	7	7	5	1.6
農林業土木	3	9	7	5	5	4	1.8
林業	5	18	12	10	9	6	2.0
水産	3	13	10	10	9	4	2.5
土木	12	27	21	15	14	12	1.8
建築	3	10	7	5	5	5	1.4
電気	1	7	4	3	3	2	2.0
化学I	2	19	15	9	8	3	5.0

行政特別枠

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成8年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	3月8日（月）～3月24日（水）
1 次 試 験 日	4月18日（日）
1次試験合格発表日	5月20日（木）
2 次 試 験 日	適性検査（SPI3 WEB テスト） 5月21日（金）～5月28日（金） 面接試験 5月31日（月）～6月7日（月）
最 終 合 格 発 表 日	6月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目			区分	解答時間	試験内容
1次試験	SPI3	基礎能力試験	行政特別枠	70 分	択一式(70 問) 職務に共通して求められる基礎的な能力について択一式により行います。
	P R 論 文 試 験		行政特別枠	60 分	課題に沿った自己アピール等について記述式(800 字以内)により行います。※第2次試験の参考とします。
	エントリーシート		行政特別枠	—	事前に作成したものを第一次試験時に提出していただきます。
2次試験	SPI3	適性検査	行政特別枠	30 分	職務遂行に必要な適性について検査を行います。
	面 接 試 験		行政特別枠	—	人物について個別面接(2 回)により行います。 同日中に実施します。

●配点比率（令和3年度）

行政特別枠		
SPI3(基礎能力試験)	PR 論文試験	面接試験
80	20	400

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	行政特別枠	SPI3(WEB テスト)

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第2次試験の結果に基づき決定し、第1次試験の結果は反映されません。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 特 別 枠	25	319	242	98	90	43	5.6

●受験資格（令和3年度）

共 通	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者（「心理」は資格要件あり）

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月23日（金）～5月21日（金）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	7月1日（木）
2 次 試 験 日	7月上旬～8月上旬
最終合格発表日	8月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教 養 試 験 （ 事 務 系 ）	行政Ⅰ、心理、病院事務、警察事務	150 分	択一式(50 問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能についての択一式による大学卒業程度の筆記試験を行います。
	教 養 試 験 （ 技 術 系 ）	電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、農芸化学、畜産、林業、水産、警察建築	120 分	択一式(30 問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能についての択一式による大学卒業程度の筆記試験を行います。
	専 門 試 験 （ 事 務 系 ）	行政Ⅰ、心理、病院事務、警察事務	120 分	択一式(40 問) 各試験区分に必要な専門的知識、能力等についての択一式による大学卒業程度の筆記試験を行います。
	専 門 試 験 （ 技 術 系 ）	電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、農芸化学、畜産、林業、水産、警察建築	120 分	択一式(40 問) 各試験区分に必要な専門的知識、能力等についての択一式による大学卒業程度の筆記試験を行います。
2次試験	口 述 試 験	個 別 面 接	—	主として人物について個別面接による試験を行います。 なお、論文試験の前に適性検査を実施し、その結果については、個別面接の参考とします。
		集 団 討 論	—	個別面接を補完し、多角的かつ総合的な人物評価を行うため集団討論による試験を行います。
	論 文 試 験		120 分	思考力、総合的判断力、文章構成力、表現力についての筆記試験(1,000 字以内)を行います。

●配点比率（令和3年度）

行政Ⅰ、心理、病院事務、警察事務				
教養試験	専門試験	個別面接	集団討論	論文試験
100	100	120	30	60

電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、農芸化学、畜産、林業、水産、警察建築				
教養試験	専門試験	個別面接	集団討論	論文試験
80	120	120	30	60

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政Ⅰ、心理、社会福祉、病院事務、警察事務	社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数的推理・資料解釈、現代の社会に関する問題
	電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、農芸化学、畜産、林業、水産、警察建築	社会、文章理解、判断推理、数的推理・資料解釈、現代の社会に関する問題
専 門 試 験	行政Ⅰ、病院事務、警察事務	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築、警察建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壤物理、農業水利・土地改良・農村環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般
	農芸化学	一般化学、分析化学、生物有機化学、有機化学、生物化学、土壌学・植物栄養学、食品科学、応用微生物学
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	林業	森林政策・森林経営学、造林学(森林生態学、森林保護学を含む。)、林業工学、林産一般、砂防工学
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学

●合格者の決定方法（令和3年度）

非公表

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 Ⅰ	46	942	787	115	103	90	8.7
心 理	若干名	13	12	4	4	3	4.0
社 会 福 祉	若干名	56	51	16	16	9	5.7
電 気	若干名	27	22	7	6	4	5.5
機 械	若干名	27	18	5	3	2	9.0
土 木	18	42	35	15	15	14	2.5
建 築	5	20	17	8	8	5	3.4
化 学	若干名	25	25	10	9	5	5.0
農 業	5	31	27	9	8	7	3.9
農 業 土 木	6	21	19	10	9	9	2.1
農 芸 化 学	若干名	17	14	3	3	2	7.0
畜 産	若干名	9	9	3	3	2	4.5
林 業	若干名	8	4	3	3	2	2.0
水 産	若干名	15	12	3	3	1	12.0
病 院 事 務	15	157	139	30	27	15	9.3
警 察 事 務	若干名	157	135	45	44	14	9.6
警 察 建 築	若干名	1	1	0	-	-	-

●受験資格（令和3年度）

心 理 以 外	平成2年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者
心 理	昭和57年4月2日以降に生まれた者(別途資格要件あり)

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	3月19日(金)～4月5日(月)
1 次 試 験 日	5月2日(日)
1 次 試 験 合 格 発 表 日	6月25日(金)
2 次 試 験 日	7月6日(火)～7月16日(金)
最 終 合 格 発 表 日	土木造園(土木)・土木造園(造園)・建築・機械・電気 7月27日(火) 事務・心理 8月4日(水)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	事務、土木造園(土木)、土木造園(造園)、建築、機械、電気、心理	120 分	五肢択一式(48 問中 40 問) 一般教養についての五肢択一式
	専門試験	事務	90 分	五肢択一式(55 問中 40 問) 一般行政事務に必要な基礎知識についての五肢択一式
		土木造園(土木)、土木造園(造園)、建築、機械、電気、心理	90 分	記述式、語群選択式等(6 題中 4 題) それぞれの試験区分に必要な専門的知識についての記述式、語群選択式等
	論文試験	事務、土木造園(土木)、土木造園(造園)、建築、機械、電気、心理	80 分	課題式(2 題中 1 題選択解答) 字数は 1,000 字以上 1,500 字程度
2次試験	口述試験	事務、土木造園(土木)、土木造園(造園)、建築、機械、電気、心理	—	人物及び職務に関連する知識等についての個別面接

●配点比率（令和3年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	事務、土木造園（土木）、土木造園（造園）、建築、機械、電気、心理	【知能分野(28問必須解答)】 文章理解(英文を含む。)、判断推理、数的処理、資料解釈及び空間把握 【知識分野(20問中12問選択解答)】 人文科学④:倫理・哲学、歴史及び地理 社会科学④:法律、政治及び経済 自然科学⑧:物理、化学、生物及び地学 社会事情④:社会事情
	事務	憲法、行政法、民法1〔総則・物権〕、民法2〔債権・親族・相続〕、ミクロ経済学、マクロ経済学、財政学、経営学、政治学、行政学、社会学
専 門 試 験	土木造園（土木）	応用力学、土質工学、測量、土木施工、道路・橋梁、都市計画
	土木造園（造園）	造園史、造園計画、造園植物、植栽・土壌肥科学、生態学、造園施工・管理
	建築	建築史、建築計画、都市計画、建築設備、建築構造、建築施工、建築法規
	機械	物理、材料力学、熱力学・熱機関、流体力学・流体機械、計測・制御、機械材料
	電気	電気・電子回路、電気磁気学、材料・制御（電気応用を含む。）、電気機器、発送配電、情報・通信
	心理	一般心理学、応用心理学、臨床心理学

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第1次試験、第2次試験及び資格審査の結果を総合的に判定し、最終合格者を決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
事 務	874	11449	9019	4098	3006	1881	4.8
土 木 造 園（ 土 木 ）	53	283	214	178	137	109	2.0
土 木 造 園（ 造 園 ）	8	67	47	30	27	18	2.6
建 築	53	117	100	82	69	59	1.7
機 械	13	68	54	43	33	27	2.0
電 気	13	110	72	55	32	24	3.0
心 理	24	217	156	112	94	60	2.6

●各特別区等の採用予定数一覧（Ⅰ類事務）

年度	千代田区	中央区	港区	新宿区	文京区	台東区	墨田区	江東区	品川区
令和3年	14	25	10	24	25	31	24	40	39
令和2年	20	18	23	29	33	31	25	36	40
令和元年	23	33	40	39	45	45	27	17	39
年度	目黒区	大田区	世田谷区	渋谷区	中野区	杉並区	豊島区	北区	荒川区
令和3年	33	112	67	33	46	54	19	38	15
令和2年	37	96	80	36	43	48	18	35	15
令和元年	46	65	67	30	40	70	17	28	46
年度	板橋区	練馬区	足立区	葛飾区	江戸川区	人厚組合	競馬組合	清掃組合	
令和3年	41	58	50	40	26	5	若干名	若干名	
令和2年	60	55	50	42	25	若干名	若干名	若干名	
令和元年	56	63	33	36	50	若干名	若干名	若干名	

札幌市

総合試験

一般事務（行政コース）、一般事務（福祉コース）、学校事務

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成4年4月2日以降に生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受 験 申 込 受 付	4月27日(火)～5月14日(金)
筆 記 試 験 日	6月20日(日)
筆記試験合格発表日	6月25日(金)
1 次 面 接 試 験 日	7月1日(木)～7月4日(日)
1次面接試験合格発表日	7月9日(金)
2 次 試 験 日	7月上旬～8月上旬
最 終 合 格 発 表 日	8月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	筆記試験	一般事務(行政コース)、 一般事務(福祉コース)、 学校事務	120 分	択一式 (教養系 20 問、専門系 45 問中 20 問解答)
	面接カード 記 入	一般事務(行政コース)、 一般事務(福祉コース)、 学校事務	20 分	面接シート(あなた自身に関することをテーマに沿って記入するもの)を記入していただきます。
	面接試験	一般事務(行政コース)、 一般事務(福祉コース)、 学校事務	—	個別面談を実施します。
2次試験	面接試験	一般事務(行政コース)、 一般事務(福祉コース)、 学校事務	—	個別面談により、主として人物評価をします。

●配点比率（令和3年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
択 一 式 (教 養 系)	一般事務(行政コース)、 一般事務(福祉コース)、 学校事務	【必須科目】[文章理解(現代文・英語)]⑧、[判断推理、数的推理、資料解釈]⑫
択 一 式 (専 門 系)	一般事務(行政コース)、 学校事務	【選択科目】[憲法、民法、行政法]⑬、[経済学、経営学、財政学]⑭、[行政学、政治学、社会事情(国際情勢を含む)]⑧
	一般事務(福祉コース)	【選択科目】[社会福祉概論]⑯、[社会学、教育学]⑩、[一般心理学、応用心理学]⑮

※○の数字は出題予定数

●合格者の決定方法（令和3年度）

非公表

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次面接対象者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
一般事務(行政コース)	120	1218	859	368	216	213	143	6.0
一般事務(福祉コース)	10	84	64	34	21	19	13	4.9
学 校 事 務	10	82	48	36	26	25	13	3.7

一般技術（土木、建築、電気、機械、衛生、造園）

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成4年4月2日以降に生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月27日（火）～5月14日（金）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1 次試験合格発表日	6月29日（火）
2 次 試 験 日	7月上旬～8月上旬
最 終 合 格 発 表 日	8月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	筆記試験	土木、建築、電気、機械、衛生、造園	90 分	択一式（教養系 30 問） （専門系科目からの出題を廃止）
	面接カード記入	土木、建築、電気、機械、衛生、造園	20 分	面接カード（あなた自身に関することをテーマに沿って）を記入していただきます。
2次試験	面接試験	土木、建築、電気、機械、衛生、造園	—	個別面接により、主として人物評価をします。

●配点比率（令和3年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
筆記試験 （教養系）	土木、建築、電気、機械、衛生、造園	【必須科目】〔文章理解（現代文・英語）〕⑫、〔判断推理、数的推理、資料解釈〕⑬

●合格者の決定方法（令和3年度）

非公表

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
土 木	20	75	61	52	46	22	2.8
建 築	4	28	23	14	14	4	5.8
電 気	10	39	29	24	24	10	2.9
機 械	8	24	19	15	13	8	2.4
衛 生	4	101	81	27	25	8	10.1
造 園	3	18	17	11	11	4	4.3

仙台市

【教 養】 全国型
【専 門】 全国型

事務

●受験資格（令和3年度）

共	通	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(郵送のみ)	4月22日(木)～5月19日(水)
筆 記 試 験 日	6月20日(日)
筆記試験合格発表日	6月25日(金)
1 次 面 接 試 験 日	7月1日(木)～7月4日(日)
1次面接試験合格発表日	7月9日(金)
2 次 試 験 日	論文試験・適性検査 7月21日(水) 面接試験 8月上旬～8月下旬
最 終 合 格 発 表 日	8月31日(火)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	事務	120 分	五肢択一式(45 問中 40 問) 公務員として必要な一般的知識及び知能についての五肢択一式による筆記試験
	専門試験	事務	120 分	五肢択一式(56 問中 40 問) 試験の種類及び試験区分に応じて必要な専門的知識、技術等の能力についての五肢択一式による筆記試験
	面接試験	事務	—	1 グループ 3 人程度で行う集団面接
2次試験	論文試験	事務	120 分	記述式(1,200 字程度) 出題されたテーマに対する記述式による筆記試験
	適性検査	事務	—	性格適性又は職務適性についての心理学的検査
	面接試験	事務	—	個別面接

●配点比率（令和3年度）

事務				
教養試験	専門試験	集団面接	論文試験	個別面接
100	100	600	100	300

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	事務	【必須解答】社会科学、社会事情等の知識問題及び文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等の知能問題 【選択解答】必須解答の分野に加え、人文科学、自然科学等の知識問題
専 門 試 験	事務	【必須解答】政治学、行政学、憲法、行政法、民法、経済学、財政学、経済事情、社会政策、国際関係、社会事情等 【選択解答】必須解答の分野に加え、刑法、労働法、経営学、心理学、社会福祉、社会学、教育学等

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第2次試験の結果により決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
事 務	100	655	579	127	117	100	5.8

土木、建築、機械、電気、化学、造園、心理

●受験資格（令和3年度）

共	通	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者
心	理	昭和61年4月2日以降に生まれた者（別途資格要件あり）

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（郵送のみ）	4月22日（木）～5月19日（水）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	6月30日（水）
2 次 試 験 日	論文試験・適性検査 7月15日（木） 面接試験 8月上旬～8月下旬
最 終 合 格 発 表 日	8月31日（火）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	土木、建築、機械、電気、化学、造園、心理	120分	五肢択一式(45問中40問) 公務員として必要な一般的知識及び知能についての五肢択一式による筆記試験
	専門試験	土木、建築、機械、電気、化学、造園、心理	120分	五肢択一式(40問) 試験の種類及び試験区分に応じて必要な専門的知識、技術等の能力についての五肢択一式による筆記試験
2次試験	論文試験	土木、建築、機械、電気、化学、造園、心理	120分	記述式(1,200字程度) 出題されたテーマに対する記述式による筆記試験
	適性検査	土木、建築、機械、電気、化学、造園、心理	—	性格適性又は職務適性についての心理学的検査
	面接試験	土木、建築、機械、電気、化学、造園、心理	—	個別面接

●配点比率（令和3年度）

土木、建築、機械、電気、化学、造園、心理			
教養試験	専門試験	論文試験	面接試験
100	100	100	300

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	土木、建築、機械、電気、化学、造園、心理	【必須解答】社会科学、社会事情等の知識問題及び文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等の知能問題 【選択解答】必須解答の分野に加え、人文科学、自然科学等の知識問題
専 門 試 験	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工等
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設備、機械材料、機械工作等
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学等
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学等
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計(都市・地方計画を含む)、造園関連基礎等
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学等

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第2次試験の結果により決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分		採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
福	祉	10	55	52	30	29	14	3.7
衛	生	5	28	25	21	19	8	3.1
土	木	20	47	43	32	27	20	2.2
建	築	5	20	19	16	15	9	2.1
機	械	10	22	18	13	13	9	2.0
電	気	10	20	17	13	12	8	2.1
化	学	若干名	15	11	10	7	3	3.7
造	園	若干名	5	4	4	3	2	2.0
心	理	5	22	20	15	15	6	3.3

●受験資格（令和3年度）

下 記 以 外	平成6年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者（「心理」は資格要件あり）
学 校 事 務	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月26日（月）～5月14日（金）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1 次 試 験 合 格 発 表 日	7月1日（木）
2 次 試 験 日	7月上旬～8月中旬
最 終 合 格 発 表 日	8月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政事務A、学校事務、土木、建築、電気、機械、化学、農業、心理	120 分	択一式(50 問中 40 問) 公務員として必要な一般教養について、大学卒業程度の活字印刷文による筆記試験
	S P I 3	行政事務B	70 分	職務遂行に必要な総合的な基礎能力についての検査
	専門試験	行政事務A	120 分	択一式(50 問中 40 問) 各区分における必要な専門知識について、大学卒業程度の活字印刷文による筆記試験
		土木、建築、電気、機械、化学、農業、心理	120 分	択一式(40 問) 各区分における必要な専門知識について、大学卒業程度の活字印刷文による筆記試験
2次試験	論文試験	行政事務A、行政事務B、学校事務、土木、建築、電気、機械、化学、農業、心理	60 分	記述式(1,000 字程度) 出題されたテーマについて記述する筆記試験 (思考力、文章構成力、表現力等について評価)
	面接試験	行政事務A、行政事務B、学校事務、土木、建築、電気、機械、化学、農業、心理	—	個別面接及び集団面接による試験 (主として人物、性格、識見等についての面接。集団面接にはグループディスカッションを含みます。)
	適性検査	行政事務A、行政事務B、学校事務、土木、建築、電気、機械、化学、農業、心理	—	職務に対する適応性についての検査 ※面接試験の参考とします

●配点比率（令和3年度）

行政事務A、心理				
教養試験	専門試験	論文試験	集団面接	個別面接
120	80	100	100	300
行政事務B				
SPI3	論文試験	集団面接	個別面接	
80	100	100	300	
学校事務				
教養試験	論文試験	集団面接	個別面接	
120	100	100	300	
土木、建築、電気、機械、化学、農業				
教養試験	専門試験	論文試験	集団面接	個別面接
80	120	100	100	300

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政事務A、学校事務、土木、建築、電気、機械、化学、農業、心理	【知能分野】 文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈 【知識分野】 社会科学、現代社会、人文科学、自然科学 【市政問題】
専 門 試 験	行政事務A	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学、教育学、社会福祉概論（社会保障を含む。）
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	心理	一般心理学（心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。）、応用心理学（教育心理学・産業心理学・臨床心理学）、調査・研究法、統計学

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	「行政事務B」についてはSPI3、「学校事務」については教養試験の成績により、その他の区分については教養試験と専門試験の総合成績により決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の成績により決定します（第1次試験の成績は反映されません。）。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 事 務 A	90	1097	798	316	244	153	5.2
行 政 事 務 B	11	230	178	52	33	15	11.9
学 校 事 務	5	102	71	20	16	6	11.8
土 木	22	45	38	35	27	25	1.5
建 築	7	21	16	15	13	9	1.8
電 気	1	5	4	3	1	1	4.0
機 械	1	11	5	3	3	2	2.5
化 学	3	18	16	12	11	3	5.3
農 業	1	3	3	3	1	0	-
心 理	6	40	32	20	14	7	4.6

●受験資格（令和3年度）

下 記 以 外	平成5年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者
行 政 B	昭和37年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	5月12日（水）～5月25日（火）
筆 記 試 験 日	6月20日（日）
面談・集団討論対象者発表	6月25日（金）
面談試験・集団討論試験	7月1日（木）～7月6日（火）
1次試験合格発表日	7月9日（金）
2 次 試 験 日	適性検査 7月9日（金）～7月14日（水）
	論文試験 7月17日（土）
	面接試験 7月20日（火）～8月6日（金）
最 終 合 格 発 表 日	8月中旬～8月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政 A、土木、建築、電気、機械、化学、造園、畜産、農業	150 分	択一式(55 問中 45 問) 公務員として必要な一般教養について、大学卒業程度の活字印刷文による筆記試験
		行政B	75 分	択一式60問全問解答 社会についての関心や基礎的・常識的な知識、職務遂行に必要な基礎的な言語能力・論理的思考力について、高等学校卒業程度の活字印刷文による筆記試験
	専門試験	行政 A、建築、電気、機械、化学、造園、畜産、農業	120 分	択一式(行政 A は 50 問中 40 問選択回答、その他は 40 問全問回答) 試験区分に応じた専門的知識について、大学卒業程度の活字印刷文による筆記試験
	面談試験	行政 A、土木、建築、電気、機械、化学、造園、畜産、農業	—	主として人物、性格等についての個別面談による試験 (態度、表現力、積極性、協調性、ストレス耐性等)
	集団討論試験	行政B	—	与えられたテーマに対する討論形式での口述試験 (態度、表現力、積極性、指導力、協調性、社会性等)
2次試験	適性検査	行政 A、行政 B、土木、建築、電気、機械、化学、造園、畜産、農業	—	性格適性及び職務適性等についての検査(面接試験の参考とします。)
	論文試験	行政 A、土木、建築、電気、機械、化学、造園、畜産、農業	60 分	与えられたテーマについて記述する筆記試験(800 字程度)
	自己PR論文試験	行政B	60 分	自己PRできる経験や成果について記述する筆記試験(800 字程度)
	面接試験	行政 A、行政 B、土木、建築、電気、機械、化学、造園、畜産、農業	—	主として人物、性格等についての個別面接による試験 (態度、表現力、積極性、協調性、専門性、堅実性、ストレス耐性等)
	語学加算	行政B	—	英語、中国語、韓国語について高度な語学力を有し、《別表 3》の要件に該当する場合に加点します。

●配点比率（令和3年度）

行政A				
教養試験	専門試験	面談試験	論文試験	面接試験
100	100	200	50	150
行政B				
教養試験	集団討論試験	自己PR論文試験	面接試験	語学加算
100	200	50	150	10

土木、建築、電気、機械、化学、造園、畜産、農業				
教養試験	専門試験	面接試験	論文試験	面接試験
80	120	200	50	150

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政 A、土木、建築、電気、機械、化学、造園、畜産、農業	【知識分野】社会科学、人文科学、自然科学 【知能分野】文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
	行政B	社会についての関心や基礎的・常識的な知識、職務遂行に必要な基礎的な言語能力・論理的思考力
専 門 試 験	行政A	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学、教育学、社会福祉概論（社会保障を含む。）、社会学概論
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計（都市・地方計画を含む。）、造園関連基礎
	畜産	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、家畜管理学、畜産物利用学、畜産経営一般
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	筆記試験の成績と、他の試験の成績（事務（行政A、福祉、児童福祉、情報）及び技術の場合は面接試験の成績、事務（行政 B）の場合は集団討論試験の成績）を総合して決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の結果により決定し、第1次試験の成績は反映されません。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	面接試験・集団討論対象者数	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 A	40	615	515	208	170	158	72	7.2
行 政 B	5	228	169	48	30	29	10	16.9
土 木	12	41	33	27	25	25	14	2.4
建 築	6	18	15	13	12	12	9	1.7
電 気	6	16	12	10	8	8	6	2.0
機 械	4	12	11	11	10	9	6	1.8
化 学	若干名	11	10	9	8	8	3	3.3
造 園	4	19	18	14	12	12	6	3.0
畜 産	若干名	28	23	12	10	9	1	23.0
農 業	若干名	8	6	5	5	5	2	3.0

事務

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月13日（火）～5月11日（火）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	7月6日（火）
2 次 試 験 日	7月12日（月）～7月15日（木）
2次試験合格発表日	7月28日（水）
3 次 試 験 日	8月2日（月）～8月11日（水）（土曜、祝日・休日を除く。）
最 終 合 格 発 表 日	8月23日（月）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	一般教養	事務	150 分	択一式(50 問) 大学卒業程度の一般的知識及び一般的知能についての筆記試験
2次試験	論 文	事務	60 分	与えられた課題に対する論文(字数 750 字以内) ※1 次試験日に実施
	面 談	事務	—	個別面談(一部屋に 3～6 組、机をはさんだ対面式)
3次試験	面 接	事務	—	個別面接

●配点比率（令和3年度）

事務									
1次試験		2次試験			3次試験				
一般教養	合計	面談	論文	合計	一般教養(1次)	面談(2次)	論文(2次)	面接(3次)	合計
510	510	200	100	300	15	30	15	600	660

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
一 般 教 養	事務	一般的知識(法律・政治、経済、社会・一般事情など) 一般的知能(文章理解、英文理解、判断推理、数的推理、資料解釈など)

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験(一般教養)の結果により決定します。
2 次 試 験	面談及び論文の結果により決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験及び第2次試験の結果と第3次試験(面接)の結果を総合して決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次合格者	最終合格者	最終倍率
事 務	220	2561	2000	1012	693	386	5.2

心理、土木、建築、機械、電気、農業、造園、環境、学校事務

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者（「心理」は資格要件あり）

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月13日（火）～5月11日（火）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	7月6日（火）
2 次 試 験 日	7月16日（金）～7月30日（金）（土日・祝日を除く。）
最 終 合 格 発 表 日	土木、建築、機械、電気、農業、造園、環境、学校事務：8月6日（金） 心理：8月23日（月）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	一般教養	学校事務	150 分	択一式(50 問) 大学卒業程度の一般的知識及び一般的知能についての筆記試験
		心理、土木、建築、機械、電気、農業、造園、環境	120 分	択一式(40 問) 大学卒業程度の一般的知識及び一般的知能についての筆記試験
	専 門	心理、土木、建築、機械、電気、農業、造園、環境	120 分	択一式(40 問) 専門的知識についての筆記試験
2次試験	論 文	心理、土木、建築、機械、電気、農業、造園、環境、学校事務	60 分	記述式(字数 750 字以内) 与えられた課題に対する論文 ※1次試験日に実施
	面 接	心理、土木、建築、機械、電気、農業、造園、環境、学校事務	—	個別面接

●配点比率（令和3年度）

学校事務					
1次試験		2次試験			
一般教養	合計	一般教養(1次)	面接	論文	合計
510	510	40	300	100	440

心理、土木、建築、機械、電気、農業、造園、環境							
1次試験			2次試験				
一般教養	専門	合計	一般教養(1次)	専門(1次)	面接	論文	合計
400	400	800	20	20	300	100	440

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	学校事務、心理、土木、建築、機械、電気、農業、造園、環境	一般的知識(法律・政治、経済、社会・一般事情など) 一般的知能(文章理解、英文理解、判断推理、数的推理、資料解釈など)
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学
専 門 試 験	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計(都市・地方計画を含む。)、造園関連基礎
	環境	数学・物理、化学・生物、環境科学、生物化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、物理化学、化学工学

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験(学校事務は教養、その他の試験区分は教養・専門)の結果により決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験の結果と、第2次試験(面接及び論文)の結果を総合して決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
心 理	25	61	49	45	17	2.9
土 木	70	106	90	81	44	2.0
建 築	10	49	39	27	11	3.5
機 械	10	24	17	15	9	1.9
電 気	10	26	17	14	7	2.4
農 業	数人	22	18	9	4	4.5
造 園	5	26	22	10	4	5.5
環 境	数人	27	21	9	3	7.0

川崎市

総合筆記試験

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者（「心理」は資格要件あり）

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月14日（水）～5月12日（水）
筆記試験日	6月20日（日）
面談試験対象者発表日	6月28日（月）
面談試験日	7月5日（月）～7月10日（土）
1次試験合格発表日	7月15日（木）
2次試験日	小論文試験 7月30日（金） 面接試験 7月26日（月）～8月13日（金）
最終合格発表日	8月19日（木）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	総合筆記試験	行政事務、心理、学校事務、土木、電気、機械、造園、建築、化学	180分	択一式(60問) 知能系 20 問程度、知識系 40 問程度
	面談試験	行政事務、心理、学校事務、土木、電気、機械、造園、建築、化学	20 分程度	机を挟んだ対話形式(2対1)の個別面談を行い、人物的な側面、仕事に対する意欲・適性、コミュニケーション能力などを評価します。
2次試験	面接試験	行政事務、心理、学校事務、土木、電気、機械、造園、建築、化学	30 分程度	【個別面接】 個別面接(3 対 1)を行い、人物的な側面、仕事に対する意欲・適性、コミュニケーション能力などを評価します。
	小論文試験	行政事務、学校事務	80 分	一般的な行政課題や時事問題などの課題を与え、問題意識、論理性、表現力などを評価します。(1,000 字以上、1,200 字以内)

●配点比率（令和3年度）

行政事務、心理、学校事務、土木、電気、機械、造園、建築、化学	
第1次試験	第2次試験
300	700

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
総合筆記試験 (知能系)	行政事務、心理、学校事務、土木、電気、機械、造園、建築、化学	文章理解(現代文・英文)、判断推理、数的処理、資料解釈
総合筆記試験 (知識系)	行政事務、学校事務	法律(憲法・民法・行政法)、政治、経済、社会事情、財政
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計(都市・地方計画を含む。)、造園関連基礎
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学

●合格者の決定方法（令和3年度）

1次試験	各試験科目の結果を総合して決定します。
最終合格者	第1次試験及び第2次試験の結果を総合して決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	面談対象者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
行政事務	105	1247	836	602	363	251	3.3
心理	若干名	24	18	15	10	6	3.0
学校事務	5	46	31	15	11	6	5.2
土木	15	49	34	29	21	16	2.1
電気	10	31	18	13	10	8	2.3
機械	10	20	13	10	9	8	1.6
造園	若干名	19	13	10	8	4	3.3
建築	5	34	22	17	12	11	2.0
化学	若干名	31	18	10	7	5	3.6

相模原市

【教 養】 その他
【専 門】 ー

行政

●受験資格（令和3年度）

共 通	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月15日(木)～5月13日(木)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	6月24日(木)
2 次 試 験 日 (論述試験・適性検査)	7月4日(日)
個別面談対象者発表	7月14日(水)
2次試験日(個別面談)	7月中旬～7月下旬
2次試験合格発表日	7月29日(木)
3 次 試 験 日	8月上旬
最 終 合 格 発 表 日	8月25日(水)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政	ー	択一式(30問)
2次試験	論述試験	行政	ー	与えられた状況設定(ケース)に対して、発生している問題とその原因・解決策を記述する問題です。 ※対象者に郵送する面接カードを記入して持参。
	適性検査	行政	ー	事務能力診断検査など ※対象者に郵送する面接カードを記入して持参。
	個別面談	行政	ー	対象者は論述試験、適性検査の結果により決定します。
3次試験	個別面接	行政	ー	個別面接

●配点比率（令和3年度）

行政			
教養	論述	個別面談(2次)	個別面接(3次)
120	100	240	240

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政	社会及び時事に関する問題、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈など

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の結果により決定します。
2 次 試 験	第2次試験の結果により決定します。(第1次試験の結果は反映されません。)
最 終 合 格 者	第3次試験の合格者は、第3次試験の結果により決定します。(第1、2次試験の結果は反映されません。)

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政	56	737	559	292	283	121	117	61	9.2

学校事務

●受験資格（令和3年度）

共 通	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月15日(木)～5月13日(木)
1次試験日(教養試験)	6月20日(日)
個別面談及び適性検査 対 象 者 発 表 日	6月24日(木)
1 次 試 験 日 (適性検査・個別面談)	適性検査 7月4日(日) 個別面談 7月5日(月)
1次試験合格発表日	7月8日(木)
2 次 試 験 日	7月下旬
最 終 合 格 発 表 日	8月12日(木)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	学校事務	—	択一式(30問)
	適性検査	学校事務	—	事務能力診断検査など
	個別面談	学校事務	—	個別面談 ※対象者に郵送する面接カードを記入して持参。
2次試験	個別面接	学校事務	—	個別面接

●配点比率（令和3年度）

学校事務		
教養	個別面談	個別面接
120	180	240

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	学校事務	社会及び時事に関する問題、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈など

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の結果により決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の結果により決定します。(第1次試験の結果は反映されません。)

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
学 校 事 務	6	73	61	11	11	6	10.1

土木、建築、設備

●受験資格（令和3年度）

共 通	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月15日(木)～5月13日(木)
1次試験日(専門試験)	6月20日(日)
個別面談及び適性検査 対 象 者 発 表 日	7月5日(月)
1 次 試 験 日 (適性検査・個別面談)	適性検査 7月10日(土) 個別面談 7月13日(火)
1次試験合格発表日	7月16日(金)
2 次 試 験 日	7月下旬
最 終 合 格 発 表 日	8月12日(木)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	専門試験	土木、建築、設備	—	記述式(4問)及び択一式(40問)
	適性検査	土木、建築、設備	—	事務能力診断検査など
	個別面談	土木、建築、設備	—	個別面談 ※対象者に郵送する面接カードを記入して持参。
2次試験	個別面接	土木、建築、設備	—	個別面接

●配点比率（令和3年度）

土木、建築、設備			
専門択一	専門記述	個別面談(1次)	個別面接(2次)
120	120	180	240

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工など
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工など
	設備	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工など

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の結果により決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の結果により決定します。(第1次試験の結果は反映されません。)

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
土 木	15	30	22	7	7	5	4.4
建 築	6	9	8	2	1	1	8.0
設 備	若干名	5	4	2	2	1	4.0

心理

●受験資格（令和3年度）

共 通	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者(資格要件あり)

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月15日(木)～5月13日(木)
1次試験日(専門試験)	6月20日(日)
個別面談及び適性検査 対 象 者 発 表 日	6月24日(木)
1 次 試 験 日 (適性検査・個別面談)	適性検査 7月4日(日) 個別面談 7月5日(月)
1次試験合格発表日	7月8日(木)
2 次 試 験 日	7月下旬
最 終 合 格 発 表 日	8月12日(木)

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	専門試験	心理	—	択一式(40問)
	適性検査	心理	—	事務能力診断検査など
	個別面談	心理	—	個別面談 ※対象者に郵送する面接カードを記入して持参。
2次試験	個別面接	心理	—	個別面接

●配点比率（令和3年度）

心理		
専門択一	個別面談(1次)	個別面接(2次)
120	180	240

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専 門 試 験	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学など

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の結果により決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の結果により決定します。(第1次試験の結果は反映されません。)

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
心 理	若干名	22	17	6	6	4	4.3

新潟市

【教 養】 全国型
【専 門】 全国型

一般行政 A、一般行政 B

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成5年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月26日(月)～5月14日(金)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	6月30日(水)
2 次 試 験 日	7月6日(火)～7月8日(木)
2次試験合格発表日	7月16日(金)
3 次 試 験 日	論文試験・適性検査 7月27日(火) 個別面接試験(2回) 8月16日(月)～8月20日(金)
最終合格発表日	8月27日(金)

●試験概要（令和3年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	一般行政 A、一般行政 B	120 分 択一式(40 問) 公務員として必要な大学卒業程度の一般知識及び知能についての筆記試験
	専門試験	一般行政 A	120 分 択一式(40 問) 公務員として必要な大学卒業程度の専門的知識及び能力についての筆記試験
2次試験	面接試験	一般行政 A、一般行政 B	— 個別面接
3次試験	論文試験	一般行政 A、一般行政 B	60 分 記述式(1,200 字程度)
	適性検査	一般行政 A、一般行政 B	— 適性検査
	面接試験	一般行政 A、一般行政 B	— 個別面接(2回)

●配点比率（令和3年度）

一般行政 A				
教養試験	専門試験	面接試験(2次)	面接試験(3次)	論文試験
80	120	80	280	70
一般行政 B				
教養試験	面接試験(2次)	面接試験(3次)	論文試験	
80	80	280	70	

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	一般行政 A、一般行政 B	社会、人文及び自然に関する一般知識並びに文章理解、判断推理、数的推理及び資料解釈に関する一般知識並びに現代の社会に関する問題
専 門 試 験	一般行政 A	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の結果により決定します。
2 次 試 験	第2次試験の結果により決定します。(第1次試験の結果は反映されません。)
3 次 試 験	第3次試験の結果により決定します。(第1次試験及び第2次試験の結果は反映されません。)

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
一 般 行 政 A	10	178	136	71	66	24	21	10	13.6
一 般 行 政 B	3	76	51	23	22	8	5	3	17.0

土木、土木（水道）、建築、電気、電気（水道）、機械、機械（水道）、化学、化学（水道）、農業、心理

●受験資格（令和3年度）

心 理 以 外	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者
心 理	昭和56年4月2日以降に生まれた者（別途資格要件あり）

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月26日（月）～5月14日（金）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	6月30日（水）
2 次 試 験 日	論文試験・適性検査 7月5日（月） 面接試験 7月20日（火）～8月6日（金）
最 終 合 格 発 表 日	8月13日（金）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	土木、土木（水道）、建築、電気、電気（水道）、機械、機械（水道）、化学、化学（水道）、農業、心理	120 分	択一式（40 問） 公務員として必要な大学卒業程度の一般知識及び知能についての筆記試験
	専門試験	土木、土木（水道）、建築、電気、電気（水道）、機械、機械（水道）、化学、化学（水道）、農業、心理	120 分	択一式（40 問） 公務員として必要な大学卒業程度の専門的知識及び能力についての筆記試験
2次試験	論文試験	土木、土木（水道）、建築、電気、電気（水道）、機械、機械（水道）、化学、化学（水道）、農業、心理	60 分	記述式（1,200 字程度）
	適性検査	土木、土木（水道）、建築、電気、電気（水道）、機械、機械（水道）、化学、化学（水道）、農業、心理	—	適性検査
	個別面接試験	土木、土木（水道）、建築、電気、電気（水道）、機械、機械（水道）、化学、化学（水道）、農業、心理	—	個別面接（2回）

●配点比率（令和3年度）

土木、土木（水道）、建築、電気、電気（水道）、機械、機械（水道）、化学、化学（水道）、農業、心理			
教養試験	専門試験	面接試験	論文試験
80	120	280	70

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	土木、土木(水道)、建築、電気、電気(水道)、機械、機械(水道)、農業、心理	社会、人文及び自然に関する一般知識並びに文章理解、判断推理、数的推理及び資料解釈に関する一般知識並びに現代の社会に関する問題
専 門 試 験	土木、土木(水道)	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	電気、電気(水道)	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電子工学、電気機器・電力工学、情報・通信工学
	機械、機械(水道)	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械設計、機械力学・制御、機械材料、機械工作
	化学、化学(水道)	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む)、応用心理学(教育心理学、産業心理学、臨床心理学)、調査・研究法、統計学

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の結果により決定します。
2 次 試 験	第2次試験の結果により決定します。(第1次試験の結果は反映されません。)

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
土 木	4	11	10	10	9	4	2.5
土 木 (水 道)	2	3	2	1	1	1	2.0
建 築	1	8	5	5	5	1	5.0
電 気	1	3	2	2	1	0	-
電 気 (水 道)	3	2	1	1	1	0	-
機 械	2	5	4	4	4	2	2.0
機 械 (水 道)	2	1	1	1	1	1	1.0
化 学	1	9	7	5	5	1	7.0
化 学 (水 道)	1	4	3	3	3	1	3.0
農 業	1	12	10	8	8	1	10.0
心 理	2	19	15	10	7	3	5.0

事務 A、事務 B、心理、土木、建築、電気、機械、化学、小中学校事務

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者(心理は別途資格要件あり)

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月27日(火)～5月18日(火)
筆 記 試 験 日	6月20日(日)
筆記試験合格発表日	6月30日(水)
1 次 面 接 試 験 日	7月5日(月)～7月16日(金)
1次試験合格発表日	7月26日(月)
2 次 試 験 日	筆記試験・適性検査 7月31日(土) 面接試験 技術職:8月4日(水)又は8月5日(木) 技術職以外:8月5日(木)～8月27日(金)
最 終 合 格 発 表 日	技術職以外:9月上旬 技術職:8月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	事務 A、小中学校事務	150 分	択一式(55 問) 大学卒業程度の一般的知識及び知能についての択一式筆記試験
	専門試験	事務 B	150 分	択一式(55 問) 大学卒業程度の専門的知識についての択一式筆記試験
		心理、土木、建築、電気、機械、化学	120 分	択一式(40 問) 大学卒業程度の専門的知識についての択一式筆記試験
	面接試験	事務 A、事務 B、心理、小中学校事務	—	職務適性、対人関係能力等についてのグループワーク試験
		土木、建築、電気、機械、化学	—	職務適性、対人関係能力等についての個別面接試験
2次試験	面接試験	事務 A、事務 B、心理、土木、建築、電気、機械、化学、小中学校事務	—	主として人物、識見等についての個別面接試験 ※事務 A、事務 B は1日に2回実施します。
	筆記試験	事務 A、事務 B、心理、小中学校事務	60 分	記述式(85 問) 一般教養(漢字の読み書き、計算等)、時事及び市政に関する記述式筆記試験 ※時事及び市政に関する記述式筆記試験の出題形式は穴埋めとします。
	適性検査	事務 A、事務 B、小中学校事務	10 分	社会性、職業生活への適応性等についての検査

●配点比率（令和3年度）

事務 A			
教養試験	グループワーク	筆記試験	個別面接
100	105	70	600
事務 B、心理			
専門試験	グループワーク	筆記試験	個別面接
100	105	70	600
土木、建築、電気、機械、化学			
専門試験	個別面接		個別面接
100	105		400
小中学校事務			
教養試験	グループワーク	筆記試験	個別面接
100	105	70	400

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	事務 A、小中学校事務	一般的知識：社会科学・人文科学・自然科学・現代社会 一般的知能：文章理解・判断推理・数的推理・資料解釈
専 門 試 験	事務 B	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、経済・経営学、財政学、社会政策、国際関係
	心理	一般心理学（心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。）、応用心理学（教育心理学・産業心理学・臨床心理学）、調査・研究法、統計学
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第2次試験の結果のみで決定します（第1次試験の結果は反映されません）。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	筆記試験受験者	面接試験対象者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
事 務 A	90	494	401	259	158	152	97	4.1
事 務 B		38	24	17	8	8	4	6.0
心 理	3	10	8	6	5	5	2	4.0
土 木	10	21	16	13	10	10	8	2.0
建 築	5	7	7	7	6	6	4	1.8
電 気	若干名	5	5	4	3	3	1	5.0
機 械	3	7	5	3	3	3	2	2.5
化 学	若干名	11	10	10	6	6	1	10.0
小 中 学 校 事 務	4	24	21	18	12	12	4	5.3

事務（創造力枠）

●受験資格（令和3年度）

共 通	昭和56年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月27日（火）～5月18日（火）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	7月26日（月）
2 次 試 験 日	適性検査 7月27日（火）～8月6日（金） プレゼンテーション面接試験 8月22日（日）
最 終 合 格 発 表 日	9月上旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験(SPI)	事務(創造力枠)	70 分	択一式(70問) 一般的な知識及び知能についての択一式筆記試験
	論文試験	事務(創造力枠)	90 分	記述式(1,200字程度) これまでの経験を通じて培った知識や能力等をアピールする記述試験
2次試験	適性検査	事務(創造力枠)	10 分	社会性、職業生活への適応性等についての検査
	プレゼンテーション面接試験	事務(創造力枠)	—	・誰にも負けない「経験・能力・知識」を市政にどのように活かすことができるかについてのプレゼンテーション ・人物、知識、識見等についての個別面接試験

●配点比率（令和3年度）

事務(創造力枠)		
基礎能力試験	論文試験	プレゼンテーション面接試験
100	150	400

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	事務(創造力枠)	SPI

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第2次試験の結果のみで決定します。（第1次試験の結果は反映されません。）

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
事務（創造力枠）	若干名	50	35	10	10	2	17.5

行政 A、学校事務、土木 A、建築、電気、機械、化学

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成5年4月2日以降に生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	5月6日（木）～5月28日（金）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	7月上旬
2 次 試 験 日	7月中旬
2次合格発表日	8月上旬
3 次 試 験 日	8月中旬
最終合格発表日	8月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政 A、学校事務、土木 A、 建築、電気、機械、化学	—	択一式(50問) 公務員として必要な一般知識及び知能について、筆記試験を行います。
	専門試験	行政 A、学校事務、土木 A、 建築、電気、機械、化学	—	択一式(40問) 専門的知識及び能力について、筆記試験を行います。
	性格検査	行政 A、学校事務、土木 A、 建築、電気、機械、化学	—	面接試験の参考とするため、職務遂行上必要な素質、適性等について、主に性格的な面から検査します。
2次試験	面接試験	行政 A、学校事務、土木 A、 建築、電気、機械、化学	—	人柄、意欲、対人関係能力等について面接試験を行います。
	事務適性検査	行政 A、学校事務、土木 A、 建築、電気、機械、化学	—	職務遂行上必要な職員としての適応性を、正確さ、迅速さ等の作業能力の面から検査します。
	職場適応性検査	行政 A、学校事務、土木 A、 建築、電気、機械、化学	—	第3次試験での面接試験の参考資料とするため、職務遂行上必要な職場への適応性を職務や対人関係に関連する性格的な面から検査します。
3次試験	面接試験	行政 A、学校事務、土木 A、 建築、電気、機械、化学	—	人柄、意欲、対人関係能力等について、面接試験を行います。
	小論文	行政 A、学校事務、土木 A、 建築、電気、機械、化学	—	課題の理解力、表現力、文章構成力等について、論述試験を行います。

●配点比率（令和3年度）

行政 A、学校事務					
教養試験	専門試験	面接試験(2次)	事務適性検査	面接試験(3次)	小論文
1	1	3	1	3	1

土木 A、建築、電気、機械、化学					
教養試験	専門試験	面接試験(2次)	事務適性検査	面接試験(3次)	小論文
2	3	3	1	3	1

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政 A、学校事務、土木 A、建築、電気、機械、化学	大学卒業程度の社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈、現代の社会に関する問題
専 門 試 験	行政 A、学校事務	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学、教育学
	土木 A	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・防御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学

●合格者の決定方法（令和3年度）

合 格 者	それぞれの試験段階において、各試験科目の得点を合計したものによって決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	受験者	1次合格者	2次合格者	最終合格者	最終倍率
行 政 A	46	194	146	80	53	35	4.2
学 校 事 務	4	17	13	10	4	4	3.3
土 木 A	12	13	9	8	4	3	3.0
建 築	9	10	7	7	5	4	1.8
電 気	若干名	2	1	1	1	1	1.0
機 械	若干名	3	3	3	1	1	3.0
化 学	若干名	5	5	3	2	0	-

行政B、土木B

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成5年4月2日以降に生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	3月5日(金)～4月9日(金)
1次試験日	4月25日(日)
1次試験合格発表日	5月上旬
2次試験日	5月下旬
2次合格発表日	6月上旬
3次試験日	6月中旬
最終合格発表日	6月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	適性検査(SPI3)	行政B、土木B	—	言語的理解、論理的思考、数量的処理など公務の遂行に必要な基礎能力について、SPI3による筆記試験を行います。また、面接試験の参考とするため、職務遂行上必要な資質、適性等について、主に性格的な面から検査します。
	専門試験	土木B	—	択一式(40問) 専門的知識及び能力について、筆記試験を行います。
2次試験	面接試験	行政B、土木B	—	人柄、意欲、対人関係能力等について面接試験を行います。
	事務適性検査	行政B、土木B	—	職務遂行上必要な職員としての適応性を、正確さ、迅速さ等の作業能力の面から検査します。
	職場適応性検査	行政B、土木B	—	第3次試験での面接試験の参考資料とするため、職務遂行上必要な職場への適応性を職務や対人関係に関連する性格的な面から検査します。
3次試験	面接試験	行政B、土木B	—	人柄、意欲、対人関係能力等について、面接試験を行います。
	小論文	行政B、土木B	—	課題の理解力、表現力、文章構成力等について、論述試験を行います。

●配点比率（令和3年度）

行政B					
適性検査SPI3	面接試験(2次)	事務適性検査	面接試験(3次)	小論文	
1	3	1	3	1	

土木B					
適性検査SPI3	専門試験	面接試験(2次)	事務適性検査	面接試験(3次)	小論文
2	3	3	1	3	1

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
適性検査	行政B、土木B	SPI3
専門試験	土木B	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工

●合格者の決定方法（令和3年度）

合格者	それぞれの試験段階において、各試験科目の得点を合計したものによって決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	受験者	1次合格者	2次合格者	最終合格者	最終倍率
行政B	15	455	278	69	31	19	14.6
土木B	5	31	28	18	7	3	9.3

※¹行政一般：全国型／法律：その他／経済：その他

※²行政一般：－／法律：法律専門型／経済：経済専門型

行政 A、行政 B

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月22日（木）～5月10日（月）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1 次 試 験 合 格 発 表 日	6月30日（水）
2 次 試 験 日 （ 個 別 面 接 ① ）	7月8日（木）～7月18日（日）
個別面接②対象者発表日	7月20日（火）
2 次 試 験 日 （ 個 別 面 接 ② ）	7月31日（土）～8月11日（水）
最 終 合 格 発 表 日	8月17日（火）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政 A	150 分	択一式(50 問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能をみる試験
		行政 B	90 分	択一式(30 問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能をみる試験
	専門試験	行政 B	150 分	択一式(80 問中 40 問) 各試験区分に応じた専門的な知識をみる試験
2次試験	論文試験	行政 A、行政 B	60 分	与えられた課題についての記述式試験 ※第1次試験日に実施
	口述試験	行政 A、行政 B	－	個別面接①、個別面接②

●配点比率（令和3年度）

行政 A				
教養試験	論文試験	個別面接①	個別面接②	
600	600	600	1,200	

行政 B				
教養試験	専門試験	論文試験	個別面接①	個別面接②
210	390	600	600	1200

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政 A	【知識分野(25 問必須解答)】人文科学、自然科学、社会科学《時事問題、名古屋に関する事項等を含む》 【知能分野(25 問必須解答)】文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
	行政 B	【知識分野(15 問必須解答)】社会科学《時事問題、名古屋に関する事項等を含む》 【知能分野(15 問必須解答)】文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
専 門 試 験	行政 B	(80 問中 40 問選択回答) 憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済原論、財政学、経済史、統計学、経済事情、経済政策、政治学、行政学、社会政策、国際関係

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第1次試験及び第2次試験の得点を合計して決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分			採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者数	個別面接2対象者	最終合格者	最終倍率
行	政	A	110	890	630	361	227	143	4.4
行	政	B	110	626	458	332	225	166	2.8

心理、土木、建築、機械、電気、応用化学、造園、研究（機械）、研究（電子）、研究（応用化学）、研究（生物）、学校事務

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者（「心理」は資格要件あり）

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月22日（木）～5月10日（月）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1 次 試験 合格 発表 日	6月30日（水）
2 次 試 験 日	7月21日（水）～7月28日（水）
最 終 合 格 発 表 日	8月17日（火）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	心理、土木、建築、機械、電気、応用化学、造園、研究（機械）、研究（電子）、研究（応用化学）、研究（生物）	90 分	択一式(30 問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能をみる試験
		学校事務	150 分	択一式(50 問) 公務員として必要な一般的な知識及び知能をみる試験
	専門試験	心理、土木、建築、機械、電気、応用化学、造園	120 分	択一式(40 問) 各試験区分に応じた専門的な知識をみる試験
		研究（機械）、研究（電子）、研究（応用化学）、研究（生物）	60 分	択一式(20 問) 研究職として必要とされる各試験区分の分野に関連する知識をみる試験
2次試験	論文試験	心理、土木、建築、機械、電気、応用化学、造園、研究（機械）、研究（電子）、研究（応用化学）、研究（生物）、学校事務	60 分	与えられた課題についての記述式試験 ※第1次試験日に実施
	口述試験	心理、土木、建築、機械、電気、応用化学、造園、研究（機械）、研究（電子）、研究（応用化学）、研究（生物）、学校事務	—	個別面接
		研究（機械）、研究（電子）、研究（応用化学）、研究（生物）	—	専門面接（専門分野に関する個別面接）

●配点比率（令和3年度）

心理、土木、建築、機械、電気、応用科学、造園			
教養試験	専門試験	論文試験	口述試験
210	390	600	1,800

研究（機械）、研究（電子）、研究（応用化学）、研究（生物）				
教養試験	専門試験	論文試験	専門面接	個別面接
210	390	600	900	900

学校事務		
教養試験	論文試験	口述試験
600	600	1,800

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	心理、土木、建築、機械、電気、応用化学、造園、研究（機械）、研究（電子）、研究（応用化学）、研究（生物）	【知識分野(15問必須解答)】社会科学(時事問題、名古屋に関する事項等含む) 【知能分野(15問必須解答)】文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
	学校事務	【知識分野(25問必須解答)】人文科学、自然科学、社会科学(時事問題、名古屋に関する事項等含む) 【知能分野(25問必須解答)】文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
専 門 試 験	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	応用化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計(都市・地方計画を含む)、造園関連基礎

●合格者の決定方法（令和3年度）

最 終 合 格 者	第1次試験及び第2次試験の得点を合計して決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分		採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
心	理	10	37	27	21	13	2.1
土	木	35	78	56	43	32	1.8
建	築	25	34	23	22	16	1.4
機	械	10	28	18	13	8	2.3
電	気	10	25	19	17	7	2.7
応 用 化 学		若干名	21	15	7	3	5.0
造 園		若干名	7	7	5	4	1.8
研 究 (機 械)		若干名	3	3	3	2	1.5
研 究 (電 子)		若干名	4	2	1	0	-
研 究 (応 用 科 学)		若干名	10	6	5	1	6.0
研 究 (生 物)		若干名	9	7	7	1	7.0
学 校 事 務		10	76	55	27	13	4.2

一般方式（行政）

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	5月14日（金）～6月1日（火）
筆 記 試 験 日	6月20日（日）
口述試験対象者発表日	6月下旬
1 次 口 述 試 験 日	7月上旬
1次試験合格発表日	7月上旬
2 次 試 験 日	7月下旬～8月上旬
2次試験合格発表日	8月中旬
3 次 試 験 日	8月中旬～下旬
最終合格発表日	8月下旬～9月上旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政	90 分	択一式(30 問)
	専門試験	行政	90 分	択一式(40 問中 30 問解答)
	作文試験	行政	40 分	専門知識ではなく、一般的な内容を問うもの(600 字以内) ※評価は2次試験で実施
	口述試験	行政	—	個別面接
2次試験	口述試験	行政	—	個別面接
3次試験	口述試験	行政	—	個別面接

●配点比率（令和3年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	行政	文章理解, 判断推理, 数的推理, 資料解釈などの一般知能分野及び時事問題等
専 門 試 験	行政	政治学, 行政学, 憲法, 行政法, 民法, 労働法, 経済学, 財政学, 経営学, 社会政策, 国際関係

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 口 述 試 験	教養試験、専門試験の総合得点で決定
1 次 試 験	教養試験、専門試験、第1次口述試験の総合成績で決定
2 次 試 験	作文試験、第2次口述試験の総合成績で決定
最 終 合 格 者	第3次口述試験の成績で決定

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	受験者	1次試験合格者	1次合格者	2次合格者	最終合格者	最終倍率
行政（一般方式）	100	528	433	298	224	147	100	4.3
行政		41	29	18	11	5	4	7.3

一般方式（土木、建築、電気、機械、化学、畜水産（畜産）、環境）

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	5月14日(金)～6月1日(火)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1 次 試 験 合 格 発 表 日	6月下旬
2 次 試 験 日	7月上旬～7月中旬
最 終 合 格 発 表 日	8月上旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	土木、建築、電気、機械、化学、畜水産(畜産)、環境	90 分	択一式(30 問)
	専門試験	土木、建築、電気、機械、化学、畜水産(畜産)、環境	105 分	択一式(40 問)
	作文試験	土木、建築、電気、機械、化学、畜水産(畜産)、環境	40 分	専門知識ではなく、一般的な内容を問うもの(600 字以内) ※評価は第2次試験で行います。
2次試験	口述試験	土木、建築、電気、機械、化学、造園、畜水産(畜産)、環境	—	個別面接

●配点比率（令和3年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	土木、建築、電気、機械、化学、畜水産(畜産)、環境	文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈などの一般知能分野及び時事問題等
専 門 試 験	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
	畜水産(畜産)	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼料学、分類学、動物生態学、保全生物学、動物行動学、動物衛生学
	環境	数学・物理、環境政策、環境工学、環境汚染対策、廃棄物対策、地球環境対策、環境教育・学習、自然環境保全対策、無機化学、有機化学

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	教養試験、専門試験の総合得点で決定
最 終 合 格 者	作文試験、口述試験の総合成績で決定

●試験実施状況（令和3年度）

区分		採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
土	木	10	20	9	8	5	1.8
建	築	5	27	15	11	4	3.8
電	気	5	20	10	8	2	5.0
機	械	若干名	13	10	6	1	10.0
化	学	若干名	12	11	4	1	11.0
畜水産（畜産）		若干名	38	31	12	4	7.8
環	境	5	14	11	9	2	5.5

一般方式（心理職員）

●受験資格（令和3年度）

心 理 職 員	昭和61年4月2日以降に生まれた者(別途資格要件あり)

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	5月14日(金)～6月1日(火)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	6月下旬
2 次 試 験 日	7月下旬～8月上旬
最 終 合 格 発 表 日	8月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	心理職員	90 分	択一式(30 問)
	専門試験	心理職員	105 分	択一式(40 問)
	作文試験	心理職員	40 分	専門知識ではなく、一般的な内容を問うもの(600 字以内) ※評価は第2次試験で行います。
2次試験	口述試験	心理職員	—	個別面接

●配点比率（令和3年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目		区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	心理職員		文章理解, 判断推理, 数的推理, 資料解釈などの一般知能分野及び時事問題等
専 門 試 験	心理職員		一般心理学(心理学史, 発達心理学, 社会心理学を含む。), 応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学), 調査・研究法, 統計学

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	教養試験、専門試験の総合得点で決定
最 終 合 格 者	作文試験、口述試験の総合成績で決定

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
心 理 職 員	若干名	31	18	10	3	6.0

京都方式（行政）

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成7年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	3月1日（月）～4月12日（月）
1 次 試 験 日	5月6日（木）、7日（金）、10日（月）～12日（水）
1次試験合格発表日	5月中旬
2 次 試 験 日	5月下旬
2次試験合格発表日	6月上旬
3 次 試 験 日	6月7日（月）
3次試験合格発表日	6月中旬
4 次 試 験 日	6月20日（日）
最終合格発表日	6月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	口述試験	行政	—	個別面接
2次試験	口述試験	行政	—	個別面接
3次試験	基礎能力検査	行政	60分程度	言語的能力、数理的能力、論理的思考力及び英語知識
	グループディスカッション	行政	60分程度	特定のテーマについてグループで議論し、提案・発表を行うもの（テーマは試験当日に発表）
	課題作文	行政	60分	京都市政に関する内容を問うもの（課題は試験当日に発表） ※評価は第4次試験で行います。
4次試験	口述試験	行政	—	個別面接

●配点比率（令和3年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力検査	行政	言語的能力、数理的能力、論理的思考力及び英語知識

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次口述試験の成績で決定
2 次 試 験	第2次口述試験の成績で決定
3 次 試 験	基礎能力検査、グループディスカッションの総合成績で決定
最終合格者	課題作文、第4次口述試験の総合成績で決定

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次合格者	3次合格者	最終合格者	最終倍率
行 政	50	859	669	198	75	—	52	12.9

大阪市

【教 養】 適性試験
【専 門】 法律専門型

事務行政（22－25）

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成8年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月7日（水）～4月28日（水）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	7月8日（木）
2 次 試 験 日	7月27日（火）～7月30日（金）
最 終 合 格 発 表 日	8月11日（水）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	筆記試験	事務行政(22－25)	90 分	論文(行政)又は択一式(法律)の選択制となります。 申込み後に選択区分を変更することはできません。 【論文(行政)】記述式 企画提案に必要な論理的思考や発想力などを問います。 【択一式(法律)】(30問中25問) 法律面における素養(リーガルマインド)などを問います。
	適性試験	事務行政(22－25)	60 分程度	言語的理解力、数的処理能力及び論理的思考力などを問います。
2次試験	口述試験	事務行政(22－25)	－	個別面接を行います。

●配点比率（令和3年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
択一式（法律）	事務行政(22－25)	憲法、民法、行政法、刑法、政治学・行政学、社会事情について

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の結果を総合的に判定して決定します。
2 次 試 験	第1次試験及び第2次試験の結果を総合的に判定して決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
事務行政（22－25）	245	1924	1195	420	385	302	4.0

都市建設（主に土木）、建築、機械、電気、化学、造園

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月7日（水）～4月28日（水）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	7月2日（金）
2 次 試 験 日	7月20日（火）、21日（水）
最 終 合 格 発 表 日	8月11日（水）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	専門試験	都市建設（主に土木）、建築、機械、電気、化学、造園	90 分	択一式（15 問全問解答）及び各試験区分に応じた課題に対する専門知識、思考力などを問う小論文を行います。
	適性試験	都市建設（主に土木）、建築、機械、電気、化学、造園	60 分程度	言語的理解力、数的処理能力及び論理的思考力などを問います。
2次試験	口述試験	都市建設（主に土木）、建築、機械、電気、化学、造園	—	個別面接を行います。

●配点比率（令和3年度）

非公表

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専 門 試 験	都市建設（主に土木）	応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工など
	建築	建築計画、建築史、都市計画、構造力学、建築構造、建築設備、建築施工、材料学、環境原論など
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作など
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学など
	化学	物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学、生物化学、応用微生物学、環境科学など
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計（都市・地方計画を含む。）、造園関連基礎など

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の結果を総合的に判定して決定します。
2 次 試 験	第2次試験の結果を総合的に判定して決定します。（前段階の試験の成績は加算しません。）

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
都市建設（主に土木）	55	135	74	62	60	50	1.5
建 築	30	64	35	32	31	26	1.3
機 械	5	44	16	15	11	10	1.6
電 気	10	38	17	12	10	9	1.9
化 学	5	62	23	14	11	9	2.6
造 園	数名	11	6	6	6	3	2.0

事務（一般枠）、心理

●受験資格（令和3年度）

事 務（一 般 枠）	平成5年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者（学歴不問）
心	昭和61年4月2日以降に生まれた者（資格要件あり）

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	5月10日(月)～5月24日(月)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	6月下旬
2 次 試 験 日	筆記試験 7月11日(日) 面接試験 事務:7月26日(月)～7月30日(金) 心理:7月24日(土)または7月25日(日)
2次試験合格発表日	8月中旬
3 次 試 験 日	8月21日(土)または8月22日(日)
最終合格発表日	事務:8月下旬、心理:8月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基礎能力試験	事務(一般枠)、心理	90 分	択一式(30 問)
	専門試験	事務(一般枠)、心理	120 分	択一式(40 問)
2次試験	論文試験	事務(一般枠)	60 分	記述式(800 字程度)
	専門試験	心理	60 分	記述式(800 字程度) 専門分野に関する課題について記述するもの
	面接試験	事務(一般枠)、心理	—	個別面接
3次試験	面接試験	事務(一般枠)	—	個別面接

●配点比率（令和3年度）

事務(一般枠)						
試験区分	1次試験		2次試験		3次試験	合計
	基礎能力試験	専門試験	論文試験	面接試験	面接試験	
1次試験	60	80	—	—	—	140
2次試験	—	—	100	300	—	400
3次試験	—	—	50	150	300	500

心理					
試験区分	1次試験		2次試験		合計
	基礎能力試験	専門試験	専門試験	面接試験	
1次試験	60	80	—	—	140
2次試験	—	—	100	300	400

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎能力試験	事務(一般枠)、心理	文章理解・判断推理・数的推理・資料解釈に関する一般知能、現代の社会に関する問題等
専門試験	事務(一般枠)	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、行政学、経済学、経営学、財政学、政治学、社会政策、国際関係等
	心理	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学等

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	総合得点順に決定します。
2 次 試 験	第2次試験の結果を総合して決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の結果と第3次試験の結果を総合して決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
事 務（一 般 枠）	52	331	224	178	149	82	65	46	4.9
心 理	7	24	16	13	12	-	-	6	2.7

土木、建築、機械、電気、化学

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者（学歴不問）

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	3月15日（月）～3月29日（月）
1 次 試 験 日	4月17日（土）～4月27日（火）
1次試験合格発表日	5月7日（金）
2 次 試 験 日	専門試験・集団面接（土木のみ） 5月16日（日） 個別面接 5月29日（土）または5月30日（日）
最 終 合 格 発 表 日	6月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	適性試験（SPI3）	土木、建築、機械、電気、化学	65 分	択一式
2次試験	専門試験	建築	120 分	記述式・3問解答（3問中2問選択解答（各 400 字程度））・1問必須解答（800 字程度）
		土木、機械、電気、化学	60 分	記述式（800 字程度） 各試験区分の専門分野に関して出題された課題について記述するもの
	面接試験	土木	—	集団面接
		土木、建築、機械、電気、化学	—	個別面接

●配点比率（令和3年度）

土木				
試験区分	1次試験	2次試験		合計
	適性検査(SPI3)	専門試験	面接試験	
1次試験	100	—	—	100
2次試験	—	100	150（集団面接） 300（個別面接）	550

建築				
試験区分	1次試験	2次試験		合計
	適性検査(SPI3)	専門試験	面接試験	
1次試験	100	—	—	100
2次試験	—	150	300	450

機械、電気、化学				
試験区分	1次試験	2次試験		合計
	適性検査(SPI3)	専門試験	面接試験	
1次試験	100	—	—	100
2次試験	—	100	300	400

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	土木	構造力学、水理学、土質工学、土木材料、測量、都市計画、土木計画、衛生工学、土木施工、土木設計、交通・道路工学、橋梁工学、農学、造園等
	建築	建築計画、建築史、都市計画、建築環境工学、建築設備、構造力学、建築構造、建築材料、建築施工、建築法規 等
	機械	材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作等
	電気	電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学 等
	化学	物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学、環境化学 等

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	総合得点順に決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の結果を総合して決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
土 木	15	81	80	49	45	16	5.0
建 築	4	30	27	17	15	4	6.8
機 械	若干名	16	16	7	6	1	16.0
電 気	若干名	19	14	6	4	1	14.0
化 学	若干名	38	33	10	9	1	33.0

事務（プレゼン型）

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成5年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者（学歴不問）

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	3月15日（月）～3月29日（月）
1 次 試 験 日	4月17日（土）～4月27日（火）
1 次 試験 合格 発表 日	5月7日（金）
2 次 試 験 日	筆記試験 5月16日（日） 個別面接 6月5日（土）または6月6日（日）
最 終 合 格 発 表 日	6月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	適性検査（SPI3）	事務（プレゼン型） 65 分	択一式
2次試験	論文試験	事務（プレゼン型） 60 分	記述式（800 字程度） 出題された課題に対して記述するもの
	面接試験	事務（プレゼン型） —	個別面接①（プレゼンテーションを含む。） 個別面接②

●配点比率（令和3年度）

事務（プレゼン型）				
試験区分	1次試験	2次試験		合計
	適性検査（SPI3）	論文試験	面接試験	
1次試験	100	—	—	100
2次試験	—	100	個別面接①300 個別面接②300	700

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
適 性 検 査	事務（プレゼン型）	SPI3

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	総合得点順に決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の結果を総合して決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
事 務（ プ レ ゼ ン 型 ）	35	571	525	122	105	43	12.2

一般枠（総合事務、土木、建築、総合設備（電気、機械）水道技術（土木、電気、機械）、農業、造園、総合科学（化学、生物、環境、畜産、水産、生命科学））

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成6年4月2日以降に生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月22日(木)～5月21日(金)
1 次 試 験 日	6月20日(日)
1次試験合格発表日	7月上旬
2 次 試 験 日	7月13日(火)～7月16日(金)
2次試験合格発表日	8月上旬
3 次 試 験 日	8月10日(火)～8月13日(金)のいずれか2日
最 終 合 格 発 表 日	8月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	基 礎 的 能 力	一般枠	150 分	択一式(45 問中 40 問解答) 一般知能:25 問(必須解答) 一般知識 20 問中 15 問選択解答 基礎的能力について択一式により行います。
	専 門	一般枠	80 分	択一式(25 問) 試験区分及び選択科目に対応する専門的知識について択一式により行います。
	適性検査	一般枠	60 分程度	職務遂行に必要な適性について検査を行います。 (面接試験の参考とします。配点なし。)
2次試験	面 接	一般枠	—	個別面接により行います。
3次試験	面 接	一般枠	—	個別面接により行います。
	グループ ワ ー ク	一般枠	—	神戸市を含む基礎的自治体が抱える課題について、グループで議論し、提案・発表を行います。 テーマについては、試験当日に指示します。
	論 文	一般枠	—	論文題については、試験当日に指示します。

●配点比率（令和3年度）

総合事務、土木、建築、総合設備（電気、機械）水道技術（土木、電気、機械）、農業、造園、総合科学（化学、生物、環境、畜産、水産、生命科学）							
試験区分	1次試験		2次試験	3次試験			合計
	基礎的能力	専門	面接	グループワーク	面接	論文	
1次試験	160	140	—	—	—	—	300
2次試験	150		200	—	—	—	350
3次試験	150		200	100	200	100	750

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
基礎的能力	総合事務、土木、建築、総合設備（電気、機械）水道技術（土木、電気、機械）、農業、造園、総合科学（化学、生物、環境、畜産、水産、生命科学）	知能分野：文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈 知識分野：社会事情政治・法律、経済、社会一般事情、時事
専門試験	総合事務	憲法、行政法、民法、政治学、行政学、労働法、経済原論、財政学、経済政策、経済事情、経営学、会計学、マーケティング論、英語、国際関係論、国際経済学、国際経営論、教育学、数学、物理
	土木	応用力学、水理学、土質工学、材料・施工、都市計画、測量、土木計画
	建築	建築構造、構造力学、材料学、建築施工、建築設備、建築計画、環境原論、建築史、都市計画
	総合設備	電気 電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
		機械 材料力学、流体力学、熱力学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作、電気工学
	水道技術	土木 応用力学、水理学、土質工学、材料・施工、都市計画、測量、土木計画
		電気 電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
		機械 材料力学、流体力学、熱力学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作、電気工学
	農業	栽培学汎論、作物学、土壌肥料学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、農業経済一般
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園関連基礎、造園計画・設計（都市・地方計画を含む）
	総合科学	化学 物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学
		生物 生態学、系統分類学、自然環境保全、生物化学、分子生物学、細胞生物学
		環境 環境概論、環境政策、環境保全、環境汚染、廃棄物、地球環境、環境工学、物理・化学・生物
		畜産 家畜育種学、家畜繁殖学、家畜飼養学、家畜栄養学、家畜生理学、家畜管理学（家畜衛生学を含む）、畜産物利用学
		水産 水産事情・水産経済・水産法規、水産化学、水産利用学、水産生物学、水産資源学、増養殖学、水産環境科学
		生命科学 一般化学、分析化学、有機化学、生物有機化学、生物化学、土壌学・植物栄養学、食品科学、応用微生物学

●合格者の決定方法（令和3年度）

1次試験	第1次試験の成績により決定します。
2次試験	第1次試験の得点を2分の1に換算し、第2次試験との総合成績により決定します。
最終合格者	第1次試験の得点を2分の1に換算し、第2次試験及び第3次試験との総合成績により決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分		採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次合格者	最終合格者	最終倍率
総合事務		70	568	465	335	170	89	5.2
土木		8	21	18	17	11	9	2.0
建築		3	12	11	8	4	2	5.5
総合設備	電気	5	6	5	4	4	1	5.0
	機械		9	3	2	1	1	3.0
水道技術	土木	5	-	-	-	-	-	-
	電気		1	1	-	-	-	-
	機械		1	1	1	-	-	-
農業		若干名	7	5	4	2	1	5.0
造園		5	12	9	8	7	5	1.8
総合科学	化学	若干名	3	3	2	-	-	-
	生物		6	5	4	1	-	-
	環境		1	1	-	-	-	-
	畜産		2	2	2	-	-	-
	水産		1	1	1	1	-	-
	生命科学		2	1	1	-	-	-

特別枠（総合事務、土木、建築、総合設備（電気、機械））

●受験資格（令和3年度）

共	通	平成9年4月2日以降に生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	3月1日(月)～3月23日(火)
1次試験日	4月2日(金)～4月15日(木)
1次試験合格発表日	5月上旬
2次試験日	5月17日(月)～5月19日(水)
2次試験合格発表日	6月上旬
3次試験日	面接、グループワーク 6月10日(木)、6月11日(金) 時事問題、論文 6月20日(日)
最終合格発表日	6月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目	区分	解答時間	試験内容
1次試験	適性検査（SPI3）	特別枠（総合事務、土木、建築、総合設備（電気、機械）） 65分	〈基礎能力検査〉 言語的理解力、数的処理能力及び論理的思考力などの基礎能力を問います。 〈性格検査〉 職務遂行に必要な適性について検査を行います。（自宅で受験）
2次試験	面接	特別枠（総合事務、土木、建築、総合設備（電気、機械）） —	個別面接(web)により行います。
	アピールシート	特別枠（総合事務） —	申込時に添付。
3次試験	面接	特別枠（総合事務、土木、建築、総合設備（電気、機械）） —	個別面接により行います。
	グループワーク	特別枠（総合事務、土木、建築、総合設備（電気、機械）） —	神戸市を含む基礎的自治体が抱える課題について、グループで議論し、提案・発表を行います。テーマについては、試験当日に指示します。
	時事問題	特別枠（総合事務、土木、建築、総合設備（電気、機械）） 30分	択一式により行います。
	論文	特別枠（総合事務、土木、建築、総合設備（電気、機械）） 60分	社会事象等に関する論文試験を行います。論文題については、試験当日に指示します。

●配点比率（令和3年度）

特別枠（総合事務）								
試験区分	1次試験	2次試験		3次試験				合計
	適性検査(SPI3)	アピールシート	面接	面接	グループワーク	時事問題	論文	
1次試験	100	—	—	—	—	—	—	100
2次試験	—	20	200	—	—	—	—	220
3次試験	—	20	200	200	100	30	50	600

特別枠（土木、建築、総合設備（電気、機械））								
試験区分	1次試験	2次試験	3次試験				合計	
	適性検査(SPI3)	面接	面接	グループワーク	時事問題	論文		
1次試験	100	—	—	—	—	—	—	100
2次試験	—	200	—	—	—	—	—	200
3次試験	—	200	200	100	30	50	—	580

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目		区分	試験内容・出題科目など
適	性	検	査
		特別枠	SPI3

●合格者の決定方法（令和3年度）

1	次	試	験	第1次試験の成績により決定します。
2	次	試	験	第2次試験の成績により決定します。
最	終	合	格	者
				第2次試験及び第3次試験の総合成績により決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分		採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次合格者	最終合格者	最終倍率
総	合	30	484	469	181	82	31	15.1
土	木	3	16	16	15	6	2	8.0
建	築	若干名	19	19	10	3	-	-
総合設備	電	5	3	3	3	3	-	-
	機		7	6	2	1	1	6.0

岡山市

【教 養】 その他
【専 門】 全国型

●受験資格（令和3年度）

事 務 一 般 枠	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者
事 務 特 別 枠	昭和57年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた者
農業土木、土木、造園、 建築、機械、電気	昭和62年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者
心 理 判 定 員	昭和62年4月2日以降に生まれた者（資格要件あり）

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付(WEB)	4月23日(金)～5月14日(金)
1 次 試 験 日	事務特別枠 6月4日(金)～6月25日(金) 事務特別枠以外 6月20日(日)
1次試験合格発表日	7月6日(火)
2 次 試 験 日	心理判定員以外:7月中旬～7月下旬 心理判定員:7月下旬～8月中旬
2次試験合格発表日 (心理判定員を除く)	8月上旬～8月中旬
3 次 試 験 日 (心理判定員を除く)	8月中旬～8月下旬
最 終 合 格 発 表 日	9月上旬～9月中旬（心理判定員のみ8月下旬）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	事務一般枠	120 分	択一式(40問) 公務員として必要な一般的な知識、知能及び教養について (人文科学・自然科学分野の出題はありません。)
	専門試験	事務一般枠、農業土木、土木、造園、建築、機械、電気	120 分	択一式(40問)
	能力試験 (SPI3)	事務特別枠、心理判定員	—	択一式 文章理解や数量的処理等の基礎能力について
	適性検査	事務特別枠、心理判定員	—	人物、識見、職務適正、対人関係能力等について
	専門試験	心理判定員	90 分	択一式(40問)
エ ン ト リ ー シ ー ト		事務一般枠、事務特別枠、農業土木、土木、造園、建築、機械、電気、心理判定員	—	論述式 自己PR等 (口述試験で使用し、採点しません。)
2次試験	口述試験等	事務一般枠、農業土木、土木、造園、建築、機械、電気	—	個別面接、適性検査 主として人物、識見、職務適性、対人関係能力等を評価します。 ※適性検査の結果については、口述試験の参考とします。
	口述試験	事務特別枠	—	個別面接 主として人物、識見、職務適性、対人関係能力等を評価します。
	口述試験	心理判定員	—	個別面接、集団討論 主として人物、識見、職務適性、対人関係能力等を評価します。
3次試験	口述試験	事務一般枠、事務特別枠、農業土木、土木、造園、建築、機械、電気	—	個別面接、集団討論 主として人物、識見、職務適性、対人関係能力等を評価します。

●配点比率（令和3年度）

事務一般枠			
教養試験	専門試験	口述試験(2次)	口述試験(3次)
100	100	300	600

事務特別枠		
能力試験(SPI3)	口述試験(2次)	口述試験(3次)
100	300	600

農業土木、土木、造園、建築、機械、電気		
専門試験	口述試験(2次)	口述試験(3次)
100	300	600

心理判定員		
能力試験(SPI3)	専門試験	口述試験
100	100	600

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	事務一般職	公務員として必要な一般的な知識、知能及び教養について (人文科学・自然科学分野の出題はありません。)
能 力 試 験 (S P I 3)	事務特別枠、心理判定員	文章理解や数量的処理等の基礎能力について
専 門 試 験	事務一般枠	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係
	農業土木	数学、応用力学、水理学、測量、土壌物理、農業水利・土地改良・農業環境整備、農業土木構造物、材料・施工、農業機械、農学一般
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計(都市・地方計画を含む)、造園関連基礎
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	心理判定員	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学

●合格者の決定方法（令和3年度）

非公表

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
事 務 一 般 枠	50	319	199	142	131	93	87	54	3.7
事 務 特 別 枠	14	318	262	49	46	27	27	17	15.4
農 業 土 木	2	3	3	3	3	3	2	2	1.5
土 木	14	24	19	17	16	15	15	13	1.5
造 園	2	4	3	3	3	3	3	3	1.0
建 築	3	16	13	11	11	8	8	6	2.2
機 械	2	9	7	5	5	3	2	2	3.5
電 気	5	9	5	3	3	2	2	2	2.5
心 理 判 定 員	若干名	22	16	6	5	-	-	4	4.0

広島市

【教 養】 全国型
【専 門】 ※

※行政：全国型／法律：法律専門型／経済：経済専門型

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成4年4月2日以降に生まれた者（農芸化学・水産は別途資格要件あり）

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月23日（金）～5月17日（月）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	6月25日（金）
2 次 試 験 日	7月2日（金）～7月30日（金）
2次試験合格発表日	8月5日（木）
3 次 試 験 日	8月12日（木）～9月7日（火）
最終合格発表日	9月10日（金）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政事務、心理、土木、建築、電気、機械、化学、農芸化学、造園、園芸、林業、水産	150 分	択一式(55 問中 45 問解答) 一般知能:25 問(必須解答) 一般知識:30 問中 20 問選択解答 公務員として必要な大学卒業程度の一般的知識及び知能についての活字印刷文による択一式筆記試験
	専門試験	行政事務、心理、土木、建築、電気、機械、化学、農芸化学、造園、園芸、林業、水産	120 分	択一式(40 問) 各試験区分に応じて必要な大学卒業程度の専門的知識についての活字印刷文による択一式筆記試験
2次試験	面接試験	行政事務、心理、土木、建築、電気、機械、化学、農芸化学、造園、園芸、林業、水産	—	主として人物、識見等についての個別面接
	小 論 文 試 験	行政事務、心理、土木、建築、電気、機械、化学、農芸化学、造園、園芸、林業、水産	60 分	文章による表現力等についての筆記試験(約1,000 字) ※第1次試験日に実施
3次試験	面接試験	行政事務、心理、土木、建築、電気、機械、化学、農芸化学、造園、園芸、林業、水産	—	主として人物、識見等についての個別面接
	集団討論試験	行政事務、心理、土木、建築、電気、機械、化学、農芸化学、造園、園芸、林業、水産	30 分	一つのテーマについて8 人程度のグループで討論

●配点比率（令和3年度）

行政事務					
教養試験	専門試験	面接試験(2次)	小論文試験	面接試験(3次)	集団討論試験
150	150	300	200	400	200

心理、土木、建築、電気、機械、化学、農芸化学、造園、園芸、林業、水産					
教養試験	専門試験	面接試験(2次)	小論文試験	面接試験(3次)	集団討論試験
150	200	300	200	400	200

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など	
教 養 試 験	行政事務、心理、土木、建築、電気、機械、化学、農芸化学、造園、園芸、林業、水産	一般的知識：社会科学、人文科学、自然科学等 一般的知能：文章理解、判断推理、数の推理、資料解釈等	
専 門 試 験	行政事務	法律	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、社会政策、国際関係
		経済	経済原論、財政学、経済史、統計学、経済事情、経済政策、社会政策、国際関係
		行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係
	心理	一般心理学（心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。）、応用心理学（教育心理学・産業心理学・臨床心理学）、調査・研究法、統計学	
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工	
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工	
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学	
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作	
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学	
	農芸化学	一般化学、分析化学、有機化学、生物有機化学、生物化学、土壌学・植物栄養学、食品科学、応用微生物学	
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計（都市・地方計画を含む。）、造園関連基礎	
	園芸	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般	
	林業	森林政策・森林経営学、造林学（森林生態学、森林保護学を含む。）、林業工学、林産一般、砂防工学	
	水産	水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、水産化学、水産利用学	

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	教養試験と専門試験の総合成績により決定します。
2 次 試 験	第1次試験と第2次試験の総合成績により決定します。
最 終 合 格 者	第1次試験から第3次試験までの総合成績により決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政 事 務	120	596	419	354	340	266	259	147	2.9
心 理	5	22	18	13	13	9	9	5	3.6
土 木	30	63	47	38	37	36	34	34	1.4
建 築	5	17	12	11	11	11	10	9	1.3
電 気	5	16	8	7	7	6	5	3	2.7
機 械	5	8	5	5	5	5	4	3	1.7
化 学	若干名	15	12	10	10	6	6	4	3.0
農 芸 化 学	若干名	11	7	7	6	4	4	3	2.3
造 園	若干名	4	4	3	3	3	2	2	2.0
園 芸	若干名	10	8	5	5	3	3	1	8.0
林 業	若干名	4	4	2	2	2	1	1	4.0
水 産	若干名	3	2	1	1	1	1	1	2.0

北九州市

【教 養】 全国型
【専 門】 全国型

行政ⅠA、行政ⅠB、心理、土木、建築、電気、機械、農学、環境

●受験資格（令和3年度）

心 理 以 外	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた人
心 理	昭和61年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた人（別途資格要件あり）

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月28日（水）～5月17日（月）
第 1 次 試 験 日	筆記試験 6月20日（日）
筆記試験合格発表日	7月7日（水）
1 次 口 述 試 験 日	7月17日（土）、7月18日（日）のいずれか1日
1 次 試 験 合 格 発 表 日	7月27日（火）
2 次 試 験 日	論述・適性検査等 8月1日（日） 口述 8月16（月）～20日（金）のいずれか1日
最 終 合 格 発 表 日	8月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験（SPI3）	行政ⅠA、心理、土木、建築、電気、機械、農学、環境	150 分	択一式（50 問） 公務員として必要な一般的知識及び一般的な知能について択一式による筆記試験を行います。
	専門試験	行政ⅠA、心理、土木、建築、電気、機械、農学、環境	120 分	択一式（40 問） 専門的知識、能力について択一式による筆記試験を行います。
	小 論 文	行政ⅠB	60 分	課題を与えます。
	口述試験	行政ⅠA、行政ⅠB、心理、土木、建築、電気、機械、農学、環境	—	個別面接を行います。
2次試験	論述試験	行政ⅠA、行政ⅠB、心理、電気、機械、農学、環境	60 分	課題を与えます。
	設計製図	土木、建築	60 分	それぞれの専門分野に関する課題を与えます。 建築区分については、製図を行います。
	適性検査	行政ⅠA、行政ⅠB、心理、土木、建築、電気、機械、農学、環境	—	職務に対する適応性について簡単な検査をします
	口述試験	行政ⅠA、行政ⅠB、心理、土木、建築、電気、機械、農学、環境	—	個別面接を行います。

●配点比率（令和3年度）

行政ⅠA、心理、電気、機械、環境				
教養試験	専門試験	口述試験（1次）	論述試験	口述試験（2次）
40	60	100	50	100
行政ⅠB				
教養試験	小論文	口述試験（1次）	論述試験	口述試験（2次）
40	60	100	50	100
土木、建築				
教養試験	専門試験	口述試験（1次）	設計製図	口述試験（2次）
40	60	100	50	100

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など		
教 養 試 験	行政 I A、行政 I B、心理、土木、建築、電気、機械、農学、環境	一般的知識：社会、人文、自然の知識 一般的知能：文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等の能力 時事問題		
	行政（I A）	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学等		
専 門 試 験	心理	一般心理学（心理学史、発達心理学、社会心理学を含む）、応用心理学（教育心理学・産業心理学・臨床心理学）、調査・研究法、統計学		
	土木 I A	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工等		
	建築 I A	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等		
	電気 I	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学等		
	機械 I	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作等		
	農学 I	選択問題	A	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計（都市・地方計画を含む）、造園関連基礎等
			B	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般等
			C	森林政策・森林経営学、造林学（森林生態学、森林保護学を含む。）、林業工学、林産一般、砂防工学等
	環境 I	共通問題		数学、化学、環境学等
		選択問題	A	物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学等
			B	生物、生物化学、生態学、分類学、形態学、細胞学、遺伝学、応用微生物学、水産生物学等

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験の総合成績により決定します。
最 終 合 格 者	第2次試験の総合成績により決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次試験			1 次合格者	2 次受験者	最 終合格者	最終倍率
			筆記受験者	口述試験対象者	口述試験受験者				
行 政 I A	26	282	174	128	118	37	34	28	6.2
行 政 I B	18	138	83	74	66	26	26	20	4.2
心 理	3	21	12	9	9	6	6	4	3.0
土 木 I A	9	36	19	15	13	12	12	10	1.9
建 築 I A	3	5	4	3	3	3	3	3	1.3
電 気 I	4	14	8	7	7	3	3	2	4.0
機 械 I	2	6	3	2	2	1	1	0	－
農 学 I A	2	0	0	0	0	0	0	0	－
農 学 I B		6	2	1	1	1	1	1	2.0
農 学 I C		2	1	1	1	0	0	0	－
環 境 I A	1	8	4	2	2	1	1	1	4.0
環 境 I B		4	2	1	1	1	1	1	2.0

行政IC・土木IC・建築IC（4月先行実施枠）

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB） エントリーシート提出	3月8日（月）～3月29日（月）
1次教養試験（SPI3）	4月10日（土）～4月18日（日）
1次筆記試験対象者発表日	4月26日（月）
1次筆記試験日	5月9日（日）
1次試験合格発表日	5月20日（木）
2次口述試験Ⅰ日	5月28日（金）
2次試験（口述試験Ⅱ） 対象者発表日	6月上旬
3次試験日	土木IC・建築IC 6月中旬 行政IC 6月20日（日）
最終合格発表日	6月下旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験（SPI3）	行政IC・土木IC・建築IC	約65分	教養試験（SPI3） ＜基礎能力検査 約35分、性格検査 約30分＞ 基礎能力検査（言語能力及び非言語能力の測定）及び性格検査をWEBテスト方式にて行います。
	筆記試験	行政IC・土木IC・建築IC	60分	課題分析・提案シート作成 北九州市の市政等に関する課題を与えます。文章だけでなく、図や表を用いて回答することができます。
2次試験	口述試験Ⅰ	行政IC・土木IC・建築IC	—	プレゼン・個別面接 第1次筆記試験時に作成した課題分析・提案シートの内容を含め、個別面接を行います。
3次試験	口述試験Ⅱ	行政IC・土木IC・建築IC	—	個別面接

●配点比率（令和3年度）

行政・土木・建築			
教養試験（SPI3）	筆記試験	口述試験Ⅰ	口述試験Ⅱ
80	80	100	100

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

非公表

●合格者の決定方法（令和3年度）

1次試験	第1次試験の総合成績により決定します。
最終合格者	第2次試験の総合成績により決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次試験			1次合格者	2次受験者	2次合格者	3次受験者	最終合格者	最終倍率
			教養試験 受験者数	筆記試験 対象者	筆記 受験者						
行政IC	10	336	313	99	85	41	38	23	20	15	20.9
土木IC	若干名	10	9	8	6	6	6	4	4	1	9.0
建築IC	若干名	13	12	11	10	9	8	6	6	3	4.0

行政（一般）、心理、土木、建築、電気、機械、造園、衛生管理（環境）、衛生管理（動物）

●受験資格（令和3年度）

共 通	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者（「心理」は資格要件あり）

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	5月6日（木）～5月18日（火）
筆 記 試 験 日	6月20日（日）
口頭試問受験該当者発表 （ 行 政 一 般 ）	6月24日（木）
口頭試問（行政一般）	7月3日（土）～7月11日（日）
1次試験合格発表日	行政（一般） 7月15日（木） その他 6月24日（木）
2 次 試 験 日	行政（一般） 8月下旬 心理 7月中旬～9月上旬 その他 7月中旬～9月上旬
最 終 合 格 発 表 日	9月上旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	行政（一般）、心理、土木、建築、電気、機械、造園、衛生管理（環境）、衛生管理（動物）	150 分	5肢択一式(50 問) 公務員として必要な一般教養についての5肢択一式による筆記試験を行います
	専門試験	行政（一般）、心理、土木、建築、電気、機械、造園、衛生管理（環境）、衛生管理（動物）	120 分	5肢択一式(40 問) 各募集区分に必要な専門知識及び能力についての5肢択一式による筆記試験を行います。
	口頭試問	行政（一般）	—	個別面接を行います。
2次試験	論 文	行政（一般）、心理、土木、建築、電気、機械、造園、衛生管理（環境）、衛生管理（動物）	75 分	論文試験を行います。(1,000 字程度)
	口頭試問	行政（一般）、心理、土木、建築、電気、機械、造園、衛生管理（環境）、衛生管理（動物）	—	個別面接を行います。 ※口頭試問の参考とするために適性検査を実施します。

●配点比率（令和3年度）

行政（一般）				
教養試験	専門試験	口頭試問(1次)	論文	口頭試問(2次)
100	100	180	40	200

心理、土木、建築、電気、機械、造園、衛生管理（環境）、衛生管理（動物）			
教養試験	専門試験	論文	口頭試問(2次)
100	100	40	200

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教 養 試 験	共通	一般的知識：社会・人文・自然 一般的知能：文章理解（英文を含む）、判断推理、数的推理、資料解釈
	専 門 試 験	
	行政（一般）	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学
	心理	一般心理学（心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。）、応用心理学（教育心理学・産業心理学・臨床心理学）、調査・研究法、統計学
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計（都市・地方計画を含む）、造園関連基礎
	衛生管理（環境）	数学・物理、統計学、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学、生物化学
	衛生管理（動物）	家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学、家畜栄養学、飼科学、家畜管理学、畜産経営一般、公衆衛生学、生物化学、応用微生物学

●合格者の決定方法（令和3年度）

1 次 試 験	第1次試験科目の総合成績により決定します
最 終 合 格 者	第2次試験科目の総合成績のみにより決定し、第1次試験の成績は反映されません。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行 政（一 般）	46	839	495	90	79	53	9.3
心 理	2	17	11	5	5	2	5.5
土 木	20	81	62	41	35	23	2.7
建 築	12	36	21	14	11	10	2.1
電 気	10	33	25	17	14	9	2.8
機 械	10	30	18	12	11	6	3.0
造 園	2	4	3	2	2	2	1.5
衛 生 管 理（環 境）	4	20	12	8	6	5	2.4
衛 生 管 理（動 物）	4	36	30	15	14	5	6.0

行政（特別枠）

●受験資格（令和3年度）

行政（特別枠）	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた人

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	3月1日（月）～3月15日（月）「アピールシート」の郵送締切日：3月15日（月）
S P I 試験実施日	4月2日（金）～4月15日（木）
口頭試問受験該当者発表日	4月22日（木）「面接票」の郵送締切日：4月26日（月）
口頭試問試験日	5月上旬～中旬
1次試験合格発表日	5月13日（木）
2次試験日	【論文】5月21日（金）【口頭試問】5月下旬～6月上旬
最終合格発表日	6月中旬

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験（SPI）	行政（特別枠）	—	公務員として必要な基礎能力（言語的理解、論理的思考、数量的処理能力）についての試験を行います。 口頭試問の参考とするために、性格検査を実施します。
	口頭試問	行政（特別枠）	—	個別面接を行います。 「アピールシート」による自主的アピールを含みます。
2次試験	論文	行政（特別枠）	60分	課題解決シートを作成します。（600字程度）
	口頭試問	行政（特別枠）	—	個別面接を行います。 論文試験で作成した「課題解決シート」の説明を含みます。 口頭試問の参考とするため、適性検査を実施します。

●配点比率（令和3年度）

行政（特別枠）			
教養試験（SPI）	口頭試問（1次）	論文	口頭試問（2次）
100	270	40	300

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
教養試験	行政（特別枠）	SPI

●合格者の決定方法（令和3年度）

口頭試問受験該当者	教養試験（SPI）により決定します。
1次試験	第1次試験の総合成績により決定します。
最終合格者	第2次試験の総合成績のみにより決定、第1次試験の成績は反映されません。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	2次受験者	最終合格者	最終倍率
行政（特別枠）	20	529	509	50	43	24	21.2

熊本市

【教 養】 全国型
【専 門】 全国型

事務職、心理相談員、土木、建築、機械、電気、化学、農業、造園

●受験資格（令和3年度）

下 記 以 外	平成元年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者
心 理 相 談 員	平成元年4月2日以降に生まれた者（別途資格要件あり）

●試験日程（令和3年度）

受験申込受付（WEB）	4月16日（金）～5月7日（金）
1 次 試 験 日	6月20日（日）
1次試験合格発表日	7月13日（火）
2 次 試 験 日	7月31日（土）～8月13日（金）
最 終 合 格 発 表 日	8月27日（金）

●試験概要（令和3年度）

試験種目		区分	解答時間	試験内容
1次試験	教養試験	事務職、心理相談員、土木、建築、機械、電気、化学、農業、造園	150 分	択一式 公務員として必要な一般的知識及び知能についての大学卒業程度の択一式による筆記試験です。
	専門試験	事務職、心理相談員、土木、建築、機械、電気、化学、農業、造園	120 分	択一式 職種ごとに必要な知識についての大学卒業程度の択一式による筆記試験です。
	語学資格加 点	全職種	—	一定水準以上の語学資格を有する方については、教養試験において10点を加点します（ただし、教養試験の配点に達するまで）。
2次試験	論文試験	事務職、心理相談員、土木、建築、機械、電気、化学、農業、造園	90 分	課題に対する認識力、論理性、文章構成力等についての筆記試験です。 ※1次試験日に実施。第1次試験合格者のみ、第2次試験で採点を行います。
	口述試験	事務職、心理相談員、土木、建築、機械、電気、化学、農業、造園	—	集団討論：課題に対する討論形式による口述試験です。 個別面接：個別面接による口述試験を同日に2回行います。

●配点比率（令和3年度）

事務職				
教養試験	専門試験	論文	集団討論	個別面接
100	100	100	50	250

心理相談員、土木、建築、機械、電気、化学、農業、造園				
教養試験	専門試験	論文	集団討論	個別面接
100	150	100	50	250

●筆記試験 出題科目一覧（令和3年度）

試験種目	区分	試験内容・出題科目など
専門試験	事務職	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、経営学、教育学等
	心理相談員	一般心理学(心理学史、発達心理学、社会心理学を含む。)、応用心理学(教育心理学・産業心理学・臨床心理学)、調査・研究法、統計学 等
	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、都市計画、土木計画、材料・施工 等
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工 等
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作等
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学等
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学等
	農業	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥科学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般等
	造園	造園学原論、造園材料・施工、造園管理、造園計画・設計(都市・地方計画を含む。)、造園関連基礎 等

●合格者の決定方法（令和3年度）

1次試験	第一次試験の総合得点の高い順に決定します。
最終合格者	第二次試験の総合得点の高い順に決定します。

●試験実施状況（令和3年度）

区分	採用予定	申込者	1次受験者	1次合格者	最終合格者	最終倍率
事務職	52	537	325	105	52	6.3
心理相談員	3	17	10	6	3	3.3
土木	10	44	24	18	10	2.4
建築	1	10	4	3	1	4.0
機械	2	10	6	4	2	3.0
電気	3	13	7	6	3	2.3
化学	2	21	6	5	2	3.0
農業	2	12	6	4	2	3.0
造園	1	6	4	3	1	4.0

市役所(政令指定都市以外)の試験概要一覧

市役所試験の特徴

市役所の筆記試験

市役所の筆記試験は論作文試験を除き、公益財団法人や企業などの団体に委託して試験（問題集）の提供を受けています。そのため地域差はほとんどなく、試験の特徴はそれを提供する団体によって変わります。試験の特徴を大別すると日本人事試験研究センターが提供する**従来型の試験**と、民間企業が提供する**民間型の試験**とに分けられます。前者は一般的な公務員試験で、全国の市役所の6割以上が実施しています。一方、後者は企業の就職活動で利用されている能力検査などで、近年はその利便性（web 受検など）から都市部においては増加傾向にあります。なお、**第1次試験日や試験の方法は年度により変更になる場合があります**ので、最新情報を逃すことのないよう、**日頃から各市のWEBサイトなどで最新情報をチェックしておくことをおすすめします。**

【従来型】：日本人事試験研究センターが提供する試験

日本人事試験研究センターは通年で市役所に対して採用試験を提供しており、その種類は知識や能力を確認するための「試験」と、性格や適性を確認するための「検査」に分けられます。それぞれの特徴は下表のようになっています。

・試験

種類	名称	対象	出題数	解答時間
教養試験	Standard I	大卒	40	120 分
	Standard II	高卒	40	120 分
	Logical I	大卒	40	120 分
	Logical II	高卒	40	120 分
	Light	高卒以上	60	75 分
社会人基礎試験	職務基礎力試験	社会人	75	90 分
	職務適応性検査	(学歴不問)	150	20 分
事務能力基礎試験 (Basic)		非常勤職員	30	50 分

Standard：五肢択一式、知能分野 20 題・知識分野 20 題。時事を重視し、社会的に幅広い分野の題材（ICT、環境問題、社会保障など）を出題し、「古文」「哲学、文学、芸術等」「国語（漢字の読み、ことわざ等）」の出題はない。

Logical：五肢択一式、知能分野 27 題・知識分野 13 題。上記の Standard に比べ、知能分野を増やす一方で、知識分野では「自然科学」の出題がないことが特徴となる。

Light：四肢択一式、社会への関心と理解 24 題・言語的な能力 18 題・論理的な能力 18 題。公務員試験の準備をしていない民間企業志望者も受験しやすい試験。

種類	名称	対象	解答数	出題数	解答時間
専門試験	必答型	大卒	40	40	120 分
	S 6 型	大卒	30	50	90 分
	S 8 型	大卒	40	50	120 分

必答型：五肢択一式、40 題出題。出題分野（憲法、民法、行政法、ミクロ経済学、マクロ経済学、財政学、政治学、行政学、社会政策、国際関係）全問必須解答型。

S 6 型：五肢択一式、50 題出題。出題分野（憲法、行政法、民法、経済政策・経済事情、財政学・金融論、社会政策、政治学・行政学、国際関係、社会学・教育学）のうち 6 分野選択 30 問解答型。

S 8 型：五肢択一式、50 題出題。出題分野（S 6 型と同様）のうち 8 分野選択 40 問解答型。

※出題の詳細については第 2 章の「5 教養試験・専門試験」でご確認ください。

・検査

名称	出題数	解答時間	備考
性格特性検査	150	20 分	公務員に求められる資質に関し、性格の面からみる検査
職場適応性検査	150	20 分	職場への適応性を職務や対人関係に関連する性格の面からみる検査
事務適性検査	100	10 分	事務職員としての適応性を正確性、迅速さ等の作業面からみる検査

市役所試験では教養試験などに加え、「適性検査」や「適性試験」などと称して筆記試験を実施することがあります。このうち、「性格特性検査」や「職場適応性検査」の場合は性格検査であり、質問に対して「はい」「いいえ」と答えるタイプで特に対策をする必要はありません。可否の判定をするわけではなく、人物試験の際の参考資料として利用されています。これに対して、「事務適性検査」は、スピードと正確性を図る試験となるため、注意が必要です。

事務適性検査

計算・分類・照合・置換・図形などの出題パターンから 3 種類のパターン（検査Ⅰ、検査Ⅱ、検査Ⅲ）を使用して試験が行われる。1 つのパターンで 1 つの検査とすることもあれば、2 つ以上のパターンを複合（例：計算してその答を分類）して 1 つの検査とする場合もある。出題形式はスパイラル方式という循環配列になっており、3 つのパターンが繰り返し出題される形式になっている。

⇒基本的に全問を解くことは不可能な時間配分になっているが、飛ばした問題については誤答とみなされるため、問題番号順に解かなければならない。

<スパイラル方式の例>

検査Ⅰ No. 1～No. 5…計算	⇒検査Ⅱ No. 6～No. 15…照合	⇒検査Ⅲ No. 16～No. 25…図形	⇒
検査Ⅰ No. 26～No. 30…計算	⇒検査Ⅱ No. 31～No. 40…照合	⇒検査Ⅲ No. 41～No. 50…図形	⇒
検査Ⅰ No. 51～No. 55…計算	⇒検査Ⅱ No. 56～No. 65…照合	⇒検査Ⅲ No. 66～No. 75…図形	⇒
検査Ⅰ No. 76～No. 80…計算	⇒検査Ⅱ No. 81～No. 90…照合	⇒検査Ⅲ No. 91～No. 100…図形	

検査Ⅰ：計算出題例

次の□内の数字について上下の数を足して出た結果のうち、最大値と最小値の和を求める。その数値の一の位と十の位の数の差（絶対値）を求めよ。ただし、答えは 1～5 以外にはならない。

No. 1	No. 2	…
10 19 3	13 3 15	
8 -5 4	12 5 -9	

No. 1 最大 18+最小 7=25 ⇒2 と 5 の差=3 ∴肢 3
No. 2 最大 25+最小 6=31 ⇒3 と 1 の差=2 ∴肢 2

検査Ⅱ：照合出題例

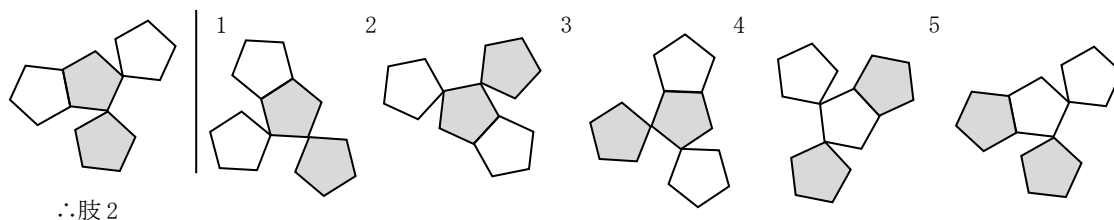
1	わこれいな これへんむ のえらひす	みくらせは ぬさらふる せめいけへ
2	へんむねけ いおしほな ねせみりふ	ひにすさま あなちとら よれいきひ
3	にえとひる めくやにそ わしけほて	らひかうせ せをよころ へゆらます
4	ひさいおめ やをてきぬ よふやろき	りみあかせ あるろんそ いにしそか
5	ぬもをると あつとちか みやへむか	にかまろい ゆにさろへ こらけへわ

次の文字の羅列とまったく同じものが、手引きの 1～5 のどの欄にあるのかを答えよ。

No. 6 あなちとら ∴肢 2
No. 7 みくらせは ∴肢 1
No. 8 へゆらます ∴肢 3

検査Ⅳ：図形出題例

左の図形と同じもので、向きだけを変えた図形は1～5のうちどれか。

**【民間型】：民間企業等が提供する試験**

市役所試験で実施されている民間型の試験では、「SPI3」と「SCOA」が大部分を占めています。これらはマークシート方式での実施例もありますが、近年ではテストセンター方式やwebテスト（自宅受験）が主流になりつつあります。これら民間型の試験は、公務員試験（教養）対策をしている受験生にとっては能力や知識面で対策が必要となることはありません。**通常の教養試験対策で十分に対応が可能です。ただし、形式面では公務員試験（教養試験）とはスピード感が異なります。**難易度が低いかわりに1問あたりの解答時間が30秒～1分程度と極端に短いので注意が必要です。また、下表のSCOA-C及びTAPOCについては「事務適性検査」と同様、スピードと正確性を図る試験となります。

名称		形態	問題数/時間（備考）	
SPI3	性格	W/テ	約300問/30分	
		マ	約300問/40分	
	能力	W/テ	35分（問題数は変化する）	
		マ	言語：40問/30分 非言語：30問/40分	
SCOA-A	基礎能力	テ/マ	120問/60分 70問/45分	5尺度「言語・数理・論理・常識・英語」 3尺度「言語・数理・論理」
SCOA-F		テ/マ	50～65分	4尺度「言語・数理・論理・英語」 3尺度「言語・数理・論理」
SCOA-i		W	20分	4尺度「言語・（数・論理）・空間・知覚の正確さ」
SCOA-B	パーソナリティ	W/テ/マ	35分	気質類型（6タイプ）、性格特徴（5尺度）意欲・態度（5尺度）
SCOA-C	事務能力	テ/マ	50分	6尺度「照合・分類・言語・計算・読図・記憶」
BEL	情報分析基礎力	W/テ	42分	論証リテラシー（18分：制限時間 1問/90秒） データリテラシー（24分：制限時間 1問/120秒）
Dict	一般教養試験	マ	30分	言語・社会科学系、数論理・自然科学系、時事・常識系
TAPOC	事務職適性	W	40分	言語・分類・照合・計算・読図
TG-WEB	適性検査	W/テ	21問/30分	言語（12分/12問）・計数（18分/9問）
GAB	適性検査	W	160問/80分	言語理解（52問/25分）・計数理解（40問/35分） ・パーソナリティ（68問/20分）
		テ	85問/40分	言語理解（32問/15分）・計数理解（29問/15分） ・英語（24問/10分）

※（W）…web方式。各自で用意したパソコン等で受験する。決められた期間内で都合のよい場所で受験可能。

（テ）…テストセンター方式。自治体指定の外部機関で日時を予約し受験する。

（マ）…マークシート（会場受験）。特定の日時・指定の場所に集合し受験する。

試験の日程について

近年の市役所試験は、年に数回実施する市や、集合形式ではない民間型試験（テストセンター方式や web 方式）を導入する市も増えてきており、筆記試験日が多様化しています。概ね 4 月～10 月の範囲で実施されることが一般的ですが、同じ市でも年度によって異なることがあるため、注意が必要です。従来型の試験の場合、**地方上級試験（道府県や政令市）の実施日（6 月第 4 日曜）**と、人事試験研究センターが設定する、**「統一試験」と呼ばれる日程（第 1 回：7 月第 2 日曜、第 2 回：9 月第 3 日曜、第 3 回：10 月第 3 日曜）**に多くの市が集中しています。一般にこれらの日程は 6 月から順に、A 日程、B 日程、C 日程、D 日程と呼ばれています。特に、第 2 回統一試験日（9 月第 3 日曜）の C 日程は、全国的に多くの市が筆記試験日とするため、地域によっては日程が重なることで、併願できる市役所の数が限られることがあります。

受験申込

近年は公務員試験の受験申込はインターネット申込が主流ですが、**市役所の場合は持参や郵送申込の自治体もあり、受験申込時に志望理由などが問われる簡単な面談が実施される場合や、履歴書・エントリーシート・自己 PR 書などの提出を求められる場合があります。**また、申込時に提出した書類を第 1 次試験とする自治体もあり、書類審査を通過できなければ、筆記試験に進めないこともあります。

受験申込直前になって焦ることのないよう、**過去の試験情報や最新の試験案内などを確認しておきましょう。**

■試験概要一覧の見方■

次項からの試験概要は、令和 3 年度（2021 年度）の主に大卒程度試験・行政一般事務系職種の受験案内や、一部 TAC 受講生からの情報を参考に作成しています。（薄網がかけられている一部の自治体は、過年度の情報を掲載。）試験情報は試験種や年度により異なる場合がありますので、**受験の際は必ず最新の試験案内などをご確認ください。**

市役所	1 次試験日	年齢 上限	採用 予定	選考過程									備考
				教養等	専門	論文		事務 適性	性格 検査	個別 面接	集団 面接	GD・ GW	
						実施	分						
函 館 市	7/11	29 歳	30	Standard	-	-	-	-	①	②③	-	-	
1 次試験日 : 原則として択一試験実施日を記載しています。													
年齢上限 : 受験可能な上限年齢を記載しています。 年齢要件の他に、大学卒業、普通免許取得等の要件がある場合もあります。													
採用予定 : ＊が付してある場合は、大卒程度の行政事務職以外の区分を含んだ採用予定数です。													
選考過程 : ①＝第 1 次試験、②＝第 2 次試験などは、実施のタイミングを表しています（＝実施無し）。													
事務適性 : 主に事務能力検査、事務職適性検査などを指します。													
性格検査 : 性格特性検査や職場適応性検査などのパーソナリティ検査を指します。													
GD・GW : 集団討論（グループディスカッション）、グループワーク（共同作業）を指します。													
※教養・専門択一試験は特に注記がない限り、第 1 次試験として実施されます。													

■北海道

市役所	1 次試験日	年齢 上限	採用予 定	教養等	選考過程								備考
					専門	論文文		事務適 性	性格 検査	個別 面接	集団 面接	G・D・ G・W	
						実施	分						
函 館 市	7/11	29 歳	30	Standard	-	-	-	-	①	②③	-	-	
小 樽 市	6/6	41 歳	若干	*SCOA	-	-	-	-	-	②	-	-	*120 問/60 分
旭 川 市	5/10～5/28	30 歳	8	*② SPI3	-	-	-	-	-	③	①	③	*6/12～6/27 テストセンター
室 蘭 市	*1 4/23	35 歳	3	ES 書類審査	-	-	-	-	-	*2③	-	-	*1 提出期限 *2zoom プレゼン 6/12～6/13
釧 路 市	5/30	30 歳	20	Standard	-	②	80	-	①	②	②	②	
帯 広 市	5/7～5/23	29 歳	30*	*1SCOA	-	-	-	-	-	*2③	-	③	*1 テストセンターまたは会場受験を選択 *2 ② zoom を使った web 面接
	9/3～9/20	29 歳	10*										
北 見 市	6/1～6/20	30 歳	20*	*SPI3	-	-	-	-	-	②	-	-	*テストセンターまたは会場受験を選択
夕 張 市	9/19	30 歳	若干	Standard	-	-	-	-	①	②	-	-	
岩 見 沢 市	7/11	27 歳	15	Standard	-	-	-	-	①	③	②	-	
網 走 市	6/17～7/2	30 歳	若干	*SCOA	-	①	90	-	②	①②	-	-	*テストセンターまたは会場受験を選択
留 萌 市	6/2～6/18	35 歳	4	*SPI3	-	-	-	-	-	③	②	-	*テストセンター
苫 小 牧 市	6/5～6/27	29 歳	5*	*SPI3	-	-	-	-	-	①②	-	-	*テストセンターまたは会場受験を選択
稚 内 市	7/12～7/25	29 歳	5*	*SPI3	-	-	-	-	②	②	②	-	*テストセンターまたは会場受験を選択
美 唄 市	9/19	35 歳	若干	Standard	-	①	60	-	②	②	-	-	
芦 別 市	4/25	*	若干	Standard	-	①	60	-	①	②	-	-	*大卒または大卒見込
江 別 市	8/10～8/30	29 歳	5	*1SPI3	-	-	-	-	-	*2②	-	-	*1 テストセンター *2 面接 3 回
赤 平 市	9/19	35 歳	若干	Standard	-	①	不明	-	①	②	-	-	
紋 別 市	8/29	28 歳	5～6	Standard	-	①	60	-	①	①②	-	-	
士 別 市	12/7～20	25 歳	若干	SPI3	-	-	-	-	-	②	-	-	
名 寄 市	6/4～6/27	29 歳	7	*SPI3	-	②	不明	-	-	②	-	-	*テストセンターまたは会場受験を選択
三 笠 市	9/19	26 歳	若干	Standard	-	①	60	-	①	②	*②	-	*集団面接または集団討論
根 室 市	9/23～10/6	35 歳	若干	*SCOA	-	②	不明	-	-	②	-	-	*テストセンターまたは会場受験を選択
千 歳 市	6/7～6/21	27 歳	10*	*SPI3	-	-	-	-	-	②③	-	③	*テストセンター
滝 川 市	7/11	26 歳	若干	Standard	-	①	不明	-	②	②③	-	②	
砂 川 市	10/17	25 歳	若干*	Logical	-	-	-	②	①	②	-	-	
歌 志 内 市	2/7	29 歳	若干	Standard	-	①	不明	①	①	②	-	-	
深 川 市	7/11	32 歳	若干	Standard	-	②	不明	-	-	②	-	②	
富 良 野 市	9/5	26 歳	若干*	Standard	-	①	不明	-	①	②	-	-	
登 別 市	*6 月中	30 歳	5	SPI3	-	-	-	-	-	②	-	-	*テストセンター(会場受験は 6/19)
恵 庭 市	6/1～6/22	29 歳	7	*SPI3	-	-	-	-	-	②③	-	-	*テストセンター
伊 達 市	6/20	30 歳	7	Standard	必答型	②	不明	-	②	②	②	-	
北 広 島 市	4/26～6/17	*	若干	SPI3	-	①	不明	-	-	①②	-	-	*令和元年 4/1 以降に大学を卒業した方
石 狩 市	*6/16～6/28	35 歳	4	SCOA	-	③	不明	-	-	③	-	-	*2 次試験(1 次はエントリー審査)
北 斗 市	7/11	30 歳	若干	Standard	-	①	不明	①	①	②	-	-	

■青森県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	選考過程										備考
				教養等	専門	論文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW		
						実施	分							
青森市	6/20	29歳	32	Standard	必答型	②	不明	-	①	②	-	-		
弘前市	6/20	29歳	15	Standard	必答型	②	不明	①	①②	②	-	-		
八戸市	6/20	*	12	Standard	必答型	②	不明	-	-	②	-	②	*平成 27 年 3 月以降に大学を卒業した方	
黒石市	4/24～5/10	29歳	4	*SPI3	-	-	-	-	-	②③	-	-	*テストセンター	
五所川原市	4/30～5/28	29歳	5	*SPI3	-	-	-	-	-	②③	-	-	*テストセンター	
十和田市	8/29	30歳	7	Standard	必答型	②	50	②	①	②	-	②		
三沢市	9/19	29歳	7	Standard	-	②	不明	①	-	①②	-	-		
むつ市	7/23～7/30	30歳	4	*SPI3	-	-	-	-	-	②	-	-	*web テスティング(自宅)	
つがる市	9/19	29歳	8*	Standard	必答型	②	60	①	-	②	-	-		
平川市	9/16～9/29	29歳	6	SCOA	-	②	60	①	②	②	-	-		

■岩手県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	選考過程								備考
					専門	論作文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	
						実施	分						
盛岡市	6/27	29歳	20	Standard	-	①	90	-	-	②	-	-	
宮古市	7/11	31歳	5	Standard	-	-	-	①	-	①②	-	-	
大船渡市	4/24～5/26	30歳	10	*SPI3	-	-	-	-	-	②③	-	-	*テストセンター
花巻市	7/1～7/15	35歳	6	*SPI3	-	-	-	-	-	②③	-	-	*web テスティング(自宅)
北上市	4/20～5/14	30歳	5*	*SPI3	-	②	60	-	-	②③	②	-	*テストセンター
久慈市	7/11	35歳	若干	Standard	-	①	不明	-	①	②	-	-	
遠野市	9/19	30歳	若干	Standard	-	①	60	-	①	②③	-	-	
一関市	4/21～5/24	30歳	5	*SPI3	-	-	-	-	-	②③	-	-	*web テスティング(自宅)
陸前高田市	6/28～7/11	30歳	4	*SCOA	-	-	-	-	-	②	-	-	*テストセンターまたは会場受験を選択
釜石市	9/1～9/19	35歳	7*	*SPI3	-	-	-	-	-	②	-	-	*web テスティング(自宅)
二戸市	6/27	34歳	4	Standard	-	-	-	-	①	②	-	-	
八幡平市	7/11	31歳	若干	Standard	-	①	60	-	①	②	-	-	
奥州市	7/18	27歳	10	Logical	-	-	-	-	①	②	-	-	
滝沢市	9/19	30歳	5	Standard	-	-	-	-	①	②	-	-	

■宮城県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	選考過程									備考
				教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	
						実施	分						
石巻市	7/11	29歳	14	Standard	必答型	①	60	-	①	②	-	-	
塩竈市	5/1～5/21	29歳	若干	*SPI3	-	②	不明	-	-	②	-	②	*テストセンター
気仙沼市	4/7～4/26	40歳	若干	*SPI3	-	-	-	-	-	②	-	②	*テストセンター
白石市	6/1～6/30	35歳	3	*SPI3	-	②	不明	-	-	②	-	②	*テストセンター
名取市	7/11	29歳	7	Standard	必答型	*①	60	-	-	②	-	-	*2次試験扱い(1次合格者を対象に採点)
角田市	5/6～6/11	29歳	5	*SPI3	-	②	60	-	-	③	-	②	*テストセンター
多賀城市	7/11	29歳	10	Standard	必答型	-	-	①	-	①②	-	②	
岩沼市	7/11	29歳	5	Standard	-	②	60	-	①	②	-	-	
登米市	7/11	29歳	8	Standard	-	②	60	-	①	②	-	-	
栗原市	7/11	35歳	2	Standard	-	②	60	-	-	②	-	-	
東松島市	7/11	26歳	2	Logical	-	②	60	-	①	-	②	-	
大崎市	7/11	30歳	10	Standard	必答型	②	90	-	②	②	-	-	
富谷市	7/11	29歳	若干	Standard	-	-	-	-	①	②	-	-	

■秋田県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	選考過程									備考
				教養等	専門	論作文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	
						実施	分						
秋田	6/13	29歳	30	Standard	必答型	②	不明	-	②	②③	-	-	
能代	9/19	35歳	10*	Standard	-	②	不明	-	②	②	-	②	
横手	6/19	27歳	15*	Standard	-	①	60	②	①	①②	①	-	
大館	4/19～5/18	30歳	7	*SPI3	-	③	不明	-	-	③	②	-	*テストセンター
男鹿	5/10～6/4	30歳	若干	*SPI3	-	③	不明	-	-	②③	-	-	*テストセンター
湯沢	7/11	34歳	7	Standard	-	-	-	-	-	②	-	-	
鹿角	7/1～7/29	30歳	若干	*SCOA	-	②	不明	-	②	②	-	-	*テストセンター
由利本荘	7/11	29歳	10*	Standard	-	②	不明	-	①	②	-	-	
潟上	7/11	29歳	若干	Standard	-	②	不明	-	①	②	-	-	
大仙	5/13～6/8	30歳	12	*SPI3	-	-	-	-	-	②③	-	-	*テストセンター
北秋田	6/1～6/29	29歳	6～7	*SPI3	-	②	不明	-	-	②	②	-	*テストセンター
にかほ	6/21～7/16	29歳	3～7	*SPI3	-	②	不明	-	-	②	-	-	*テストセンター
仙北	7/11	34歳	若干	Standard	-	②	不明	-	-	②	-	-	

■山形県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	選考過程		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						論文文	実施分						
山形市	6/20	34歳	15	Standard	必答型	②	不明	-	②	②	-	-	
米沢市	6/20	31歳	6	SPI3	必答型	-	-	-	-	②	-	-	
鶴岡市	6/28～7/11	34歳	10	*SCOA	-	②	不明	-	-	②	-	-	*テストセンター
酒田市	7/11	34歳	10	Standard	必答型	-	-	-	②	②	-	-	
新庄市	7/11	30歳	若干	Standard	必答型	②	不明	-	-	②	-	-	
寒河江市	6/28～7/12	30歳	若干	*SCOA	-	-	-	-	①	②	-	②	*テストセンター
上山市	9/19	29歳	若干	Logical	必答型	②	不明	-	②	②	-	②	
村山市	9/19	35歳	若干	Standard	-	②	不明	-	①	②	②	-	
長井市	6/20	35歳	若干	SPI3	-	②	不明	-	-	②	-	②	
天童市	6/18～6/30	31歳	若干	*SCOA	-	-	-	-	②	②	-	-	*テストセンター
東根市	9/19	28歳	若干	Logical	必答型	②	不明	-	①	②	-	②	
尾花沢市	9/19	34歳	若干	Standard	-	②	不明	①	①	②	-	②	
南陽市	6/21～7/9	25歳	若干	*SPI3	-	-	-	-	①	②	②	-	*自宅受験(web テスティング)

■福島県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	選考過程		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						論文文	実施分						
福島市	6/20	30歳	15	Standard	必答型	②	不明	-	②	②	-	②	
会津若松市	6/20	29歳	5	*Standard	-	②	不明	-	②	③	②	②	*別途 SPI 試験コースあり
郡山市	6/20	35歳	16	Standard	必答型	-	-	-	②	②③	-	③	
いわき市	6/20	30歳	19	Standard	必答型	②	不明	-	②	②	-	-	
白河市	6/20	34歳	3	Standard	必答型	②	不明	-	①	②	-	②	
須賀川市	6/20	29歳	6	Standard	必答型	①	不明	-	①	②	-	②	
喜多方市	6/20	35歳	5	Standard	必答型	②	不明	-	②	②	-	-	
相馬市	6/27	35歳	4	Logical	必答型	②	不明	-	①	②	-	-	
二本松市	9/19	29歳	6	Standard	-	②	不明	-	①	②	-	-	
田村市	6/13	35歳	若干	SPI3	-	-	-	-	-	②③	-	②	
南相馬市	6/20	30歳	6	SPI3	-	②	不明	-	-	②③	-	-	
伊達市	6/20	30歳	7	Standard	必答型	②	不明	-	②	②	②	-	
本宮市	9/19	30歳	6	Standard	-	②	不明	-	①	②	-	②	

■茨城県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						実施	分						
水戸市	9/6～9/21	30歳	15	*SCOA	-	-	-	-	-	②③	-	②	*テストセンター
日立市	7/17～7/18	30歳	25*	SPI3	-	①	不明	-	-	②③	①	-	SPI コース
				Standard	-	①	不明	-	①				教養試験コース
土浦市	6/12～6/14	30歳	11	* ¹ BEL	-	-	-	-	* ² ②	②	②	-	* ¹ 情報分析基礎力検査(web) * ² web(自宅)
古河市	9/19	27歳	12	Standard	-	①	不明	-	-	②③	②	-	一般事務 A
		30歳	10	Logical	-								一般事務 B
石岡市	7/11	35歳	若干	Standard	-	①	60	-	①	*②	①	-	*自己PR試験(記述)も実施
結城市	9/19	29歳	7	Standard	-	①	60	-	①	②	-	②	
龍ヶ崎市	7/11	29歳	10	SPI3	-	②	不明	-	-	②③	-	②	
下妻市	9/19	29歳	4*	Logical	-	②	不明	①	①	②	-	②	
常総市	9/19	45歳	10	Light	-	-	-	-	②	③	②	-	
常陸太田市	9/19	29歳	7	Standard	-	②	60	①	①	②	-	②	
高萩市	9/19	30歳	6*	Standard	-	*①	80	-	①②	②	-	-	教養タイプ
				Light	-								一般常識タイプ *自己PR文
北茨城市	10/17	29歳	4	Standard	-	①	不明	①	①	②	-	-	
笠間市	6/22～7/5	25歳	15*	*SCOA	-	-	-	-	②	③	①	②	*テストセンター
取手市	9/19	30歳	4	Logical	-	①	60	-	②	③	②	-	
牛久市	7/11	29歳	16*	Logical	S8型	*②	-	-	②	②③	-	-	*自己PRシート
つくば市	5/25～6/1	59歳	30	*SCOA	-	-	-	①	④	④	③	-	*1次:web方式 2次:マークシート方式
ひたちなか市	9/19	30歳	5	Standard	-	-	-	-	①	①②	-	②	事務(一般)
			5	SPI3	-	-	-	-	①	③	-		事務(SPI)
鹿嶋市	7/11	28歳	9	Standard	-	②	不明	-	②	③	②	-	
潮来市	9/19	35歳	10*	Standard	-	①	不明	-	②	②③	-	②	
守谷市	8/20～8/31	29歳	6	*SPI3	-	-	-	-	-	②③	-	-	*web(自宅)
常陸大宮市	9/19	35歳	5	Logical	-	①	不明	-	①	②	-	②	
那珂市	9/19	30歳	若干	Light	-	①	不明	①	①	②③	-	②	
筑西市	9/19	28歳	25	SCOA	-	①	70	-	-	③	-	②	
坂東市	9/19	35歳	10	Standard	-	①	不明	-	①②	②	-	-	
稲敷市	9/19	35歳	8*	Logical	-	②	不明	②	②	③	-	②	
かすみがうら市	9/19	29歳	7	Standard	-	①	不明	-	②	③	-	②	
桜川市	9/19	26歳	10	Standard	-	①	不明	①	①	②③	-	③	
神栖市	7/11	30歳	10	Standard	-	①	不明	-	①	*②③	-	-	*2次:プレゼンテーション試験
行方市	7/11	30歳	6	Logical	-	①	不明	-	①	②	-	②	
鉾田市	11/21	30歳	若干	Standard	-	①	不明	-	-	②	-	②	
つくばみらい市	9/19	45歳	4	SPI3	-	-	-	-	-	*①②③	-	-	*①自己PR動画試験
小美玉市	7/11	29歳	若干	*SPI3	-	②	不明	②	①	②	-	②	*web(自宅)

■栃木県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	選考過程		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						論文文	実施分						
宇都宮市	4/30～5/19	29歳	70	*SCOA	-	②	不明	-	②	②	-	-	*テストセンター 1次:書類選考(ES)あり
足利市	9/19	29歳	25	Standard	-	①	90	-	-	②③	-	-	*申込時面接あり
栃木市	9/19	29歳	10	Standard	-	②	不明	-	②	③	②	-	
佐野市	9/19	28歳	23	Standard	-	②	不明	-	②	②	-	-	
鹿沼市	7/10～7/11	30歳	10	Light	-	-	-	①	①	②	①	-	
日光市	6/20	32歳	5	SPI3	-	②	不明	-	②	③	-	②	
小山市	9/19	29歳	18	Logical	-	②	不明	-	②	②	-	②	
真岡市	9/19	29歳	10	Standard	-	②	不明	-	①	②	-	②	
大田原市	9/19	30歳	9	Standard	-	②	60	-	①	②	-	②	
矢板市	9/19	30歳	3*	Light	-	②	不明	-	①②	②	①	-	
那須塩原市	9/19	29歳	10	Standard	-	-	-	-	①	②	②	②	
さくら市	9/19	35歳	7	Light	-	*①	不明	-	*②①	②③	-	-	*① エントリーシート記入(60分) *②SPI3
那須烏山市	9/19	33歳	5	Standard	-	-	-	-	①	①②	-	②	
下野市	9/19	30歳	10	Standard	-	②	分	-	②	②	-	②	

■群馬県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	選考過程		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						論文文	実施分						
前橋市	6/13	29歳	18	SCOA	-	-	-	-	①	③	②	②	
高崎市	6/13	29歳	32	SCOA	-	-	-	-	①	③	②	-	
桐生市	7/11	29歳	14	Standard	-	-	-	-	①	②	-	-	
伊勢崎市	6/20	28歳	13	Standard	-	-	-	①	-	②③	-	-	
太田市	6/20	30歳	25	Standard	-	①	30	-	②	③④	②	-	2次:太田市に関する論文を別途実施
沼田市	9/19	29歳	9*	Logical	-	①	60	-	①	③	②	-	
館林市	*7月上旬	29歳	15*	*SCOA	-	②	不明	-	-	②③	-	-	*テストセンター(希望日時を予約)
渋川市	9/19	30歳	10	SPI3	-	①	不明	-	-	②③	-	-	
藤岡市	9/19	30歳	5	Standard	-	-	-	-	①	②	-	-	
富岡市	9/19	29歳	若干	Logical	-	①	不明	-	②	③	②	-	
安中市	9/19	28歳	7*	Standard	-	①	不明	-	①	③	-	②	
みどり市	7/11	29歳	7	Standard	-	①	不明	①	-	③	-	②	

■埼玉県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						実施	分						
川越市	9/19	30歳	16*	Standard	-	②	90	-	②	*1②	-	②	*1次面接8/8又は8/22で実施
熊谷市	9/19	30歳	30	Standard	-	①	60	-	②	③④	-	②	
川口市	9/19	31歳	50*	Standard	-	-	-	-	②	①②	-	-	
行田市	6/6	26歳	若干	SPI3	-	①	不明	-	-	②	-	②	
秩父市	9/19	27歳	13	Standard	-	②	不明	-	②	①②	-	-	
所沢市	4/30～5/2	25歳	30	*SPI3	-	-	-	-	-	②③	③	-	*1次はES提出、SPI3は2次(5月下旬)
	9/19		17*	Standard	-	-	-	-	②	③	③	②	
飯能市	*17/28～8/1	30歳	20	*SPI3	-	-	-	-	-	①③④	-	-	*11次面接 *22次試験(web;自宅)
加須市	9/19	31歳	10	Standard	-	①	70	-	①	*②	-	-	*2回実施
本庄市	8/7～8/31	30歳	5	SCOA	-	②	60	-	①	②③	-	-	
東松山市	6/13	24歳	6	SPI3	-	*①	60	-	-	②	②	-	前期 *ES作成
	9/19	30歳	6	Standard	-	②	不明	①	②	②	②	-	後期
春日部市	7/11	25歳	25	Standard	-	①	90	-	-	③	②	-	
狭山市	9/19	28歳	20	Standard SPI3	-	-	-	① -	①	①②	-	-	教養試験又はSPIのいずれかを選択 1次面接:8/11～8/15に実施
羽生市	9/19	30歳	10*	Standard	-	①	90	-	①	②③	-	-	
鴻巣市	9/19	28歳	15*	Standard	-	①	不明	-	①	②③	-	-	
深谷市	9/19	30歳	11*	Standard	-	①	90	-	①	③	②	②	
上尾市	*8/19～8/21	27歳	10*	*Standard	-	-	-	-	①	③	-	-	*1面接試験及び事務適性 *22次試験
草加市	*6/27	25歳	15	*SPI3	-	-	-	-	-	③	-	-	*1論文 *22次試験(テストセンター)
	9/19		10*	Standard	必答型	①	60	-	-	②③	-	-	
越谷市	9/19	25歳	30*	Standard	-	①	60	-	③	③	②	-	
蕨市	1/8～1/16	25歳	若干	*SCOA	-	-	-	-	*2①	②	-	-	*1テストセンター *web
戸田市	*8/27～9/6	30歳	20	SCOA	-	-	-	-	②	②③	-	-	
入間市	9/19	30歳	25*	Standard	-	*②	不明	①	①	①②	②	-	*自己アピールシート作成
朝霞市	9/19	28歳	10*	Standard	-	②	60	①	-	③	-	②	
志木市	9/19	30歳	10*	*	-	①	不明	-	①	②	-	②	*教養試験(Standard)又はSPI3の選択制
和光市	9/19	35歳	10*	*	-	①	60	-	②	③	②	-	*教養試験(Standard)又はSPI3の選択制
新座市	9/19	28歳	10*	Standard	-	①	60	①	①	③	-	②	
桶川市	9/19	25歳	5*	Standard	-	①	60	-	①	①③	②	-	
久喜市	*8/16～8/20	30歳	21*	*2Logical	-	②	60	-	②	①③	-	-	*11次:個別面接 *22次試験:9/19
北本市	*9/19～9/21	28歳	若干	*2Standard	-	②	80	-	②	①③	-	-	*11次:個別面接 *22次試験:10/中旬
八潮市	9/19	26歳	15	Standard	-	①	90	-	①	②	②	-	
富士見市	5/12～5/25	26歳	6	*SPI3	-	-	-	-	-	②③	-	-	*webテスト(自宅)
	9/19		5	Standard	-	*①	-	-	①	②③	-	-	*申込み時に事前提出
三郷市	6/27	27歳	5	Standard	-	①	60	-	-	②③	-	-	
蓮田市	9/19	26歳	9*	Standard	-	①	60	-	①	②	-	-	
坂戸市	6/20	28歳	15	SPI3	-	②	不明	-	-	①②③	-	-	
幸手市	9/19	30歳	2*	Standard	-	①	90	-	①	②	-	-	
鶴ヶ島市	9/19	28歳	9	Standard	-	①	90	-	-	②③	-	②	
日高市	9/19	29歳	10	SPI3	-	-	-	-	①	①②	-	-	
吉川市	*7/11	28歳	10*	Standard	-	-	-	-	④	④	③	④	*2次試験(1次は書類審査)
ふじみ野市	9/19	30歳	21*	*	-	②	不明	-	②	①③	-	③	*教養試験(Standard)又はSPI3の選択制
白岡市	9/19	30歳	10	Standard	-	①	90	-	①	*②	-	-	*個別面接2回

■千葉県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	選考過程							備考
						論文文	事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW		
												実施	
銚子市	9/19	30歳	3	Logical	-	-	-	①	-	②	-	-	一般方式
	9/13～9/30		5	*SPI3	-	-	-	-	②③	-	-	SPI方式 *テストセンター	
市川市	6/20	28歳	45	SPI3	-	*①	-	-	②	②③	-	②	*ES審査(申し込み時提出)
船橋市	6/27	30歳	35*	Standard	必答型	-	-	-	*②	③	②	②	行政A *適性:テストセンター
			SCOA	-	-	-	-	③	②	②	行政B *適性:テストセンター		
館山市	9/19	35歳	23	Light	-	①	60	-	-	②	-	-	
木更津市	9/19	30歳	10	Standard	必答型	-	-	-	-	①②	-	-	
松戸市	6/20	30歳	20	Standard	必答型	-	-	-	②	③	②	-	
野田市	9/19	30歳	11	Standard	必答型	-	-	-	①	②③	-	-	
茂原市	9/18～9/20	35歳	7	*SCOA	-	-	-	-	-	②③	-	-	*テストセンター
成田市	7/11	30歳	13	Logical	S6型	-	-	-	-	②③	-	-	専門あり
			6		-	-	-	-	②③	-	-	専門なし	
佐倉市	7/11	30歳	15	Logical	S6型	-	-	-	-	③	②	-	
東金市	9/19	30歳	5	Standard	-	-	-	-	①	③	-	②	
旭市	9/19	30歳	7	Logical	-	-	-	①	-	③	-	②	
習志野市	9/19	30歳	18*	Standard	必答型	①	不明	-	②	③	②	-	
柏市	*6/20	26歳	20	*Standard	必答型	-	-	-	-	①	③	②	行政A *2次試験(1次はエントリーシート)
	10		*SCOA	-	-	-	-	①	③	②	行政B *6/20までにテストセンターで受験		
勝浦市	9/19	30歳	若干	Standard	-	①	60	-	①		不明		
市原市	6/13	27歳	10	Standard	必答型	-	-	-	②	②	-	-	
流山市	6/20	35歳	25	Standard	必答型	-	-	-	①	③	②	-	
八千代市	9/19	30歳	20*	Standard	-	-	-	-	②	③	-	②	ベーシック Style
			SPI3	-	-	-	-	-	-	-	SPI3 Style		
我孫子市	9/19	35歳	20	SCOA	-	-	-	-	①	②③	-	-	
鴨川市	9/19	35歳	4	Light	-	①	60	-	-	②	-	-	
鎌ヶ谷市	7/11	35歳	若干	Standard	必答型	-	-	-	①	②③	-	-	
君津市	6/27	29歳	8	SCOA	-	*①	60	-	①	*②③	-	-	*13次試験で評価 *②AI面接
富津市	9/19	35歳	7	Logical	必答型	-	-	-	-	②	-	②	
浦安市	6/20	28歳	20	SCOA	-	①	60	-	①	③	-	②	
四街道市	7/11	30歳	15	Logical	S6型	-	-	-	-	③	②	-	
袖ヶ浦市	9/19	30歳	6	*①Standard	-	*②①	60	-	-	②③	-	-	*①別途SPI3も実施(2時間) *②エントリーシート
八街市	7/11	35歳	3	Logical	S6型	-	-	-	-	②③	-	-	
印西市	7/11	30歳	15	Logical	S6型	-	-	-	-	②	-	-	
白井市	7/11	35歳	5	Logical	S6型	-	-	-	-	③	②	②	
富里市	7/11	30歳	2	Logical	S6型	-	-	-	-	②③	-	-	専門試験あり
		35歳	若干		-	-	-	-	-	-	専門試験なし		
南房総市	9/19	35歳	10	Light	-	①	60	-	②	②③	-	-	
匝瑳市	9/19	30歳	7	Logical	必答型	-	-	-		不明			
香取市	7/11	30歳	7	Standard	必答型	-	-	-	②		不明		
山武市	9/19	30歳	9	Standard	-	-	-	-	②	②③	-	-	
			3	SPI3	-	-	-	-	-	不明			
いすみ市	9/19	28歳	若干	Standard	-	①	60	①	-	②	-	-	
大網白里市	9/19	35歳	4	Standard	-	-	-	-	②	③	-	②	

■東京都

市役所	1 次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	選考過程		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						論文文	実施 分						
八王子市	5/21～5/24	31 歳	60	TG-WEB	-	*①	-	-	③	②④	-	③	*申し込み時提出
立川市	12/1～12/10	26 歳	10	*SCOA	-	-	-	-	②	②	③	-	*テストセンター
武蔵野市	5/16	30 歳	30*	Standard	-	②	60	-	-	③④	-	②	一般方式
	5/10～5/17	30 歳	30*	GAB	-	②	60	-	-	③④	-	②	Web 試験方式(自宅)
三鷹市	5/2	29 歳	30*	Standard	必答型	-	-	-	-	*②③	-	-	A 方式 *②ES 審査通過者対象
				SPI3	-	①	90	-	-	*②③	-	-	B 方式 *②ES 審査通過者対象
青梅市	*8/1～8/20	28 歳	20*	*SCOA	-	②	不明	-	②	②③	-	②	*①書類審査 *②テストセンター(9/4～9/15)
府中市	8/22～9/7	30 歳	45	*SPI3	-	*②	60	-	-	③④	②	-	*①テストセンター *②文章要約試験
昭島市	5/25～6/7	27 歳	25*	*SCOA	-	②	不明	-	②	③④	②	-	*テストセンター
調布市	*7/3～7/11	29 歳	15	*SPI3	-	④	60	-	-	*①③	-	②	*①3 次試験 *②1 次試験書類選考あり
町田市	5/11～5/20	30 歳	30	*SPI3	-	③	90	-	①	*②③	-	-	*web(自宅)、3 次で GAB 実施 *②web 面接
小金井市	7/15～7/28	27 歳	若干	SCOA	-	②	-	-	②	③④	*②	-	*自己 PR 審査(1 分)
小平市	9/19	29 歳	若干	*	-	①	60	①	①	②③	-	-	*教養試験 105 分
日野市	6/4～6/13	25 歳	50	*SCOA	-	-	-	-	-	*②③	④	-	*テストセンター *②Web 面接
東村山市	6/20	29 歳	20	Standard	-	①	90	①	②	②③	②	-	
国分寺市	5/21～5/27	40 歳	若干	*SPI3	-	-	-	-	①	②	①②	③	*web(自宅)
国立市	8/5～8/10	27 歳	若干	*GAB	-	-	-	-	①	②③	-	-	*web(自宅)
福生市	9/19	28 歳	若干	*SPI3	-	-	-	-	①	③④	②	-	*web(自宅)
狛江市	9/13～9/26	27 歳	若干	*SPI3	-	③	不明	-	①	③④	②	-	*テストセンター
東大和市	9/15～9/29	25 歳	若干	*SCOA	-	-	-	-	①	③	②	-	*テストセンター
清瀬市	7/11	26 歳	若干	SCOA	-	-	-	-	①	③④	-	②	
東久留米市	*7/11	27 歳	若干	*SPI3	-	②	45	-	②	④	-	③	*2 次試験(1 次は書類審査)
武蔵村山市	9/19	30 歳	若干	Standard	-	①	90	①	①	③	*②	-	*②別途体力審査も実施
多摩市	9/上旬～下旬	30 歳	25*	*SCOA	-	-	-	-	②	③④	③	-	*テストセンター(2 次):1 次は書類審査
稲城市	9 月中の実施	26 歳	若干	*SCOA	-	-	-	-	②	③④	-	-	*テストセンター(2 次):1 次は書類審査
羽村市	7/11	29 歳	若干	Standard	-	①	不明	①	②	③④	②	②	
あきる野市	9/19	28 歳	10*	Standard	-	②	90	①	②	②③	-	-	
西東京市	9/15～9/30	29 歳	10*	*SPI3	-	-	-	-	①	②③	-	②	*テストセンターまたは web(自宅)

■神奈川県

市役所	1 次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	選考過程		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						論文文	実施 分						
横須賀市	6/20	29 歳	20	*SPI3	-	-	-	-	①	②③④	-	-	*web(自宅)
平塚市	*6/20	25 歳	15	*SPI3	-	-	-	-	②	③④	-	①	*2 次 web(自宅):1 次は書類審査及び GW
鎌倉市	6/20	27 歳	15	*	-	-	-	-	-	②	-	-	*web 試験(詳細不明)
藤沢市	5/23	27 歳	30	*SPI3	-	③	不明	-	③	③④	②	④	*web(自宅)
小田原市	4/21～4/26	28 歳	15	GAB	-	-	-	-	①	*①②	-	③	*①録画面接
茅ヶ崎市	*7/31	27 歳	10	*SPI3	-	-	-	-	③	③④	②	-	*3 次試験(1 次は書類選考)
逗子市	10/8～10/22	27 歳	5	*SPI3	-	-	-	-	-	③④	②	-	*テストセンター
三浦市	9/19	30 歳	若干	Standard	-	-	-	-	①	③	②	-	
秦野市	*7/11	35 歳	10	Dict	-	①	75	-	②	①③	-	②	*1 次試験 2 日目(1 日目は申込時面接 6/13～16)
厚木市	5/24～6/10	30 歳	40	*GAB	-	-	-	-	①	③④	②	-	*テストセンター(1 次受験前に書類審査)
大和市	9/10～9/24	42 歳	30*	*GAB	-	-	-	-	①	②③	-	-	*web(自宅)
伊勢原市	*10/17	25 歳	若干	*Standard	-	-	-	③	-	②④	①	-	*3 次試験
海老名市	6/20	32 歳	若干	Standard	-	-	-	①	①	③④	②	-	
座間市	*9/19	29 歳	7	*SCOA	-	-	-	-	-	②④	-	①	*3 次試験
南足柄市	8/29	30 歳	若干	Light	-	③	不明	①	①	②③	-	-	
綾瀬市	7/10～7/18	30 歳	若干	*SCOA	-	②	不明	-	①	③④	②	-	*テストセンター

■新潟県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						実施	分						
長岡市	6/6	27歳	17	Standard	-	①	不明	-	①	②③	-	-	
三条市	5/13～5/19	35歳	8	*1SPI3	-	③	不明	-	①	③	-	*2②	*1web(自宅) *2GWオンライン又は動画プレゼンの選択
柏崎市	6/6	24歳	5	Standard	-	①	60	-	①	②③	-	-	
新発田市	4/21～5/17	28歳	10	*SPI3	-	③	不明	-	①	②③	-	-	
小千谷市	7/10	35歳	4*	SCOA	-	-	-	-	①	*①	-	-	*1分間スピーチ(2次以降は不明)
加茂市	6/20	30歳	若干	Standard	-	①	60	①	-	②	-	-	
十日町市	7/11	29歳	6	Standard	-	①	不明	-	①	③	②	-	
見附市	7/12～7/18	29歳	3	*SPI3	-	-	-	-	①	②③	-	-	*テストセンター
	7/18	29歳	3	Standard	-	-	-	-	①	②③	-	-	教養試験・SPI試験を選択
村上市	7/11	29歳	4	Standard	必答型	-	-	①	-	②	-	-	
燕市	5/下旬～6/月上旬	29歳	10	*1SCOA	-	*①③	不明	-	①	*②③	-	-	*1web(自宅) *2自己アピールシート事前提出 *③web面接
糸川市	7/11	31歳	2	Standard	-	①	60	①	②	②	①	-	
妙高市	7/11	29歳	2	Logical	-	①	60	-	①	②	-	-	
五泉市	6/20	28歳	若干	Standard	-	①	不明	①	-	②	-	-	
上越市	6/20	26歳	18	*SCOA	必答型	-	-	-	①	-	不明	-	*別途上越市に関する問題(20問/20分)
阿賀野市	7/11	29歳	7	Logical	必答型	-	-	-	①	-	不明	-	
佐渡市	7/11	30歳	若干	Standard	-	①	不明	①	①	-	②	-	
魚沼市	7/4	29歳	5	SPI3	-	-	-	-	①	②③	-	-	
南魚沼市	7/11	32歳	5	Logical	必答型	-	-	-	①	②	-	②	
胎内市	7/11	35歳	3	Logical	必答型	-	-	-	①	②	-	②	

■富山県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						実施	分						
富山市	6/20	30歳	15	Standard	必答型	①	不明	-	①	①②	-	-	
高岡市	6/20	27歳	6	Standard	必答型	①	80	-	②	②	-	②	
魚津市	6/20	35歳	若干	Logical	-	①	60	①	②	②	-	-	
水見市	6/20	35歳	5*	Standard	必答型	①	不明	-	②	②	-	-	
滑川市	7/11	32歳	若干	Standard	-	①	60	-	②	②	-	-	
黒部市	6/20	35歳	3	Standard	-	①	60	-	①	①②	-	-	
砺波市	7/11	35歳	7	Standard	必答型	-	-	-	②	③	-	②	
小矢部市	7/11	30歳	2	Standard	必答型	②	不明	-	①	②	-	-	
南砺市	7/11	34歳	5	Standard	必答型	-	-	-	-	②	-	②	
射水市	6/20	32歳	12	SCOA	-	①	60	①	①	①②	-	-	

■石川県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						実施	分						
金沢市	6/20	29歳	26	Standard	必答型	①	70	-	①	*②	-	-	*別途プレゼンテーション動画を(2分)提出
七尾市	6/20	30歳	3	Standard	-	①	60	-	-	②	-	-	
小松市	6/20	29歳	6	Standard	-	①	50	-	①	②	-	-	
輪島市	9/19	30歳	8	Standard	必答型	①	不明	-	①	②	-	-	
珠洲市	9/19	30歳	11	Standard	-	①	不明	-	①	②	-	-	
加賀市	6/1～6/19	29歳	22	*1SPI3	-	*①	不明	-	①	②	-	-	*1テストセンター又は会場受験を選択 *②オンライン
羽咋市	8/22	30歳	3	Standard	-	①	不明	-	①	②	-	②	
かほく市	9/19	29歳	3	Standard	-	①	50	-	①	②	-	-	
白山市	6/20	29歳	10	Standard	必答型	①	60	-	①	②	-	-	
能美市	6/20	30歳	6	SCOA	-	①	60	-	①	②	-	-	
野々市市	6/20	30歳	1	Standard	-	①	不明	-	①	②	-	-	

■福井県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	選考過程		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						論文文	実施分						
福井市	6/20	35歳	17	Logical	必答型	①	60	-	①②	②	-	②	
敦賀市	7/25	30歳	5	Standard	-	-	-	①	①	②	-	②	
小浜市	*8/8	44歳	若干	*SCOA	-	-	-	-	②	③	①	③	*2次試験(1次:集団面接は7/17~18)
大野市	6/下旬~7/上旬	30歳	5*	*SPI3		②	不明	-	①	*2③	-	-	*1web(自宅) *2②プレゼンテーション面接
勝山市	7/11	29歳	3	Standard	-	①	60	-	①	②	-	②	
鯖江市	6/21~6/25	30歳	6	*BEL	-	②	不明	*2①	-	②	-	②	*1情報分析基礎力検査(web) *2(web)
あわら市	7/11	30歳	4	Logical	-	①	不明	-	①	②	-	②	
越前市	6/1~6/12	27歳	7*	*SCOA	-	-	-	*①	②	②	-	-	*テストセンター
坂井市	6/20	30歳	7	Standard	-	①	60	-	-	②	-	-	

■山梨県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	選考過程		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						論文文	実施分						
甲府市	9/19	28歳	21	Standard	-	-	-	①	①	*②	-	②	*2回実施
富士吉田市	9/19	28歳	12	Standard	-	②	不明	①	-	②③	-	-	
都留市	9/19	29歳	5*	SPI3	-	②	90	-	①	②③	-	-	
山梨市	9/18	30歳	3	SPI3	-	②	不明	②	①	②	-	②	
大月市	9/19	30歳	若干	Standard	-	②	不明	①	①	②	-	-	
韭崎	9/19	30歳	2	Standard	必答型	①	90	-	①	③	-	②	
南アルプス市	9/19	32歳	9	Standard	必答型	②	90	①	①	③	②	-	
北杜市	9/19	30歳	若干	Standard	必答型	②	90	①	①	②	-	②	
甲斐市	9/19	30歳	15*	Standard	必答型	②	90	①	-	②③	-	②	
笛吹市	9/20	33歳	7*	Logical	必答型	②	60	①	②	③	-	②	
上野原市	9/5	29歳	若干	SPI3	-	③	不明	-	①	③	②	-	
甲州市	9/19	33歳	6*	Standard	-	①	60	-	①	②	-	-	
中央市	9/19	32歳	3	Standard	必答型	②	90	①	①	③	-	②	

■長野県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	選考過程		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						論文文	実施分						
長野市	6/20	26歳	若干	SCOA	必答型	①	90	①	-	②③	②	-	
松本市	6/20	26歳	30*	Light	必答型	-	-	-	①	②③	②	-	
上田市	7/11	26歳	20	SCOA	必答型	②	不明	-	②	③	-	-	
岡谷市	7/11	30歳	若干	Standard	-	*①	不明	-	②	③④	-	-	*ES 3次で体力検査を実施
飯田市	6/5~6/11	34歳	若干	SPI3	-	-	-	-	①	*①②③	-	-	*動画審査(録画面接)
諏訪市	7/11	35歳	6	Standard	-	-	-	-	①	②③	-	-	
須坂市	7/11	34歳	若干	Standard	-	①	60	①	①	②③	-	③	
小諸市	7/11	30歳	若干	Standard	必答型	①	60	-	①	②③	-	②③	
伊那市	7/4~7/16	35歳	7	SCOA	-	②	60	②	①	②③	②	-	
駒ヶ根市	*7/4	30歳	若干	*SPI3	-	②	不明	-	①	②③	-	②	*テストセンター受験の場合7/1~7/11
中野市	7/11	30歳	若干	Logical	必答型	①	60	-	①	②③	-	-	
大町市	9/19	30歳	若干	Standard	-	①	60	①	①	②	-	-	
飯山市	6/20	29歳	若干	Standard	必答型	①	70	-	①	②	-	-	
茅野市	7/11	30歳	若干	Standard	-	①	60	-	①	②	②	②	
塩尻市	6/6	30歳	若干	Standard	-	①	30	-	-	②③	-	-	
佐久市	6/27	30歳	15	Standard	-	①	不明	-	①	③④	-	②	
千曲市	6/20	27歳	1	Standard	必答型	①	50	-	②	②	-	-	
東御市	9/19	26歳	若干	Standard	必答型	①	不明	-	①	②③	-	-	
安曇野市	6/20	35歳	11	Standard	必答型	②	不明	-	②	②③	-	-	

■岐阜県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						実施	分						
岐阜市	6/20	29歳	25	Standard	必答型	②	不明	-	②	②	-	②	
大垣市	7/11	27歳	17	Standard	必答型	③	不明	-	-	③	-	②	
高山市	7/11	29歳	2	Standard	-	①	不明	-	-	②	-	②	
多治見市	7/11	25歳	3	SPI3	-	①	60	-	①	②③	-	-	
関市	7/11	30歳	10	Standard	-	①	不明	-	①	②	-	②	
中津川市	7/11	44歳	10*	SCOA	-	①	*	-	①	②③	-	-	*事前提出
美濃市	9/19	28歳	5	Logical	-	③	不明	①	①	②	-	②	
瑞浪市	7/11	30歳	2	*SCOA	-	-	-	*①	①	①②	-	-	*SCOA-C(事務能力)
羽島市	7/11	27歳	5	SCOA	-	②	不明	①	①	②	-	②	
恵那市	7/11	35歳	5	SCOA	-	②	60	-	①	③	-	②	
美濃加茂市	7/11	26歳	5	Logical	-	-	-	①	②	③	②	②	
土岐市	7/11	26歳	5	SCOA	-	②	不明	-	①	②③	-	-	
各務原市	7/11	29歳	15	Standard	-	-	-	*①	①	③	②	②	*事務処理能力(60分)
可児市	6/27	26歳	10	-	-	-	-	①	②	①②③	-	-	
山県市	7/11	29歳	若干	Standard	-	②	60	①	-	③	-	②	
瑞穂市	7/11	30歳	若干	Standard	-	-	-	①	-	2次以降不明		-	
飛騨市	*7/11	27歳	1	Logical	-	②	不明	-	①	②	-	-	*東京会場は6/27実施
本巣市	7/11	28歳	若干	Standard	-	②	不明	①	①	②	②	-	
郡上市	7/11	44歳	若干	Standard	-	②	不明	①	①	②	-	②	
下呂市	6/20	29歳	3	SCOA	-	②	不明	-	①	*①②	-	-	*①筆記面接(質問に対して筆記で回答)
海津市	7/11	28歳	若干	*	-	-	-	-	①	②	-	②	*基礎能力検査(詳細不明)

■静岡県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						実施	分						
沼津市	7/4	30歳	21	Standard	-	②	80	②	②	②③	-	-	
熱海市	7/11	30歳	10	*SCOA	-	③	不明	①	②	②③	-	-	*会場受験又はテストセンター
三島市	9/19	30歳	若干	SCOA	-	①	60	①	③	②③	-	-	
富士宮市	7/11	28歳	7	Standard	-	②	不明	-	②	②③	-	-	
伊東市	7/11	30歳	10	SPI3	-	①	不明	-	①	③	-	②	
島田市	7/11	30歳	10*	Standard	-	①	不明	-	①	②③	-	-	
富士市	7/11	30歳	5	Standard	-	①	60	-	①	②③	-	-	
磐田市	*7/11	25歳	15*	SPI3	-	①	不明	-	①	①③④	-	①	*2次試験(1次は面接・GW)
焼津市	7/11	28歳	10	Standard	-	-	-	-	①	①②	-	-	
掛川市	6/17~6/27	27歳	15	*SPI3	-	-	-	-	①	*③④	*②	-	*1次~3次 web(自宅)
藤枝市	7/11	30歳	30*	Standard	-	-	-	-	①	②③	-	-	
御殿場市	7/11	30歳	9	Standard	-	①	30	-	①	*②	-	-	*30分×3回
袋井市	6/27	25歳	3	Standard	-	①	不明	-	①	③	-	②	
下田市	7/11	32歳	若干	Light	-	①	60	②	-	②	-	-	
裾野市	7/11	28歳	若干	Standard	-	②	不明	①	①	①②③	-	-	
湖西市	7/4	35歳	5	SPI3	-	-	-	-	①	②③	-	②	
伊豆市	6/27	29歳	3	SPI3	-	-	-	-	①	*②③	*②	-	第1回 *②(web面接)
	9/19	25歳	1										第2回 *②(web面接)
御前崎市	7/11	29歳	4	Logical	-	①	不明	-	②	②	-	②	
菊川市	6/27	29歳	5	SPI3	-	②	不明	-	②	③	①②	-	
伊豆の国市	7/11	36歳	10	Standard	-	①	不明	-	①	②③	-	-	
牧之原市	7/11	27歳	4	SPI3	-	①	60	-	①	③	②	-	

■愛知県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						実施	分						
豊橋市	4/18	30歳	30*	Standard	-	-	-	-	②	①③④	-	②	別途自己推薦枠あり(SPI3)
岡崎市	*6/20	27歳	22*	Standard	-	-	-	-	②	①③	-	-	*教養コース(教養:2次試験)
	*6/1~6/20			SPI3	-	-	-	-		①②③	-	-	*SPIコース(テストセンター:2次試験)
一宮市	7/11	28歳	20	Standard	-	②	不明	②	②	②③	-	-	
瀬戸市	*7/11	26歳	15*	*Standard	-	-	-	-	③	③	②	-	*3次試験(1次は書類選考)
半田市	*5/26~5/29	27歳	6	*SPI3	-	-	-	-	②	②③	①	②	*2次試験(1次は5/12~5/14)
春日井市	*7/11	30歳	20	Standard	-	-	-	①	-	①②	-	-	*筆記試験(1次面接は6/20)
豊川市	*6月上旬			SPI3	-	③	不明	-	②	③	-	-	SPI方式 *テストセンター(2次試験)
	*7/11	28歳	25	Logical	-	②	不明	-	①	②	①	②	一般方式 *東京会場は7/18実施
津島市	7/11	30歳	5*	Standard	-	-	-	-	①	②③	-	②	
碧南市	5/29~5/30	30歳	10	SPI3	-	-	-	①	-	③	①	②	
刈谷市	6/17~6/24			-	-	-	-	-	-	*①②	-	-	A日程 *自己PR面接 受付時に面接・書類選考
	7/11	26歳	7	Standard	-	②	不明	-	①	②	-	②	B日程 受付時に面接・書類選考
豊田市	4/25	27歳	30	SPI3	-	-	-	-	-	③	②	③	
安城市	5/8~5/27			*GAB	-	-	-	-	①	②	-	①	A日程 *テストセンター 受付時に面接・書類選考
	7/11	30歳	20	Standard	-	-	-	-	-	-	-	-	B日程 受付時に面接・書類選考
西尾市	*6/24~7/14			*SPI3	-	-	-	-	-	①②③	-	-	SPIコース *2次試験(テストセンター) 書類・動画選考あり
	*7/11	30歳	15	*Standard	-	-	-	②	②	①③	-	-	一般コース *2次試験 書類・動画選考あり
蒲郡市	7/11	30歳	10	Standard	-	①	不明	①	②	②	-	-	
大山市	7/11	27歳	5*	Logical	-	-	-	①	①	②	①	-	
常滑市	7/11	26歳	12	Light	-	-	-	-	①	②③	-	②	
江南市	5/23	27歳	3	SPI3	-	-	-	-	①	②	-	-	受付(申込)時に面接あり
小牧市	7/11	28歳	10	Standard	-	②	不明	-	①	②③	-	-	
稲沢市	7/11	27歳	6	Standard	-	③	不明	-	①	③	-	②	
新城市	7/11	28歳	若干	Standard	-	①	不明	-	①	②③	-	②	一般方式
	*6月下旬		若干	SPI3	-	-	-	-	-	②③	-	-	SPI方式 *2次試験(1次は自己PR試験5/29)
東海市	7/11	30歳	7	Standard	-	①	60	-	②	③	②	②	
大府市	5/14~5/28	27歳	5	*SPI3	-	②	不明	①	②	③	-	②	*テストセンター
知多市	7/11	30歳	8	Standard	-	①	80	-	①	②③	-	-	
知立市	7/11	28歳	5	Light	-	-	-	①	①	②	②	-	書類選考あり
尾張旭市	7/11	26歳	5	SCOA	-	-	-	-	①②	③	②	-	
高浜市	7/11	35歳	4	Light	-	②	60	-	①	②	①	-	書類選考あり
岩倉市	7/11	35歳	2	SPI3	-	②	不明	-	①	③	-	②	
豊明市	6月中旬	30歳	6	*SPI3	-	③	不明	-	①	②③	-	-	*テストセンター
日進市	6/19~6/20			Standard	-	-	-	②	②	③④	-	-	事務A 書類選考あり
	5/27~6/20	27歳	8	SPI3	-	-	-	-	-	-	-	-	事務B 書類選考あり
田原市	7/11	28歳	4	Standard	-	①	不明	-	①	②	-	-	
愛西市	7/11	25歳	10	Standard	-	①	不明	-	①	②	-	②	
清須市	7/11	28歳	2	Standard	-	①	不明	-	①	②	②	-	
北名古屋市	7/11			Standard	-	①	不明	-	①	②③	-	-	一般A
	7/12~7/16	30歳	5	*SPI3	-	②	不明	-	②	①②③	-	-	一般B *2次試験
弥富市	9/19	24歳	6	Standard	-	②	不明	①	①	②	-	②	
みよし市	*5/1~5/6	51歳	10	*SPI3	-	④	不明	-	-	①	③④	④	*2次試験:テストセンター(1次は動画面接)
あま市	7/11	28歳	7	Standard	-	-	-	-	①	②	①	②	
				Standard	-	-	-	-	-	-	-	-	一般方式
長久手市	6/20	25歳	4	SPI3	-	-	-	-	①	②③	-	②	SPI方式

■三重県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						実施	分						
津市	6/27	35歳	15	Standard	-	*②	不明	①	②	②③	-	②③	*ケース記述試験
四日市市	9/19	29歳	30	*Standard	-	③	不明	③	①	②	-	-	*別途、短答記述式教養試験 90分を実施
伊勢市	9/19	34歳	3*	Standard	-	-	-	-	①	②③	-	②	
松阪市	5/15～6/6	35歳	12	SCOA	-	②	不明	②	②	②	-	②	
桑名市	5/8～5/30	34歳	10*	*SPI3	-	-	-	-	①	③	-	②	A日程(大卒) *テストセンター
	7/31～8/22	34歳	3*		-	-	-	-	①	③	-	②	B日程(高卒以上) *テストセンター
鈴鹿市	9/19	30歳	4	Standard	-	-	-	①	②	③	②	-	
名張市	*7/11	29歳	3	Light	-	③	不明	-	②	③	①②	③	*②次試験 別途ES:①集団面接日に提出
尾鷲市	9/19	35歳	3	Light	-	①	60	①	①	②	-	②	
亀山市	9/19	30歳	3	-	-	①	不明	①	②	②	-	-	
鳥羽市	9/19	35歳	1	Standard	-	①	不明	①	①	③	②	②	
熊野市	7/11	29歳	3	詳細不明									
いなべ市	6/20	29歳	7	Standard	-	①	60	①	①②	②③	-	-	
志摩市	6/27	29歳	4	Logical	-	-	-	①	①②	③	②	②	
伊賀市	6/12～6/25	29歳	6	*SPI3	-	-	-	-	①	②③	-	-	*テストセンター

■滋賀県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						実施	分						
大津市	7/18	28歳	45	SPI3	-	-	-	-	①	②③④	-	-	②Web面接
彦根市	7/11	30歳	12	*	-	②	不明	-	-	②③	①	-	教養(Standard) 又は SPI3 の選択
長浜市	7/11	27歳	15	*	-	①	60	-	②	②③	-	-	教養(Standard) 又は SPI3 の選択
近江八幡市	7/11	26歳	15	Light	-	②	不明	-	②	②	-	-	
草津市	7/11	25歳	6	*	-	-	-	-	-	③	②	②	教養(Standard) 又は SPI3 の選択
守山市	7/11	28歳	10*	Standard	-	-	-	-	②	①②③	-	-	
栗東市	7/11	27歳	5	SPI3	-	-	-	-	①	②③	-	②	
甲賀市	7/11	29歳	20	Standard	-	-	-	-	②	③	②	②	
野洲市	7/11	35歳	4	Logical	-	③	不明	-	②	③	②	②	
湖南市	7/11	30歳	8	Standard	-	-	-	-	-	②③	①	②	
高島市	5/27～6/24	30歳	6	*SCOA	-	*②	60	-	②	②③	-	-	*①テストセンター *②課題解決力試験
東近江市	7/11	27歳	20	Standard	-	③	不明	-	-	③	-	②	
米原市	7/11	35歳	5	SPI3	-	③	不明	-	②	③	①②	-	

■京都府

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						実施	分						
福知山市	*6/6	34歳	10	*	-	③	30	-	②	①③	-	②	*2次試験:教養(Standard) 又は SPI3 の選択
舞鶴市	7/11	28歳	10*	Standard	-	②	不明	①	-	②③	-	②	
綾部市	7/11	28歳	若干	Logical	-	①	不明	①	-	②③	-	-	
宇治市	10/2～10/3	30歳	若干	*SPI3	-	①	不明	-	-	③④	①	-	*2次試験(10月下旬)
宮津市	7/11	28歳	若干	Standard	-	①	50	①	-	②	-	-	
亀岡市	9/19	26歳	10*	Standard	-	-	-	-	-	②③	-	-	
城陽市	6/22～7/5	29歳	10	*SPI3	-	-	-	③	①	④	②	③	*テストセンター
向日市	4/25	26歳	5*	SPI3	-	-	-	-	①	②③	-	-	1次で書類選考(ES)あり
長岡京市	9/19	25歳	7	SPI3	-	①	不明	-	①②	③	-	②	
八幡市	9/19	27歳	8	Standard	-	①	不明	-	②	②③	-	-	
京田辺市	*7/11	25歳	7	Standard	-	*②	50	-	②	③	②	②	*ES(3次試験の面接資料に使用)
京丹後市	7/11	30歳	9	*	-	①	60	-	①	②③	-	-	*教養(Standard) 又は SPI3 の選択
南丹市	5/30	25歳	5	SCOA	-	-	-	-	①	②③	-	-	
木津川市	6/6	27歳	5	SPI3	-	-	-	-	-	-	-	-	事務A(前期試験)後期試験との重複不可
	9/19	27歳	5*	Standard	-	②	不明	-	①	②③	-	-	事務C(後期試験)前期試験との重複不可

■大阪府

市役所	1 次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						実施	分						
岸和田市	5/16	30 歳	5	*	-	②	50	①	-	①③	-	②	*2 次(30 分/60 間)1 次は記述試験(自己 PR 系)
豊中市	6/11~6/21	39 歳	15	*SPI3	-	③	80	-	①	②③	-	③	*テストセンター
池田市	6/5~6/20	27 歳	4	*SCOA	-	③	不明	-	-	②	③	-	*テストセンター
吹田市	5/21~6/8	25 歳	20	*SPI3	-	-	-	-	①②	③	②	②	*テストセンター
	5/30			Standard	-	-	-	-	-	-	-	-	上記 SPI 一一般教養試験の選択制
泉大津市	9/19	30 歳	11	Logical	-	-	-	-	-	②③	-	②	
高槻市	6/12~6/27	30 歳	40	*SCOA	-	-	-	①	②	②③	-	③	事務 A *テストセンター
	6/20			Standard	-	-	-	-	-	-	-	-	事務 B
貝塚市	6/20	30 歳	5	Standard	-	-	-	-	②	③	②	-	
守口市	*8/6~8/12	27 歳	6	SCOA	-	-	-	②	③	②③	-	-	*2 次試験:テストセンター(1 次は動画面接)
枚方市	*8/12~8/24	25 歳	12	SCOA	-	④	不明	②	②	③④	-	-	*2 次試験:テストセンター(1 次は ES 審査)
茨木市	6/7~6/20	30 歳	30	*SPI3	-	②	60	-	①	②③	-	-	*テストセンター
八尾市	*8/21	24 歳	10	*SCOA	-	-	-	-	-	①②③	-	-	*3 次試験:テストセンター(1 次は動画面接)
泉佐野市	8/21~9/5	28 歳	4	*SCOA	-	②	不明	②	②	①②	-	-	*テストセンター
富田林市	9/17~9/27	29 歳	10	*SCOA	-	②	不明	-	①	③	②	-	*テストセンター
寝屋川市	5/13~5/31	32 歳	23*	-	-	-	-	-	③	*①③	-	*②	*① 録画面接 *② ディベート
河内長野市	7/21~8/2	35 歳	12	*SPI3	-	-	-	-	①	②③	-	-	*web(自宅):ES 選考合格者に対して実施
松原市	9/19	29 歳	26	Standard	-	②	不明	-	-	③	②	-	
大東市	9/25~10/3	30 歳	5	*SCOA	-	-	-	-	-	③	②	-	*テストセンター:ES 選考合格者に対して実施
和泉市	9/19	25 歳	8	SCOA	-	②	不明	-	-	②③	-	③	
箕面市	5/20~5/31	31 歳	14	*SPI3	-	-	-	-	①	②	-	②	*テストセンター
柏原市	9/10~9/26	30 歳	8	*SCOA	-	-	-	*②	-	③	②	②	*① テストセンター *② 事前試験(web 受験)
羽曳野市	9/19	30 歳	5	Standard	-	③	不明	-	③	③	②	-	
門真市	*1~9/26	30 歳	6	*SCOA	-	-	-	-	-	③	-	②	*① 試験公表日から *② テストセンター
摂津市	5/27~6/6	35 歳	10*	*GAB	-	③	60	-	-	③④	②	-	*web(自宅):ES 提出もあり
高石市	9/19	40 歳	5	Standard	-	①	60	-	②	③	②	②	
藤井寺市	9/21~9/28	26 歳	10	*SCOA	-	②	不明	*②	①	③	②	③	*① テストセンター *② 事前試験(web 受験)
東大阪市	6/19~6/30	24 歳	40	*SCOA	-	-	-	②	②	②③	-	③	*テストセンター
泉南市	8/26~9/6	35 歳	6	*SCOA	-	-	-	-	①	①②③	-	-	*テストセンター
四條畷市	*10/4~10/12	44 歳	5	*3E テスト	-	-	-	-	-	①②③	-	-	*2 次試験:web(自宅)1 次はビデオ面接
交野市	*10/1~10/7	30 歳	3	*SCOA	-	-	-	-	②	①③	-	②	*2 次試験:テストセンター(1 次は録画面接)
大阪狭山市	6/5~6/15	29 歳	5	*SCOA	-	-	-	①	-	②③	-	-	*テストセンター
阪南市	8/27~9/10	25 歳	2	*SCOA	-	-	-	-	①	③	①②	-	*テストセンター

■兵庫県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	選考過程		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						論文文	実施 分						
姫路市	7/11	25歳	20	Standard	必答型	②	不明	-	②	②③	-	-	
尼崎市	7/11～7/25	29歳	10*	*SPI3	-	-	-	-	①	③	②	③	*テストセンター
明石市	*10/15～10/17	28歳	10	*2 -	-	-	-	-	①② ③	-	-	-	Aコース *2次試験 *2不明:一般知能分野 Bコース *2次試験
西宮市	7/11	28歳	15	SPI3 SCOA	- S6型	②	不明	-	②	②	-	-	事務A-1 事務A-2
洲本市	9/19	27歳	5*	Standard	必答型	-	-	-	①	③	-	②	
芦屋市	*7/3～7/16	28歳	3	*SCOA	-	-	-	-	-	④	③	-	*2次試験:テストセンター(1次は書類選考)
伊丹市	6/27 6/22～6/23	25歳	10*	Standard C-GAB	必答型 -	②	不明 -	- -	② ①	②③	-	-	いずれかを選択
相生市	7/11	30歳	3	Standard	-	①	60	①	①	②	①	②	
豊岡市	9/19 8/27～9/18	35歳	7	Standard *SPI3	-	②	80	①	-	②③	②	③	教養試験枠 SPI枠 *テストセンター又はペーパーテスト *1テストセンター *2ES(面接シート)
加古川市	6/17～6/30	27歳	20	*SCOA	-	*1①	60	-	①	①②③	-	-	
赤穂市	7/11	30歳	2	Standard	-	①	不明	②	-	②	①	-	
西脇市	*7/11	24歳	10*	Standard	-	-	-	-	②	②	-	-	*2次試験(1次は書類選考)
宝塚市	7/11	29歳	10	Standard SPI3	S6型 -	-	-	-	-	②③	-	②	A1 A2
三木市	7/11	24歳	4	Standard	-	-	-	①	②	③	②	-	
高砂市	7/14～7/27	27歳	12	*SCOA	-	②	不明	-	①	②③	①	-	*テストセンター
川西市	7/1～7/16	27歳	15*	*SCOA	-	③	不明	①	-	②③	②	-	*テストセンター
小野市	6/19	24歳	4	Standard	-	③	不明	①	①	③	②	-	
三田市	6/29～7/6	25歳	8	*SPI3	-	②	不明	-	-	②③	-	②	*テストセンター(録画面接事前選考あり)
加西市	6/6 *5/20～6/4	27歳	5	Standard *SPI3	-	-	-	-	-	③	-	②	*テストセンター(会場受験の場合は6/6)
丹波篠山市	7/11	26歳	若干	Standard	-	-	-	①	①	③	-	②	
養父市	7/11	30歳	若干	Standard	-	②	不明	-	①	②	-	-	
丹波市	9/19	25歳	2	Standard	-	①	60	-	①	②	-	-	
南あわじ市	9/19	30歳	5	Standard	-	-	-	①	①	③	②	-	
朝来市	7/11 7/1～7/10	25歳	2	Light SPI3	-	① ②	90 不明	-	①	②③	-	-	
淡路市	9/19	25歳	3	SPI3	-	-	-	-	①	③	②	-	
穴栗市	9/19	28歳	若干	Standard	-	①	60	①	①	③	②	-	
加東市	6/16～6/28	30歳	2	*SPI3	-	-	-	-	①	②③	-	③	*テストセンター
たつの市	7/11	27歳	6	Standard	必答型 -	①	90	①	-	②	①	-	事務A(専門試験あり) 事務B(専門試験なし)

■奈良県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	選考過程								備考
					専門	論作文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	
						実施	分						
奈良市	*～5/5	27歳	40	*SPI3	-	-	-	-	①	②③	-	-	*テストセンター(指定日から5/5までに受験)
大和高田市	9/5	35歳	15	SCOA	-	-	-	-	*②	②③	-	-	*web受検(SCOA-B)
大和郡山市	5/9～5/22	28歳	11	*SCOA	-	-	-	①	②	②③	-	-	*テストセンター
天理市	7/23～8/12	27歳	7	*SCOA	-	-	-	①	②	②③	-	②	*テストセンター
橿原市	*7/12～7/25	29歳	6	*SCOA	-	-	-	-	②	③	-	-	*2次試験:テストセンター(1次は録画動画選考)
桜井市	9/19	25歳	6*	Logical	-	-	-	①	③	②③	-	②	
五條市	9/19	29歳	4	SCOA	-	②	不明	-	①	①②	-	-	
御所市	8/28～9/6	29歳	5	*SCOA	-	②	不明	-	①	③	②	-	*テストセンター
生駒市	4/24～5/4	27歳	10	*SPI3	-	③	不明	-	①	②③④	-	-	*テストセンター
香芝市	7/1～7/11	26歳	5	*SCOA	-	-	-	-	①	③	②	-	*テストセンター
葛城市	6/1～6/21	35歳	5*	*SCOA	-	②	不明	①	-	②	-	-	*テストセンター
宇陀市	5/25～6/7	27歳	4	*SCOA	-	②	不明	-	①	③	-	②	*テストセンター

■和歌山県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	選考過程										備考
				教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	G・D・G・W		
						実施	分							
和歌山市	6/20	35歳	10	Standard	必答型	②	90	-	②	②	②	-	1型	
			22	SCOA	-	③		②	②③	②③	②③	-	2型	
海南市	9/19	34歳	4	Light	-	-	-	-	-	②③	-	-		
橋本市	9/19	29歳	9*	Standard	-	-	-	①	②	②③	-	-		
有田市	6/12～6/27	34歳	4	*SPI3	-	②	不明	-	①	②③	-	-	*テストセンター	
御坊市	9/19	35歳	4	Light	-	①	60	①	-	②③	-	-		
田辺市	9/19	35歳	14	Standard	-	②	60	①	②	②	-	-		
新宮市	9/19	30歳	若干	Standard	-	-	-	①	①	①②	②	-		
紀の川市	9/19	25歳	9	Standard	-	②	60	-	①	③	②	②		
岩出市	9/19	27歳	2*	Standard	必答型	②	不明	②	-	②	-	-		

■鳥取県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	選考過程										備考
				教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW		
						実施	分							
鳥取市	6/20	29歳	25	Standard	-	②	90	①	②	②	-	-		
米子市	6/1～6/20	35歳	9	*SPI3	-	②	60	-	①	②③	②③	②	*テストセンター	
倉吉市	9/19	32歳	3	Light	-	②	60	①	①	②	-	-		
境港市	9/19	30歳	6	Standard	-	①	60	-	①	②	-	②		

■島根県

市役所		1次試験日	年齢上限	採用予定	選考過程									備考
					教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	
							実施	分						
松江市	6/20	29歳	23	Standard	-	*①	不明	-	①	①②	-	-	*2次試験抜い	
浜田市	6/20	26歳	5	Standard	-	不明								
出雲市	6/20	29歳	15	Standard	-	①	60	-	①	①②	-	-		
益田市	7/11	28歳	5*	Standard	-	①	60	①	①	②	-	-		
大田市	6/20	35歳	5	Standard	-	②	不明	①	①	②	-	②		
安来市	6/20	29歳	6	Standard	-	①	90	①	①	②	-	-		
江津市	9/19	30歳	8	Standard	-	*①	不明	①	①	②	-	-	*2次試験抜い	
雲南市	6/20	34歳	若干	Standard	-	①	80	①	①	②	-	-		

■岡山県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	選考過程		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						論文文	実施 分						
倉敷市	6/20	29歳	17	Standard	必答型	-	-	-	-	③	-	②	事務A
			10	SCOA	-	-	-	-	①	①	①	②	事務B
津山市	7/11	28歳	10	Standard	-	②	不明	①	①	③	②	③	
玉野市	* ¹ 9/5	30歳	5	* ¹ Light	-	* ² ②	-	-	-	②③	①	②	* ² 2次試験(1次8/22は集団面接) [※] 受験時に提出
笠岡市	6/20	32歳	若干	Standard	-	-	-	①	①②	②	-	-	
井原市	7/11	30歳	6*	Light	-	②	不明	①	①②	②③	-	-	
総社市	6/20	30歳	4	Standard	-	-	-	-	②	②③	②	③	
高梁市	7/11	27歳	5	Standard	-	①	30	①	①	②	-	①	
新見市	7/11	35歳	7	Standard	-	①	60	①	①	②	-	-	
備前市	7/11	32歳	5	Light	-	③	不明	-	* ¹ ②	②③	-	-	*文章完成試験(10分)
瀬戸内市	7/11	59歳	5*	Standard	-	①	60	①	②	②③	-	-	
赤磐市	7/11	30歳	5	Standard	-	-	-	-	①	②③	-	②	
真庭市	7/11	59歳	6	Standard	-	②	不明	①	②	③	-	②	
美作市	7/11	27歳	5*	Standard	-	③	不明	-	①	②③	-	②	
浅口市	9/19	30歳	3	Standard	-	②	不明	-	①	②③	-	-	

■広島県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	選考過程		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						論文文	実施 分						
呉市	6/20	29歳	20	Standard	必答型	-	-	-	-	②③	-	②	
竹原市	9/19	27歳	若干	Standard	-	①	50	-	②	③	-	②	
三原市	7/11	27歳	8	Standard	-	②	50	①	②	③	②	③	
尾道市	6/27	30歳	5	SPI3	-	-	-	-	①	②	①	-	
福山市	7/11	33歳	45	Logical	必答型	②	90	①	①	②	-	②	1種A
			10		-	①							1種B
府中市	10/17	29歳	10	Light	-	①	60	-	-	②	①	-	
三次市	9/19	29歳	10*	SCOA	-	* ¹ ②	60	-	-	②③	-	-	*①はES
庄原市	8/22	30歳	若干	Standard	-	①	60	-	①	③	②	-	
大竹市	9/19	30歳	4	Standard	-	②	60	-	①	②③	-	②	
東広島市 廿日市市	9/19	29歳	20	Logical	-	①	60	-	-	③	②	②	
				Standard	-	①							
				SPI3	-	①							
安芸高田市	9/19	35歳	10	SCOA	-	-	-	①	①	①②	-	-	
江田島市	9/19	29歳	4	Standard	-	①	60	①	①	②	-	②	

■山口県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	選考過程									備考
				教養等	専門	論作文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	
						実施	分						
下関市	7/11	28歳	10	Standard	必答型	③	60	-	②	③	-	②	
宇部市	6/27	27歳	16	Standard	必答型	-	-	-	①	②	-	-	
山口市	7/11	29歳	10	Standard	必答型	③	不明	-	①	②③	-	②	
萩市	7/11	27歳	若干	Standard	-	①	不明	①	①	②	①	-	
防府市	6/20	34歳	5	SPI3	-	③	不明	-	-	②③	-	-	A方式
	7/11	29歳	5	Standard	必答型	②			①	②			B方式
下松市	7/11	25歳	2	Standard	-	③	不明	-	③	③	-	②	
岩国市	7/11	29歳	15	Standard	必答型	③	不明	-	②	②③	-	-	
光市	7/11	29歳	5	Standard	S8型	②	不明	①	①	②③	-	-	
長門市	7/11	27歳	10	Standard	S8型	①	90	-	①	②	-	②	
柳井市	7/11	29歳	6	Standard	-	②	不明	①	①	②	-	-	
美祢市	7/11	29歳	若干	Standard	必答型	①	90	①	-	③	-	-	②
周南市	5/30	27歳	15	SPI3	-	①	40	-	①	②③	-	②	
山陽小野田市	7/11	28歳	5	SCOA	-	①	60	-	①	②③	-	-	

■徳島県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	選考過程									備考
				教養等	専門	論文文	事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	G・D・G・W		
												実施	
徳島市	9/19	30歳	15	SCOA	-	*②	不明	-	②	③	-	②	*課題解決力試験 別途2次でロールプレイング試験実施
鳴門市	9/19	30歳	若干	Standard	必答型	②	不明	②	②	②③	-	③	
小松島市	4/14～6/13	30歳	5	*SPI3	-	②	不明	-	①	②③	-	②	*テストセンター
阿南市	9/19	30歳	7	Standard	必答型	*②	不明	-	①	③	-	②	*課題解決力試験
吉野川市	7/11	29歳	7	Standard SCOA	必答型 -	②	不明	-	②	②	-	②	A方式 B方式
阿波市	9/19	30歳	6	Standard	必答型	②	不明	-	②	②	-	-	別途2次でプレゼンテーション試験(3分)実施
美馬市	9/19	35歳	4	SCOA	-	②	60	①	①	③	-	-	別途2次でプレゼンテーション試験(15分)実施
三好市	*5/1～5/16	51歳	10	*SPI3	-	④	不明	-	②	③④	-	④	*2次テストセンター(1次は動画面接)

■香川県

市役所		1次試験日	年齢上限	採用予定	選考過程									備考
					教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	
							実施	分						
高松市	6/20	32歳	41	Standard	必答型	-	-	-	-	③	②	-		
丸亀市	6/20	29歳	8	Standard	必答型	①	不明	-	①	③	-	②		
坂出市	9/19	29歳	2	Standard	必答型	-	-	-	-	②	-	-		
善通寺市	9/4	35歳	5	Standard	必答型	-	-	-	①	②	③	-		
観音寺市	7/11	34歳	4	Logical	必答型	②	不明	-	-	②	②	-		
さぬき市	6/20	29歳	3	Standard	必答型	②	不明	-	②	②	-	②		
東かがわ市	6/20	29歳	2	Standard	必答型	①	不明	-	-	*①②	-	-	*①録画面接	
三豊市	7/11	29歳	6	Standard	-	-	-	①	-	③	②	-		

■愛媛県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	選考過程									備考
				教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	G・D・G・W	
						実施	分						
松山市	6/6	33歳	19	Standard	必答型	-	-	①	②	②③	②	②	
今治市	4/12～4/25	29歳	7	*SPI3	-	-	-	-	①	②④	-	③	行政事務A *テストセンター
	15		Standard	必答型	-	-	-	①	②③	-	②	行政事務B	
宇和島市	7/11	30歳	10	Standard	-	-	-	-	-	①②	-	-	
八幡浜市	7/11	33歳	6	Standard	必答型	①	不明	①	-	②	-	-	
新居浜市	7/11	29歳	10	Standard	S6型	-	-	-	①	②③	-	②③	事務A
				SCOA	-	②	不明	①	-	-	事務B		
西条市	7/11	35歳	15	Standard	必答型	-	-	-	①	②	-	-	一般事務職A
				SPI3	-	-	-	-	①	②	-	-	一般事務職B
大洲市	7/11	33歳	12	Standard	必答型	①	不明	①	-	②	-	②	
伊予市	9/19	30歳	7	SCOA	-	②	不明	①	①②	②③	①	-	
四国中央市	7/11	29歳	10	Standard	-	②	不明	-	①	②③	-	-	
西予市	7/11	30歳	5	Logical	-	①	不明	-	①	②	②	-	
東温市	7/11	29歳	若干	Logical	必答型	②	不明	-	①	②	-	②	

■高知県

選考過程														備考
市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	G・D・G・W		
						実施	分							
高知市	6/20	29歳	25	Standard	必答型	②	不明	-	①	②③	-	②		
室戸市	8/16	30歳	若干	SCOA	-	-	-	①	-	②③	-	-		
安芸市	9/19	30歳	若干	SCOA	-	②	60	①	②	②	-	②		
南国市	9/17～9/29	29歳	若干	SCOA	-	③	不明	①	②	③	②	-		
土佐市	9/19	35歳	3	Standard	-	-	-	-	①	②③				
須崎市	9/19	34歳	3	Standard	-	-	-	①	①	2次以降不明				
宿毛市	10/17	34歳	5	Light	-	-	-	①	①	2次以降不明				
土佐清水市	10/17	39歳	若干	Standard	-	②	不明	①	-	②	-	②		
四万十市	8/29	29歳	7	SCOA	-	③	60	①	①	③	-	②		
香南市	9/19	30歳	若干	SCOA	-	-	-	①	-	②③	-	-		
香美市	*10/17	29歳	4	*Standard	-	④	不明	-	②	④	-	③	*2次試験(1次は情報分析力試験 BEL(web))	

■福岡県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						実施	分						
大牟田市	9/19	29歳	8	-	-	③	不明	①	①	③	②	②	
久留米市	6/20	35歳	10 9	Standard SPI3	必答型	-	-	①	①	②	-	-	事務職A 事務職B
直方市	11/5～12/6	30歳	若干	*SPI3	-	②	不明	-	①	③	②	-	*テストセンター
飯塚市	9/19	28歳	13	Standard	-	②	不明	①	①②	③	②	②	
田川市	9/19	27歳	4*	Standard	-	②	不明	①	②	③	-	②	
柳川市	9/19	29歳	2	SCOA	-	②	90	①	①	②	-	②	
八女市	7/12～7/25	29歳	10	*SCOA	-	-	-	①	②	③	②	-	*テストセンター(1次で書類審査あり)
筑後市	9/19	35歳	4	SCOA	-	-	-	①	①	②③	-	②	1次で録画選考(動画)あり
大川市	9/19	30歳	5	Logical	-	②	不明	①	①	②	-	②	
行橋市	9/19	27歳	8	Logical	必答型	③	*	-	-	③	-	②	*事前提出
豊前市	9/19	28歳	若干	Standard	必答型	②	不明	-	-	②	-	-	*1次で別途自己PRシート作成
中間市	9/16～10/3	35歳	4	*SCOA	-	-	-	①	②	②	-	-	*テストセンター
小郡市	9/19	39歳	7	Logical	-	-	-	①	①	③	②	②	
筑紫野市	10/17	27歳	4	Standard	-	-	-	①	②	③	②	②	
春日市	4/16～5/11	31歳	4	*SPI3	-	④	不明	-	①	④	②③	-	*テストセンター
大野城市	6/13	26歳	8	Standard	-	②	90	①	①	②③	-	-	
宗像市	*10/9～10/31	25歳	6	*SPI3	-	-	-	-	-	③④	-	-	*2次試験:テストセンター(1次は録画面接)
太宰府市	6/1～6/21	28歳	5	*SPI3	-	-	-	-	①	③	②	-	*テストセンター(ES書類選考あり)
古賀市	7/11	26歳	3	Standard	-	*①	不明	-	-	②③	-	②	*ケース記述試験
福津市	4/27～5/24	26歳	6	*SPI3	-	-	-	-	①	③	-	②	*テストセンター
うきは市	*8/9～8/25	30歳	2	*SCOA	-	④	不明	②	③	③④	③④	-	*2次試験:テストセンター(1次は録画面接)
宮若市	9/19	30歳	3	Standard	-	②	不明	-	②	③	②	-	
嘉麻市	9/6～9/30	26歳	5	*SPI3	-	-	-	①	①	②③	-	-	*テストセンター
朝倉市	9/19	30歳	9	Light	-	②	不明	①	①	②	-	-	
みやま市	9/19	29歳	4*	Logical	-	②	不明	-	①	②	②	-	
糸島市	8/14～9/16	35歳	9	*SPI3	-	-	-	-	①	④	②	③	*テストセンター
那珂川市	*9/28～10/24	28歳	4	*SPI3	-	④	不明	-	②	①③④	-	-	*2次試験:テストセンター(1次は個別面接)

■佐賀県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						実施	分						
佐賀市	8/16～8/31	35歳	20	*SCOA	-	②	60	-	①	②③	-	-	*テストセンター
唐津市	9/19	29歳	20	Standard	-	②	不明	-	②	③	②	-	
鳥栖市	9/18～10/1	29歳	5*	*SCOA	-	②	60	②	①	②③	-	-	*テストセンター
多久市	9/11～9/20	25歳	若干	*SCOA	-	②	不明	①	②	②	-	②	*テストセンター
伊万里市	9/19	35歳	7	Standard	-	③	90	-	②	③	②	-	
武雄市	9/19	59歳	若干	Standard	-	②	不明	-	-	②	-	-	
鹿島市	9/19	30歳	若干	Standard	-	②	不明	-	-	③	②	-	
小城市	9/19	35歳	5	Standard	-	②	不明	-	②	②	-	②	
嬉野市	9/19	29歳	3	Light	-	②	不明	-	-	②	-	-	
神埼市	9/19	27歳	8	Standard	-	②	不明	-	①	②	-	-	

■長崎県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	選考過程		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						論文文	実施分						
長崎市	6/13	26歳	35	*	-	-	-	-	①	②③	-	-	*教養試験(Standard)又はSPI3の選択制
佐世保市	6/20	30歳	10	SCOA	-	②	90	-	①	②③	-	-	
島原市	7/11	39歳	若干	Standard	必答型	①	60	-	-	②	①	-	
諫早市	6/20	30歳	若干	Standard	-	②	不明	-	-	②	-	②-	
大村市	8/27～9/5	29歳	若干	* ¹ SPI3	-	②	不明	-	①	* ² ②③	-	-	*web テスティング * ² ②録画面接
平戸市	7/11	30歳	若干	Standard	必答型	②	不明	-	①	②	-	-	
松浦市	9/19	29歳	若干	Standard	必答型	②	不明	-	①	②	②	-	
対馬市	7/11	26歳	若干	Standard	必答型	②	不明	-	①	②	②	-	
壱岐市	9/19	29歳	若干	Standard	必答型	②	不明	-	①	②	-	-	
五島市	7/11	29歳	12	Standard	S6型	②	不明	-	-	②	-	②	
西海市	6/27	29歳	若干	Standard	必答型	②	不明	-	-	②	-	②	
雲仙市	9/19	31歳	若干	Standard	-	-	-	-	①	②	-	②	
南島原市	9/19	30歳	若干	Logical	必答型	②	不明	-	①	②	-	-	

■熊本県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	選考過程		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						論文文	実施分						
八代市	6/20	33歳	24	Standard	-	①	90	-	①	②	-	②	
吉市	7/11	30歳	2	Standard	-	①	120	①	①	②	-	②	
荒尾市	9/19	35歳	3	Standard	-	②	60	①	①	③	-	②	
水俣市	9/19	33歳	3	Logical	-	②	不明	①	①	③	-	②	
玉名市	6/1～6/19	30歳	3	*SPI3	-	②	60	-	①	③	②	③	*テストセンター
山鹿市	9/19	30歳	9	Standard	必答型	①	不明	-	①	②	②	②	
菊池市	9/19	32歳	10	Logical	-	①	不明	①	①	②③	-	-	
宇土市	6/20	29歳	2	Logical	-	①	不明	①	①	②	-	②	
上天草市	7/11	40歳	若干	Standard	必答型	①	60	-	①	②	-	②	
宇城市	4/24～5/16	32歳	9	*SCOA	-	②	60	-	①	③	②	-	*テストセンター 2次で独自試験(60分)文章要約・時事・市政
阿蘇市	9/19	35歳	5	Standard	-	①	60	-	①	②	-	-	
天草市	7/11	30歳	11	Standard	必答型	①	不明	-	①	②	-	②	
合志市	9/19	29歳	5	Standard	必答型	①	60	-	①	③	②	-	

■大分県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	選考過程		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						論文文	実施分						
大分市	5/10～5/30	27歳	25	* ¹ SCOA	* ² 必答型	-	-	-	②	③	②	-	* ¹ テストセンター * ² 2次試験
別府市	9/27～10/17	30歳	4	*SCOA	-	-	-	①	②	②	①③	-	*テストセンター 2次でSPI3(能力+性格)
中津市	5月下旬	* ¹ 15*		*SCOA	-	②	不明	-	①	③	-	②	* ¹ 卒見込(年齢記載なし) * ² テストセンター
日田市	8/1			Standard	-	②	不明	②	①	③	②	②	
	7/28～8/2	35歳	8	*SCOA	-	-	-	-	①	②	②	②	*テストセンター
佐伯市	6/7～6/30	29歳	若干	*SPI3	-	-	-	-	①	②	②	②	*テストセンター
臼杵市	9月上旬	27歳	4	*SCOA	-	②	不明	①	-	③	②	-	*テストセンター 1次で録画面接あり
津久見市	9/19	28歳	5*	Standard	-	②	不明	①	②	②	-	②	
竹田市	7/9～7/18	37歳	2	*SCOA	-	②	不明	①	①	②	-	②	*テストセンター
豊後高田市	10/16～10/27	32歳	5	*SCOA	-	②	不明	-	①	②	-	-	*テストセンター
杵築市	8/9～8/22	29歳	2	*SCOA	-	②	不明	-	①	-	②	②	*テストセンター
宇佐市	10/4～10/17	27歳	13*	*SCOA	-	②	不明	-	①	②③	-	-	*テストセンター
豊後大野市	7/15～8/1	27歳	若干	*SCOA	-	-	-	-	-	-	-	-	*テストセンター
由布市	10/17	27歳	2	Standard	-	②	不明	②	①	②	-	②	
国東市	9/27～10/17	29歳	15	*SCOA	-	②	不明	-	①	③	②	-	*テストセンター

■宮崎県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						実施	分						
宮崎市	6/20	28歳	15	Standard	-	①	60	-	①	②③	-	②	事務A 1次で録画面接あり
	6/5～6/18	28歳	10	*SCOA	-	②							事務B *テストセンター 1次で録画面接あり
都城市	5/1～5/31	28歳	13	*SPI3	-	2次～3次の詳細不明							*テストセンター 1次で録画面接あり
延岡市	6/26～7/11	30歳	若干	*SPI3	-	②	不明	-	①	②	-	-	*テストセンター
日南市	6/1～6/23	30歳	若干	*SPI3	-	-	-	-	①	③	③	②	*テストセンター
小林市	9/19	35歳	7*	Standard	-	②	不明	-	①	②	-	②	
日向市	9/22～10/10	27歳	10	*SCOA	-	-	-	②	①	②	-	②	*テストセンター 1次で録画面接あり
串間市	10/17	29歳	2	Light	-	②	不明	-	①	②	-	-	
西都市	6/20	30歳	若干	Standard	-	②	不明	-	-	②	-	-	
えびの市	9/19	28歳	6	Standard	-	②	不明	-	①	②	-	-	

■鹿児島県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						実施	分						
鹿児島市	7/11	29歳	20	Standard	必答型	-	-	-	②	②	-	-	
鹿屋市	7/18	29歳	10	Standard	-	-	-	-	①	②③	-	-	③プレゼンテーション面接
枕崎市	9/19	35歳	4	Standard	-	①	不明	-	①	②	-	②	
阿久根市	9/19	29歳	10	Logical	-	①	不明	①	①	②③	-	-	②個別面接は2回実施
出水市	7/11	29歳	10	SCOA	-	②	60	①	①	②	①	-	
指宿市	9/19	29歳	10	Light	-	①	60	①	①	②	-	-	②個別面接は2回実施
西之表市	9/19	35歳	8*	Standard	-	①	不明	①	①	②	-	-	
垂水市	9/19	30歳	5	Standard	-	①	60	-	①	②	-	-	
薩摩川内市	9/19	27歳	20*	Standard	-	①	不明	-	①	②	-	-	
日置市	9/19	30歳	若干	Standard	-	①	60	-	①	②③	-	-	
曾於市	9/19	32歳	6	Light	-	①	60	-	①	②	-	-	
霧島市	9/19	30歳	12	Standard	-	-	-	-	①	②	-	②	
いちき串木野市	9/19	25歳	若干	SCOA	-	②	不明	①	①	②③	-	②	
南さつま市	9/19	29歳	若干	Standard	-	①	40	①	①	②	-	-	
志布志市	9/19	30歳	若干	Standard	-	①	60	-	①②	②③	-	②	
奄美市	9/19	30歳	若干	Standard	-	①	60	-	②	②	-	②	
南九州市	9/19	35歳	若干	Light	-	①	60	-	①	②	-	-	
伊佐市	9/19	30歳	若干	Standard	-	①	不明	-	-	②	-	-	
始良市	7/11	*	5	Light	-	-	-	①	①	②③	②	-	*記載なし(短大以上を卒業見込みの人)

■沖縄県

市役所	1次試験日	年齢上限	採用予定	教養等	専門	論文文		事務適性	性格検査	個別面接	集団面接	GD・GW	備考
						実施	分						
那覇市	9/19	29歳	40*	Standard	必答型	*②	不明	-	②	②	-	②	*課題解決力試験
宜野湾市	9/19	29歳	若干	Logical	S8型	②	不明	-	②	②	-	-	
石垣市	9/19	40歳	若干	Logical	S8型	②	不明	-	①	②	-	-	
浦添市	9/19	29歳	6	Standard	必答型	-	-	-	②	②	②	-	
名護市	9/19	29歳	若干	Logical	必答型	-	-	-	-	②	-	-	
糸満市	9/19	31歳	若干	Logical	必答型	②	不明	-	-	②	-	②	
沖縄市	9/19	29歳	若干	Logical	必答型	-	-	-	②	②	-	②	
豊見城市	9/19	29歳	若干	Standard	必答型	②	不明	-	②	③	②	-	
うるま市	9/19	29歳	若干	Logical	必答型	*②	60	-	②	②	-	-	*ケーススタディ試験
宮古島市	7/11	35歳	若干	Standard	-	②	90	-	-	③	-	-	
南城市	9/19	30歳	若干	Standard	S8型	②	90	-	③	③	-	②	上級
				Light	-								総合型 1次でES試験(90分)

23 公務員 オリエンテーションブック

2022 年 2 月 1 日 初版第 1 刷発行

編 者 T A C 公 務 員 講 座
発 行 者 多 田 敏 男
発 行 所 T A C 株 式 会 社
〒101-8383
東京都千代田区神田三崎町3-2-18
T A C 本 社 ビ ル
印刷・製本 株式会社 ワコープラネット

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

本書は、「著作権法」によって、著作権等の権利が保護されている著作物です。本書の全部または一部につき、無断で転載、複写、その他の方法で記録されると、著作権等の権利侵害となります。上記のような使い方をされる場合には、あらかじめ小社宛許諾を求めてください。

Printed in Japan